

第27回 県民意識調査報告書

調査テーマ

「コロナ禍とその後の社会の展望」

令和3年度

兵 庫 県

目次

I 調査の概要

1	調査目的	1
2	調査概要	1
3	回収結果	1
4	標本抽出および集計方法	2
5	回答者のプロフィール	3
6	標本誤差	5

II 調査の結果

1 年次テーマ項目

問1	暮らしの変化	6
問2	将来の社会のあり方	19
問3	生活で気になること	37
問4	気になることへの対応-相談先	41
問5	気になることへの対応-相談しなかった理由	45
問6	気になることへの対応-相談方法	49
問7	日常生活の変化	54
問8	住まいに関して重要だと思うこと	58
問9	重要だと思うようになった場所	62
問10	移住への関心	67
問11	働き方の変化	72
問12	理想の働き方	76
問13	リモートワークの経験	80
問14	リモートワークの頻度	84
問15	リモートワークの課題	88
問16	リモートワークを行う場所	92
問17	リモートワークによって生まれた時間の活用	96
問18	インターネット等の活用	100
問19	行政手続きのオンライン化	104
問20	学校におけるオンラインの活用	108
問21	美術館・博物館に求めること	112

2 毎年調査項目

問22	今の生活全般での満足度	117
問23	今の生活の項目別での満足度	121
問24	去年と比べた生活の向上感	148
問25	大地震発生の可能性	152
問26	地域活動への参加	156
問27	県政への関心	159
問28	県政への評価	163
問29	県民局・県民センターの認知度	196

Ⅲ 調査票

第 27 回 県民意識調査「コロナ禍とその後の社会の展望」調査票…………… 200

調査結果を読む際の注意

結果数値（％）は0.1%未満を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。

グラフ中のカテゴリーの順番が、調査票と異なることがある。

グラフ・表中での選択肢表記は、語句を短縮・簡略化していることがある。

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は県民の価値観や行動志向、行政への評価・要望など、県民生活の基本的な意識の経年変化を大きな潮流として捉えることにより、政策形成、施策運営の基礎資料を得ることを目的としている。

今回は、年次テーマを「コロナ禍とその後の社会の展望」とし、コロナ禍後の社会に対応して施策の検討に活用する。

2 調査概要

- (1) 調査地域 県下全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 調査方法 郵送法（ハガキによる督促1回）
- (5) 調査時期 令和3年9月3日（金）～9月27日（月）
- (6) 県民意識調査有識者会議
設問作成にあたり、県民意識調査有識者会議を開催して、下記の学識経験者から指導・助言を得た。

立木 茂雄 （同志社大学教授）

鳥越 皓之 （大手前大学学長）

畑 豊 （兵庫県立大学副学長）

吉田 三千代 （一般財団法人大阪デザインセンター 企画事業部長）

[五十音順]

3 回収結果

回収数 3,063件(回収率61.3%)

地域	標本数	回収数	回収率	無効票	有効回答
神戸	500	294	58.8%		294
阪神南	500	277	55.4%		277
阪神北	500	301	60.2%		301
東播磨	500	299	59.8%		299
北播磨	500	298	59.6%	1	297
中播磨	500	302	60.4%		302
西播磨	500	333	66.6%		333
但馬	500	321	64.2%	1	320
丹波	500	337	67.4%	1	336
淡路	500	301	60.2%	2	299
不明					0
全県	5,000	3,063	61.3%	5	3,058

※無効票は属性不明等

4 標本抽出および集計方法

- (1) 母集団 住民基本台帳（R3. 3. 31）に記載された県民数
- (2) 標本配分 10の地域毎に500の標本数を市町別・男女別・年齢10歳階級別の母集団構成比に応じて配分（合計5,000人）
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出法
- (4) 集計方法 地域ごとの回収数について、重み付け集計により、全県内の母集団構成比を復元



地域区分

県民局・ 県民センター	該当市町
神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、 三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、 稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、 加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、 福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、 宍粟市、太子町、上郡町、 佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、 香美町、新温泉町
丹波	丹波篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市

5 回答者のプロフィール

○ 性別 (%)

	男性	女性	不明
全県	40.9	56.9	2.2
神戸	40.8	56.8	2.4
阪神南	41.5	56.7	1.8
阪神北	40.2	58.1	1.7
東播磨	37.8	58.5	3.7
北播磨	43.1	55.9	1.0
中播磨	42.4	56.3	1.3
西播磨	44.1	54.7	1.2
但馬	42.2	55.6	2.2
丹波	42.9	54.2	3.0
淡路	38.8	57.5	3.7

○ 年齢 (%)

	18歳以上	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明
全県	8.1	10.4	16.3	16.3	17.7	18.7	10.7	1.8
神戸	8.5	10.5	17.3	14.6	17.3	18.0	11.9	1.7
阪神南	7.6	10.8	20.2	17.7	18.1	15.2	9.0	1.4
阪神北	6.6	11.0	17.3	15.9	17.3	19.9	10.6	1.3
東播磨	9.0	12.0	12.7	16.7	17.4	20.4	8.4	3.3
北播磨	9.8	5.4	14.5	16.2	19.5	21.9	12.1	0.7
中播磨	7.6	10.6	14.9	17.5	17.5	18.9	11.3	1.7
西播磨	9.3	9.6	13.5	18.0	17.7	20.7	10.2	0.9
但馬	5.6	8.4	12.5	15.6	20.0	20.3	15.6	1.9
丹波	8.3	6.8	10.4	15.8	17.6	22.6	15.8	2.7
淡路	8.0	8.0	13.4	16.7	19.1	20.7	10.0	4.0

○ 職業 (%)

	職業別								
	自営業	正規社員 (職員)	会社等の 役員	契約・ 派遣社員	パート・ アルバイト	主婦 (主夫)	学生	その他 無職	不明
全県	8.3	27.9	3.5	5.2	15.5	13.2	2.5	21.8	2.2
神戸	5.8	28.2	3.4	6.5	17.0	13.3	2.7	21.1	2.0
阪神南	8.7	32.1	4.0	5.8	16.6	8.7	2.5	20.2	1.4
阪神北	8.3	25.9	3.3	4.7	12.6	18.9	1.3	23.3	1.7
東播磨	4.0	28.1	1.7	5.4	13.4	16.7	4.0	22.7	4.0
北播磨	12.8	26.9	4.7	4.0	16.8	8.4	2.7	22.6	1.0
中播磨	9.9	26.5	5.6	2.6	17.2	13.9	1.3	20.5	2.3
西播磨	10.2	26.1	2.7	4.2	15.3	10.8	3.6	25.8	1.2
但馬	15.6	22.5	2.5	5.6	11.9	12.8	0.6	25.3	3.1
丹波	14.6	25.0	2.4	4.8	13.1	10.4	2.1	24.7	3.0
淡路	22.1	20.1	3.0	3.7	13.4	9.7	4.3	20.1	3.7

○ 世帯構成 (%)

	1人世帯	夫婦だけ (1世代)	親と子ども (2世代)	親と子と孫 (3世代)	その他	不明
全県	9.1	28.3	51.3	6.7	2.7	1.8
神戸	9.9	31.6	50.7	3.7	2.4	1.7
阪神南	13.4	24.9	54.5	4.0	1.8	1.4
阪神北	6.0	28.6	53.5	6.3	4.0	1.7
東播磨	6.7	28.8	52.2	6.0	3.0	3.3
北播磨	3.0	32.3	48.5	12.8	2.7	0.7
中播磨	8.9	27.8	51.7	7.6	2.3	1.7
西播磨	11.1	21.6	48.9	14.4	2.7	1.2
但馬	5.6	25.3	42.2	21.3	3.4	2.2
丹波	8.3	25.0	44.0	15.8	4.2	2.7
淡路	12.4	26.4	43.5	12.4	3.0	2.3

○ 在住年数 (%)

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	不明
全県	1.7	5.3	5.1	10.1	11.9	9.8	54.0	2.1
神戸	2.0	6.1	5.1	11.6	12.6	12.2	48.3	2.0
阪神南	4.0	7.2	6.9	12.6	13.0	11.2	43.3	1.8
阪神北	1.0	4.0	6.3	13.3	14.6	7.6	51.5	1.7
東播磨	0.3	4.0	3.7	6.7	12.4	9.4	59.9	3.7
北播磨	1.0	4.0	3.0	6.7	9.1	6.4	68.7	1.0
中播磨	0.7	4.6	5.3	8.9	11.3	8.9	58.3	2.0
西播磨	0.6	4.5	3.9	6.3	8.1	8.7	67.0	0.9
但馬	0.6	3.1	1.9	5.6	7.2	5.0	74.1	2.5
丹波	0.3	3.0	2.4	4.2	6.0	5.1	75.9	3.3
淡路	2.3	5.0	4.0	3.7	5.4	6.0	70.9	2.7

○ インターネット利用環境 (%)

	パソコン	スマートフォン	持っていない	不明
全県	20.3	63.5	13.8	2.5
神戸	22.8	62.2	12.2	2.7
阪神南	22.0	66.1	10.5	1.4
阪神北	19.6	64.8	13.3	2.3
東播磨	17.7	65.9	13.0	3.3
北播磨	22.2	60.9	15.5	1.3
中播磨	16.6	63.2	17.5	2.6
西播磨	19.5	61.9	15.9	2.7
但馬	16.6	55.3	25.0	3.1
丹波	17.9	57.4	21.1	3.6
淡路	16.1	61.5	19.7	2.7

6 標本誤差

世論調査で無作為抽出法をとった場合は、数学的に標本誤差を計算することが可能であり、誤差の幅はサンプル数と得られた結果の比率などによって異なる。

今回の調査のサンプル数についての標本誤差の幅は、以下のとおりである。

誤差の算出 (層化抽出、信頼度95%の場合)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N : 母集団 n : 回答者 P : 回答比率 (%)

〈例 : サンプル数 3, 063 の場合〉

回答比率	10%	20%	30%	40%	50%
(%)	(または90%)	(または80%)	(または70%)	(または60%)	
誤差(%)	±1.08	±1.45	±1.66	±1.77	±1.81

II 調査結果

1 年次テーマ項目

問1 暮らしの変化

問1

新型コロナウイルス感染症流行が終わったら、感染症流行以前と比べて、あなたの暮らしはどのようになりますか。それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

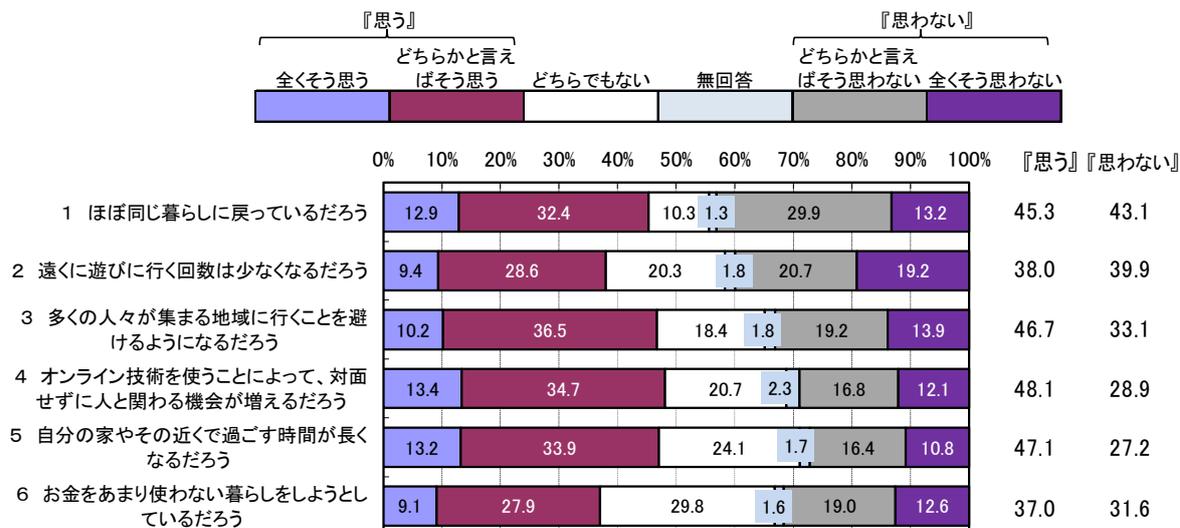
- 1 ほぼ同じ暮らしに戻っているだろう
- 2 遠くに遊びに行く回数は少なくなるだろう
- 3 多くの人々が集まる地域に行くことを避けるようになるだろう
- 4 オンライン技術を使うことによって、対面せずに人と関わる機会が増えるだろう
- 5 自分の家やその近くで過ごす時間が長くなるだろう
- 6 お金をあまり使わない暮らしをしようとしているだろう

〔選択肢〕

- | | |
|------------|------------------|
| 1 全くそう思う | 2 どちらかと言えばそう思う |
| 3 どちらでもない | 4 どちらかと言えばそう思わない |
| 5 全くそう思わない | |

【全 県】

「全くそう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『思う』は、「オンライン技術を使うことによって、対面せずに人と関わる機会が増えるだろう」で最も多く、48.1%となった。「どちらかと言えばそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『思わない』は、「ほぼ同じ暮らしに戻っているだろう」が最も多く、43.1%となった。

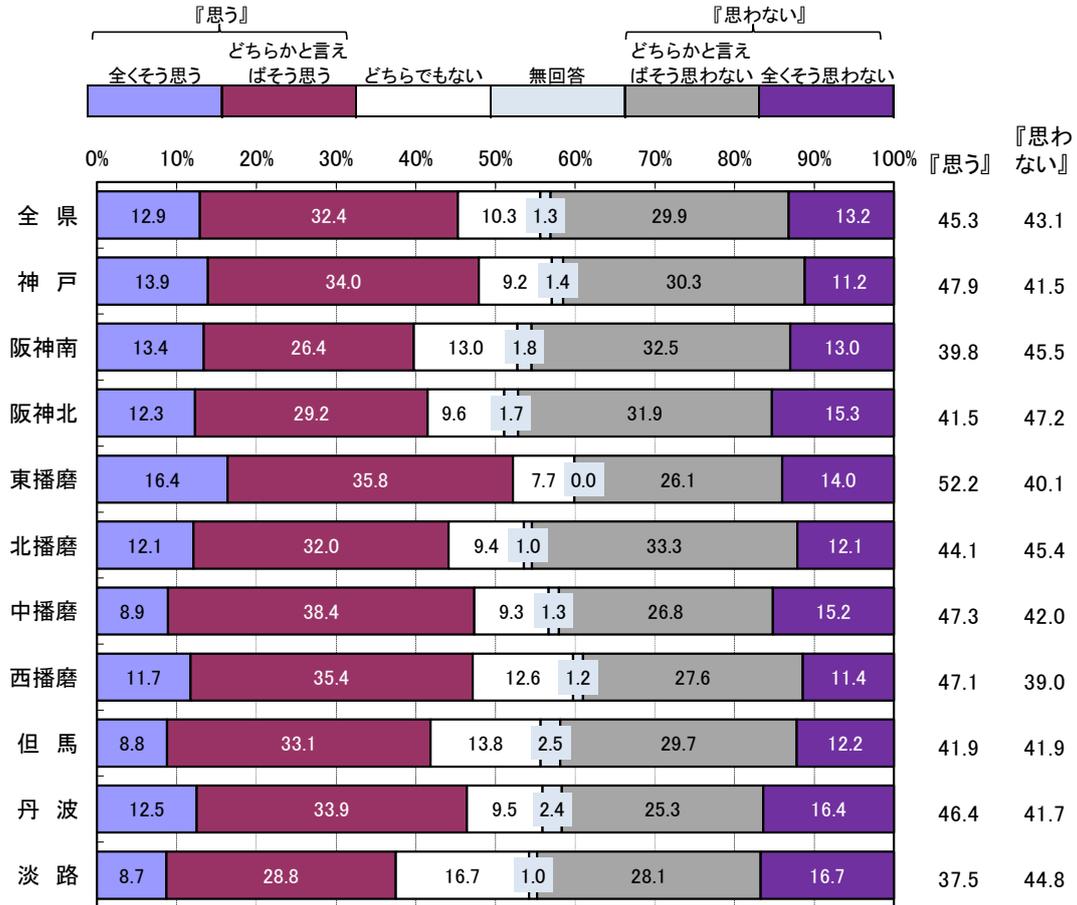


暮らし方の変化・感染症流行前の暮らしに戻る

〔1 ほぼ同じ暮らしに戻っているだろう〕

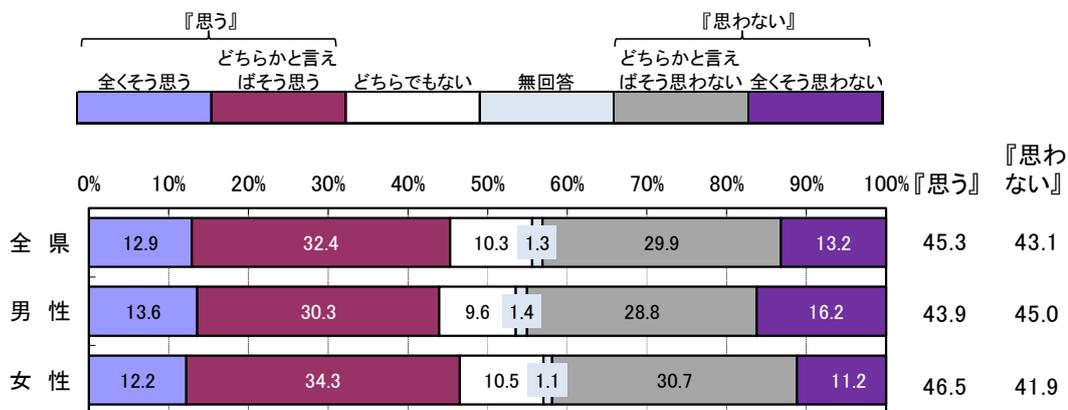
【地域別】

『思う』は東播磨で最も高く、神戸、中播磨が続いている。



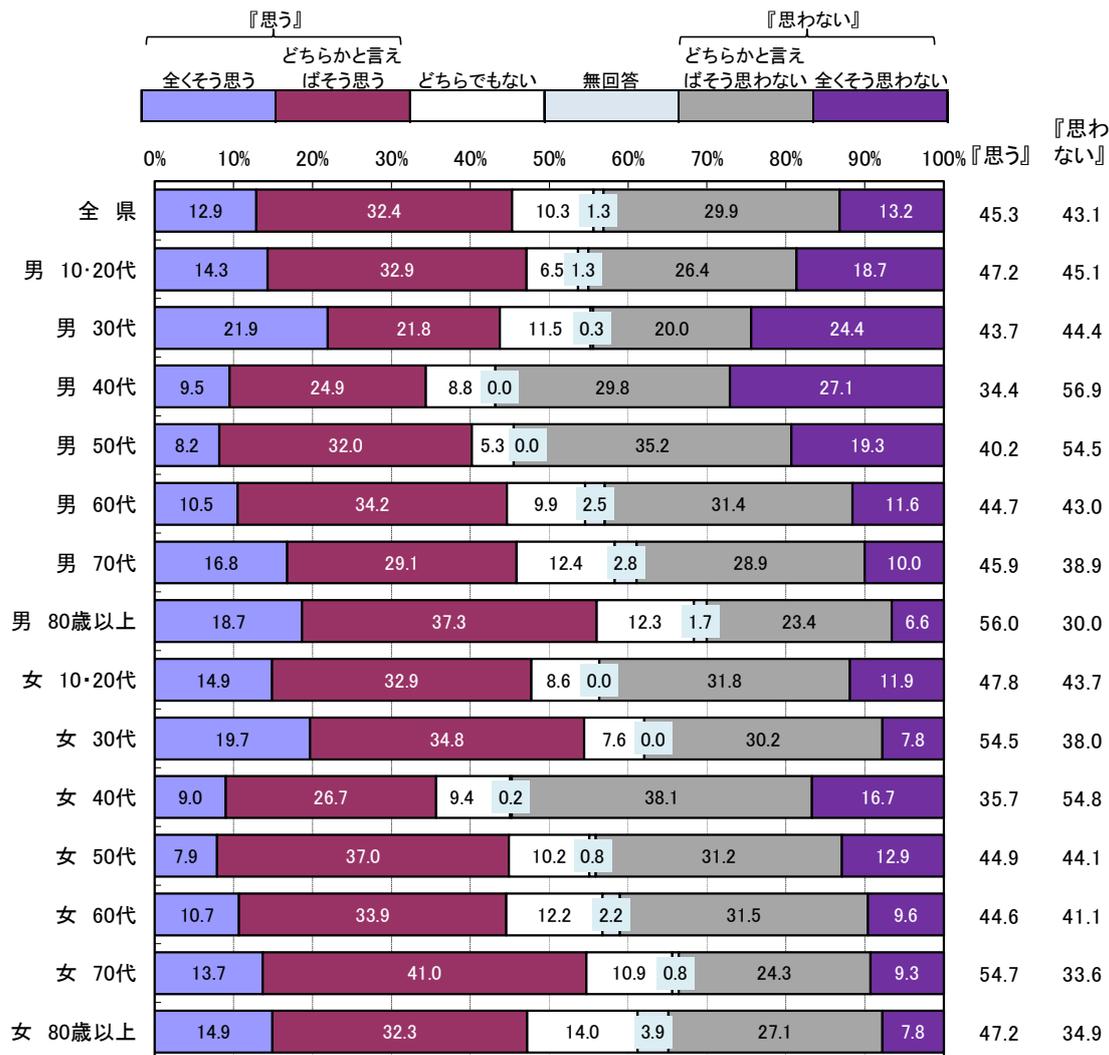
【性別】

『思う』は、女性の方が男性より2.6ポイント高い。



【性・年代別】

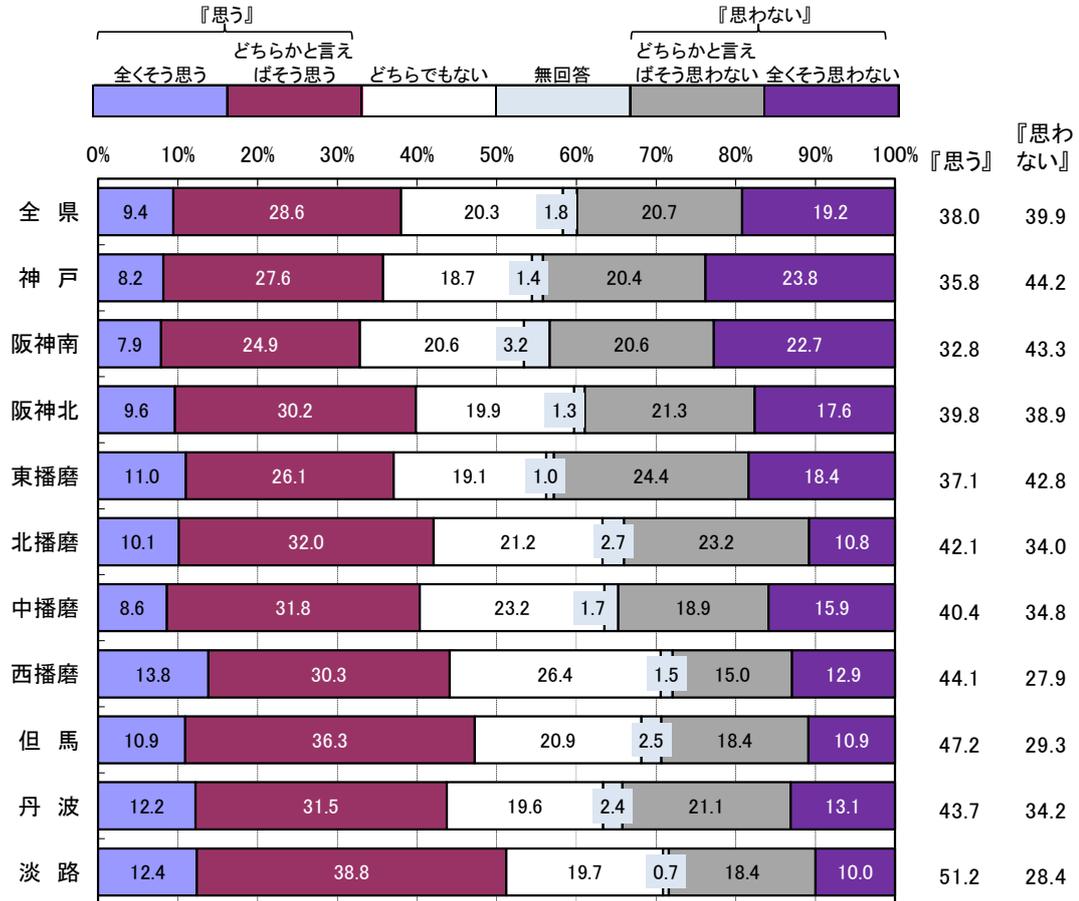
『思う』は、男性は80歳以上、女性は70代で最も高い。



〔2 遠くに遊びに行く回数は少なくなるだろう〕

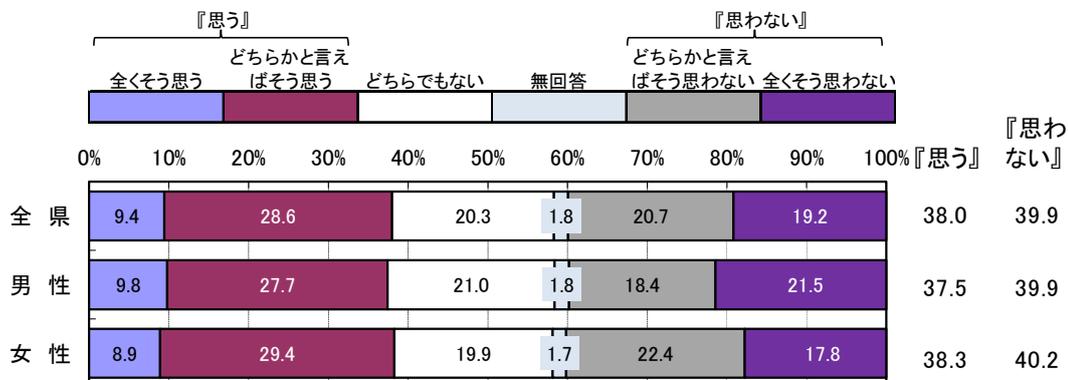
【地域別】

『思う』は淡路で最も高く、但馬、西播磨が続いている。



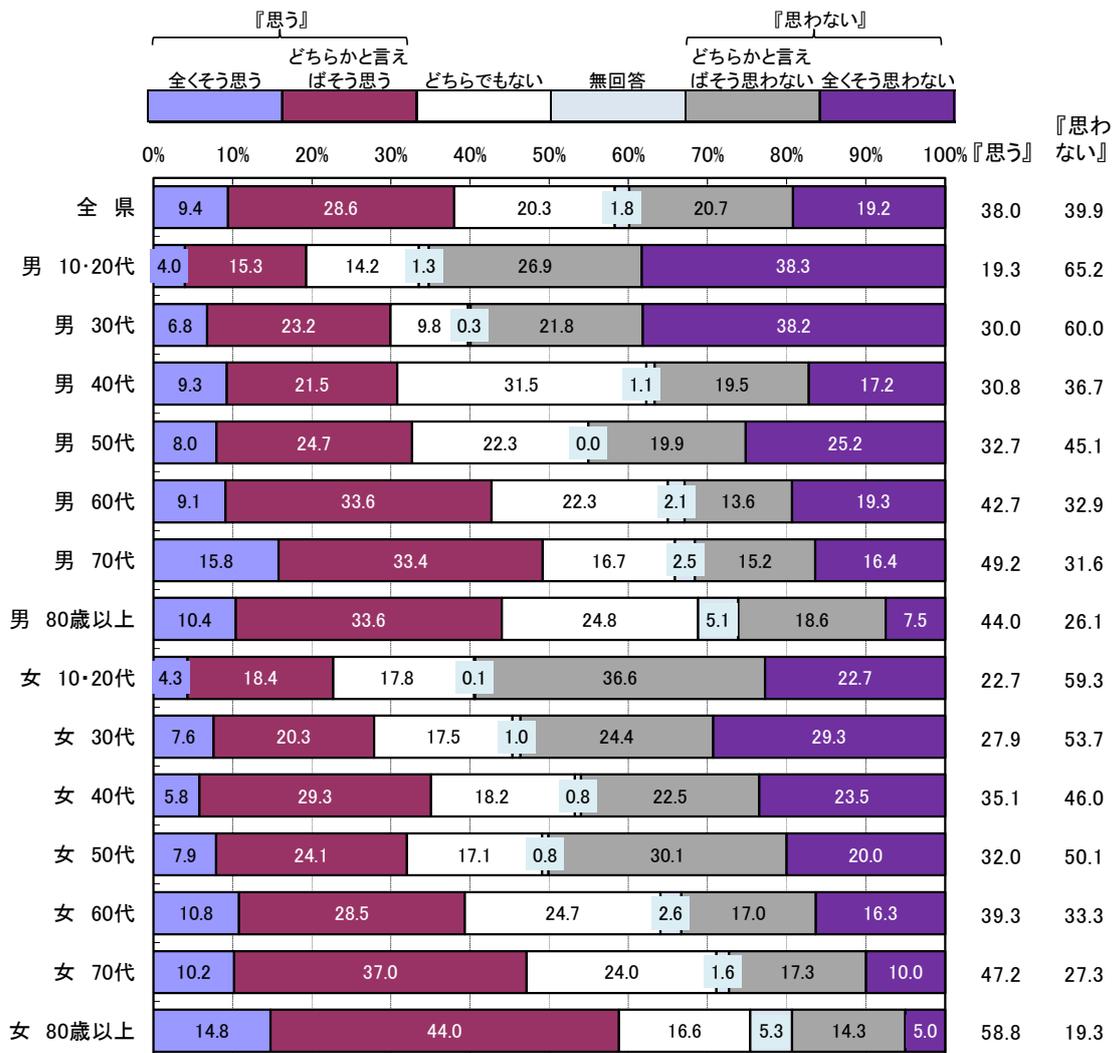
【性別】

男女間で大きな差は見られない。



【性・年代別】

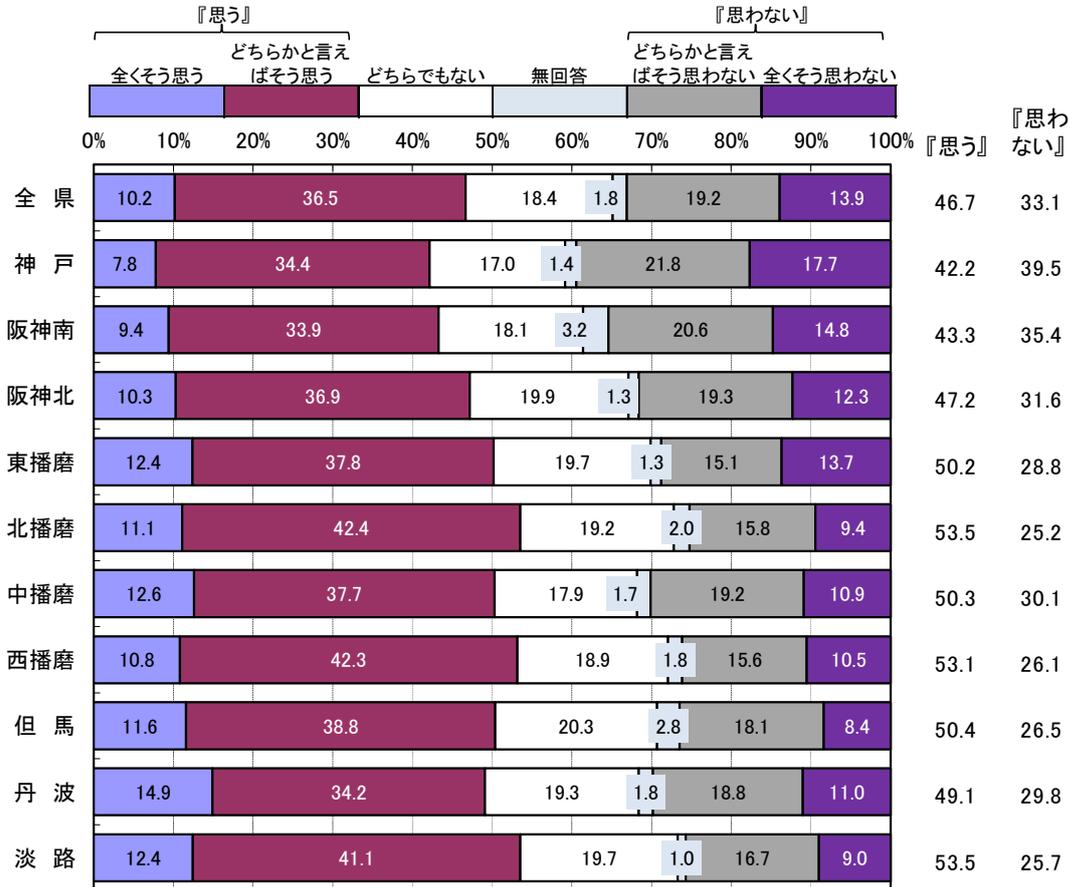
『思う』は、男性で70代、女性で80歳以上が最も高い。



〔3 多くの人々が集まる地域に行くことを避けるようになるだろう〕

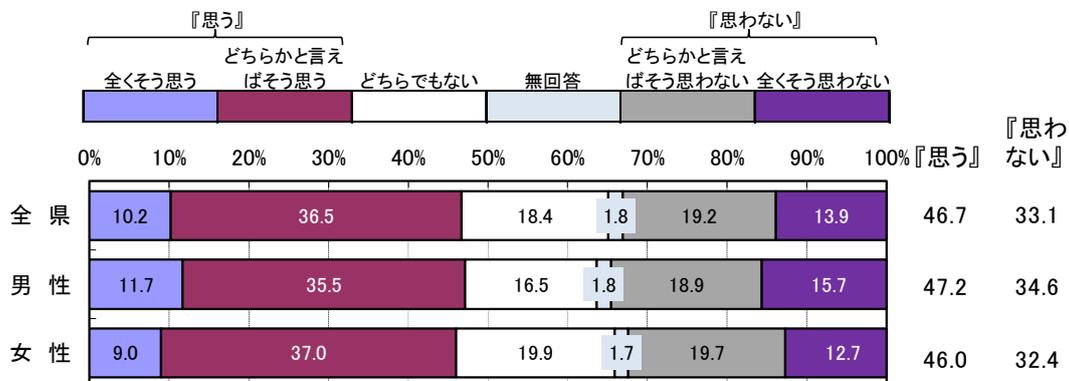
【地域別】

『思う』は、北播磨と淡路で最も高く、西播磨が続いている。



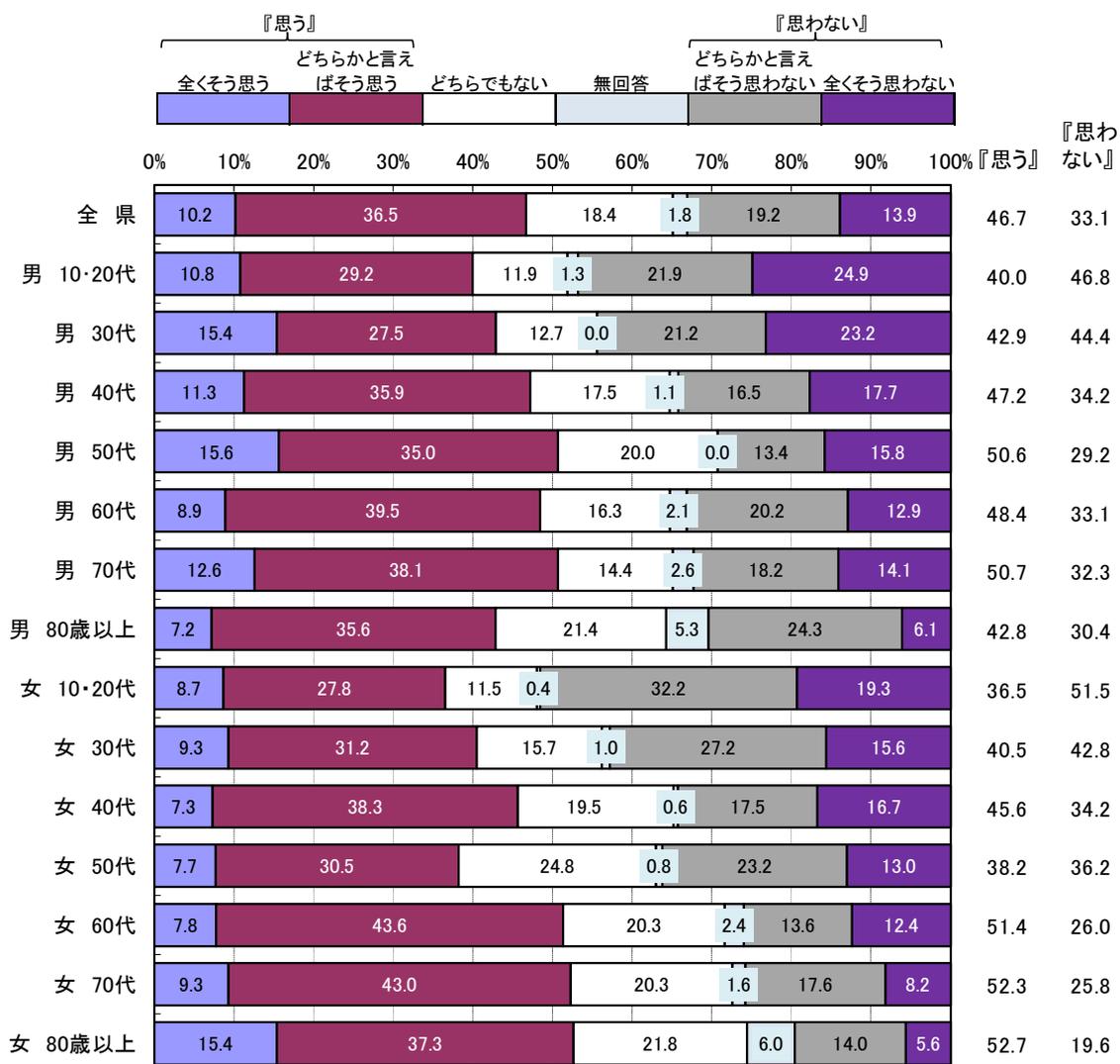
【性別】

『思う』は、男性の方が女性より1.2ポイント高い。



【性・年代別】

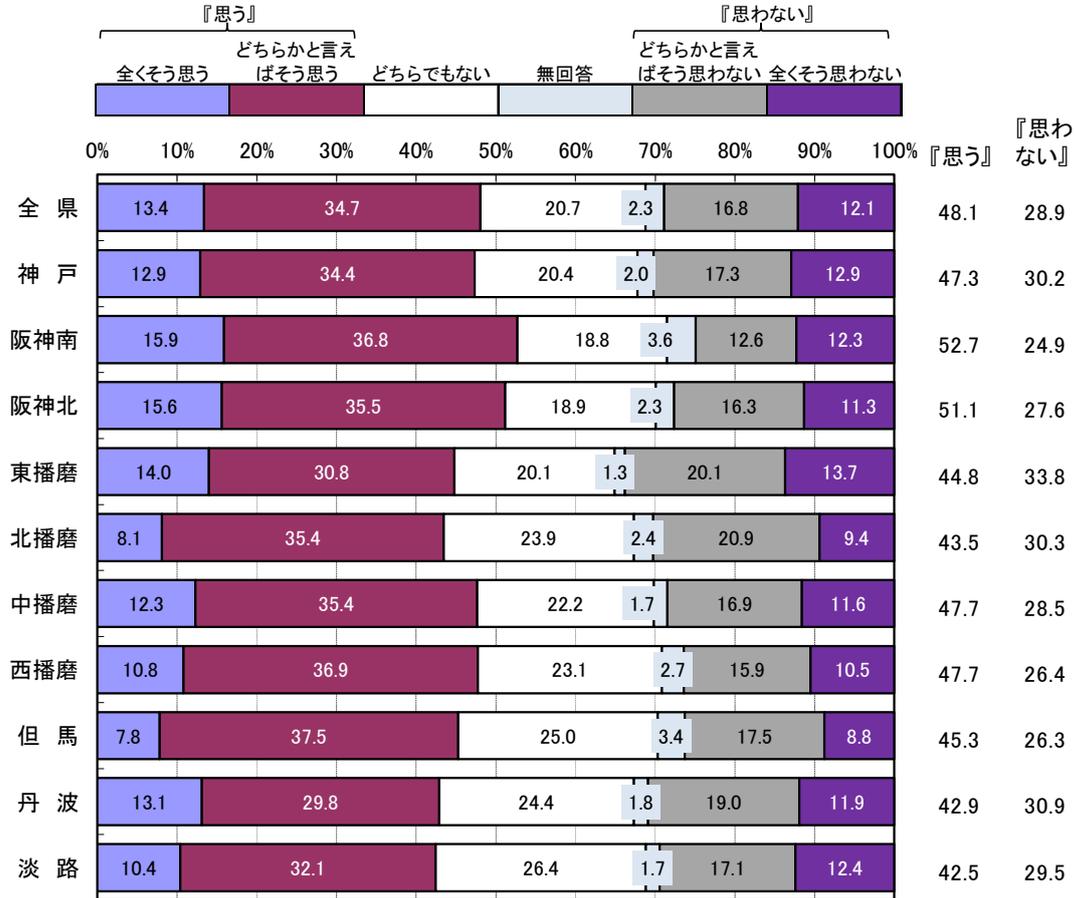
『思う』は、男性は70代、女性は80歳以上で最も高い。



〔4 オンライン技術を使うことによって、対面せずに人と関わる機会が増えるだろう〕

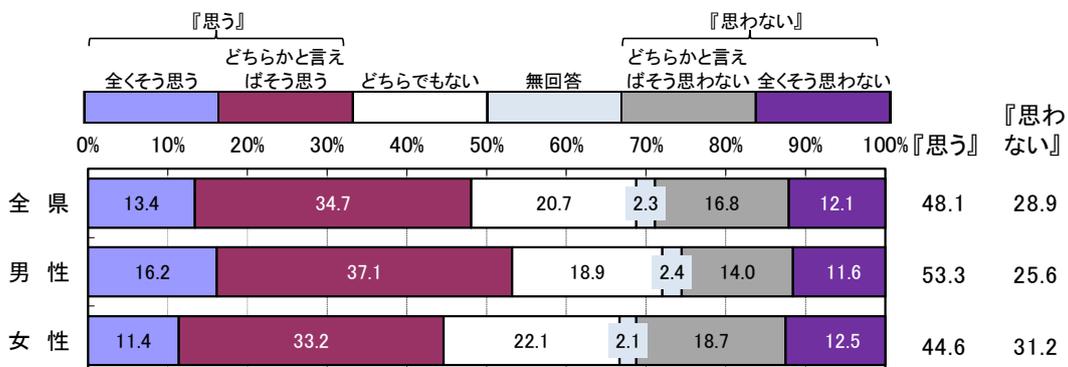
【地域別】

『思う』は、阪神南で最も高く、阪神北、中播磨、西播磨が続いている。



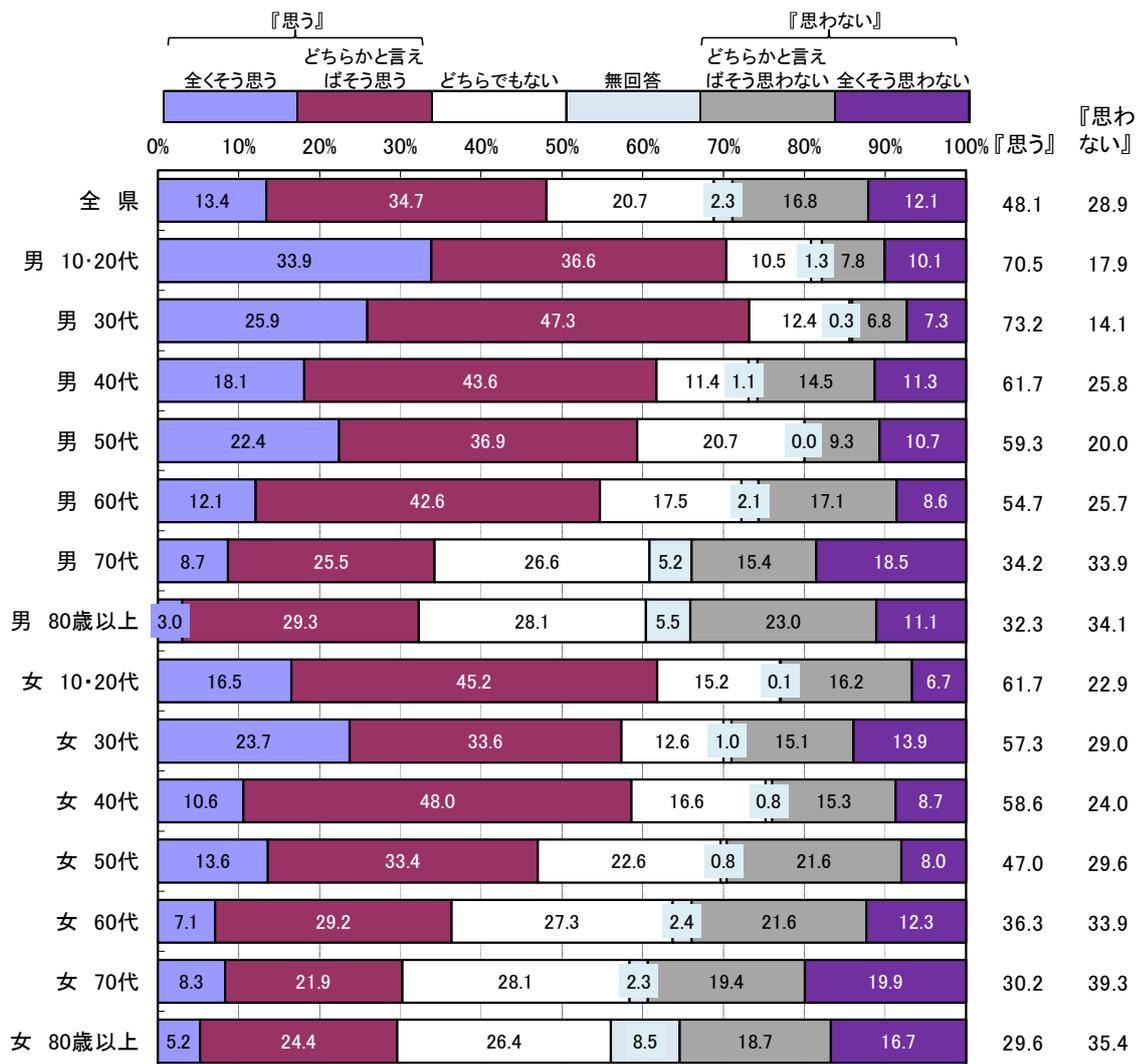
【性別】

『思う』は、男性の方が女性より8.7ポイント高い。



【性・年代別】

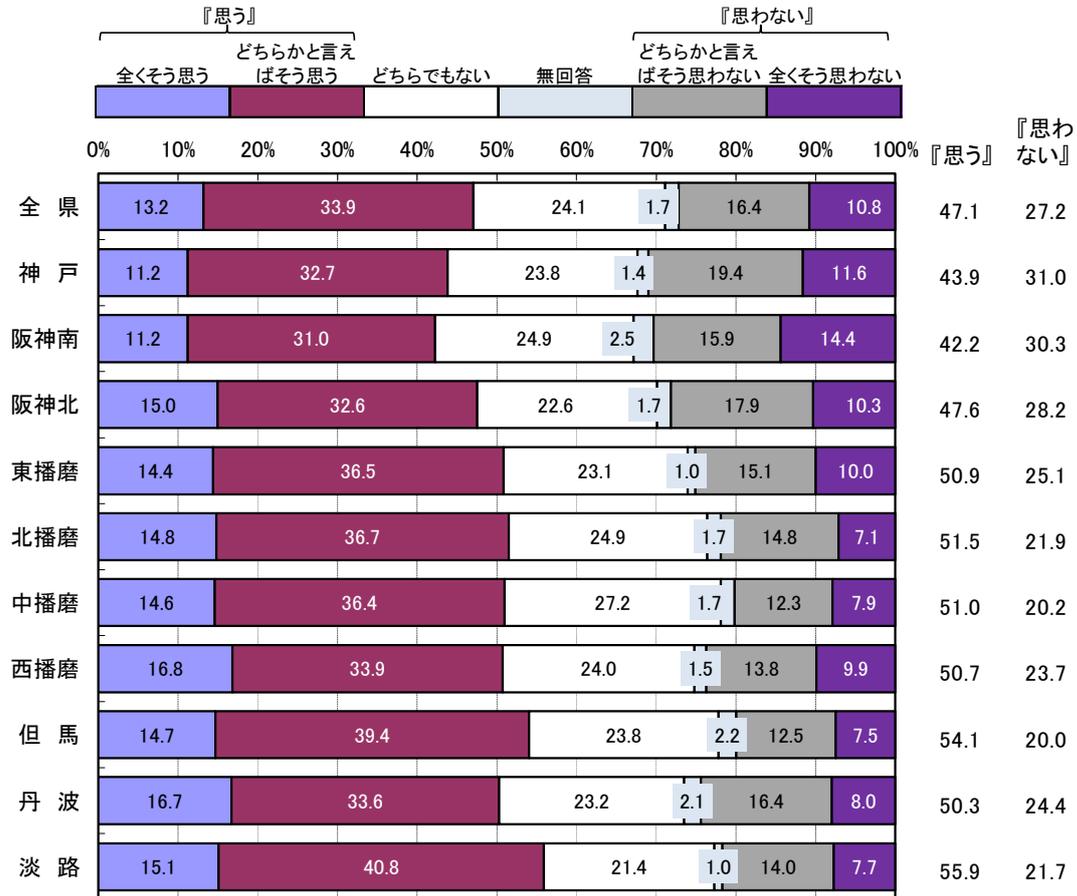
『思う』は、男性は30代、女性は10・20代で最も高い。



〔5 自分の家やその近くで過ごす時間が長くなるだろう〕

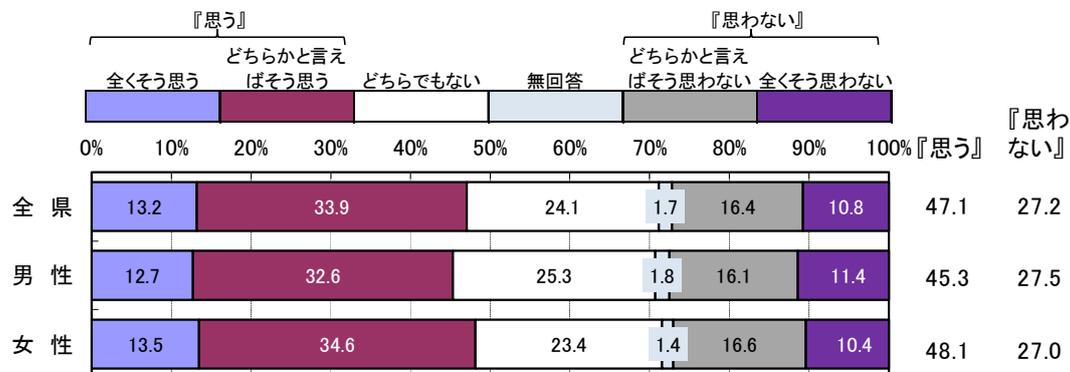
【地域別】

『思う』は淡路で最も高く、但馬、北播磨が続いている。



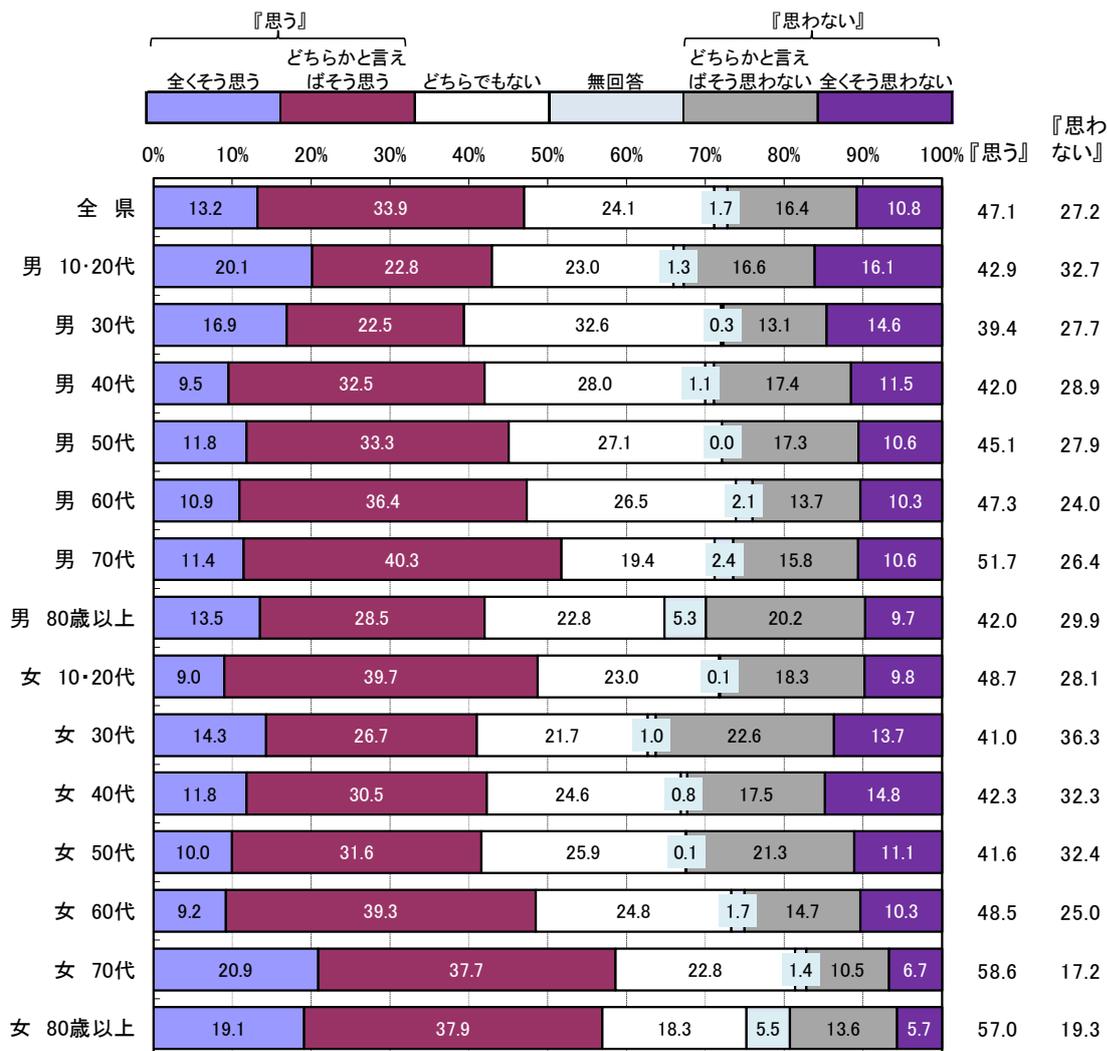
【性別】

『思う』は、女性の方が男性より2.8ポイント高い。



【性・年代別】

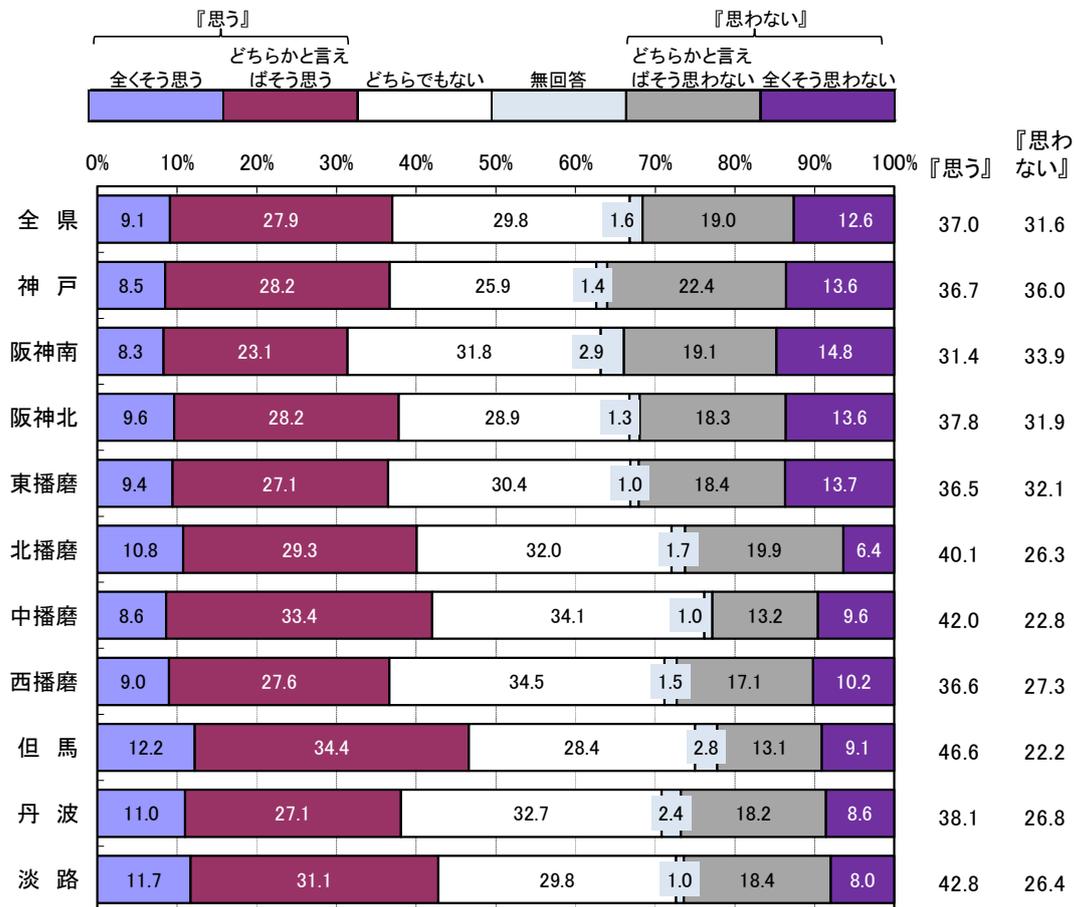
『思う』は、男女ともに70代が最も高い。



〔6 お金をあまり使わない暮らしをしようとしているだろう〕

【地域別】

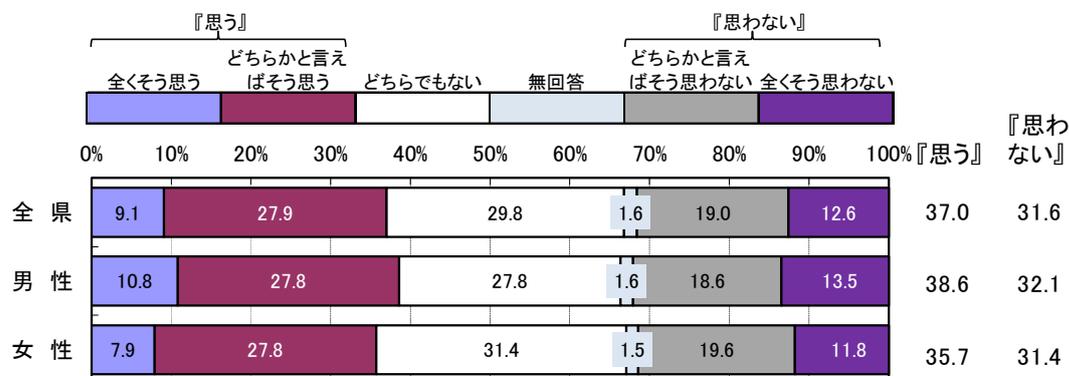
『思う』は但馬が最も高く、淡路、中播磨が続いている。



暮らし方の変化-お金をあまり使わない暮らしをする

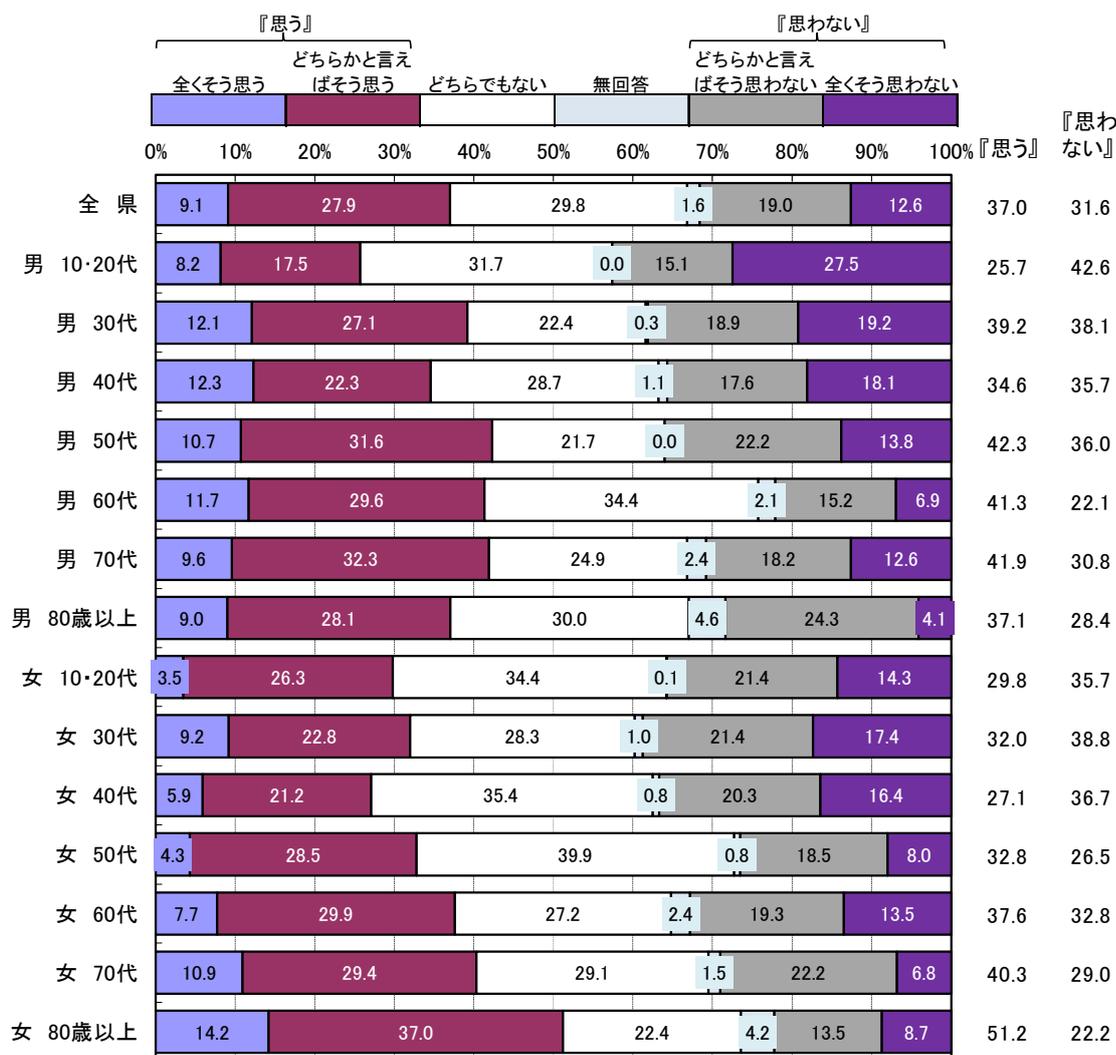
【性別】

『思う』は、男性の方が女性より2.9ポイント高い。



【性・年代別】

『思う』は、男性は50代、女性は80歳以上で最も高い。



問2 将来の社会のあり方

問2

近い将来の社会のあり方について、どのようになったらよいと考えていますか。それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 街なかが密な状態にならないように、郊外や農山漁村に暮らす人が増えてほしい
- 2 コロナ禍で中止されたイベントなどが、元通りの形で再開してほしい
- 3 安全で快適な新交通手段が発展し、人々の移動が活発な社会になってほしい
- 4 国境を越える人々の往来が、元通り活発になってほしい
- 5 リモートワーク(※)が促進され、職場にあまり行かなくても済む社会になってほしい
- 6 対面サービスの多くがオンライン化された、効率のよい社会になってほしい
- 7 インターネット上での個別の学びが促進されるように、学校の教育環境が整ってほしい
- 8 お金を使わずに楽しく暮らせる社会になってほしい

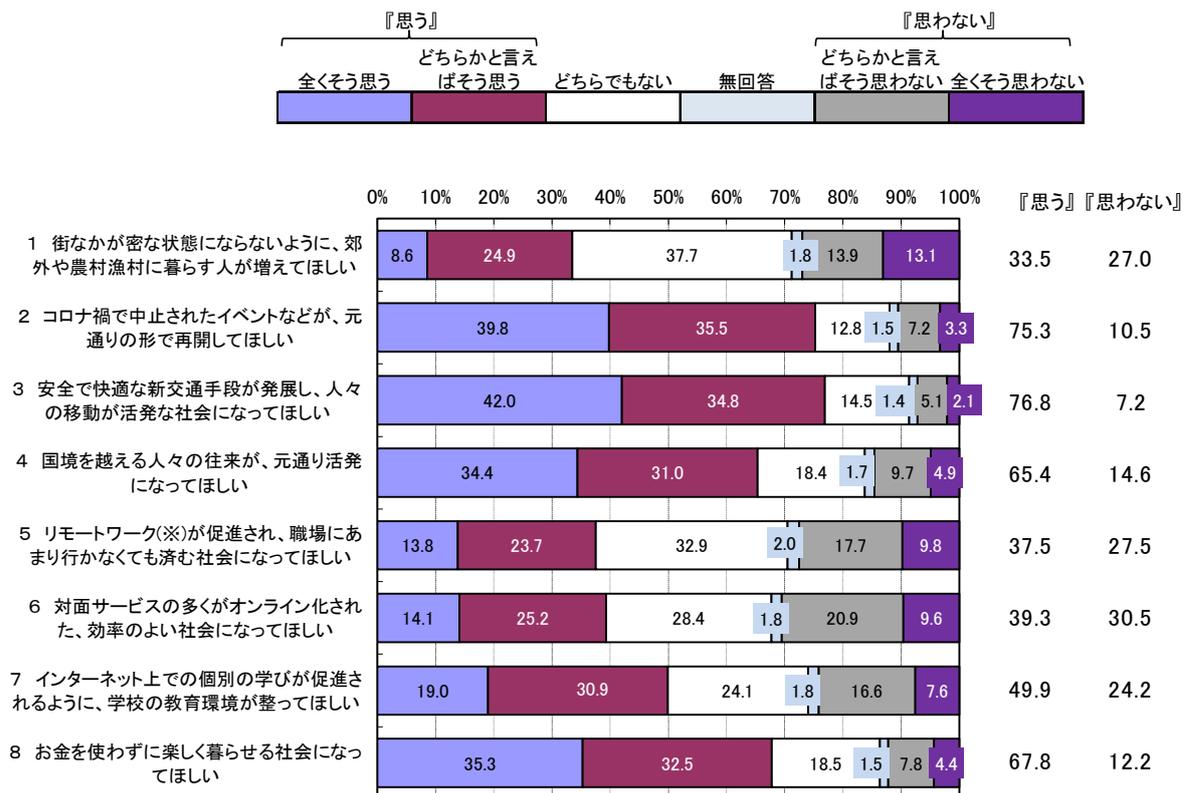
※ リモートワーク … 自宅など職場から離れた場所で仕事をする事

〔選択肢〕

- | | |
|------------|------------------|
| 1 全くそう思う | 2 どちらかと言えばそう思う |
| 3 どちらでもない | 4 どちらかと言えばそう思わない |
| 5 全くそう思わない | |

【全 県】

「全くそう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『思う』は、「安全で快適な新交通手段が発展し、人々の移動が活発な社会になってほしい」が 76.8%で最も多く、次いで、「コロナ禍で中止されたイベントなどが、元通りの形で再開してほしい」が 75.3%となった。

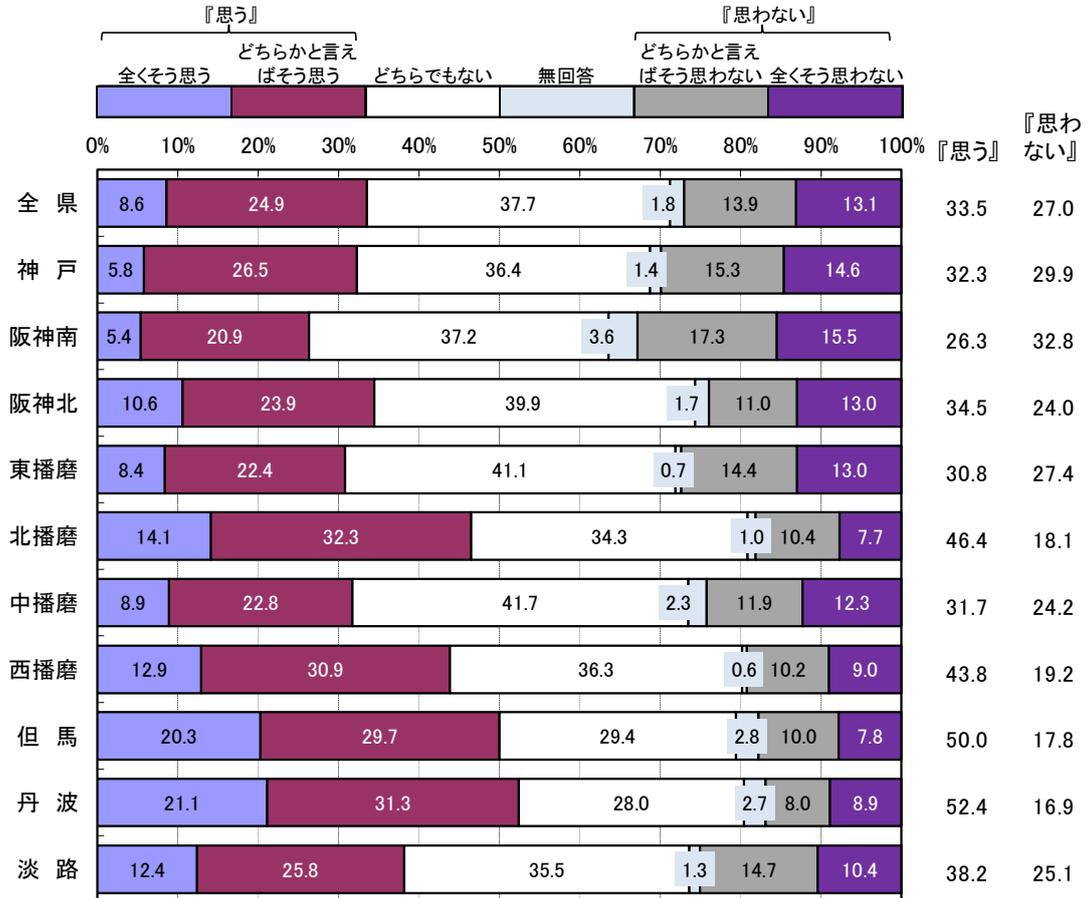


※ リモートワーク … 自宅など職場から離れた場所で仕事をする事

[1 街なかが密な状態にならないように、郊外や農山漁村に暮らす人が増えてほしい]

【地域別】

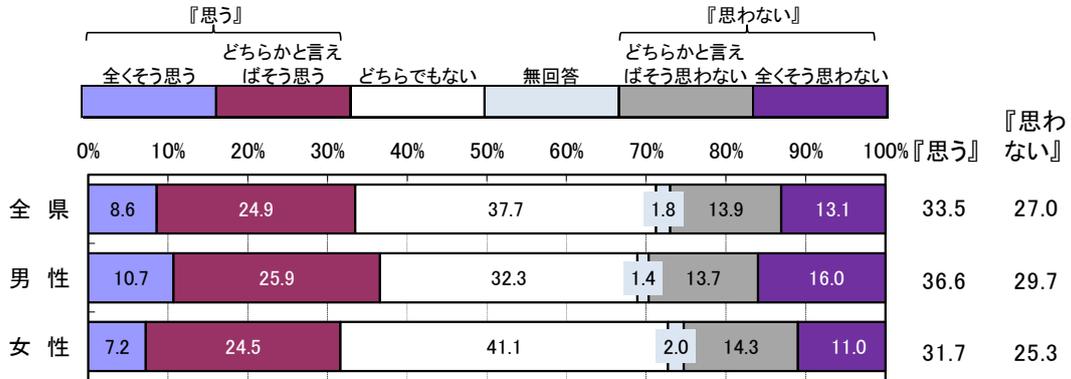
『思う』は丹波で最も高く、但馬、北播磨が続いている。



将来の社会のあり方-密な状態を避ける

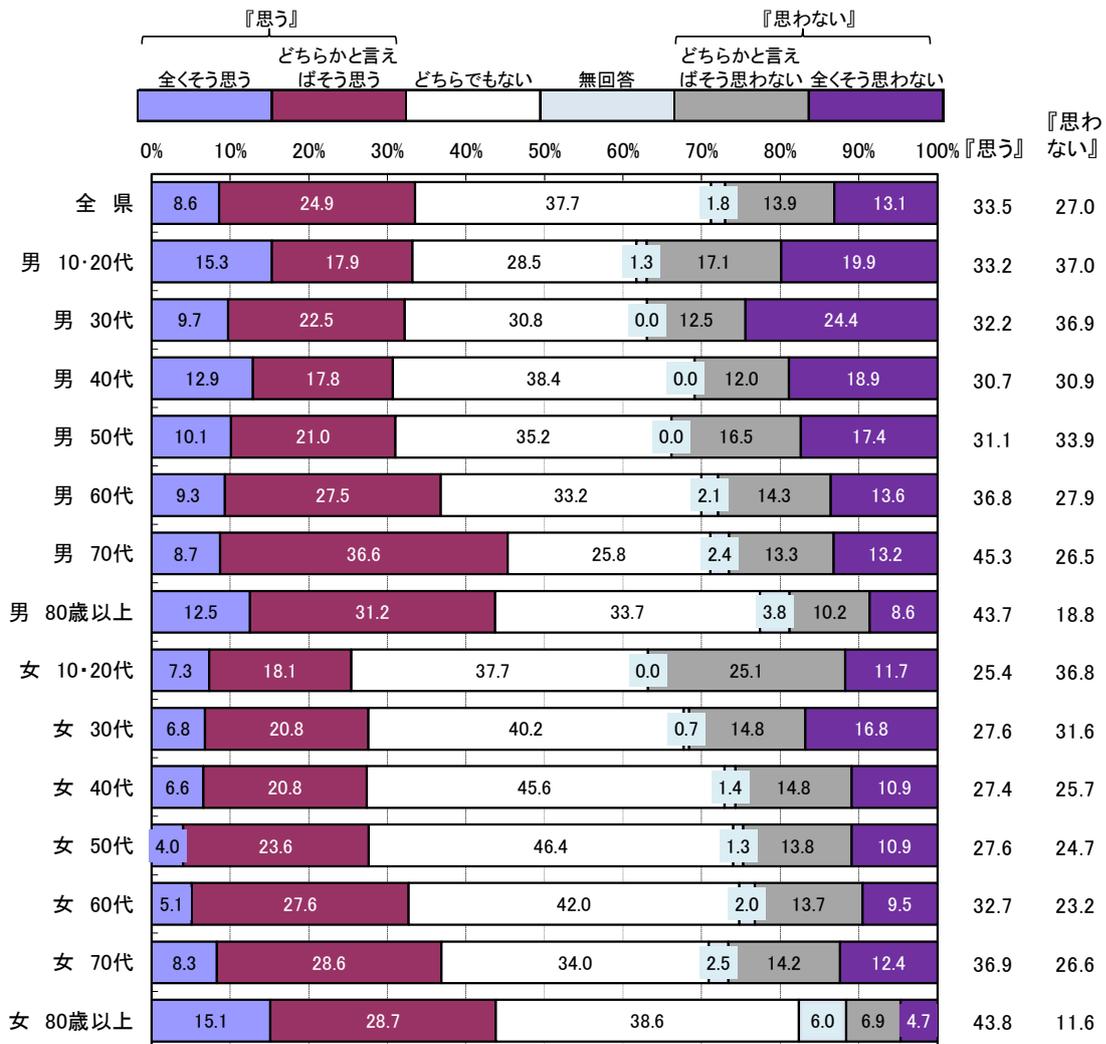
【性別】

『思う』は、男性の方が女性より4.9ポイント高い。



【性・年代別】

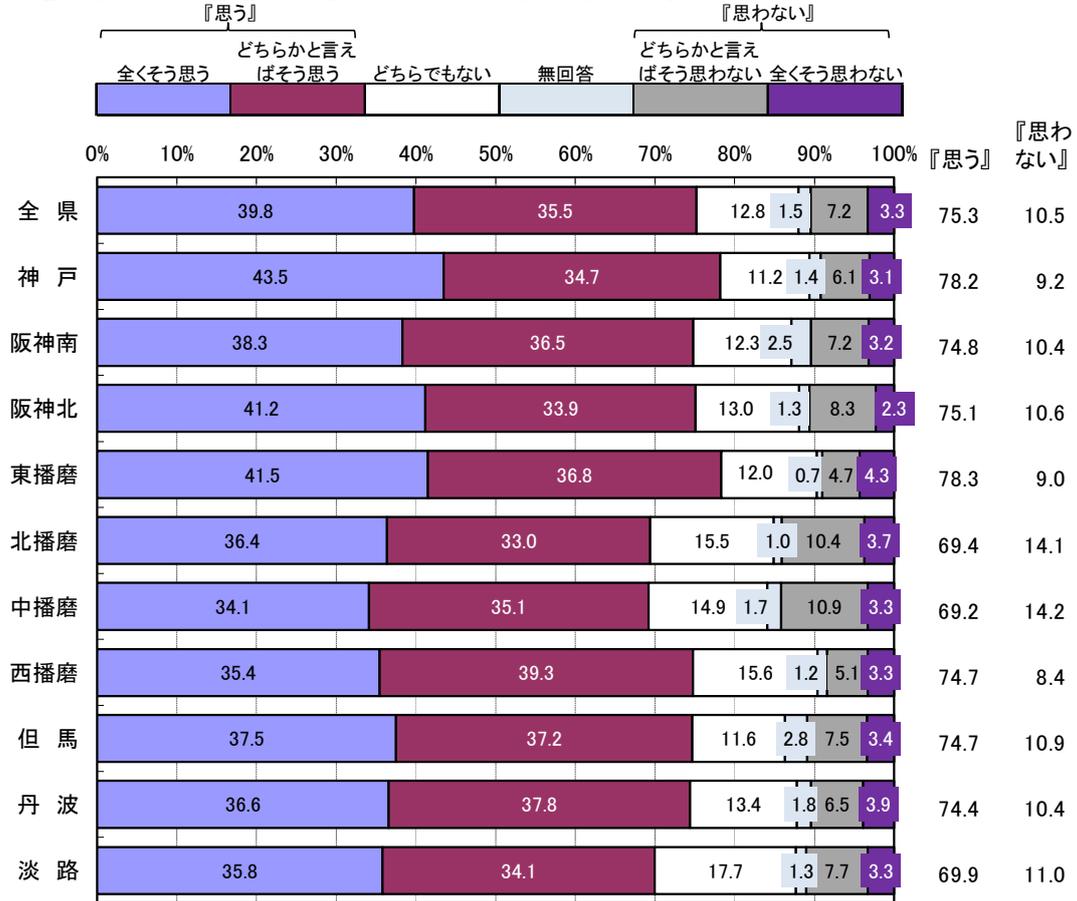
『思う』は、男性は70代、女性は80歳以上で最も高い。



〔2 コロナ禍で中止されたイベントなどが、元通りの形で再開してほしい〕

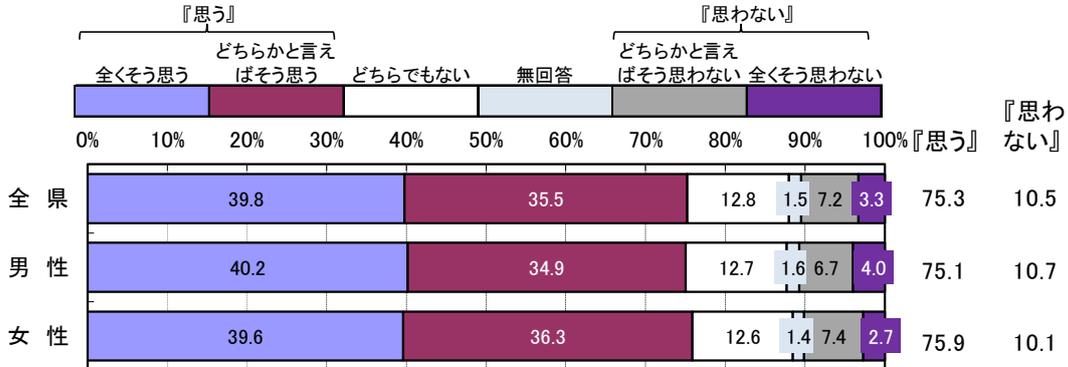
【地域別】

『思う』は、東播磨が最も高く、神戸、阪神北が最も高い。



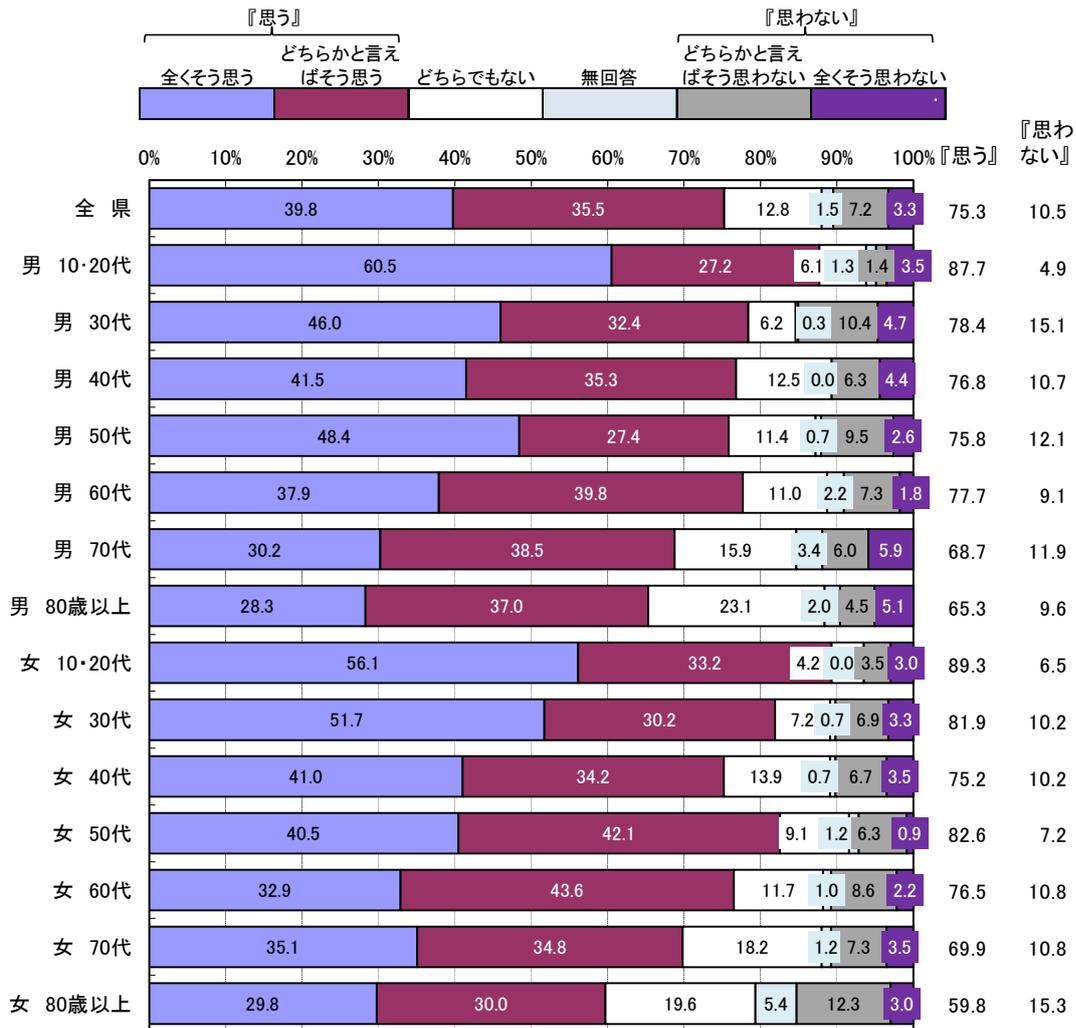
【性別】

男女間で大きな差は見られない。



【性・年代別】

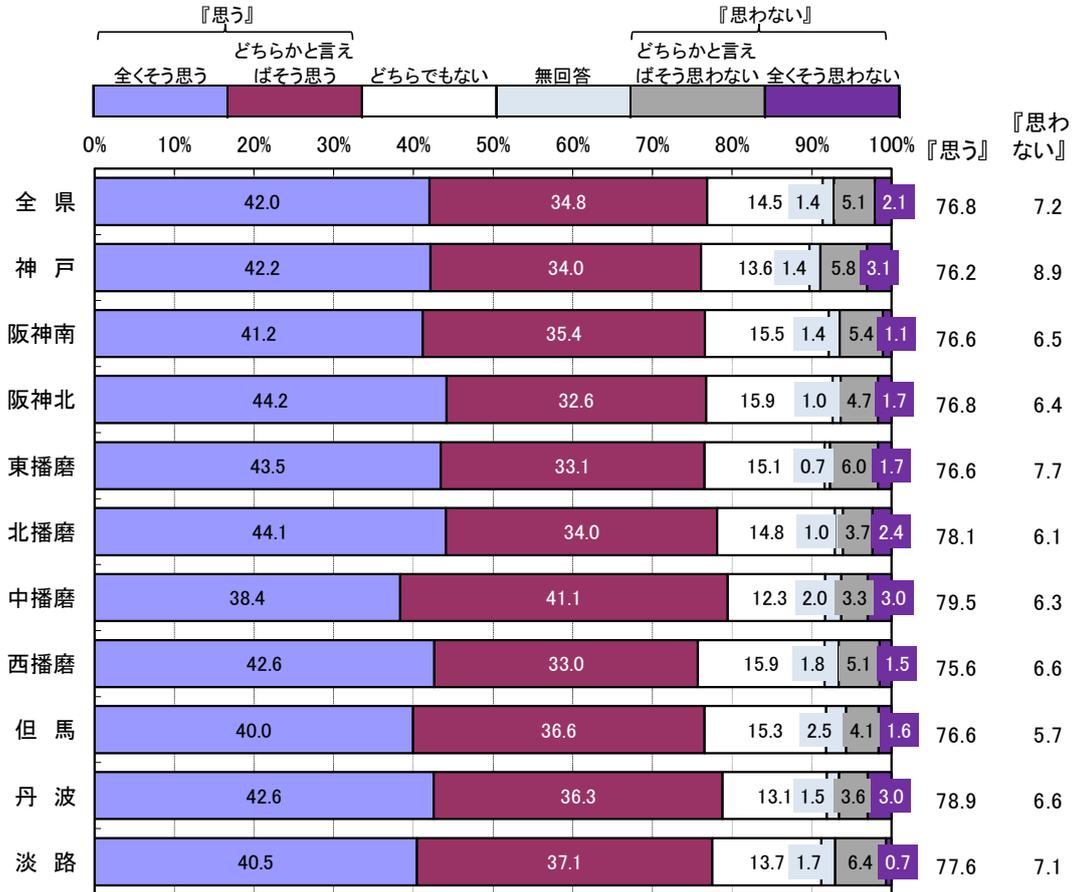
『思う』は、男女ともに10・20代が最も高い。



〔3 安全で快適な新交通手段が発展し、人々の移動が活発な社会になってほしい〕

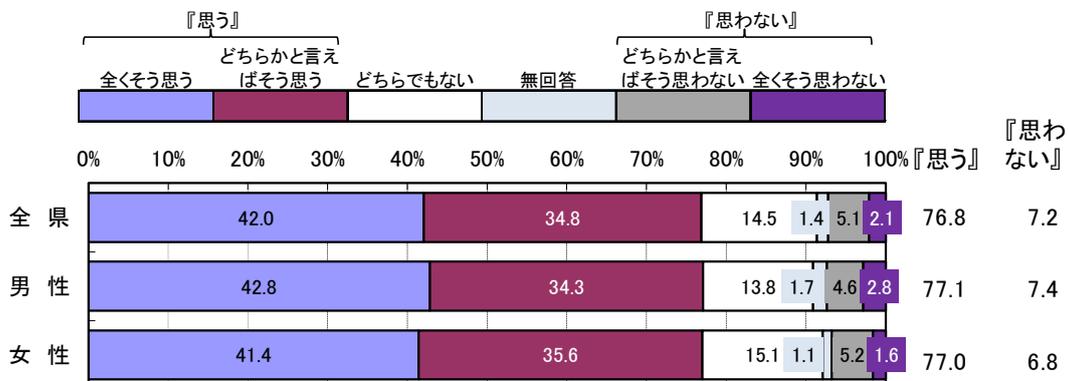
【地域別】

『思う』は中播磨が最も高く、丹波、北播磨が続いている。



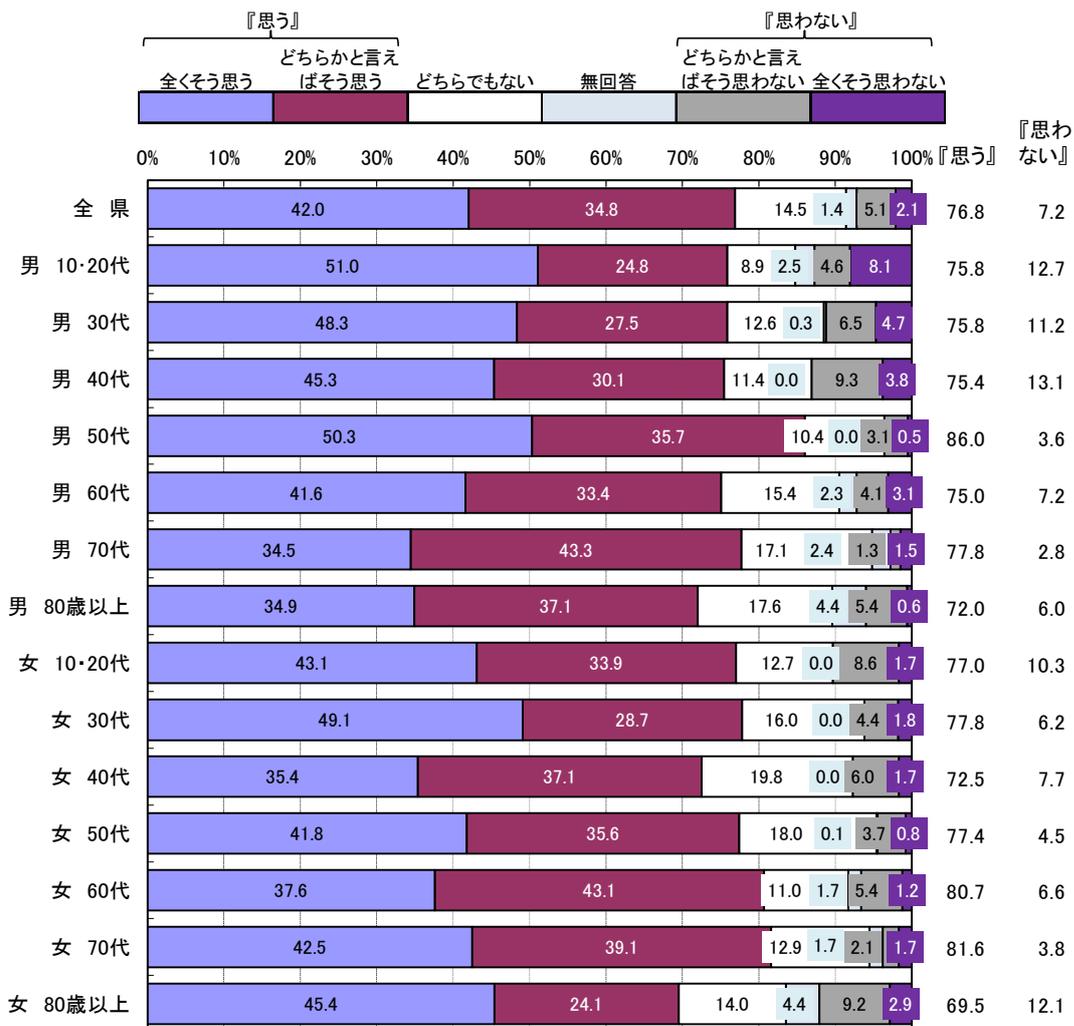
【性別】

男女間で大きな差は見られない。



【性・年代別】

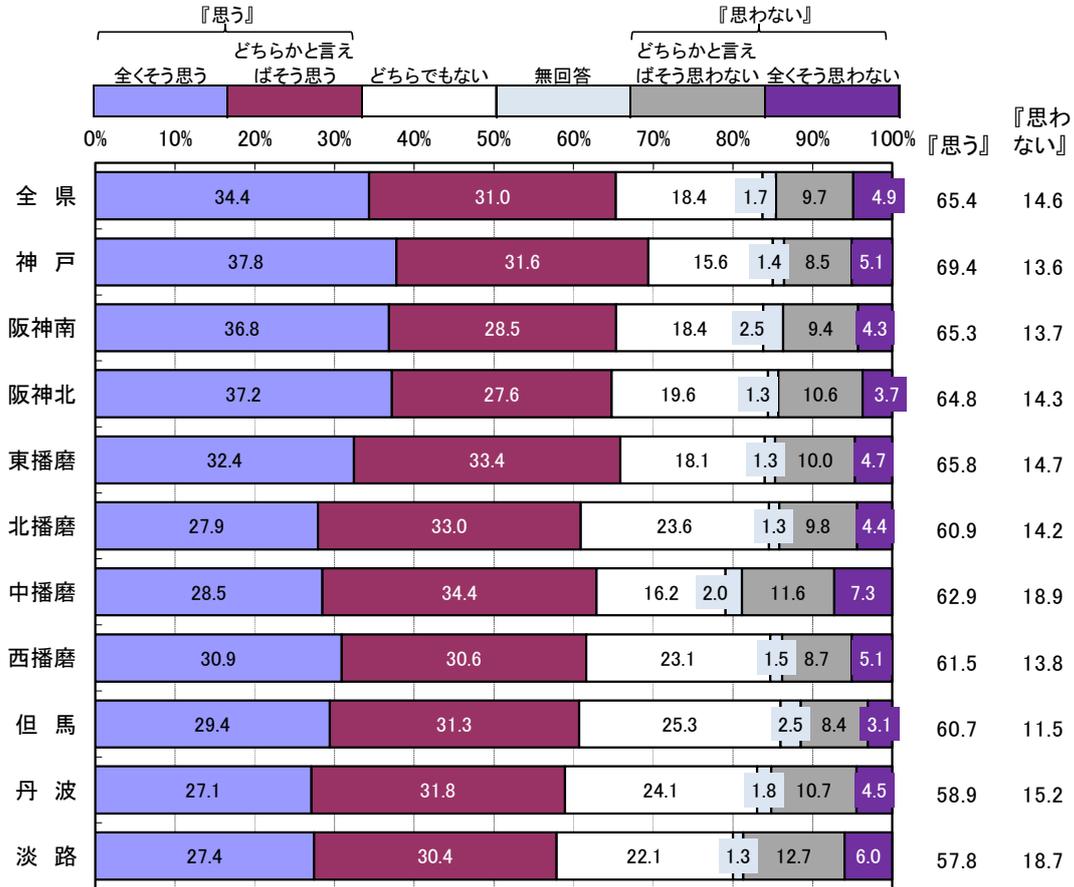
『思う』は、男性は50代、女性は70代で最も高い。



〔4 国境を越える人々の往来が、元通り活発になってほしい〕

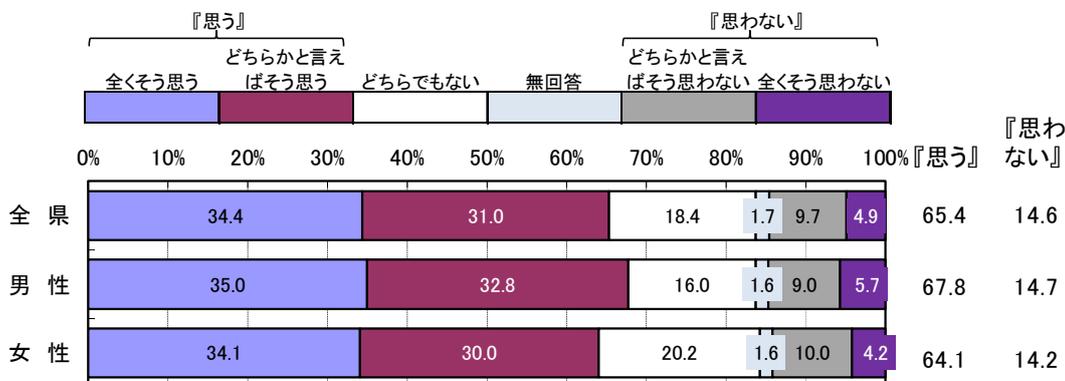
【地域別】

『思う』は神戸で最も高く、東播磨、阪神南が続いている。



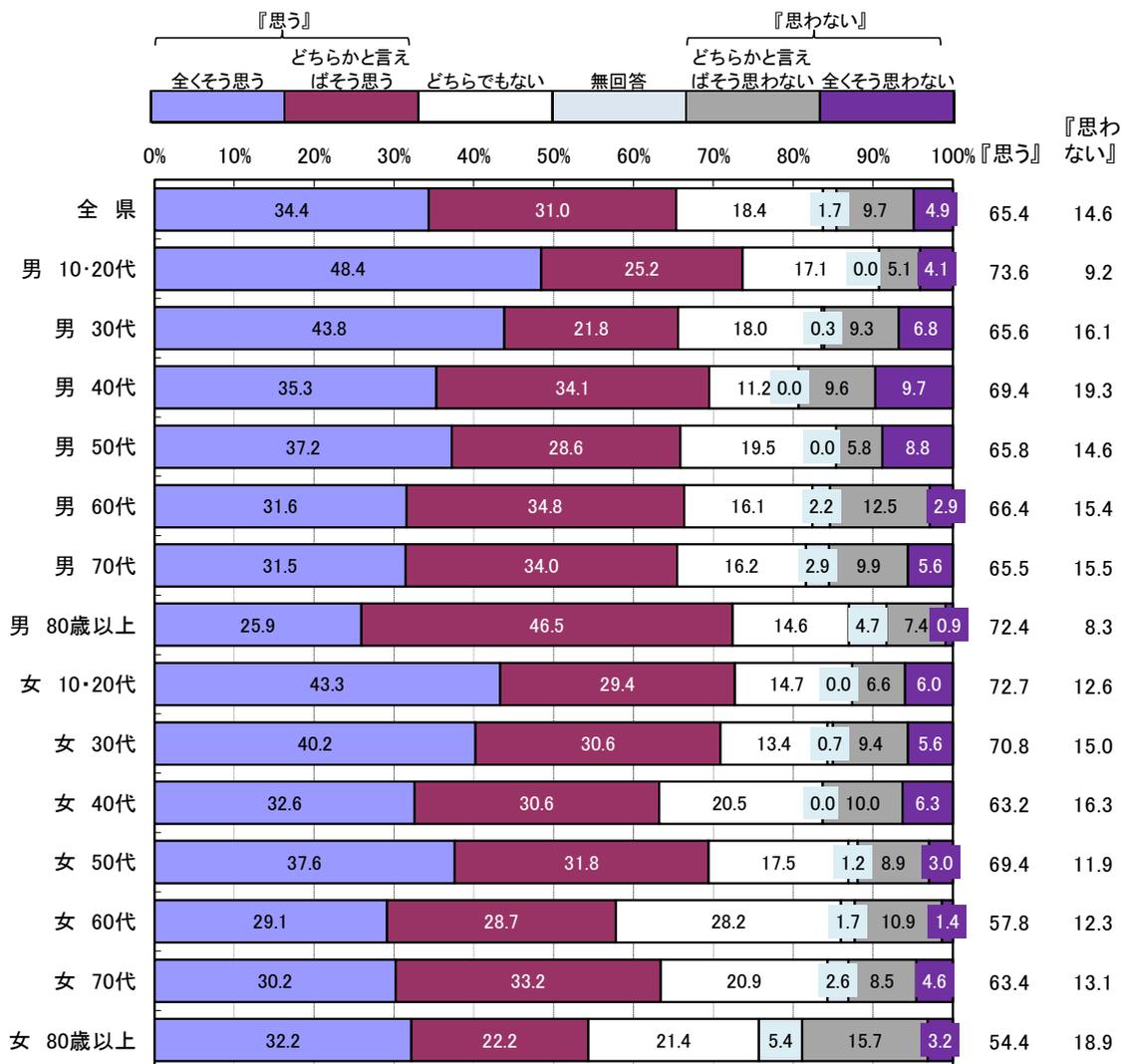
【性別】

『思う』は、男性の方が女性より3.7ポイント高い。



【性・年代別】

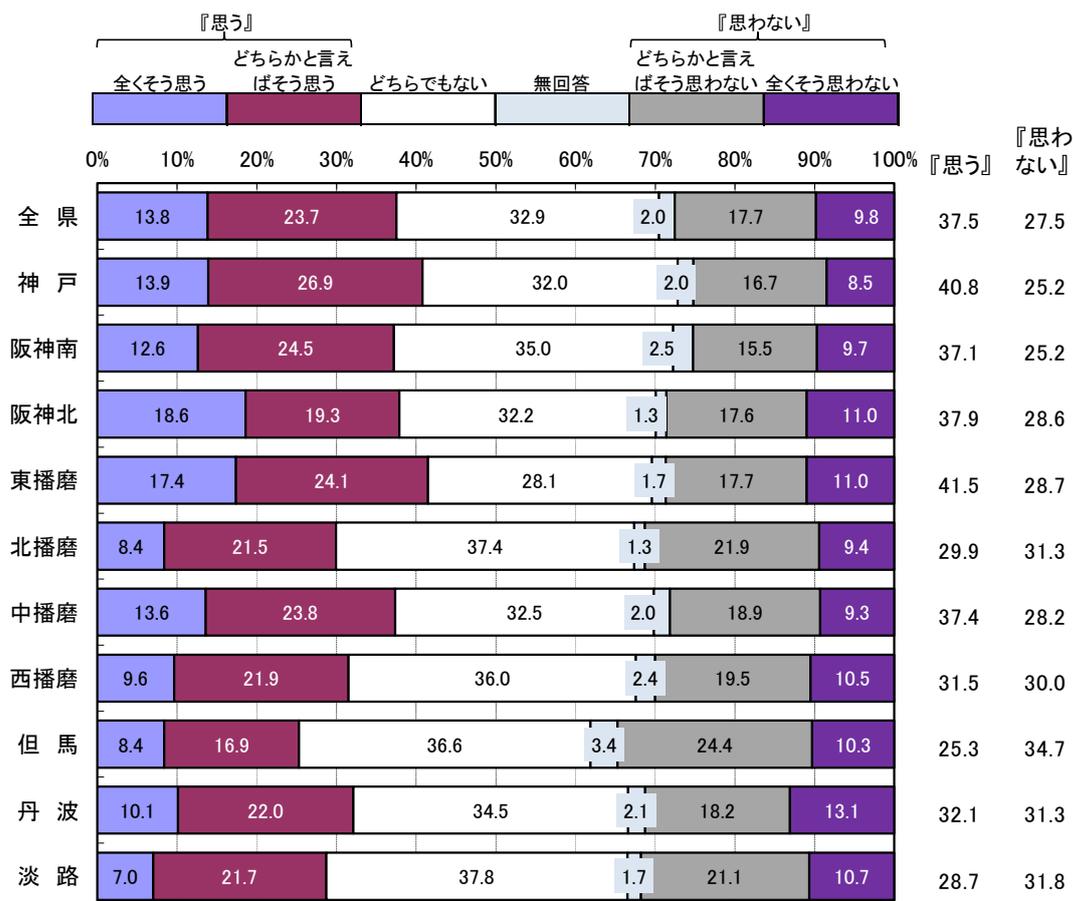
『思う』は、男女とも10・20代で最も高い。



〔5 リモートワーク(※)が促進され、職場にあまり行かなくても済む社会になってほしい〕 ※リモートワーク…自宅など職場から離れた場所で仕事をすること

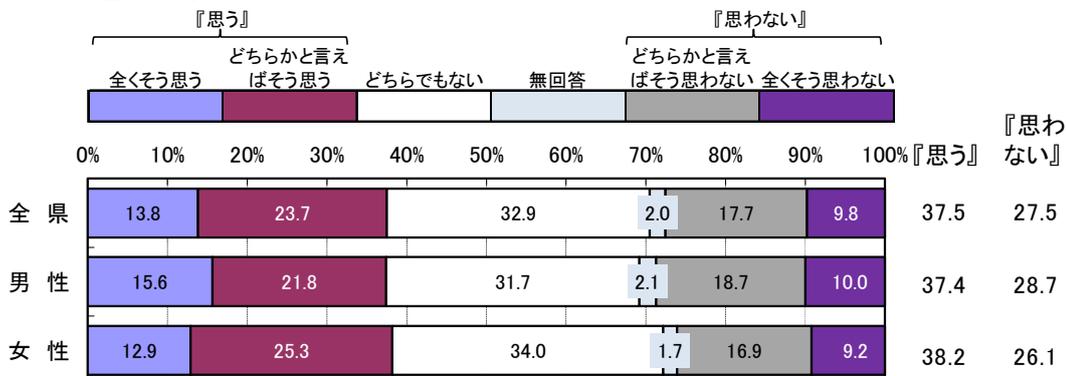
【地域別】

『思う』は東播磨で最も高く、神戸、阪神北が続いている。



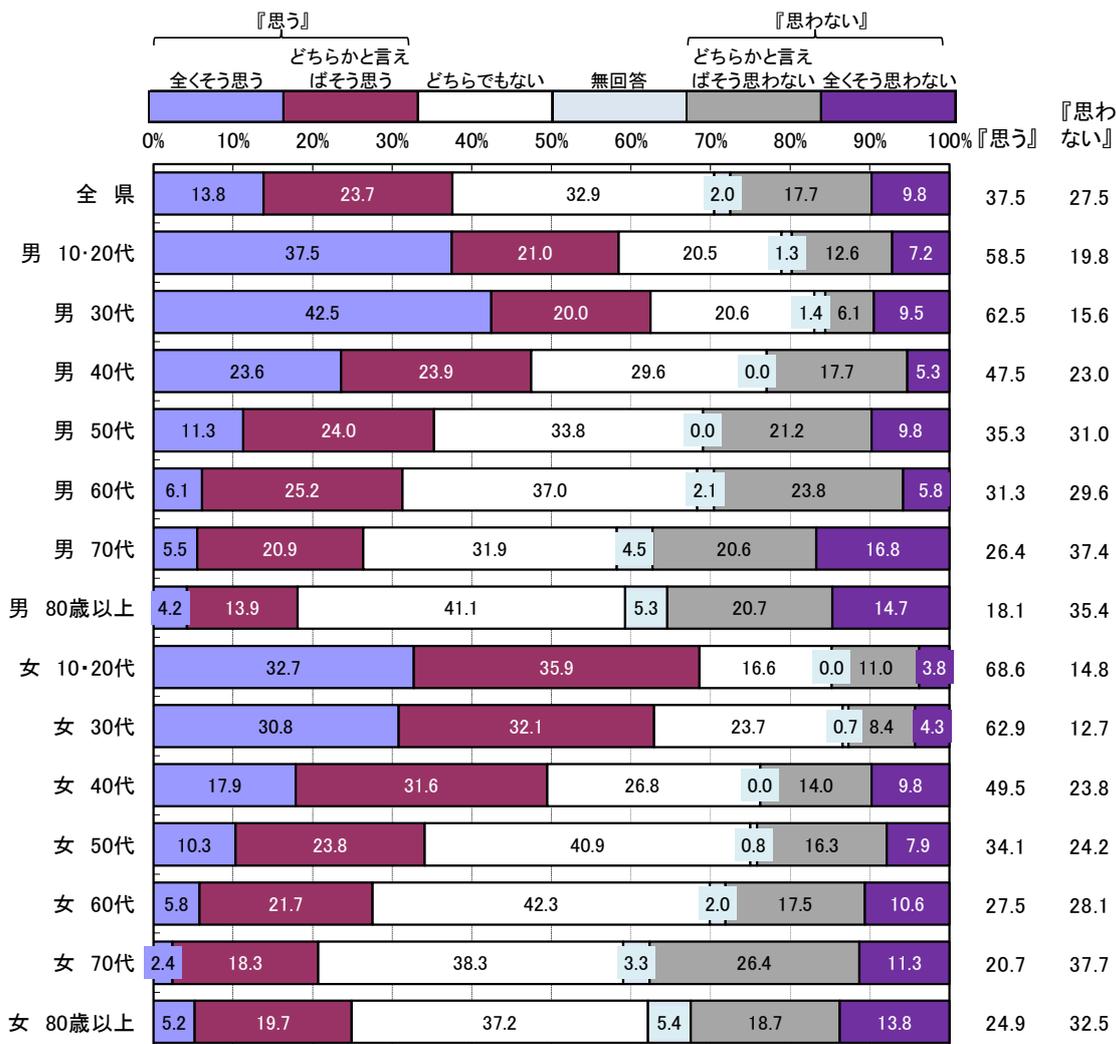
【性別】

『思わない』は、男性の方が女性よりも2.6ポイント高い。



【性・年代別】

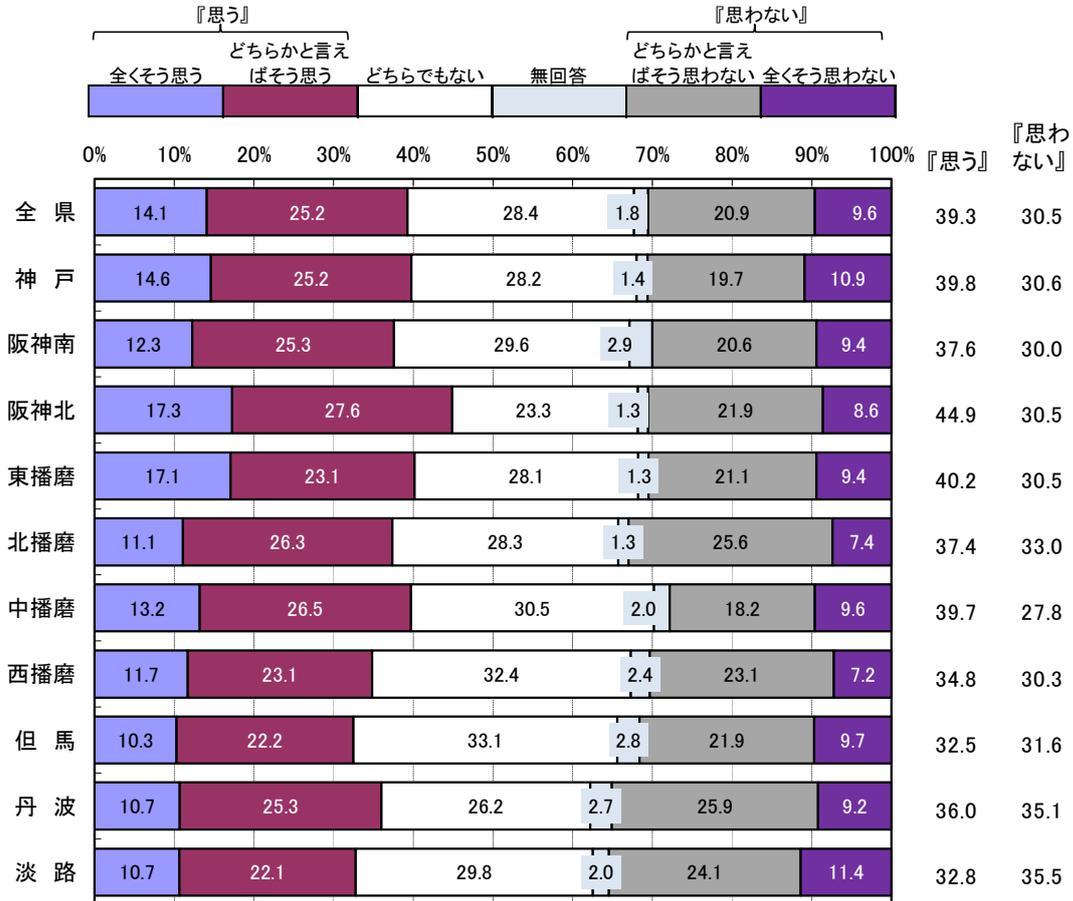
『思う』は、男性は30代、女性は10・20代で最も高い。



〔6 対面サービスの多くがオンライン化された、効率のよい社会になってほしい〕

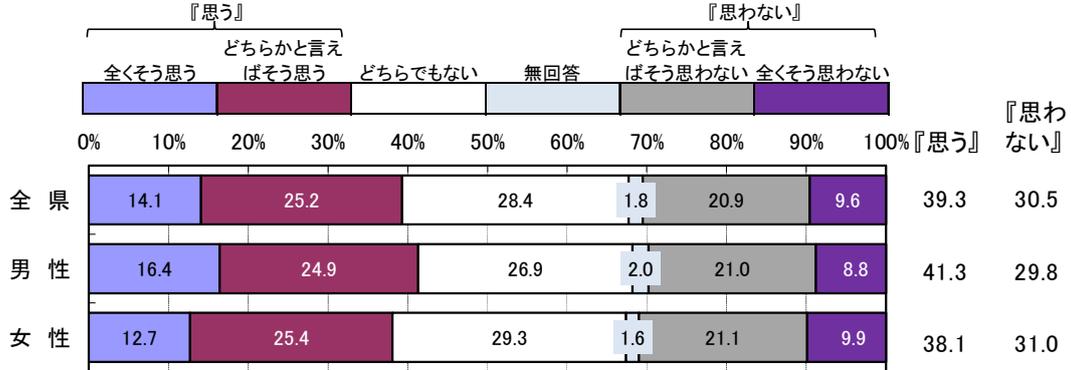
【地域別】

『思う』は阪神北が最も高く、東播磨、神戸が続いている。



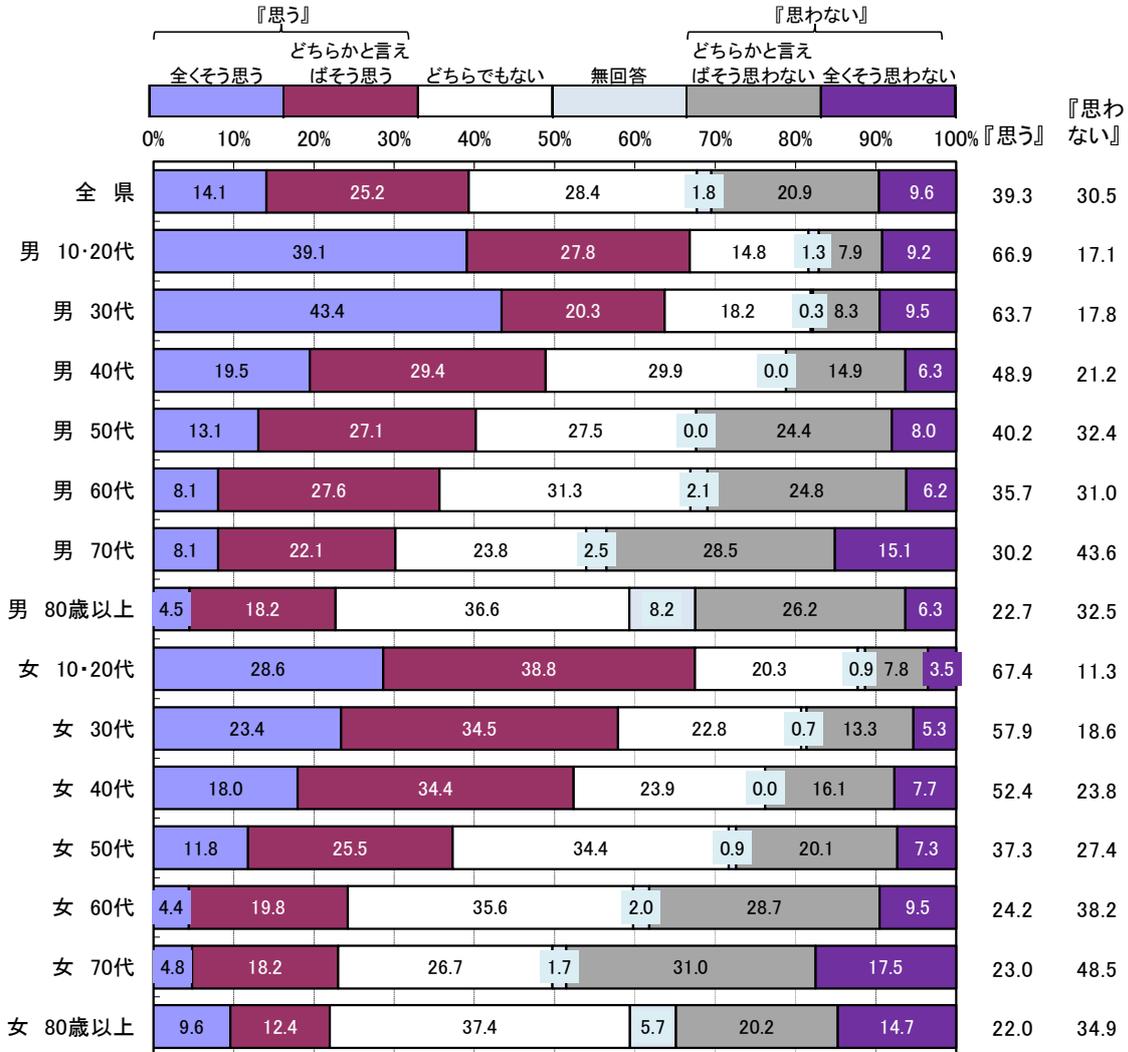
【性別】

『思う』は、男性の方が女性より3.2ポイント高い。



【性・年代別】

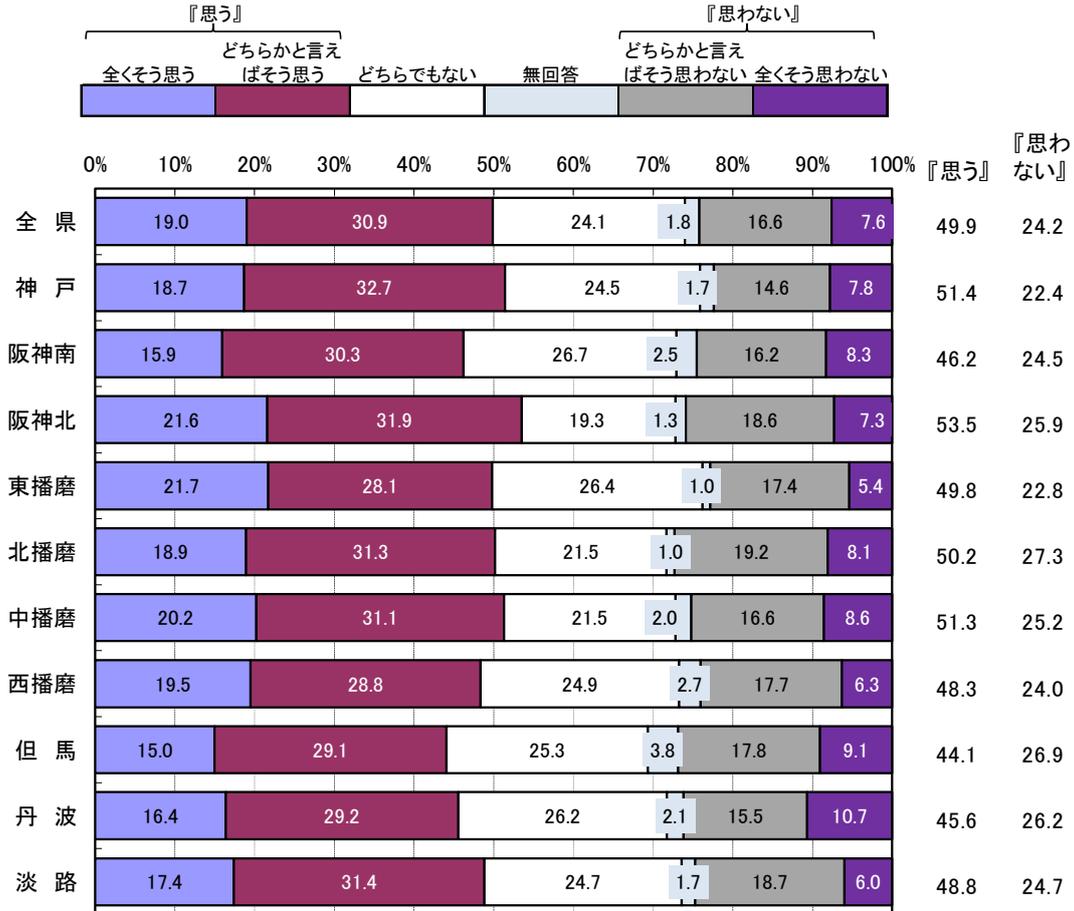
『思う』は、男女ともに10・20代が最も高い。



[7 インターネット上での個別の学びが促進されるように、学校の教育環境が整ってほしい]

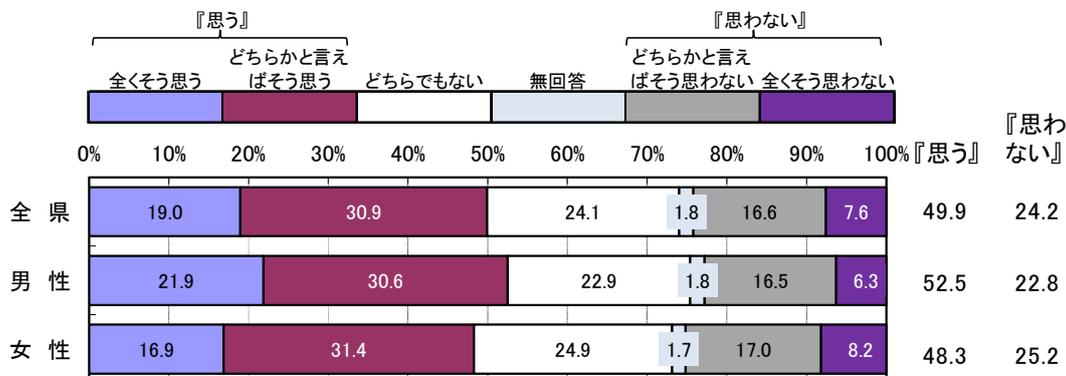
【地域別】

『思う』は阪神北で最も高く、神戸、中播磨が続いている。



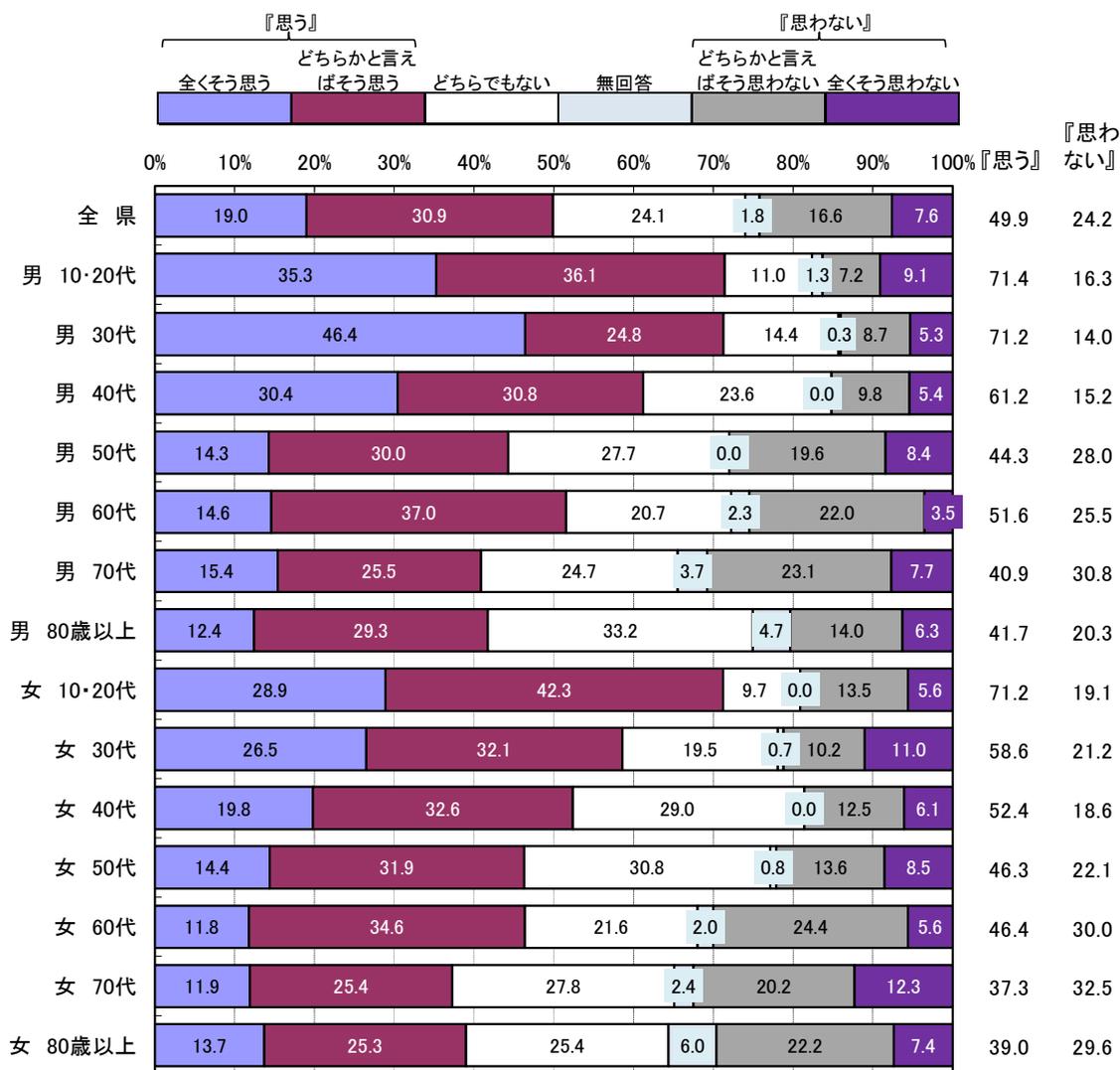
【性別】

『思う』は、男性の方が女性より4.2ポイント高い。



【性・年代別】

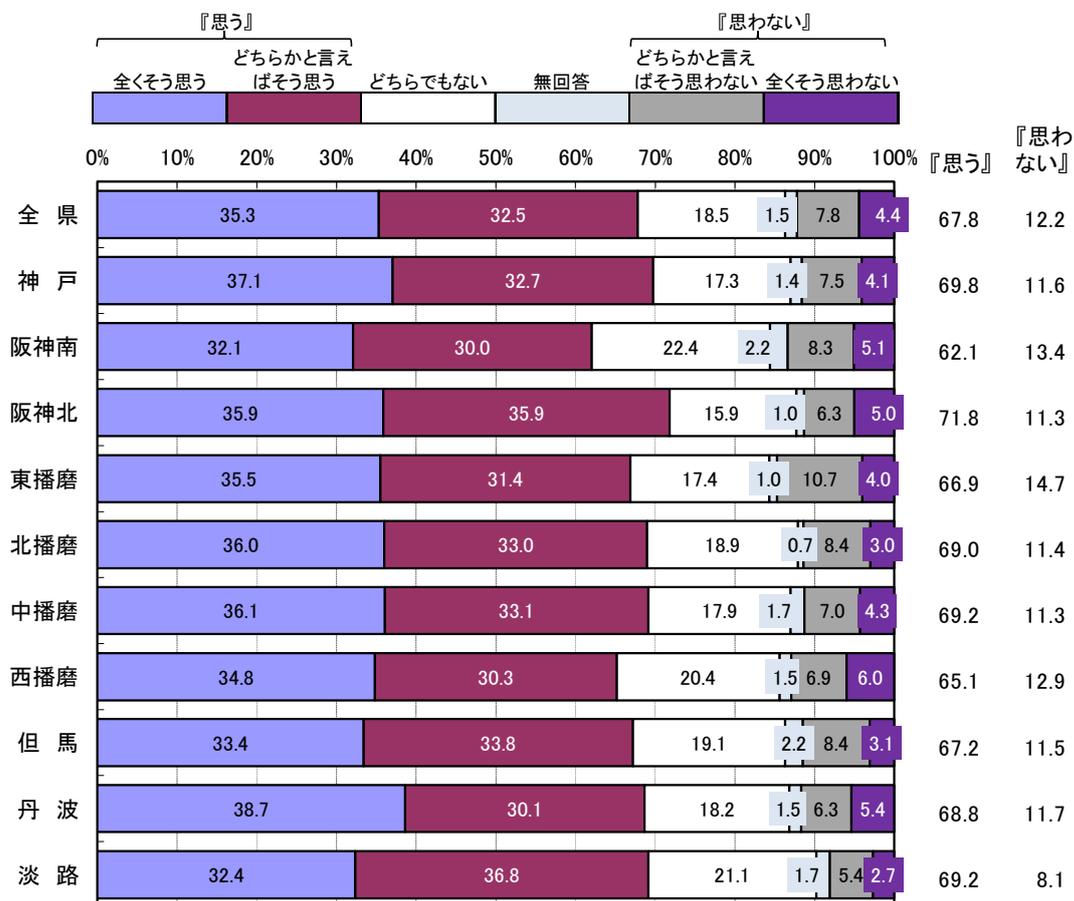
『思う』は、男女ともに10・20代が最も高い。



〔8 お金を使わずに楽しく暮らせる社会になってほしい〕

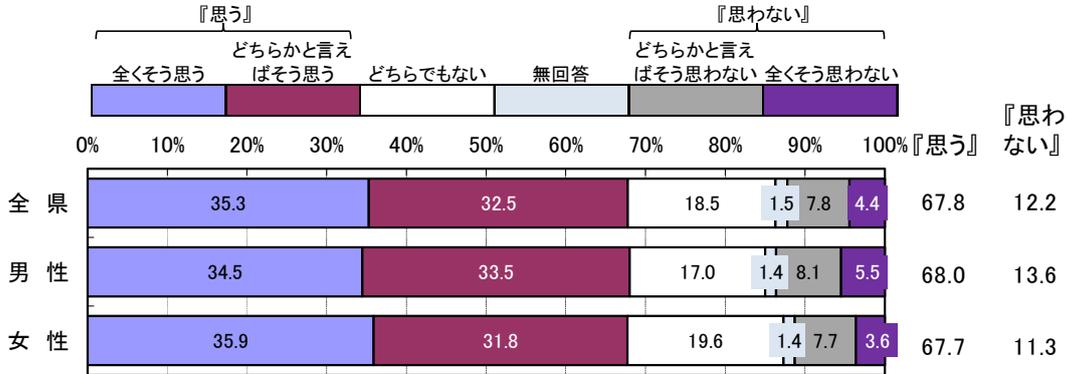
【地域別】

『思う』は神戸で最も高く、中播磨、淡路が続いている。



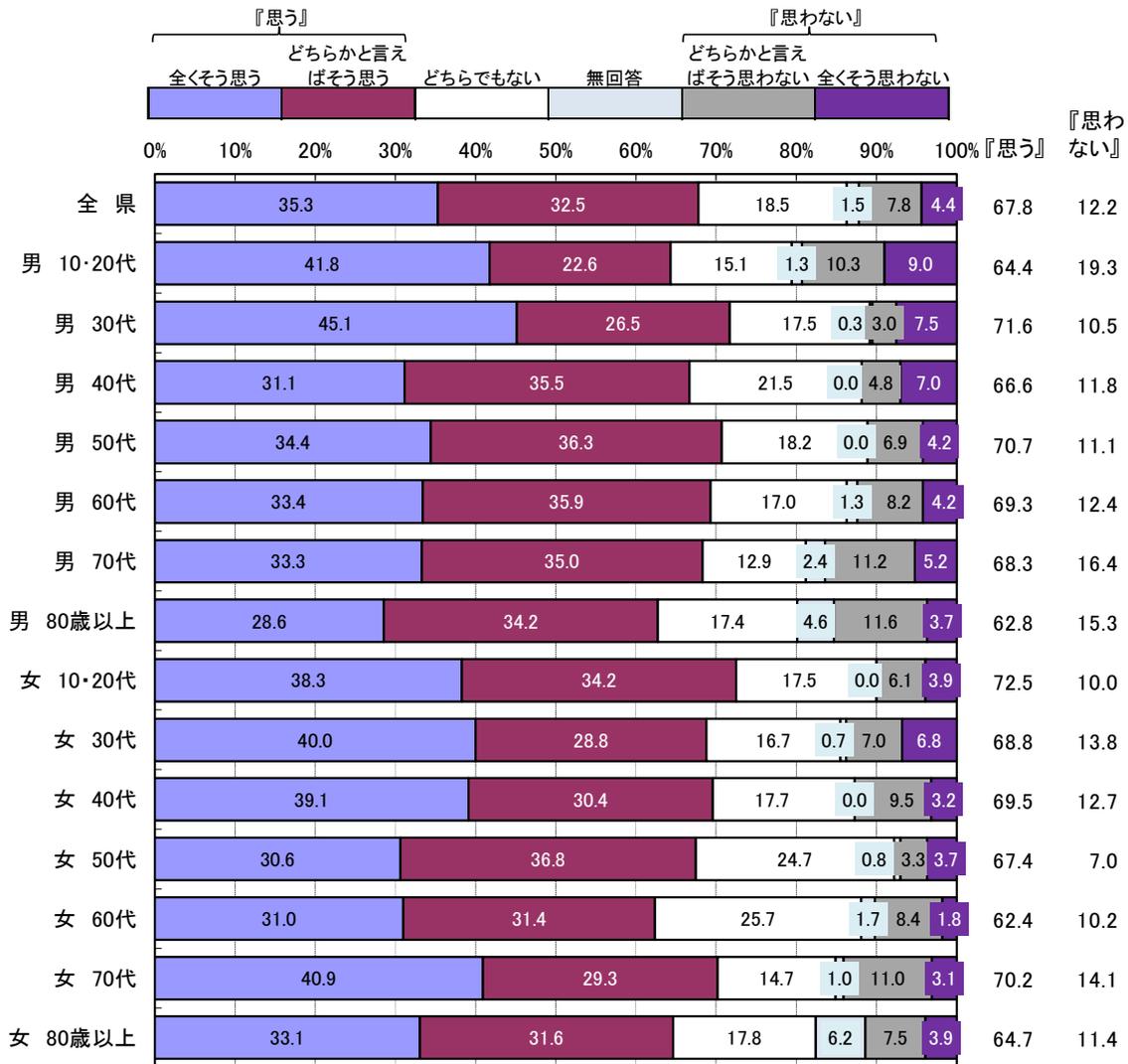
【性別】

『思わない』は、男性の方が女性より2.3ポイント高い。



【性・年代別】

『思う』は、男性は30代、女性は10・20代で最も高い。



問3 生活で気になること

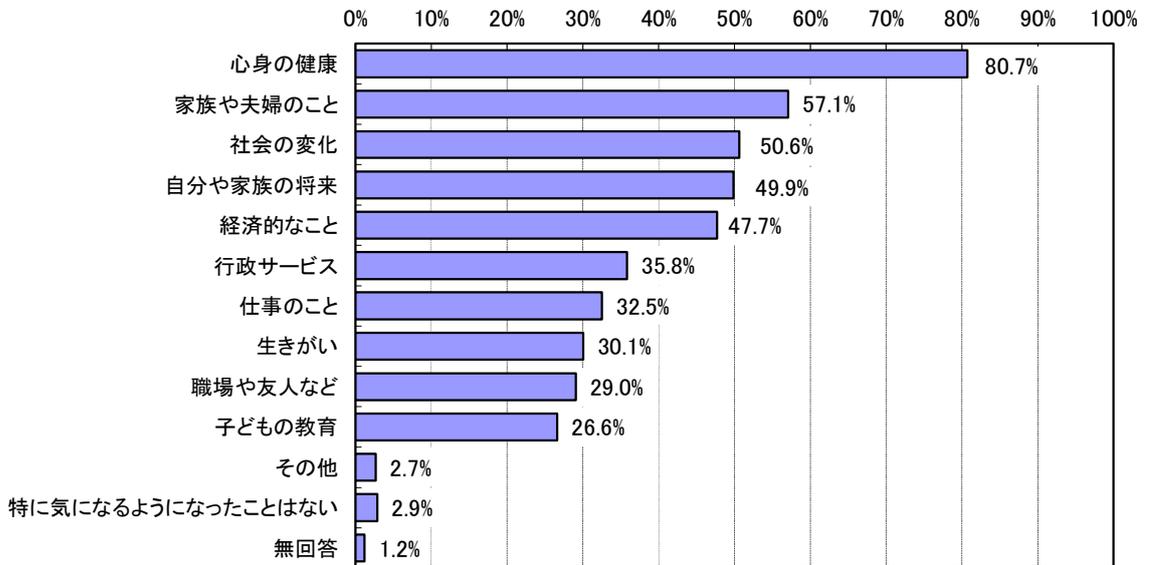
問3

コロナ禍を経験して、あなたの生活で特に気になるようになったことがあれば、すべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 心身の健康
- 2 家族や夫婦のこと
- 3 職場や友人など
- 4 子どもの教育
- 5 生きがい
- 6 自分や家族の将来
- 7 仕事のこと
- 8 経済的なこと
- 9 社会の変化
- 10 行政サービス
- 11 その他
- 12 特に気になるようになったことはない

【全 県】

「心身の健康(80.7%)」が最も多い。「家族や夫婦のこと(57.1%)」、「社会の変化(50.6%)」、「自分や家族の将来(49.9%)」、「経済的なこと(47.7%)」が4割を超えている。



生活で気になること

【地域別】

すべての地域で「心身の健康」が最も高い。

区分	心身の健康	家族や夫婦のこと	社会の変化	自分や家族の将来	経済的なこと	行政サービス	仕事のこと	生きがい	職場や友人など	最大値	最小値	特に気になるようになったことはない	無回答	
										子どもの教育	その他			(%)
全 県	80.7	57.1	50.6	49.9	47.7	35.8	32.5	30.1	29.0	26.6	2.7	2.9	1.2	
地域別	神 戸	83.0	56.8	53.1	49.0	46.6	36.4	35.0	32.7	29.3	24.8	4.4	2.0	1.0
	阪神南	80.5	56.0	46.6	45.8	50.9	36.5	31.4	28.9	32.9	29.6	3.2	2.2	1.4
	阪神北	79.1	55.5	52.2	51.2	43.2	36.2	29.2	28.9	27.2	27.9	2.3	3.3	1.3
	東播磨	79.3	56.5	51.5	49.5	42.8	34.1	29.8	28.4	30.1	23.4	1.0	4.0	1.0
	北播磨	83.5	61.3	52.2	58.2	57.2	38.7	36.7	34.0	33.0	26.9	2.4	3.0	1.3
	中播磨	79.1	60.6	52.3	52.3	51.3	37.1	34.8	28.5	26.2	26.5	1.7	4.0	0.7
	西播磨	79.9	57.7	44.1	52.6	47.4	30.6	29.7	27.9	23.4	25.8	0.6	3.6	1.5
	但 馬	76.6	55.6	48.4	49.1	51.6	31.9	36.6	29.1	23.1	32.2	1.9	2.2	2.2
	丹 波	78.6	59.2	47.9	53.9	45.5	34.2	30.4	28.3	25.3	31.3	1.2	3.9	1.5
	淡 路	82.6	56.2	48.2	51.8	47.8	36.8	28.4	30.1	26.4	24.1	0.3	3.0	2.3
地域間の差	6.9	5.8	9.0	12.4	14.4	8.1	8.3	6.1	9.9	8.8	4.1	2.0	1.6	

【性別】

男女ともに「心身の健康」が最も高く、男女差が最も大きい(8.1ポイント差)。

(%)

区分		心身の健康	家族や夫婦のこと	社会の変化	自分や家族の将来	経済的なこと	行政サービス	仕事のこと	生きがい	職場や友人など	子どもの教育	その他	特になつた気になるようなことはない	無回答
全 県		80.7	57.1	50.6	49.9	47.7	35.8	32.5	30.1	29.0	26.6	2.7	2.9	1.2
性別	男 性	75.9	60.1	50.8	47.0	48.8	32.7	34.9	28.6	28.2	27.2	2.7	4.0	1.2
	女 性	84.0	55.4	51.2	52.1	46.2	38.1	31.1	31.3	29.7	26.6	2.6	2.1	1.3
性別間の差		8.1	4.7	0.4	5.1	2.6	5.4	3.8	2.7	1.5	0.6	0.1	1.9	0.1

【年代別】

「仕事のこと(41.3ポイント差)」、「子どもの教育(39.0ポイント差)」等で年代間の差が大きくなっている。

最大値 最小値 (%)

区分		心身の健康	家族や夫婦のこと	社会の変化	自分や家族の将来	経済的なこと	行政サービス	仕事のこと	生きがい	職場や友人など	子どもの教育	その他	特になつた気になるようなことはない	無回答
全 県		80.7	57.1	50.6	49.9	47.7	35.8	32.5	30.1	29.0	26.6	2.7	2.9	1.2
年代別	10・20代	74.0	52.4	48.4	46.6	42.9	18.4	40.4	36.6	41.9	14.3	2.6	7.7	0.1
	30代	76.2	58.8	50.0	51.4	56.8	32.7	46.5	22.3	39.7	46.5	1.7	1.3	0.0
	40代	75.4	58.2	55.7	45.1	49.7	30.8	40.8	20.3	35.9	51.0	2.8	2.5	1.1
	50代	79.6	58.4	56.4	45.4	47.6	34.1	49.4	26.1	35.4	27.5	4.1	1.3	0.6
	60代	84.0	61.5	55.5	58.2	50.2	41.8	32.2	35.2	29.2	15.3	3.3	3.5	1.4
	70代	85.3	55.9	44.9	51.8	42.5	40.8	14.4	34.2	14.1	19.1	1.0	3.0	2.4
	80歳以上	86.3	51.4	41.2	48.9	41.7	44.2	8.1	39.4	14.3	12.0	2.5	2.5	2.2
年代間の差		12.3	10.1	15.2	13.1	15.1	25.8	41.3	19.1	27.8	39.0	3.1	6.4	2.4

【性・年代別】

区分		心身の健康	家族や夫婦のこと	社会の変化	自分や家族の将来	経済的なこと	行政サービス	仕事のこと	生きがい	職場や友人など	最大値	最小値	特になくなるようになったこと	無回答
											子ども教育	その他		
全 県		80.7	57.1	50.6	49.9	47.7	35.8	32.5	30.1	29.0	26.6	2.7	2.9	1.2
男性・年代別	10・20代	70.1	48.9	52.9	41.1	40.2	14.9	37.6	36.8	35.5	6.1	0.0	13.4	0.3
	30代	68.4	62.4	51.9	55.2	50.1	38.7	44.6	21.2	37.6	46.6	1.6	2.9	0.0
	40代	65.3	63.8	57.9	43.3	50.7	28.4	45.7	22.5	40.2	50.0	3.5	2.2	0.1
	50代	74.9	53.6	56.5	39.6	53.1	32.9	55.2	23.8	31.6	39.5	6.6	1.6	1.5
	60代	80.9	63.3	53.8	53.7	51.9	37.4	41.2	33.6	33.2	17.2	2.8	5.5	1.5
	70代	85.0	66.4	39.0	48.3	48.3	33.4	14.9	27.2	11.8	16.1	1.2	2.7	1.9
	80歳以上	78.5	52.3	46.7	45.7	41.5	38.0	5.2	38.1	13.1	14.1	2.1	3.3	2.1
男性・年代間の差		19.7	17.5	18.9	15.6	12.9	23.8	50.0	16.9	28.4	43.9	6.6	11.8	2.1
女性・年代別	10・20代	77.0	55.1	45.1	50.7	45.0	21.1	42.5	36.4	46.8	20.5	4.6	3.3	0.0
	30代	81.4	56.4	48.7	48.9	61.2	28.6	47.7	22.9	41.1	46.4	1.8	0.2	0.0
	40代	81.9	54.6	54.3	46.2	49.0	32.4	37.6	19.0	33.2	51.7	2.4	2.7	1.8
	50代	82.5	61.4	56.3	49.0	44.2	34.9	45.9	27.6	37.7	20.1	2.7	1.1	0.0
	60代	86.4	60.6	57.5	62.5	48.4	45.8	25.0	36.9	26.2	13.8	3.7	1.8	1.2
	70代	85.5	47.8	50.0	54.2	38.4	47.1	14.1	39.7	16.0	21.5	0.9	3.3	2.8
	80歳以上	91.7	50.7	37.3	51.1	40.4	47.3	8.9	38.8	15.7	9.7	2.9	2.0	2.2
女性・年代間の差		14.7	13.6	20.2	16.3	22.8	26.2	38.8	20.7	31.1	42.0	3.7	3.1	2.8

問4 気になることへの対応-相談先

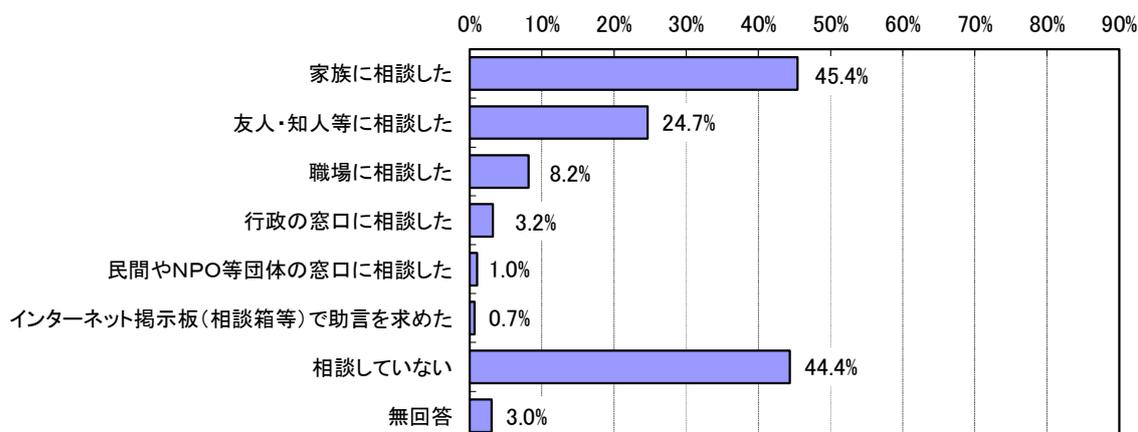
問4

問3で答えられた特に気になるようになったことについて、相談しましたか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 家族に相談した
- 2 友人・知人等に相談した
- 3 職場に相談した
- 4 行政の窓口相談した
- 5 民間やNPO等団体の窓口相談した
- 6 インターネット掲示板(相談箱等)で助言を求めた
- 7 相談していない

【全 県】

「家族に相談した(45.4%)」が最も多くなっている。一方で「相談していない(44.4%)」も4割を超えている。



【地域別】

阪神南、阪神北、北播磨では「相談していない」が最も高い。

区分		最大値					最小値		無回答	(%)
		家族に相談した	友人・知人等に相談した	職場に相談した	行政の窓口 に相談した	民間やNPO等団体の窓口 に相談した	インターネット 掲示板（相談箱等）で助言を求めた	相談していない		
全 県		45.4	24.7	8.2	3.2	1.0	0.7	44.4	3.0	
地域別	神 戸	46.0	24.9	8.8	3.2	0.7	1.1	42.8	2.8	
	阪神南	44.2	25.1	7.5	3.7	1.9	0.4	44.9	3.0	
	阪神北	40.4	23.0	8.0	3.1	1.7	1.0	47.7	3.1	
	東播磨	47.9	24.3	8.8	2.5	0.4	0.0	46.1	1.8	
	北播磨	44.4	23.2	9.9	5.3	0.4	0.7	45.8	4.9	
	中播磨	49.0	26.7	7.6	3.1	1.4	0.7	40.6	2.4	
	西播磨	45.6	27.2	8.5	2.5	0.0	0.6	45.3	3.5	
	但 馬	46.4	18.0	7.5	2.0	0.7	0.0	44.1	6.2	
	丹 波	46.5	23.0	5.0	2.8	0.0	0.9	44.7	3.8	
	淡 路	47.0	28.6	4.9	3.2	0.7	0.4	42.4	5.3	
地域間の差		8.6	10.6	5.0	3.3	1.9	1.1	7.1	4.4	

【性別】

「友人・知人等に相談した」で男女差が最も大きい(7.1ポイント差)。

区分		家族に相談した	友人・知人等に相談した	職場に相談した	行政の窓口 に相談した	民間 の窓口 に相談 した NPO等 団体	板 言を 求め た イン ター ネッ ト で 掲 示	相談 して いな い	無 回 答
全 県		45.4	24.7	8.2	3.2	1.0	0.7	44.4	3.0
性別	男 性	44.9	20.7	10.6	3.5	0.8	0.6	46.1	3.2
	女 性	46.2	27.8	6.5	2.9	1.2	0.6	43.5	2.7
性別間の差		1.3	7.1	4.1	0.6	0.4	0.0	2.6	0.5

【年代別】

「家族に相談した」は60代で最も高い。

区分		家族に相談した	友人・知人等に相談した	職場に相談した	行政の窓口 に相談した	民間 の窓口 に相談 した NPO等 団体	板 言を 求め た イン ター ネッ ト で 掲 示	相談 して いな い	無 回 答
全 県		45.4	24.7	8.2	3.2	1.0	0.7	44.4	3.0
年代別	10・20代	47.8	33.0	15.7	2.4	0.6	0.4	39.5	0.1
	30代	47.9	24.3	13.8	1.9	1.2	1.7	44.2	0.0
	40代	46.8	25.3	7.1	2.0	1.5	0.7	45.8	1.1
	50代	47.7	25.6	14.2	4.6	2.1	0.2	42.4	2.0
	60代	49.6	24.0	6.3	2.6	0.1	1.1	43.2	3.2
	70代	36.5	21.4	2.8	2.8	0.8	0.2	53.9	5.5
	80歳以上	44.3	24.1	1.8	5.5	0.5	0.1	36.5	8.5
年代間の差		13.1	11.6	13.9	3.6	2.0	1.6	17.4	8.5

【性・年代別】

区分		最大値					最小値		無回答	(%)
		家族に相談した	友人・知人等に相談した	職場に相談した	行政の窓口 に相談した	民間やNPO等 団体の窓 口に相談した	め た （イン ター ネッ ト掲 示板 で助 言を 求 め）	相談 して いな い		
全 県		45.4	24.7	8.2	3.2	1.0	0.7	44.4	3.0	
男性・ 年代別	10・20代	53.1	36.3	21.3	3.1	1.4	0.5	30.9	0.3	
	30代	50.4	22.1	12.4	0.4	0.0	0.9	42.8	0.0	
	40代	36.3	14.6	8.1	2.9	1.6	0.0	57.3	1.6	
	50代	47.0	20.6	21.5	7.2	1.6	0.0	40.6	3.8	
	60代	53.4	22.7	10.8	3.3	0.1	1.9	39.9	3.2	
	70代	35.6	17.7	2.9	2.7	0.6	0.2	56.8	4.5	
	80歳以上	45.3	19.1	3.3	4.2	0.2	0.1	42.5	6.8	
男性・年代間の差		17.8	21.7	18.6	6.8	1.6	1.9	26.4	6.8	
女性・ 年代別	10・20代	44.2	30.8	11.9	1.9	0.0	0.4	45.3	0.0	
	30代	46.2	25.8	14.6	2.9	1.9	2.2	45.2	0.0	
	40代	53.8	32.4	6.4	1.4	1.5	1.1	38.2	0.8	
	50代	48.0	28.5	9.8	3.0	2.3	0.4	43.6	0.9	
	60代	47.0	25.2	2.7	2.1	0.0	0.5	45.3	3.2	
	70代	37.8	24.6	2.7	2.9	1.1	0.1	51.0	6.3	
	80歳以上	44.8	28.3	0.7	6.6	0.7	0.0	33.2	7.0	
女性・年代間の差		16.0	7.8	13.9	5.2	2.3	2.2	17.8	7.0	

問5 気になることへの対応-相談しなかった理由

問5

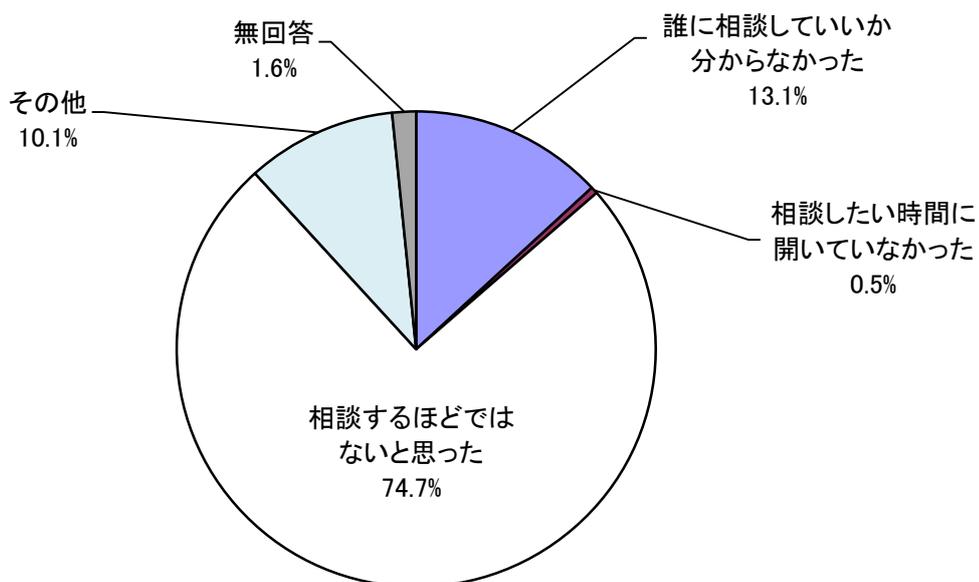
(問4で「7. 相談していない」を選択した方) 相談しなかった理由を1つ選んで番号に○をつけてください

- 1 誰に相談していいかわからなかった
- 2 相談したい時間に関いていなかった
- 3 相談するほどではないと思った
- 4 その他

(問4で「7. 相談していない」を選択した方(全体の44.4%)が回答)

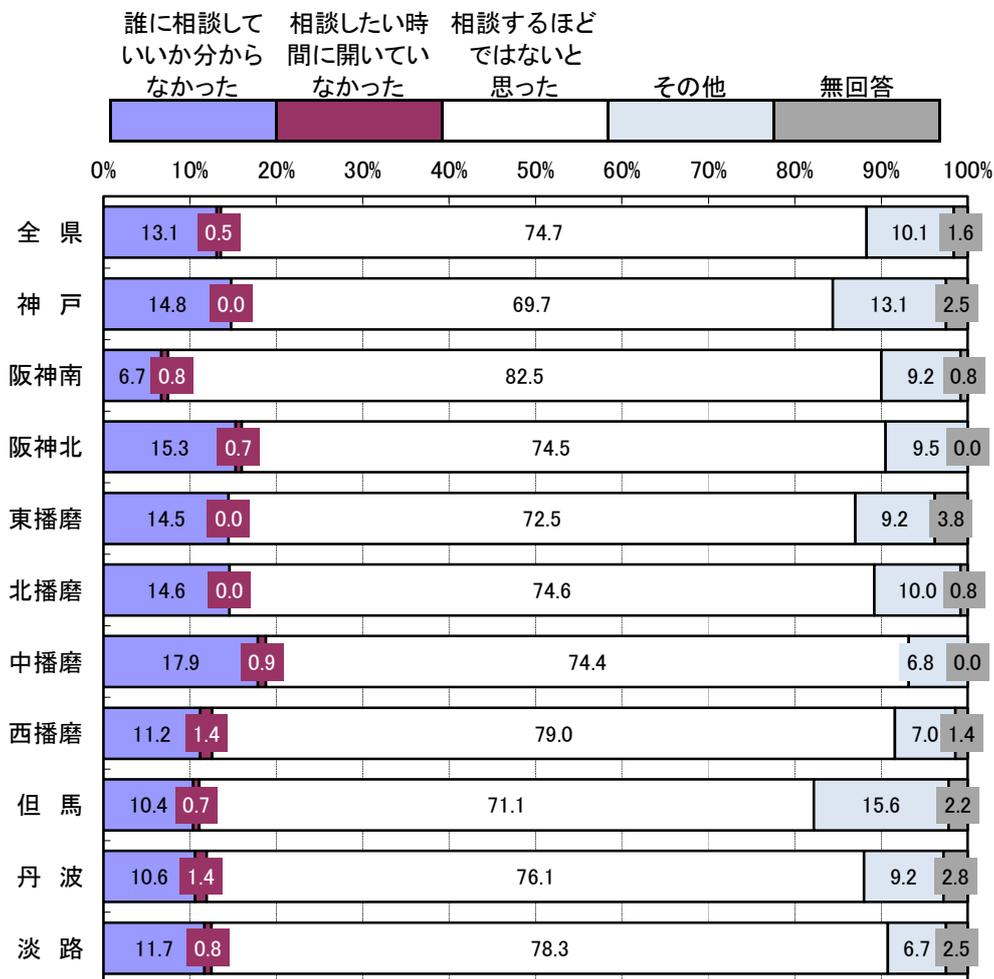
【全 県】

「相談するほどではないと思った」が最も多い(74.7%)。



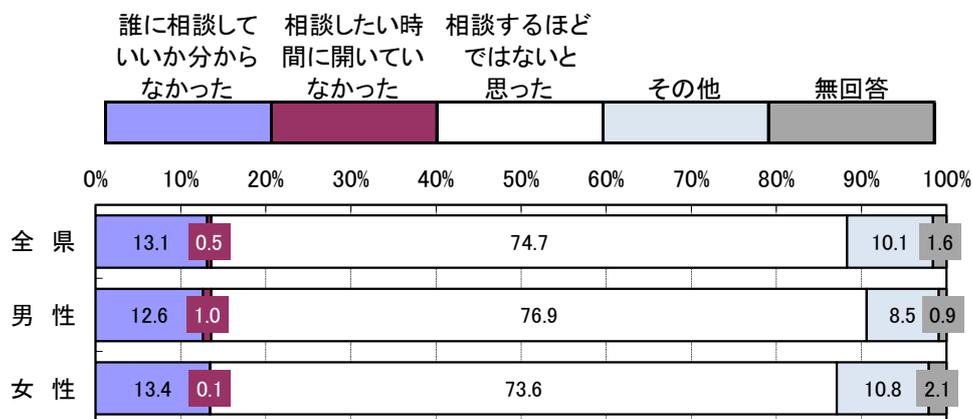
気になることへの対応・相談しなかった理由

【地域別】



【性 別】

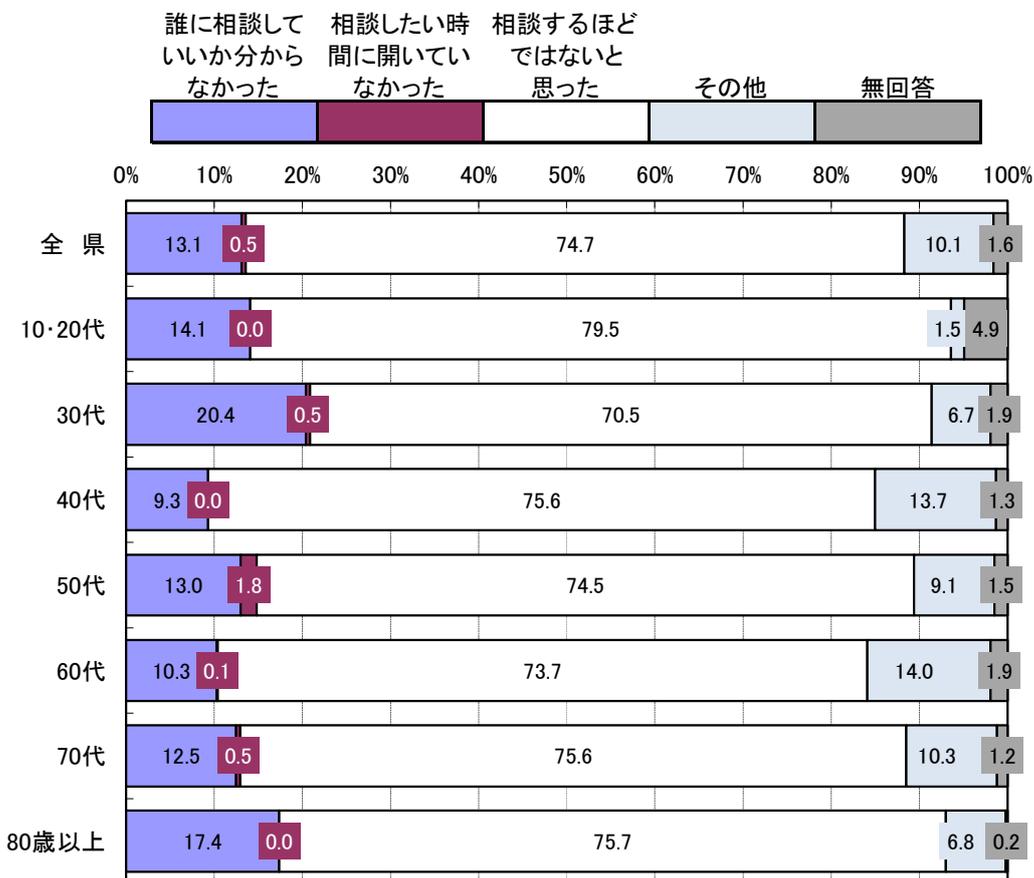
「相談するほどではないと思った」は、男性の方が女性より3.3ポイント高い。



気になることへの対応・相談しなかった理由

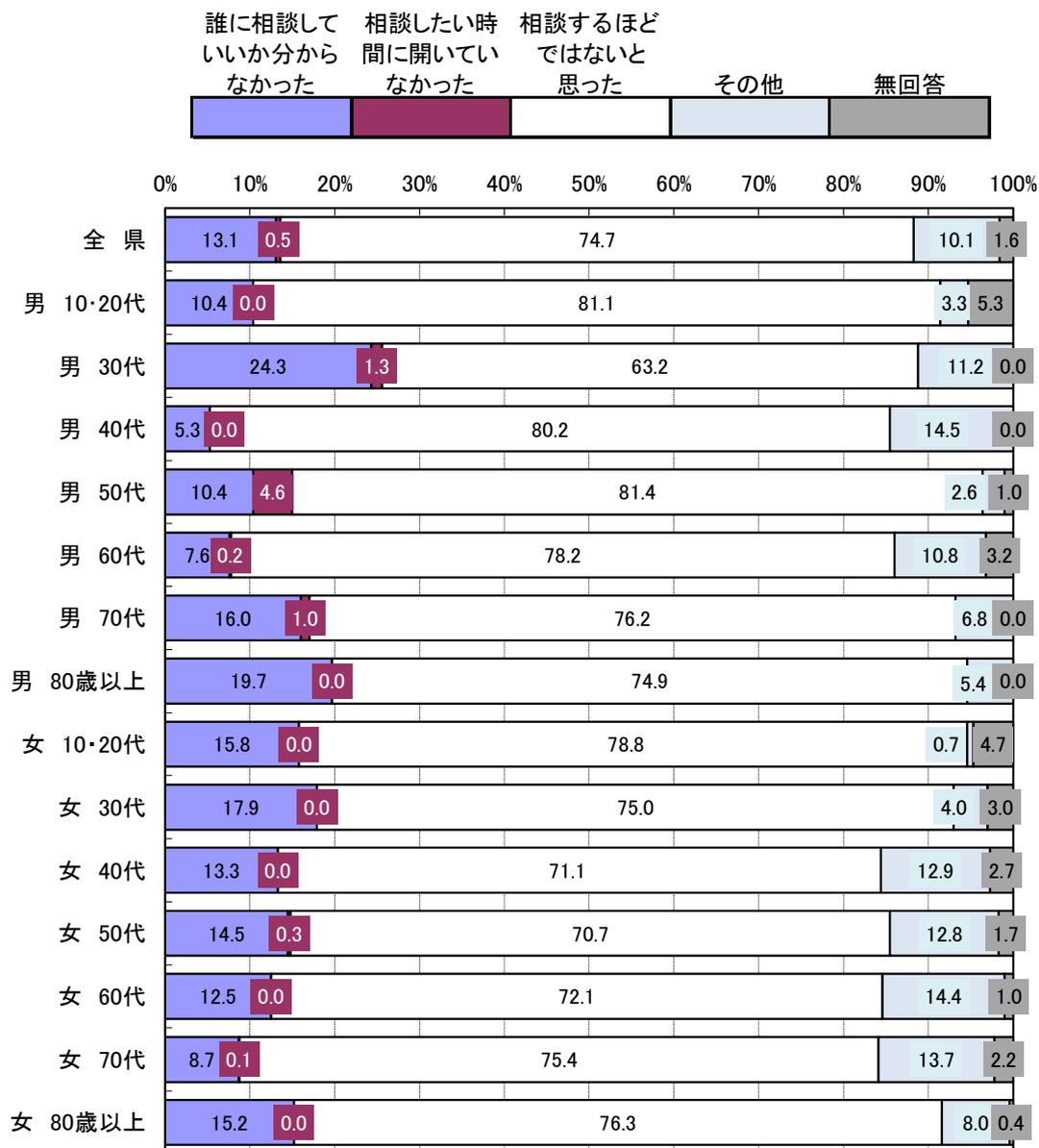
【年代別】

「誰に相談していいか分からなかった」は30代が最も高く、次いで80歳以上が高い。



気になることへの対応・相談しなかった理由

【性・年代別】



問6 気になることへの対応・相談方法

問6

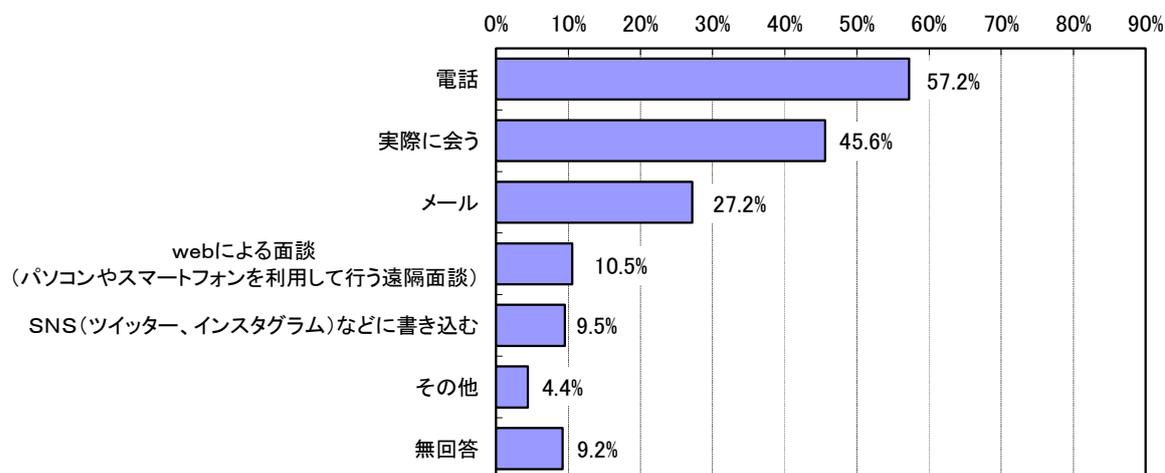
(問4で「7. 相談していない」を選択した方) コロナ禍を経験して、あなたの生活で特に気になるようになったことを相談する場合、その方法について、あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 電話
- 2 実際に会う
- 3 SNS (ツイッター、インスタグラム) などに書き込む
- 4 メール
- 5 Webによる面談 (パソコンやスマートフォンを利用して行う遠隔面談)
- 6 その他

(問4で「7. 相談していない」を選択した方 (全体の 44.4%) が回答)

【全 県】

「電話 (57.2%)」が最も多く、「実際に会う (45.6%)」が続いている。



【地域別】

全ての地域で「電話」が最も高い。

区分		電話	実際に会う	最大値		最小値		無回答
				メール	行う遠隔面談 （やウェブによる面談（パソコン） スマートフォンを利用して）	SNS（Twitter、インスタグラム）などに書き込む	その他	
全 県		57.2	45.6	27.2	10.5	9.5	4.4	9.2
地域別	神 戸	55.8	47.7	27.7	11.6	9.8	5.3	7.0
	阪神南	59.6	46.8	28.5	12.7	9.7	3.7	9.0
	阪神北	54.0	45.6	29.3	13.6	11.8	3.8	9.1
	東播磨	61.3	44.7	26.4	7.7	9.2	4.9	9.2
	北播磨	55.6	40.8	26.1	10.2	9.2	2.5	11.6
	中播磨	57.3	41.3	26.4	8.0	8.3	5.2	11.5
	西播磨	52.5	48.4	24.7	6.3	7.3	2.8	12.3
	但 馬	59.5	43.1	23.5	5.6	6.2	2.3	13.1
	丹 波	59.7	41.2	21.1	7.5	9.7	3.8	9.4
	淡 路	59.4	43.5	22.6	7.4	7.4	4.2	11.3
地域間の差		8.8	7.6	8.2	8.0	5.6	3.0	6.1

気になることへの対応・相談方法

【性別】

(%)

区分		電話	実際に会う	メール	ウェブによる面談（パソコンやスマートフォンを利用して行う遠隔面談）	SNS（ツイッター、インスタグラムなどに書き込む）	その他	無回答
全 県		57.2	45.6	27.2	10.5	9.5	4.4	9.2
性別	男 性	54.9	49.9	24.9	12.9	8.5	3.7	10.0
	女 性	58.7	43.1	29.2	9.1	10.3	4.7	8.5
性別間の差		3.8	6.8	4.3	3.8	1.8	1.0	1.5

気になることへの対応・相談方法

【年代別】

「電話」は、年代が上がるほど割合が高くなる傾向にあり、10・20代で最も低く、80歳以上で最も高い。

区分	電話	実際に会う	最大値		最小値		その他	無回答	(%)
			メール	（ウェブによる面談） パソコンやスマートフォンを利用する遠隔面談	むすぶ	SNS（インスタグラム、ツイッター、書き込み）			
全 県	57.2	45.6	27.2	10.5	9.5	4.4	9.2		
年代別	10・20代	47.5	50.8	16.2	13.3	34.1	5.7	3.5	
	30代	48.1	49.2	33.4	17.3	18.8	4.3	6.9	
	40代	48.0	49.9	29.3	10.4	9.2	4.4	9.7	
	50代	53.3	48.9	28.8	16.0	10.3	4.0	6.3	
	60代	61.2	46.8	33.7	9.3	5.4	4.1	7.8	
	70代	65.6	38.8	25.5	7.3	2.0	3.6	14.1	
	80歳以上	72.0	37.6	16.9	2.0	1.6	5.1	13.2	
年代間の差	24.5	13.2	17.5	15.3	32.5	2.1	10.6		

【性・年代別】

区分		最大値			最小値			(%)
		電話	実際に会う	メール	利用して行う遠隔面談(ウェブによる面談(オンライン)、SNS(Instagram、Twitter、LINE)など)	その他	無回答	
全 県		57.2	45.6	27.2	10.5	9.5	4.4	9.2
男性・年代別	10・20代	51.5	52.6	10.7	18.1	32.1	7.3	4.4
	30代	43.4	57.1	24.3	24.5	17.3	1.9	7.9
	40代	44.8	52.6	17.8	12.0	3.5	4.5	13.0
	50代	53.2	53.2	29.2	15.1	10.9	4.0	5.0
	60代	61.1	50.9	38.7	10.5	7.5	1.5	8.4
	70代	55.5	42.4	25.5	11.1	1.3	2.9	17.1
	80歳以上	74.5	44.9	14.8	4.2	2.7	6.5	7.8
男性・年代間の差		31.1	14.7	28.0	20.3	30.8	5.8	12.7
女性・年代別	10・20代	44.7	49.6	20.0	10.1	35.5	4.7	2.8
	30代	51.1	44.0	39.3	12.6	19.8	5.9	6.3
	40代	50.2	48.2	36.9	9.3	13.0	4.3	7.5
	50代	53.4	46.3	28.6	16.6	9.9	4.1	7.0
	60代	60.9	44.0	30.0	8.5	3.8	6.2	7.4
	70代	74.3	36.1	25.8	4.4	2.6	4.2	11.0
	80歳以上	70.5	33.5	18.8	0.4	0.9	3.1	17.2
女性・年代間の差		29.6	16.1	20.5	16.2	34.6	3.1	14.4

問7 日常生活の変化

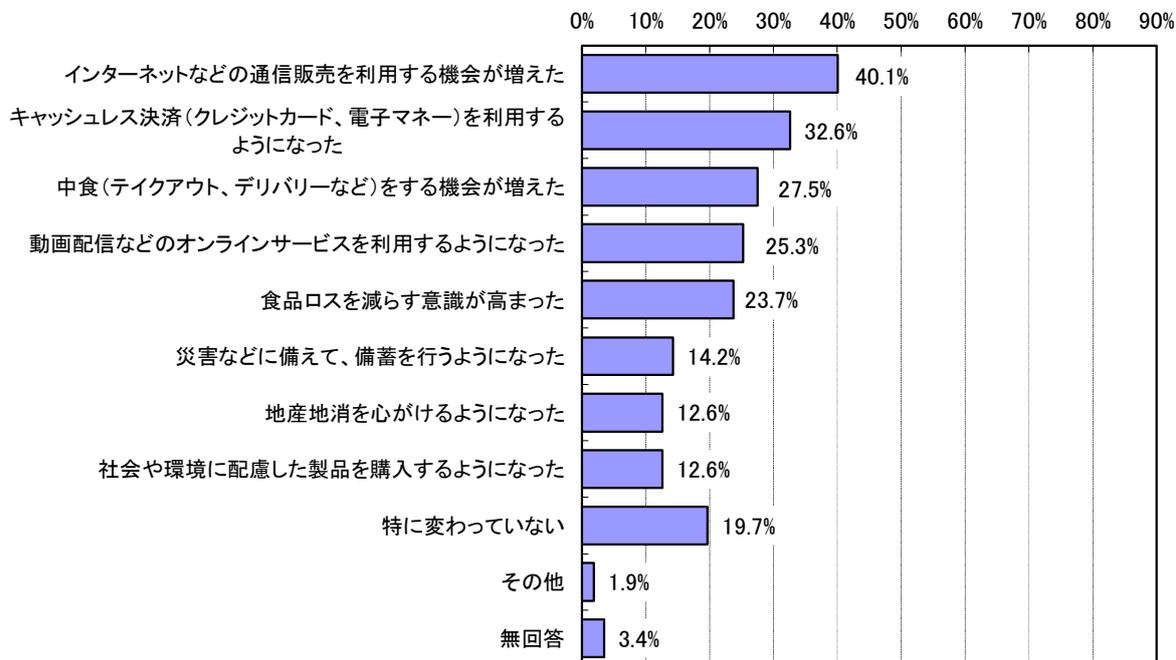
問7

あなたはコロナ禍をきっかけに、以下のようなことについて、何か変わったことはありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 インターネットなどの通信販売を利用する機会が増えた
- 2 動画配信などのオンラインサービスを利用するようになった
- 3 キャッシュレス決済(クレジットカード、電子マネー)を利用するようになった
- 4 社会や環境に配慮した製品を購入するようになった
- 5 地産地消を心がけるようになった
- 6 食品ロスを減らす意識が高まった
- 7 中食なかしょく(テイクアウト、デリバリーなど)をする機会が増えた
- 8 災害などに備えて、備蓄を行うようになった
- 9 特に変わっていない
- 10 その他

【全 県】

「インターネットなどの通信販売を利用する機会が増えた(40.1%)」が最も多い。



日常生活の変化

【地域別】

区分	インターネットなどの通信販売を利用する機会が増えた	キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー）を利用するようになった	タクシー（テイクアウト、デリバリーなど）をする機会が増えた	動画配信などのオンラインサービスを利用するようになった	食品ロスを減らす意識が高まった	災害などに備えて、備蓄を行うようになった	地産地消を心がけるようになった	購入する環境に配慮した製品を	特に変わっていない	その他	無回答	（%）	
												最大値	最小値
全 県	40.1	32.6	27.5	25.3	23.7	14.2	12.6	12.6	19.7	1.9	3.4		
地域別	神 戸	40.5	34.7	26.5	28.2	25.5	15.3	10.9	11.2	17.7	3.1	3.1	
	阪神南	45.8	38.3	30.0	27.1	23.5	13.7	13.4	13.0	17.0	0.7	3.2	
	阪神北	39.5	31.2	27.2	29.9	22.6	15.6	13.3	16.9	20.9	2.0	2.7	
	東播磨	45.5	34.8	31.1	20.4	21.7	13.4	9.7	10.4	19.4	1.3	2.3	
	北播磨	32.3	25.6	31.3	19.5	24.2	11.8	15.8	14.1	20.5	1.0	5.1	
	中播磨	34.1	29.8	25.5	23.5	24.5	14.2	9.9	11.9	21.9	1.7	4.6	
	西播磨	34.5	25.8	25.8	22.5	23.1	11.4	17.7	11.7	25.5	1.5	4.8	
	但 馬	33.4	17.5	18.1	18.4	20.0	15.0	21.6	10.9	25.6	3.1	5.3	
	丹 波	32.1	17.3	17.3	19.0	22.9	13.7	18.2	14.9	27.1	1.8	4.5	
	淡 路	30.4	30.1	26.8	16.1	24.1	13.0	16.4	13.7	23.1	0.7	5.0	
地域間の差	15.4	21.0	14.0	13.8	5.5	4.2	11.9	6.5	10.1	2.4	3.0		

【性 別】

「食品ロスを減らす意識が高まった」で男女間の差がもっとも大きい(10.5ポイント差)。

区分	インターネットなどの通信販売を利用する機会が増えた	キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー）を利用するようになった	タクシー（テイクアウト、デリバリーなど）をする機会が増えた	動画配信などのオンラインサービスを利用するようになった	食品ロスを減らす意識が高まった	災害などに備えて、備蓄を行うようになった	地産地消を心がけるようになった	購入する環境に配慮した製品を	特に変わっていない	その他	無回答	（%）	
												最大値	最小値
全 県	40.1	32.6	27.5	25.3	23.7	14.2	12.6	12.6	19.7	1.9	3.4		
性別	男 性	39.0	28.7	25.4	24.2	17.6	10.3	9.9	13.2	23.8	2.1	3.6	
	女 性	41.3	35.6	29.1	26.4	28.1	17.3	14.6	12.2	16.9	1.7	3.3	
性別間の差	2.3	6.9	3.7	2.2	10.5	7.0	4.7	1.0	6.9	0.4	0.3		

日常生活の変化

【年代別】

区分	インターネットなどの通信販売を利用する機会が増えた	スマートフォン（携帯電話）を利用するようになった	キャッシュレス決済（クレジットカード）を利用するようになった	中食（テイクアウト、デリバリーなど）をする機会が増えた	動画配信などのオンラインサービスを利用するようになった	食品ロスを減らす意識が高まった	災害などに備えて、備蓄を行うようになった	最大値	最小値	その他	無回答	
								12.6	19.7			
全 県	40.1	32.6	27.5	25.3	23.7	14.2	12.6	12.6	19.7	1.9	3.4	
年代別	10・20代	60.7	36.2	44.4	50.2	6.8	8.5	4.4	5.0	12.3	1.2	0.4
	30代	57.1	38.3	41.2	40.6	10.5	10.4	9.5	9.3	17.4	1.2	1.0
	40代	57.2	42.4	40.6	40.9	18.6	15.7	8.3	8.8	11.9	0.9	1.7
	50代	47.3	41.3	32.8	30.8	16.2	11.9	7.9	9.3	16.9	1.4	2.7
	60代	36.0	33.8	16.9	17.1	31.3	14.2	15.8	15.5	22.4	3.1	3.9
	70代	20.3	22.4	16.2	9.3	34.0	17.0	16.6	17.0	27.5	1.5	5.7
	80歳以上	14.2	13.1	10.7	2.2	37.9	19.6	23.4	20.2	26.8	3.4	7.1
年代間の差	46.5	29.3	33.7	48.0	31.1	11.1	19.0	15.2	15.6	2.5	6.7	

日常生活の変化

【性・年代別】

区分	インターネットなどの通信販売を利用する機会が増えた	インフォメーション、電子マネーを利用するようになった	キャッシュレス決済（クレジットカード）を利用する機会が増えた	中食（テイクアウト、デリバリーなど）を利用する機会が増えた	動画配信などのオンラインサービスを利用するようになった	食品ロスを減らす意識が高まった	災害などに備えて、備蓄を行うようになった	最大値	最小値	その他	無回答	（%）
								た地産地消を心がけるようになった	入社会や環境に配慮した製品を購入するようになった			
全 県	40.1	32.6	27.5	25.3	23.7	14.2	12.6	12.6	19.7	1.9	3.4	
男性・年代別	10・20代	55.2	35.9	40.2	43.1	10.5	9.7	7.9	7.5	17.4	2.7	0.5
	30代	55.6	30.1	34.1	43.0	5.1	8.5	5.8	6.8	17.4	1.1	0.3
	40代	50.7	31.7	32.6	35.4	15.8	9.5	5.5	7.1	15.9	0.2	2.0
	50代	41.9	36.8	35.7	31.2	12.0	10.2	4.2	7.9	20.2	1.9	4.2
	60代	37.0	34.3	17.1	18.6	21.9	10.5	14.9	18.9	26.0	2.3	4.4
	70代	27.5	21.0	17.8	11.0	21.0	9.2	10.0	14.3	33.7	2.5	5.9
	80歳以上	14.9	10.9	10.2	0.8	31.6	15.9	20.3	27.7	29.3	4.6	4.2
男性・年代間の差	40.7	25.9	30.0	42.3	26.5	7.4	16.1	20.9	17.8	4.4	5.6	
女性・年代別	10・20代	65.0	36.4	47.7	55.6	4.0	7.5	1.7	3.1	8.4	0.0	0.3
	30代	58.1	43.7	45.9	39.0	14.0	11.6	11.9	10.9	17.4	1.4	1.4
	40代	61.4	49.4	45.7	44.4	20.4	19.7	10.1	9.9	9.3	1.4	1.5
	50代	50.6	44.1	31.1	30.5	18.8	13.0	10.1	10.1	14.9	1.1	1.8
	60代	35.6	33.7	16.9	16.0	38.6	17.4	16.8	12.8	19.6	3.7	3.5
	70代	14.9	23.3	15.1	8.1	44.6	23.5	22.0	19.4	22.6	0.8	5.1
	80歳以上	12.9	13.9	11.3	3.2	43.6	22.8	25.2	14.2	24.2	2.6	9.2
女性・年代間の差	52.1	35.5	36.4	52.4	40.6	16.0	23.5	16.3	15.8	3.7	8.9	

問8 住まいに関して重要だと思うこと

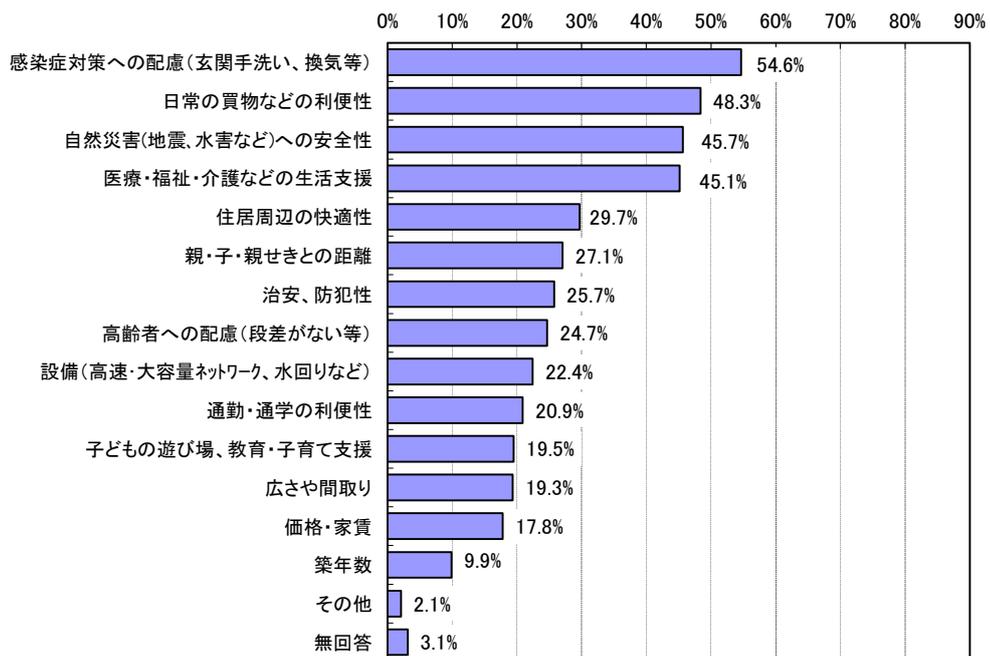
問8

コロナ禍を経験して、住まいに関する要素の中で、より重要だと思うようになったものはありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 価格・家賃
- 2 広さや間取り
- 3 高齢者への配慮（段差がない等）
- 4 設備（高速・大容量ネットワーク、水回りなど）
- 5 築年数
- 6 自然災害（地震、水害など）への安全性
- 7 通勤・通学の利便性
- 8 日常の買物などの利便性
- 9 医療・福祉・介護などの生活支援
- 10 子どもの遊び場、教育・子育て支援
- 11 親・子・親せきとの距離
- 12 治安、防犯性
- 13 住居周辺の快適性
- 14 感染症対策への配慮（玄関手洗い、換気等）
- 15 その他

【全 県】

「感染症対策への配慮(54.6%)」が最も多く、「日常の買物などの利便性(48.3%)」、「自然災害への安全性(45.7%)」、「医療・福祉・介護などの生活支援(45.1%)」が4割を超えている。



住まいに関して重要だと思うこと

【地域別】

区分	手洗い、換気等への配慮（玄関）	感染症対策への配慮（玄関）	日常の買物などの利便性	自然災害（地震、水害など）への安全性	医療・福祉・介護などの生活支援	住居周辺の快適性	親・子・親せきとの距離	治安、防犯性	高齢者への配慮（段差がない等）	設備（高速・大容量ネットワーク、水回りなど）	通勤・通学の利便性	子育て支援	子どもの遊び場、教育・子育て支援	最大値		最小値		無回答
														広さや間取り	価格・家賃	築年数	その他	
全 県	54.6	48.3	45.7	45.1	29.7	27.1	25.7	24.7	22.4	20.9	19.5	19.3	17.8	9.9	2.1	3.1		
地域別	神 戸	53.7	51.7	44.6	42.5	33.0	25.5	28.9	24.8	20.4	21.8	16.0	20.4	20.1	9.5	2.7	3.7	
	阪神南	50.5	46.2	47.7	37.9	31.0	25.6	25.3	25.3	26.0	24.2	21.7	23.8	21.7	10.5	2.2	2.9	
	阪神北	56.1	46.2	50.8	50.5	32.2	31.6	27.9	29.2	25.2	21.6	21.9	20.3	18.3	11.6	2.0	3.0	
	東播磨	57.5	51.5	46.8	49.8	27.8	29.1	24.1	22.1	21.4	20.1	20.1	16.1	15.1	8.7	1.3	2.0	
	北播磨	56.9	47.8	42.8	54.2	28.6	27.3	30.3	23.6	18.5	17.8	21.9	18.5	13.5	9.1	0.3	2.7	
	中播磨	58.6	48.0	42.1	45.7	26.8	25.8	22.5	21.5	25.8	19.5	18.5	17.2	14.9	10.3	1.7	2.3	
	西播磨	53.5	46.2	41.4	46.8	23.1	26.1	18.3	25.2	18.6	16.5	18.9	16.8	13.5	8.7	3.0	3.9	
	但 馬	53.8	40.3	42.8	49.1	16.6	28.1	14.4	20.9	17.8	12.8	26.3	12.2	10.6	8.4	1.6	4.4	
	丹 波	57.1	40.2	41.4	48.8	24.4	25.9	18.8	24.4	15.8	17.3	16.7	12.2	11.6	6.8	1.2	3.9	
淡 路	51.8	44.1	44.8	45.5	25.1	26.8	28.4	26.4	19.4	19.4	20.4	14.7	16.4	11.7	2.7	4.7		
地域間の差	8.1	11.5	9.4	16.3	16.4	6.1	15.9	8.3	10.2	11.4	10.3	11.6	11.1	4.9	2.7	2.7		

【性 別】

区分	手洗い、換気等への配慮（玄関）	感染症対策への配慮（玄関）	日常の買物などの利便性	自然災害（地震、水害など）への安全性	医療・福祉・介護などの生活支援	住居周辺の快適性	親・子・親せきとの距離	治安、防犯性	高齢者への配慮（段差がない等）	設備（高速・大容量ネットワーク、水回りなど）	通勤・通学の利便性	子育て支援	子どもの遊び場、教育・子育て支援	広さや間取り	価格・家賃	築年数	その他	無回答
性別	男性	48.3	43.4	44.0	44.3	29.6	22.4	25.8	24.5	21.3	22.2	18.3	18.0	19.2	12.1	1.9	4.1	
	女性	59.1	51.6	47.2	46.2	30.3	30.4	25.9	24.4	23.8	20.1	20.6	20.5	16.9	8.2	2.3	2.3	
性別間の差	10.8	8.2	3.2	1.9	0.7	8.0	0.1	0.1	2.5	2.1	2.3	2.5	2.3	3.9	0.4	1.8		

住まいに関して重要だと思うこと

【年代別】

「子どもの遊び場、教育・子育て支援(43.5ポイント差)」、「通勤・通学の利便性(42.7ポイント差)」、「高齢者への配慮(36.9ポイント差)」で年代間の差が大きくなっている。

区分	い、感染症対策への配慮(玄関手洗い、換気等)	日常の買物などの利便性	自然災害(地震、水害など)への安全性	医療・福祉・介護などの生活支援	住居周辺の快適性	親・子・親せきとの距離	治安、防犯性	高齢者への配慮(段差がない等)	設備(高速・大容量ネットワーク、水回りなど)	通勤・通学の利便性	子どもの遊び場、教育・子育て支援	最大値		最小値		その他	無回答	(%)
												広さや間取り	価格・家賃	築年数				
全 県	54.6	48.3	45.7	45.1	29.7	27.1	25.7	24.7	22.4	20.9	19.5	19.3	17.8	9.9	2.1	3.1		
年代別	10・20代	42.9	49.9	34.8	33.8	32.6	22.0	28.3	7.8	33.3	45.7	15.3	24.6	31.1	6.1	0.5	2.1	
	30代	44.0	49.6	36.4	29.3	32.2	29.2	30.4	9.5	31.4	32.3	49.4	30.1	33.2	4.4	3.4	1.9	
	40代	49.5	44.1	38.9	36.5	32.3	28.9	29.1	15.3	32.5	33.3	34.3	24.7	21.9	6.8	2.1	3.6	
	50代	57.3	45.5	46.7	45.8	27.4	27.8	24.6	21.2	28.9	21.3	14.6	18.4	17.4	6.3	1.7	1.8	
	60代	60.2	52.9	56.1	55.0	33.0	27.7	28.0	32.0	19.2	19.1	14.1	21.1	15.3	9.6	1.7	3.0	
	70代	60.7	44.4	49.4	52.5	24.7	24.9	19.4	32.3	10.8	4.8	9.3	10.4	8.9	13.3	3.9	4.0	
	80歳以上	58.6	54.0	48.1	54.0	29.9	27.3	23.7	44.7	8.1	3.0	5.9	11.2	7.4	23.5	0.3	4.2	
年代間の差	17.8	9.9	21.3	25.7	8.3	7.2	11.0	36.9	25.2	42.7	43.5	19.7	25.8	19.1	3.6	2.4		

住まいに関して重要だと思うこと

【性・年代別】

区分	手洗い、換気等 感染症対策への配慮（玄関）	日常の買物などの利便性	自然災害（地震、水害など）への安全性	医療・福祉・介護などの生活支援	住居周辺の快適性	親・子・親せきとの距離	治安、防犯性	高齢者への配慮（段差がない等）	設備（高速・大容量ネットワーク、水回りなど）	通勤・通学の利便性	子どもの遊び場、教育・子育て支援	広さや間取り	最大値	最小値	（%）		
													価格・家賃	築年数	その他	無回答	
全 県	54.6	48.3	45.7	45.1	29.7	27.1	25.7	24.7	22.4	20.9	19.5	19.3	17.8	9.9	2.1	3.1	
男性・年代別	10・20代	34.4	47.2	37.6	31.5	31.0	20.2	27.3	10.5	37.3	47.9	10.5	31.8	34.2	8.7	0.0	2.2
	30代	39.7	36.3	34.1	29.4	33.9	26.3	27.9	7.5	23.6	37.4	42.3	28.8	32.3	6.4	0.5	3.7
	40代	37.2	34.8	35.8	31.6	28.9	18.2	28.7	10.4	24.9	30.6	29.8	17.0	20.4	7.2	3.7	6.0
	50代	59.4	44.5	44.8	44.7	25.8	24.5	24.4	23.8	36.2	21.8	14.8	15.3	22.0	10.8	1.1	4.1
	60代	51.4	49.1	57.8	55.2	36.9	21.4	30.7	29.0	18.4	24.4	17.6	20.6	15.5	10.5	2.3	3.3
	70代	53.4	39.2	42.0	53.6	23.6	22.1	17.4	35.1	11.3	5.7	9.8	9.4	12.3	13.5	2.8	4.5
	80歳以上	53.3	55.5	47.6	49.5	28.8	26.6	27.5	45.4	4.1	3.0	7.3	13.5	9.5	29.7	0.3	3.7
男性・年代間の差	25.0	20.7	23.7	25.8	13.3	8.4	13.3	37.9	33.2	44.9	35.0	22.4	24.7	23.3	3.7	3.8	
女性・年代別	10・20代	49.4	52.0	32.7	35.6	33.8	23.4	29.1	5.7	30.2	44.1	18.9	19.0	28.7	4.2	1.0	2.1
	30代	46.8	58.5	38.0	29.2	31.0	31.1	32.0	10.7	36.5	28.9	54.2	31.0	33.9	3.1	5.2	0.7
	40代	57.4	50.1	40.8	39.8	34.5	35.8	29.3	18.6	37.4	35.1	37.2	29.6	22.9	6.5	1.0	2.1
	50代	55.9	46.0	47.8	46.5	28.3	29.8	24.7	19.6	24.4	20.9	14.4	20.2	14.5	3.5	2.1	0.3
	60代	67.3	55.6	55.2	55.4	30.2	33.2	26.0	34.8	20.0	14.9	11.3	21.8	15.2	8.0	1.1	2.9
	70代	66.5	48.8	55.6	51.7	25.7	27.0	21.2	30.0	10.6	4.1	8.9	11.4	5.7	13.4	4.7	3.7
	80歳以上	61.3	54.4	49.8	57.7	31.6	28.6	21.7	44.4	11.2	3.0	5.1	9.8	6.1	18.6	0.4	4.5
女性・年代間の差	20.5	12.5	22.9	28.5	8.8	12.4	10.8	38.7	26.8	41.1	49.1	21.2	28.2	15.5	4.8	4.2	

問9 重要だと思うようになった場所

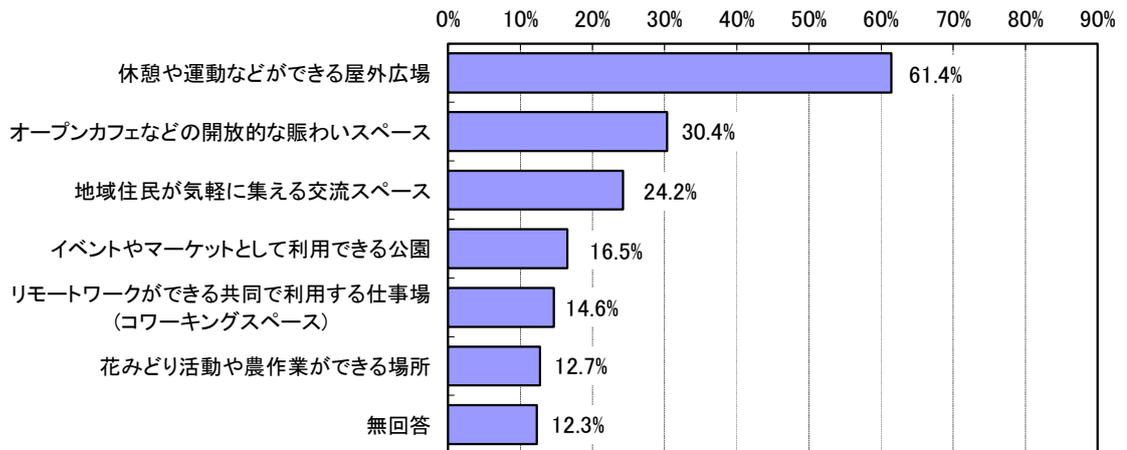
問9

コロナ禍を経験して、より重要だと思うようになった場所がありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 休憩や運動などができる屋外広場
- 2 オープンカフェなどの開放的な賑わいスペース
- 3 イベントやマーケットとして利用できる公園
- 4 花みどり活動や農作業ができる場所
- 5 地域住民が気軽に集える交流スペース
- 6 リモートワークができる共同で利用する仕事場(コワーキングスペース)

【全 県】

「休憩や運動などができる屋外広場(61.4%)」が最も多い。



重要だと思うようになった場所

【地域別】

「地域住民が気軽に集える交流スペース」で地域間の差が最も大きく(17.5ポイント差)、但馬・丹波・淡路地域で3割を超えている。

区分		最大値			最小値			無回答 (%)
		休憩や運動などができる屋外広場	オープンな賑わいスペース	地域住民が気軽に集える交流スペース	イベントやマーケットとして利用できる公園	共同利用する仕事場(コワーキングスペース)	リモートワークができる場所	
全 県		61.4	30.4	24.2	16.5	14.6	12.7	12.3
地域別	神 戸	62.6	30.6	26.9	14.6	16.7	11.2	10.5
	阪神南	65.0	33.2	16.6	18.8	14.4	13.7	12.3
	阪神北	62.8	30.6	23.9	16.3	16.9	13.3	11.6
	東播磨	60.9	27.8	23.1	16.7	13.4	12.4	13.0
	北播磨	62.3	37.4	23.9	17.2	12.8	11.1	11.8
	中播磨	60.3	32.1	25.8	17.5	13.2	14.6	12.6
	西播磨	54.1	24.6	27.6	16.8	11.7	14.7	16.8
	但 馬	48.8	21.3	34.1	14.7	11.6	11.6	16.9
	丹 波	53.9	23.8	30.4	14.0	10.1	14.6	13.7
	淡 路	54.2	23.7	31.4	18.4	9.7	12.7	16.1
地域間の差		16.2	16.1	17.5	4.8	7.2	3.6	6.4

重要だと思うようになった場所

【性別】

「オープンカフェなどの開放的な賑わいスペース」で男女差が最も大きい(8.4ポイント差)。

区分		(%)								
		広場 休憩 や運動 などが できる 屋外	な 賑わい スペース	オ ー プ ン カ フェ な ど の 開 放 的	ス ペ ー ス	地 域 住 民 が 気 軽 に 集 え る 交 流	利 用 で き る 公 園	イ ベ ン ト や マ ー ケ ッ ト と し て	ン グ ス ペ ー ス)	で リ モ ー ト ワ ー ク が で き る 共 同
全 県		61.4	30.4	24.2	16.5	14.6	12.7	12.3		
性別	男 性	60.0	25.7	25.5	15.3	16.2	11.9	13.8		
	女 性	62.5	34.1	23.7	17.0	13.8	13.6	10.8		
性別間の差		2.5	8.4	1.8	1.7	2.4	1.7	3.0		

重要だと思うようになった場所

【年代別】

「休憩や運動などができる屋外広場」が全ての年代で最も高く、5割を超えている。

区分	休憩や運動などができる屋外広場	オープンカフェなどの開放的な賑わいスペース	最大値	イベントやマーケットとして利用できる公園	最小値	花みどり活動や農作業ができる場所	無回答	
			地域住民が気軽に集える交流スペース		(利用する仕事場 リモートワークができる共同で coworkingスペース)			
全 県	61.4	30.4	24.2	16.5	14.6	12.7	12.3	
年代別	10・20代	63.1	37.3	7.7	15.1	27.2	4.9	7.5
	30代	66.4	41.3	18.0	21.8	24.2	10.2	6.5
	40代	67.5	32.9	12.1	18.1	22.7	14.0	9.6
	50代	57.7	31.3	16.5	13.6	22.9	9.9	14.6
	60代	65.7	32.7	26.6	17.2	9.3	15.2	9.8
	70代	57.3	22.3	36.7	14.6	2.8	15.8	16.1
	80歳以上	51.5	21.6	48.8	14.9	1.8	15.0	18.3
年代間の差	16.0	19.7	41.1	8.2	25.4	10.9	11.8	

重要だと思うようになった場所

【性・年代別】

区分		最大値			最小値			無回答
		広休 場憩 や運 動な どが でき る屋 外	なオ 賑ー わプ いン スカ フェ スな どの 開放 的	ス地 ペ域 ー住 ス民 が 気軽 に集 える 交流	利イ 用ベ できン るト 公園 やマ ーケ ット とし て	ンで グ利 ス用 ペす ーる 仕 事場 （コ ワー ー共 キ同	る花 場み 所ど り活 動 や農 作 業が でき	
全 県		61.4	30.4	24.2	16.5	14.6	12.7	12.3
男性・年代別	10・20代	55.7	29.1	14.7	8.5	30.3	1.7	6.4
	30代	65.5	35.5	19.8	25.9	26.7	9.8	6.9
	40代	63.2	28.2	14.1	16.1	25.4	10.4	14.7
	50代	57.1	26.2	15.3	10.5	24.1	6.7	16.8
	60代	65.2	28.9	24.2	16.1	11.4	12.9	12.1
	70代	59.5	17.0	37.9	14.7	4.4	23.2	16.9
	80歳以上	49.8	19.3	49.3	15.9	1.6	8.8	17.6
男性・年代間の差		15.7	18.5	35.2	17.4	28.7	21.5	11.2
女性・年代別	10・20代	68.8	43.6	2.4	20.1	24.8	7.3	8.3
	30代	67.1	45.1	16.7	19.1	22.5	10.5	6.3
	40代	70.3	36.0	10.8	19.4	20.9	16.3	6.3
	50代	58.1	34.3	17.3	15.5	22.2	11.9	13.2
	60代	65.8	36.1	28.8	18.2	7.6	17.2	8.0
	70代	56.4	26.3	35.8	14.2	1.7	10.1	15.1
	80歳以上	53.0	22.8	49.8	13.6	2.0	19.8	17.6
女性・年代間の差		17.3	22.3	47.4	6.5	23.1	12.5	11.3

問 10 移住への関心

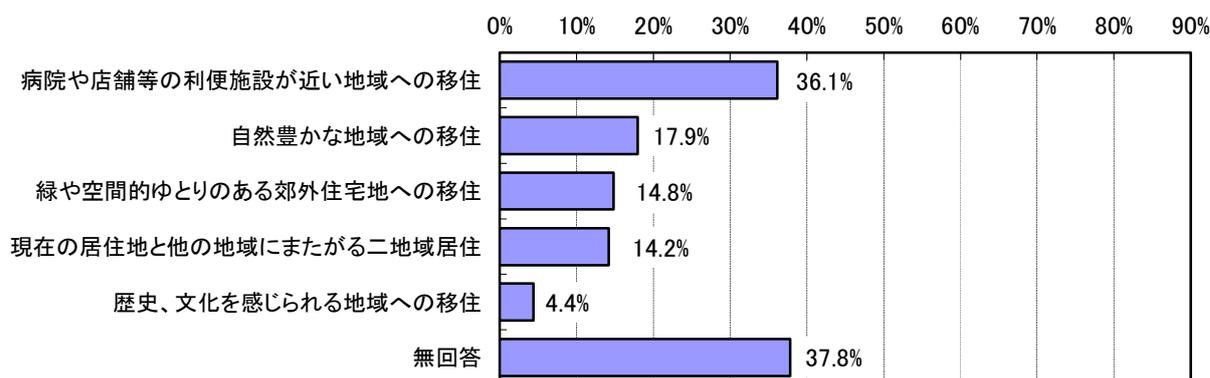
問 10

コロナ禍を経験して、以下のようなことに関心がありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 自然豊かな地域への移住
- 2 歴史、文化を感じられる地域への移住
- 3 緑や空間的ゆとりのある郊外住宅地への移住
- 4 病院や店舗等の利便施設が近い地域への移住
- 5 現在の居住地と他の地域にまたがる二地域居住

【全 県】

「病院や店舗等の利便施設が近い地域への移住(36.1%)」が最も多い。



移住への関心

【地域別】

「病院や店舗等の利便施設が近い地域への移住」は地域間の差が最も大きい(13.7ポイント差)。

		最大値		最小値	(%)		
区分	い病院や店舗等の利便施設が近い地域への移住	自然豊かな地域への移住	住宅や空間的ゆとりのある郊外への移住	現在の居住地と他の地域にまたがる二地域居住	歴史、文化を感じられる地域への移住	無回答	
全 県	36.1	17.9	14.8	14.2	4.4	37.8	
地域別	神 戸	36.1	18.7	15.0	14.3	4.4	37.1
	阪神南	31.0	21.3	18.8	14.4	4.3	37.2
	阪神北	41.2	17.6	15.6	17.3	4.7	33.9
	東播磨	34.8	17.1	17.1	12.4	3.7	39.8
	北播磨	36.7	17.2	12.5	13.8	5.1	41.8
	中播磨	40.1	13.2	10.3	13.9	5.3	38.1
	西播磨	40.8	16.5	9.9	10.8	5.1	37.5
	但 馬	27.5	18.4	9.7	13.4	1.6	46.9
	丹 波	37.2	15.2	9.5	14.0	4.2	42.9
	淡 路	39.5	15.7	11.0	13.4	3.0	38.5
地域間の差	13.7	8.1	9.3	6.5	3.7	13.0	

移住への関心

【性別】

(%)

区分		い病院や店舗等の利便施設が近い地域への移住	自然豊かな地域への移住	住宅地や空間的ゆとりのある郊外への移住	現在の居住地と他の地域にまたがる二地域居住	歴史、文化を感じられる地域への移住	無回答
全 県		36.1	17.9	14.8	14.2	4.4	37.8
性別	男 性	34.8	19.7	17.2	15.8	5.3	35.6
	女 性	36.8	16.2	13.2	13.5	3.8	39.6
性別間の差		2.0	3.5	4.0	2.3	1.5	4.0

移住への関心

【年代別】

		地 域 へ の 移 住	病 院 や 店 舗 等 の 利 便 施 設 が 近 い	自 然 豊 か な 地 域 へ の 移 住	郊 外 住 宅 地 へ の 移 住	緑 や 空 間 的 ゆ と り の あ る	ま た が の 居 住 地 と 他 の 地 域 に	地 歴 史 、 文 化 を 感 じ ら れ る	無 回 答
		最大値		最小値		(%)			
区 分									
全 県		36.1	17.9	14.8	14.2	4.4	37.8		
年 代 別	10・20代	42.3	23.5	29.2	9.1	6.4	22.2		
	30代	32.1	20.3	20.7	17.2	2.8	36.5		
	40代	31.4	18.5	17.5	17.7	4.8	34.3		
	50代	33.1	17.6	12.7	20.0	4.3	36.9		
	60代	42.8	17.9	15.1	15.9	6.0	35.0		
	70代	36.7	14.8	8.4	10.3	2.3	46.3		
	80歳以上	34.0	13.9	8.1	6.9	5.1	49.3		
年代間の差		11.4	9.6	21.1	13.1	4.1	27.1		

移住への関心

【性・年代別】

5項目中、男性は4つで、女性は3つで10・20代が最も高くなっている。

区分		最大値					最小値	(%)
		地域への移住	病院や店舗等の利便施設が近い	自然豊かな地域への移住	宅地への移住	緑や空間的ゆとりのある郊外住	現在の居住地と他の地域にまたがる二地域居住	
全 県		36.1	17.9	14.8	14.2	4.4	37.8	
男性・年代別	10・20代	42.2	26.4	27.7	12.2	8.2	19.4	
	30代	34.3	22.8	24.1	19.7	2.0	31.2	
	40代	29.1	19.6	19.7	18.5	7.7	31.5	
	50代	35.2	17.7	12.1	18.8	4.2	37.6	
	60代	35.8	18.9	19.6	20.8	7.7	36.2	
	70代	36.5	18.5	12.4	11.5	2.0	41.7	
	80歳以上	32.3	18.6	10.5	5.5	6.0	42.8	
男性・年代間の差		13.1	8.7	17.2	15.3	6.2	23.4	
女性・年代別	10・20代	42.3	21.4	30.3	6.7	5.0	24.3	
	30代	30.6	18.7	18.5	15.5	3.3	40.1	
	40代	33.0	17.8	16.1	17.2	3.0	36.1	
	50代	31.8	17.6	13.0	20.8	4.3	36.5	
	60代	48.1	17.2	11.5	12.0	4.6	34.3	
	70代	36.8	11.6	5.4	9.4	2.6	49.9	
	80歳以上	36.1	10.9	6.6	8.1	4.5	52.5	
女性・年代間の差		17.5	10.5	24.9	14.1	2.4	28.2	

問 11 働き方の変化

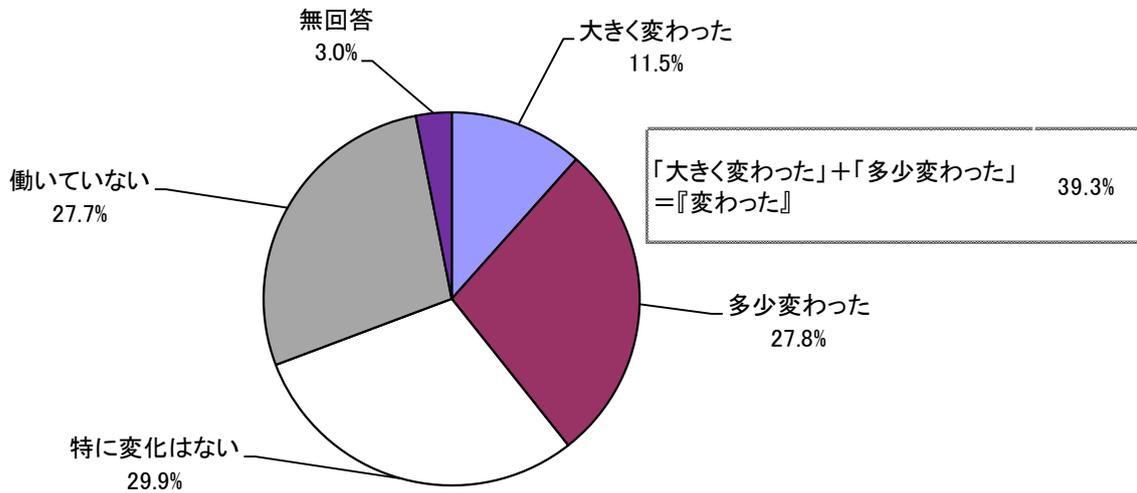
問 11

コロナ禍の影響で、あなたの働き方に変化はありましたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大きく変わった
- 2 多少変わった
- 3 特に変化はない
- 4 働いていない

【全 県】

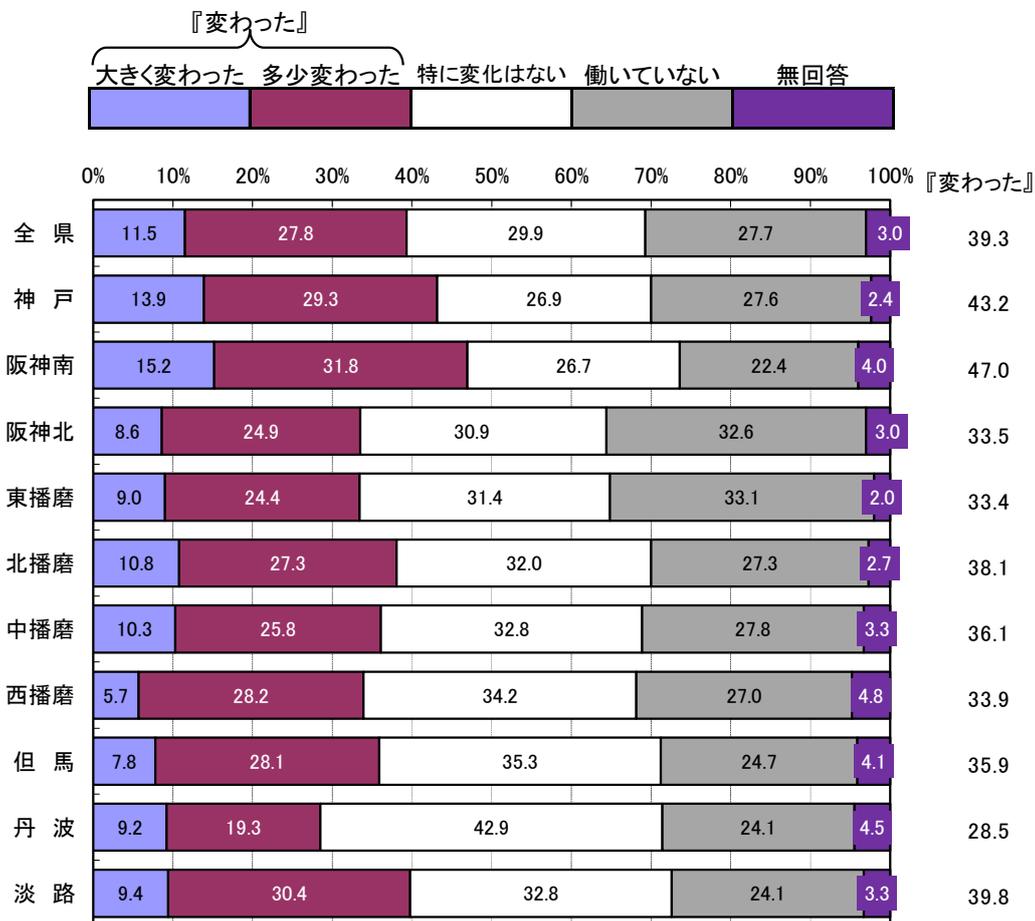
「大きく変わった(11.5%)」と「多少変わった(27.8%)」とを合わせた『変わった』は39.3%となった。



働き方の変化

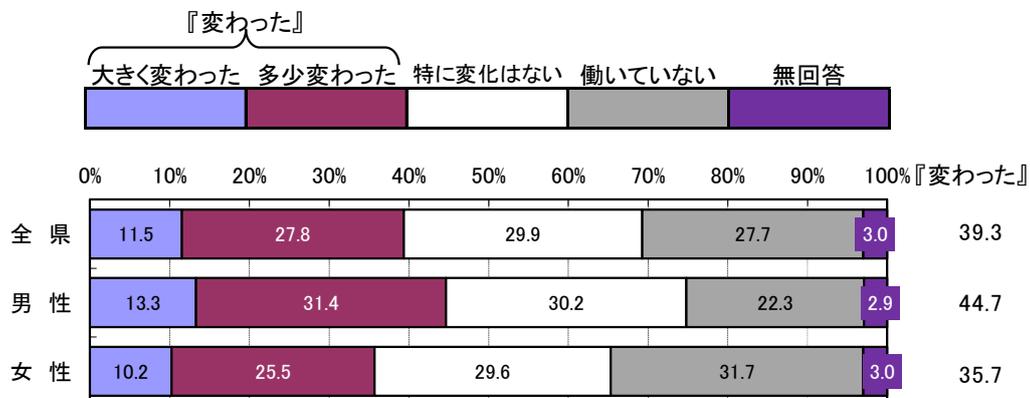
【地域別】

『変わった』は阪神南が最も高く、神戸、淡路が続いている。



【性 別】

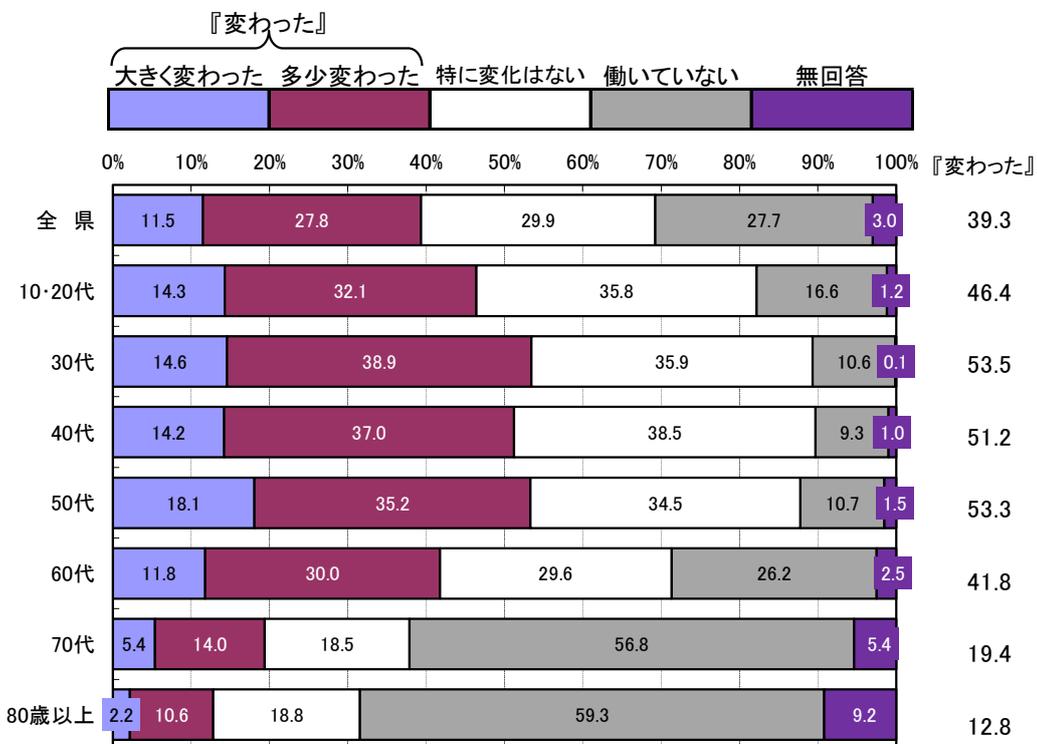
『変わった』は、男性の方が女性より9.0ポイント高い。



働き方の変化

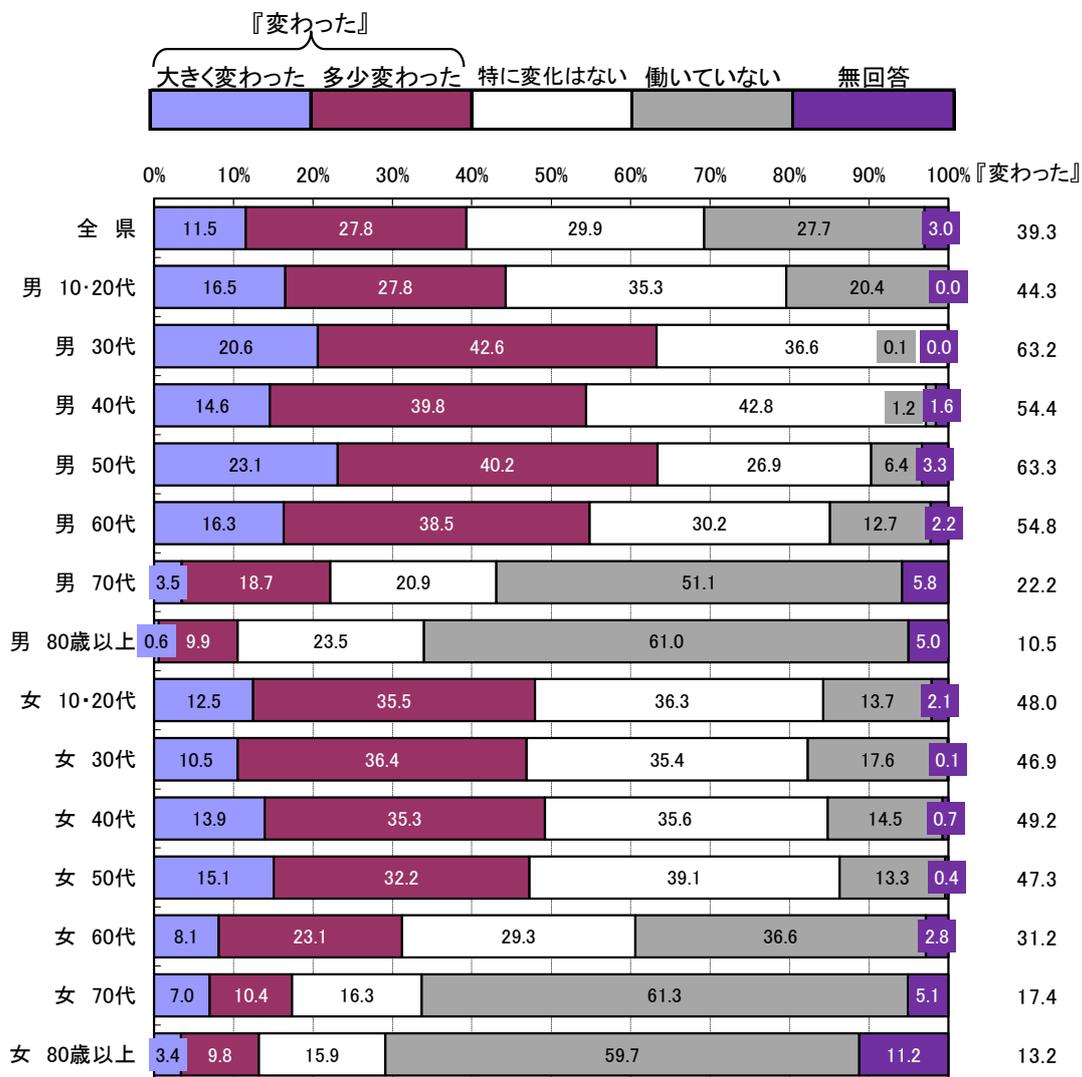
【年代別】

『変わった』は30代~50代で5割を超えている。



働き方の変化

【性・年代別】



問 12 理想の働き方

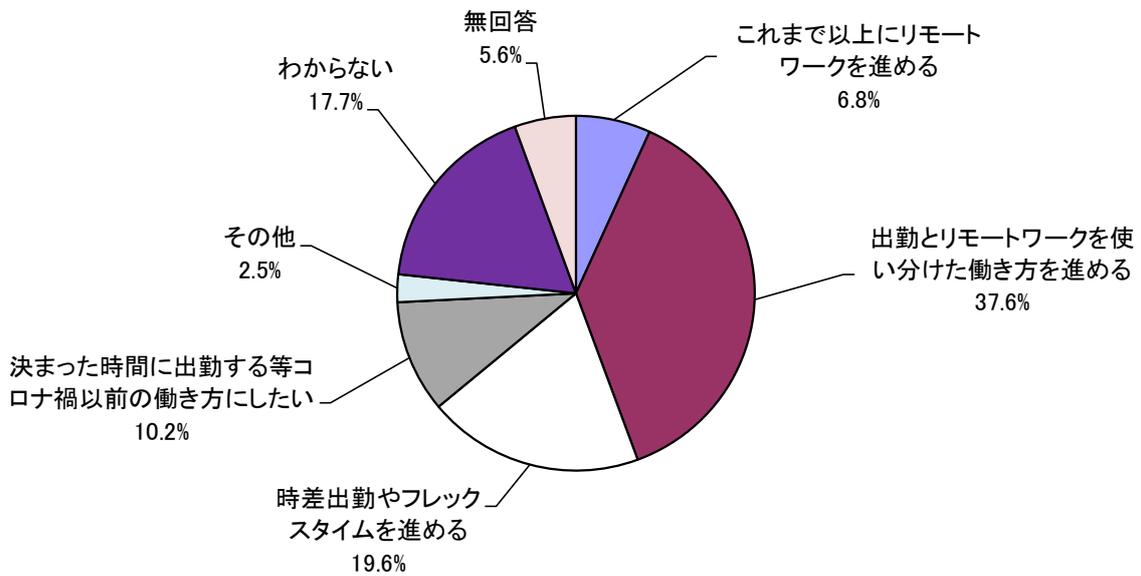
問 12

コロナ禍後の社会において、どのような働き方が望ましいとお考えですか。あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 これまで以上にリモートワークを進める
- 2 出勤とリモートワークを使い分けた働き方を進める
- 3 時差出勤やフレックスタイムを進める
- 4 決まった時間に出勤する等コロナ禍以前の働き方にしたい
- 5 その他
- 6 わからない

【全 県】

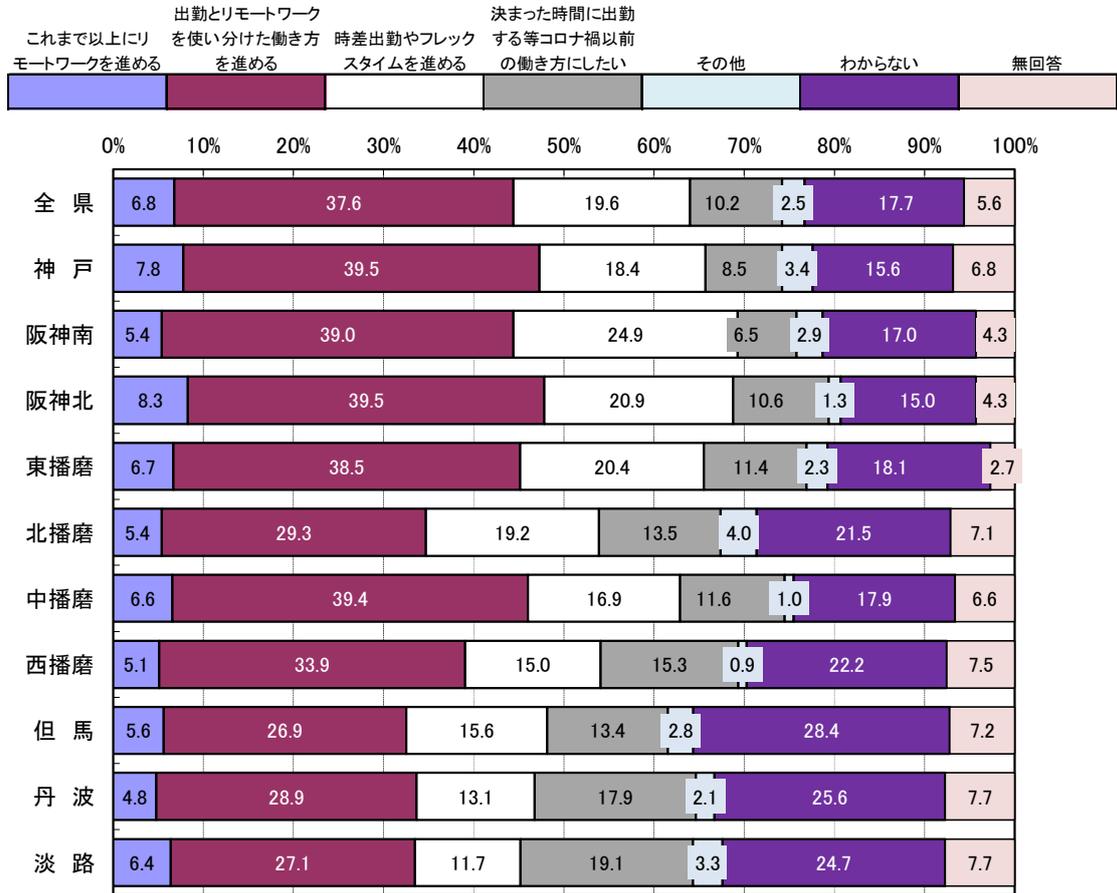
「出勤とリモートワークを使い分けた働き方を進める(37.6%)」が最も多い。



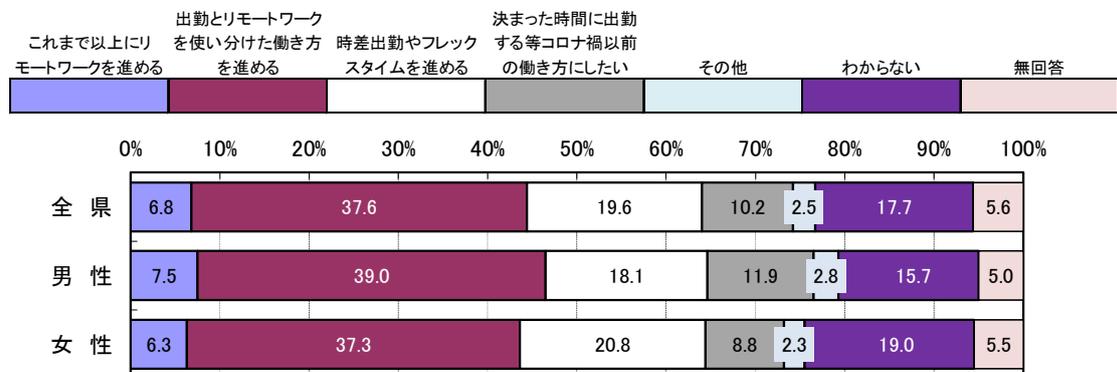
理想の働き方

【地域別】

「出勤とリモートワークを使い分けた働き方を進める」は神戸と阪神北が最も高く、中播磨が続いている。



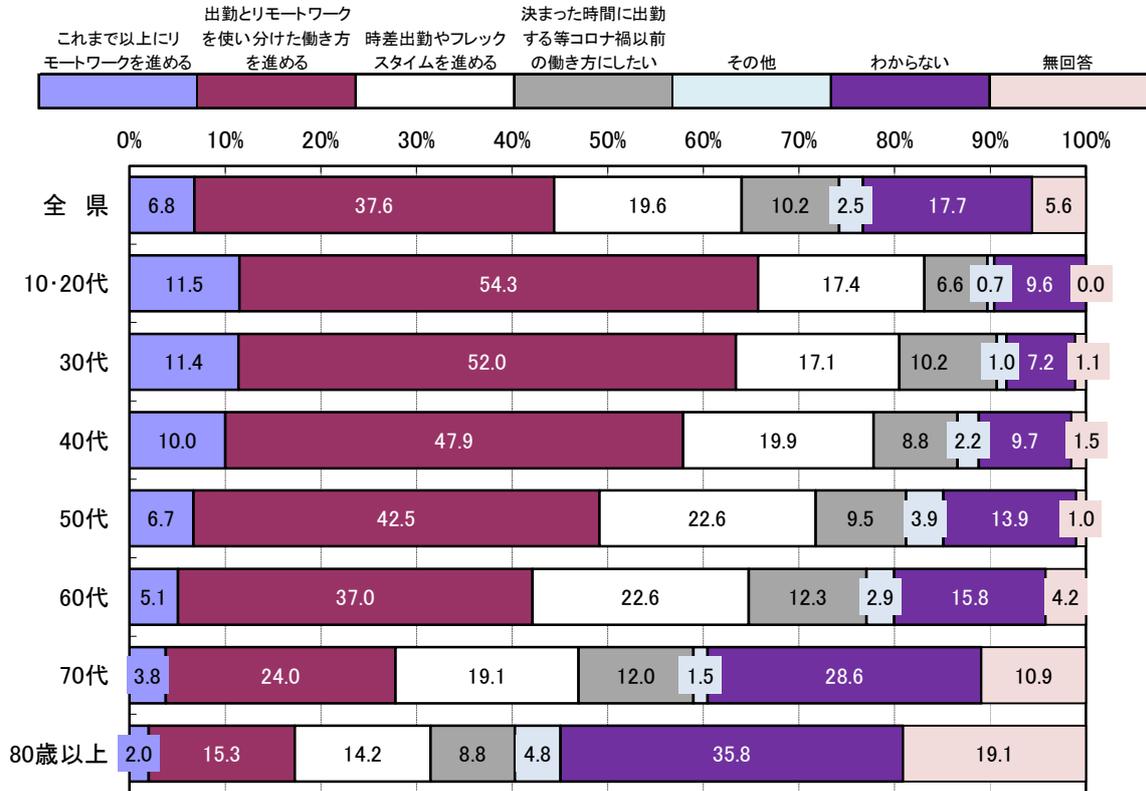
【性 別】



理想の働き方

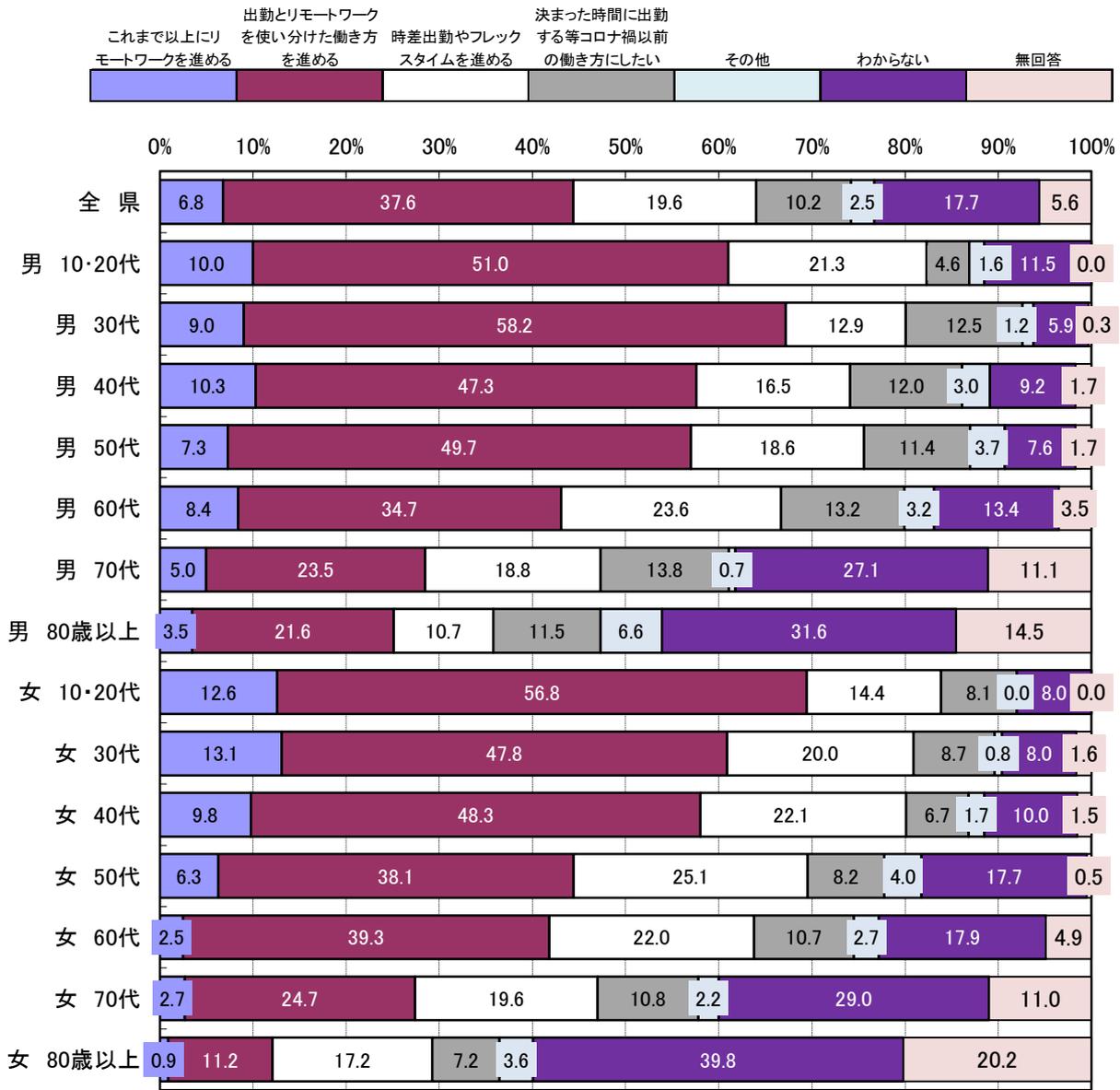
【年代別】

「出勤とリモートワークを使い分けた働き方を進める」は、年代が若くなるほど高い傾向にあり、10・20代で最も高い(54.3%)。



理想の働き方

【性・年代別】



問 13 リモートワークの経験

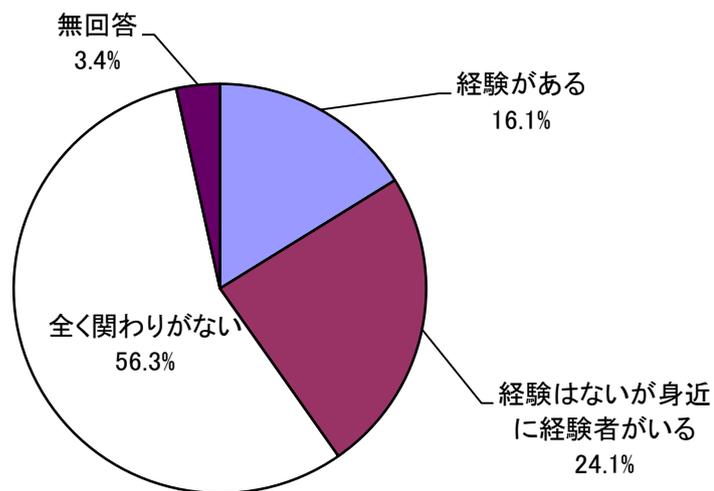
問 13

あなたはコロナ禍において、リモートワークでお仕事をされた経験がありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 経験がある
- 2 経験はないが身近に経験者がいる
- 3 全く関わりがない

【全 県】

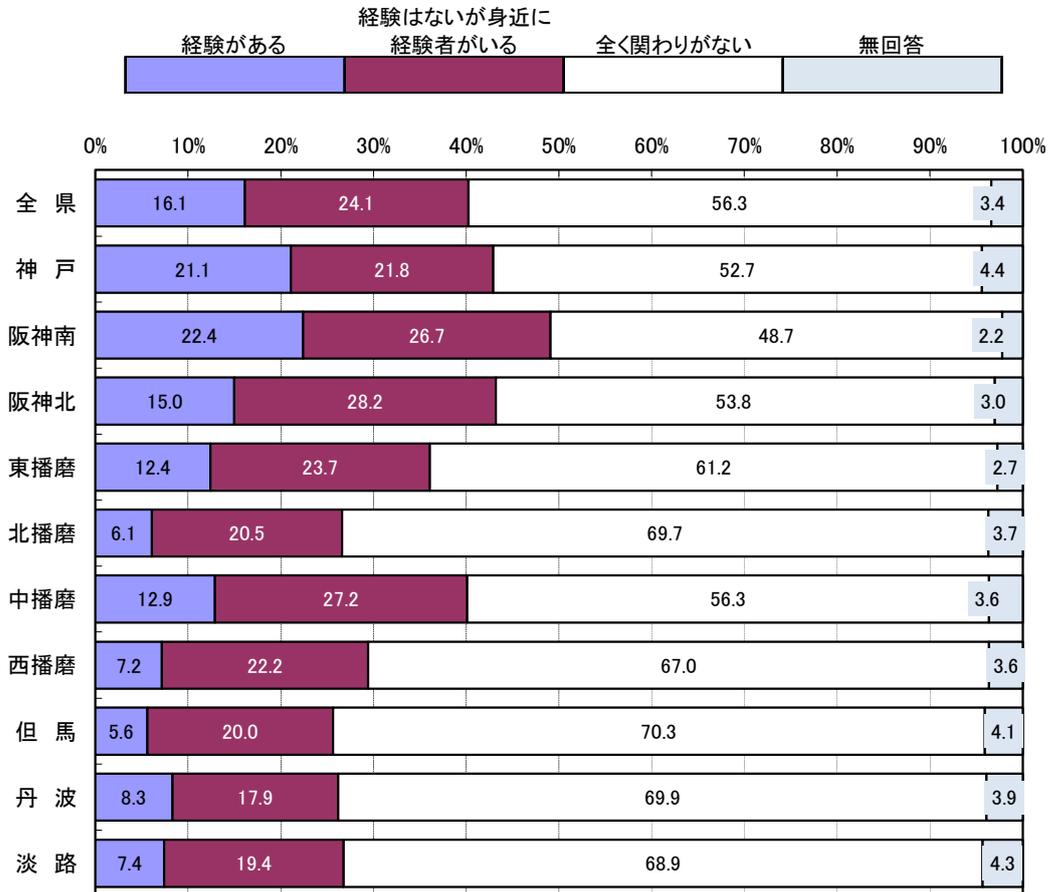
「経験がある」は16.1%となり、「全く関わりがない(56.3%)」が半数を超えている。



リモートワークの経験

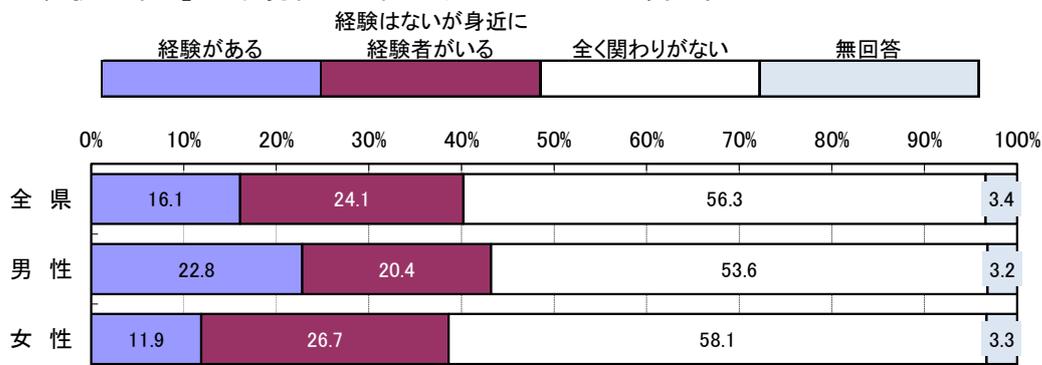
【地域別】

「経験がある」は、阪神南が最も多く、神戸、阪神北が続いている。



【性 別】

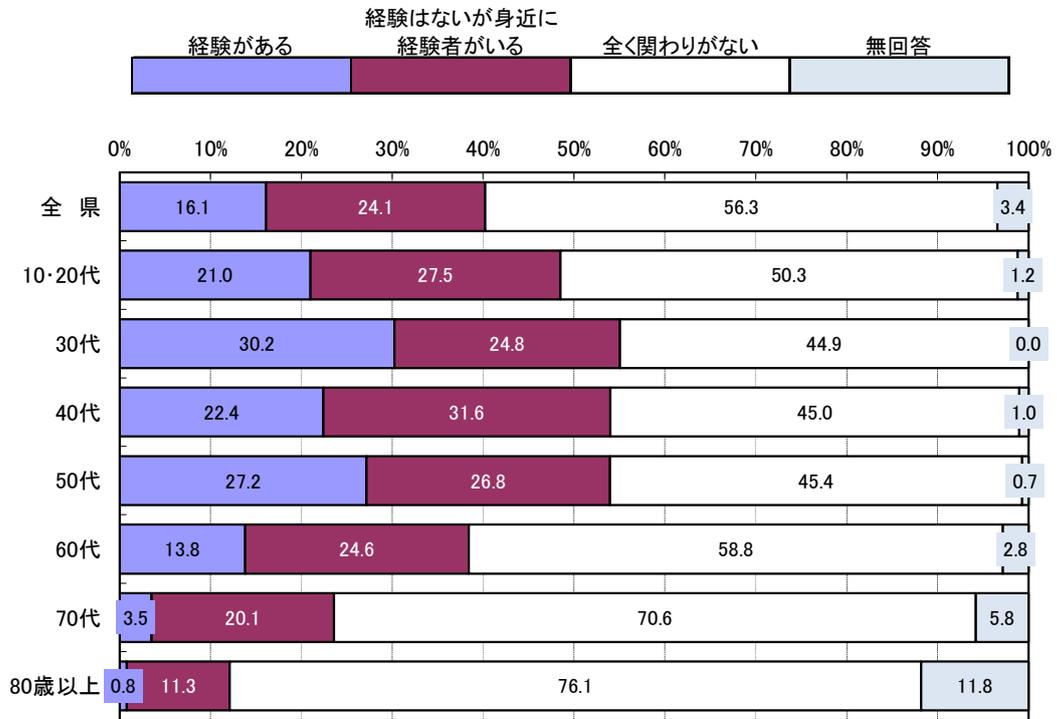
「経験がある」は、男性が女性より10.9ポイント高い。



リモートワークの経験

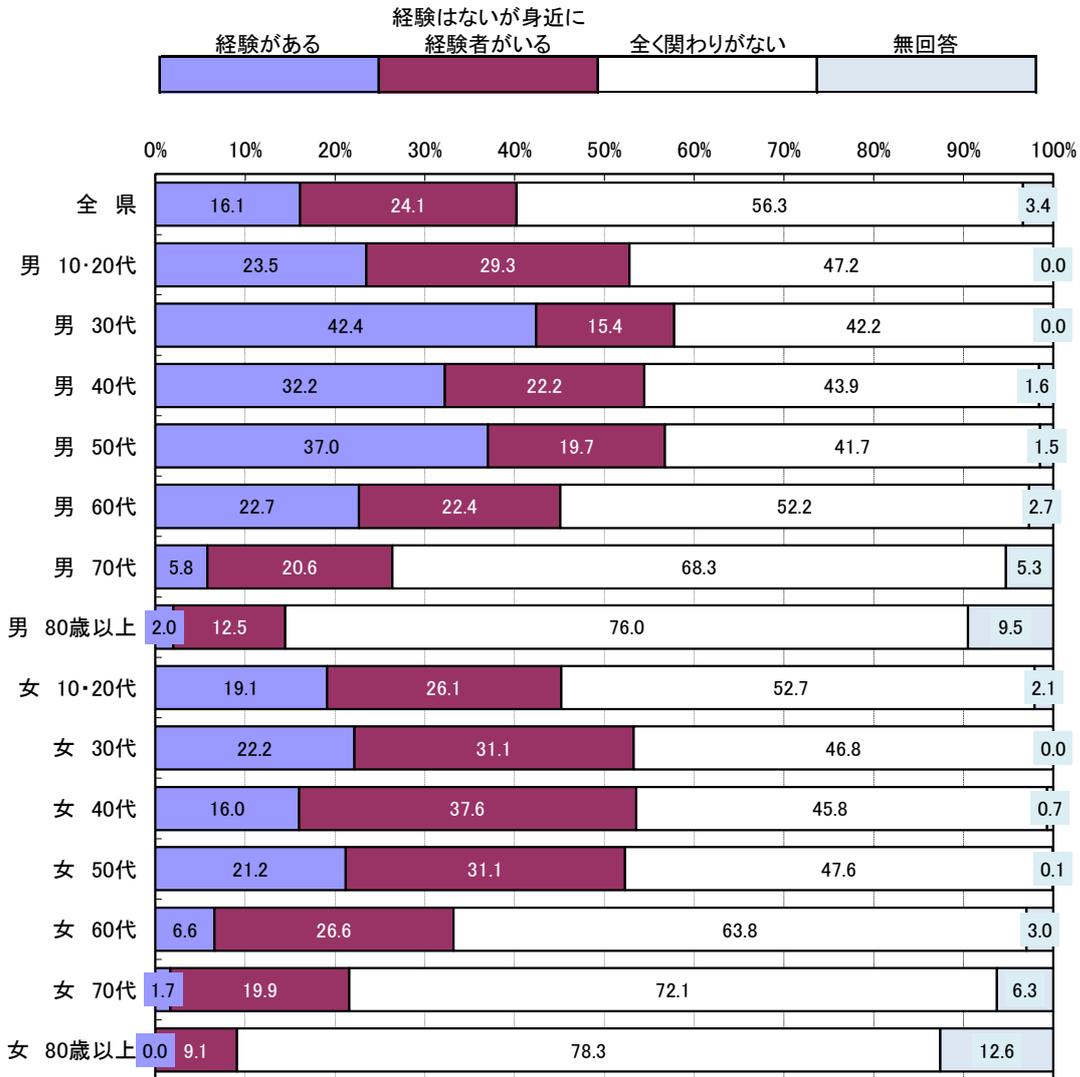
【年代別】

「経験がある」は30代で最も高い。



リモートワークの経験

【性・年代別】



問 14 リモートワークの頻度

問 14

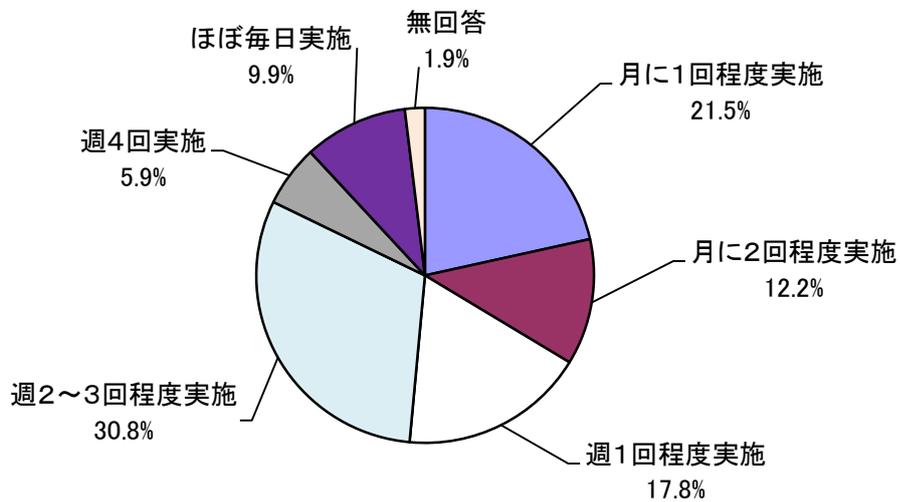
(問 13 で「1. 経験がある」を選択された方) リモートワークでのお仕事はどの程度の回数ですか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 月に 1 回程度実施
- 2 月に 2 回程度実施
- 3 週 1 回程度実施
- 4 週 2～3 回程度実施
- 5 週 4 回実施
- 6 ほぼ毎日実施

(問 13 で「1. 経験がある」を選択された方(全体の 16.1%)が回答)

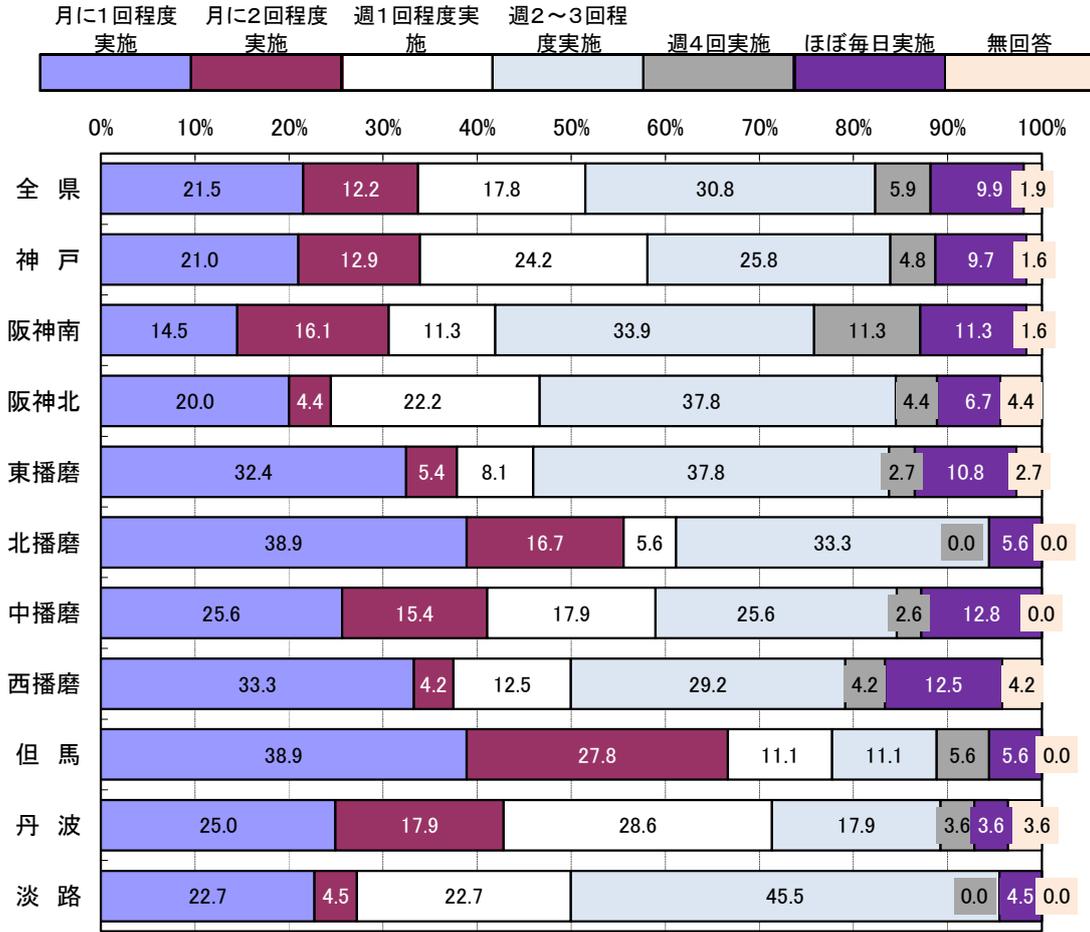
【全 県】

「週 2～3 回程度実施(30.8%)」が最も多い。

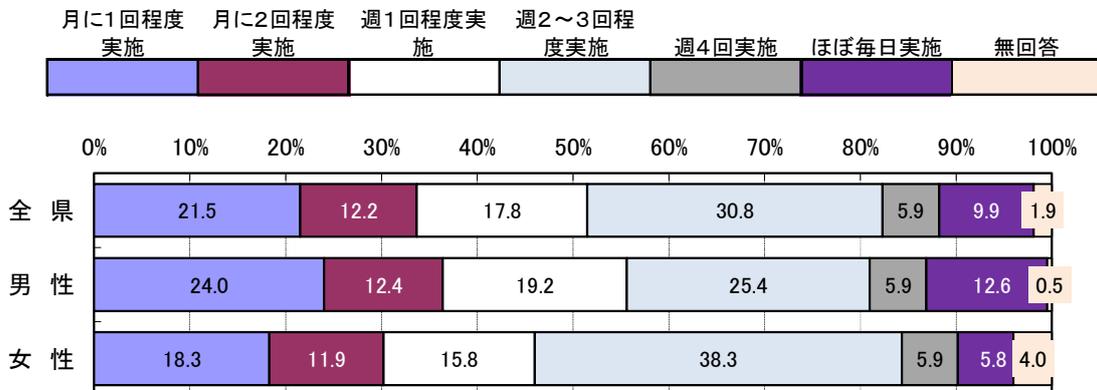


リモートワークの頻度

【地域別】

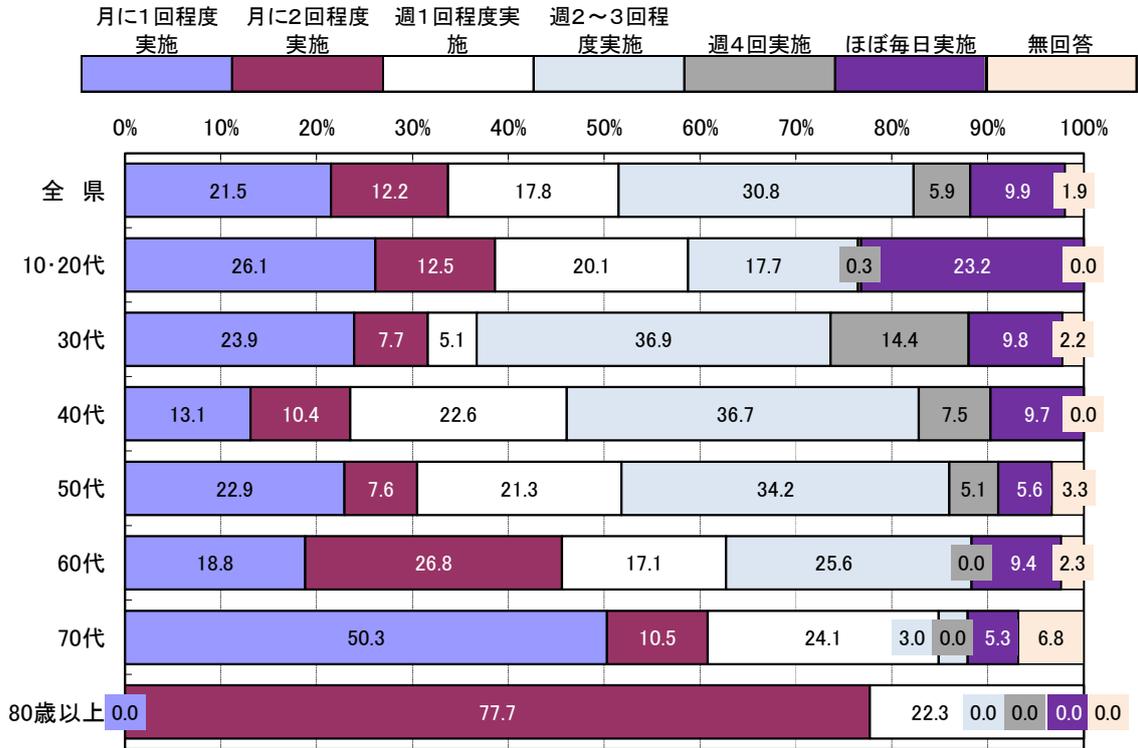


【性別】



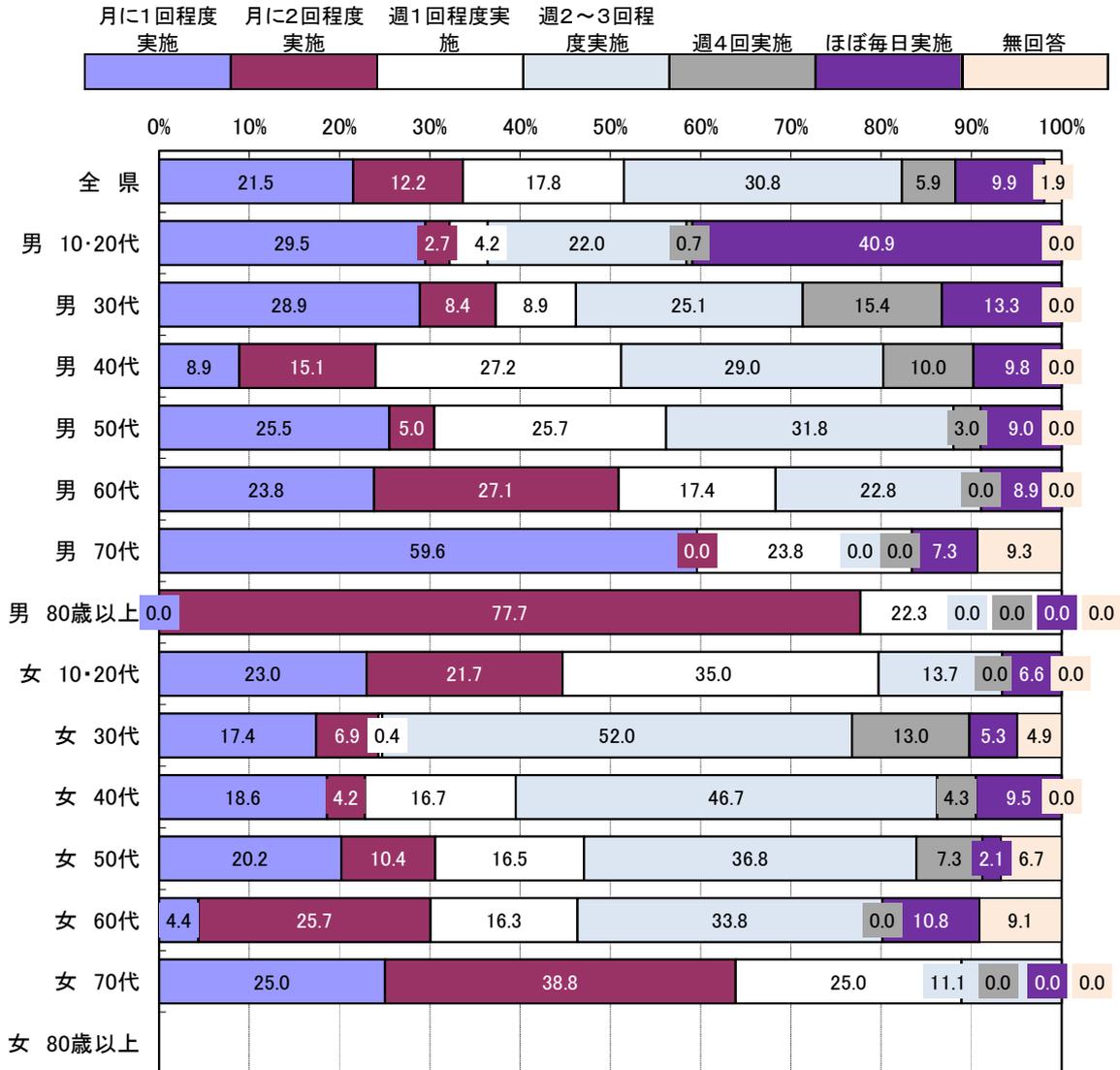
リモートワークの頻度

【年代別】



リモートワークの頻度

【性・年代別】



※80歳以上女性は回答対象者なし

問 15 リモートワークの課題

問 15

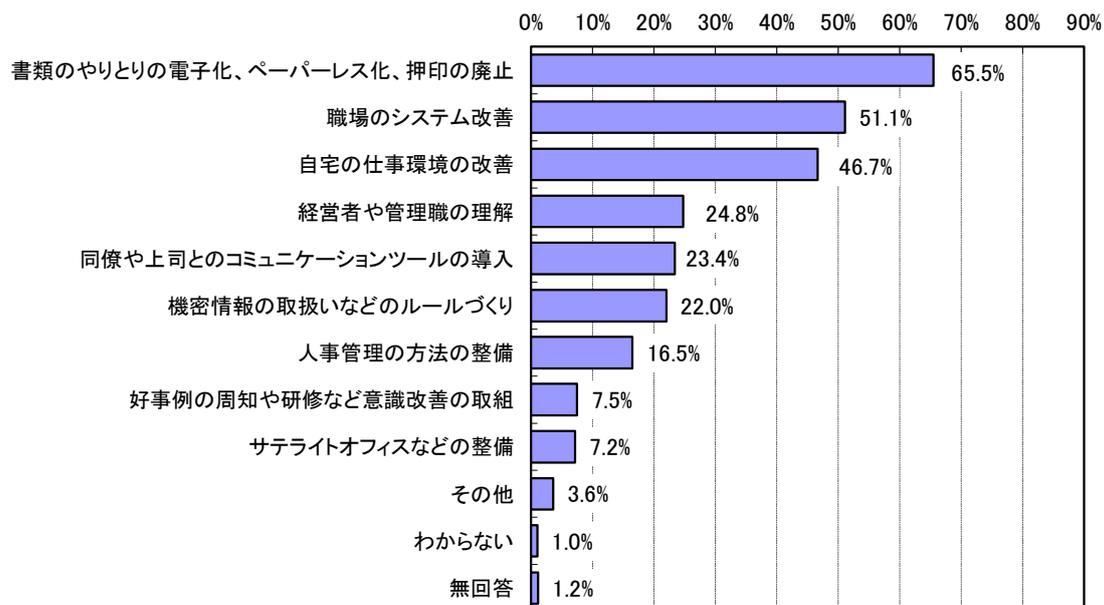
(問 13 で「1. 経験がある」を選択された方) リモートワークを進めるにあたって何が
必要だと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけて
ください。

- 1 書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止
- 2 職場のシステム改善
- 3 人事管理の方法の整備
- 4 経営者や管理職の理解
- 5 自宅の仕事環境の改善
- 6 機密情報の取扱いなどのルールづくり
- 7 同僚や上司とのコミュニケーションツールの導入
- 8 サテライトオフィスなどの整備
- 9 好事例の周知や研修など意識改善の取組
- 10 その他
- 11 わからない

(問 13 で「1. 経験がある」を選択された方(全体の 16.1%)が回答)

【全 県】

「書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止(65.5%)」が最も多く、「職場
のシステム改善(51.1%)」、「自宅の仕事環境の改善(46.7%)」が4割を超えている。



リモートワークの課題

【地域別】

区分	書類のやりとりの電子化、紙の廃止	職場のシステム改善	自宅の仕事環境の改善	経営者や管理職の理解	同僚や上司とのコミュニケーションの導入	機密情報の取扱いなどのルールづくり	人事管理の方法の整備	好事例の周知や研修など意識改善の取組	最大値	最小値	わからない	無回答	
									7.5	3.6			
全 県	65.5	51.1	46.7	24.8	23.4	22.0	16.5	7.5	7.2	3.6	1.0	1.2	
地域別	神 戸	66.1	45.2	46.8	22.6	17.7	19.4	22.6	8.1	8.1	6.5	1.6	1.6
	阪神南	71.0	59.7	48.4	29.0	30.6	21.0	11.3	6.5	1.6	0.0	0.0	
	阪神北	62.2	60.0	48.9	17.8	20.0	33.3	17.8	4.4	4.4	2.2	2.2	0.0
	東播磨	67.6	56.8	37.8	37.8	21.6	18.9	5.4	5.4	13.5	0.0	0.0	2.7
	北播磨	55.6	55.6	72.2	11.1	44.4	27.8	5.6	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0
	中播磨	56.4	35.9	46.2	25.6	30.8	25.6	23.1	12.8	12.8	2.6	0.0	2.6
	西播磨	50.0	41.7	29.2	4.2	16.7	8.3	8.3	12.5	16.7	4.2	8.3	4.2
	但 馬	61.1	44.4	55.6	22.2	11.1	27.8	22.2	11.1	5.6	11.1	0.0	0.0
	丹 波	53.6	35.7	46.4	17.9	28.6	17.9	17.9	10.7	10.7	0.0	0.0	0.0
	淡 路	63.6	36.4	45.5	18.2	22.7	22.7	4.5	4.5	22.7	4.5	0.0	0.0
地域間の差	21.0	24.3	43.0	33.6	33.3	25.0	18.6	8.4	21.1	11.1	8.3	4.2	

リモートワークの課題

【性別】

区分		書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止	職場のシステム改善	自宅の仕事環境の改善	経営者や管理職の理解	同僚や上司とのコミュニケーションの導入	機密情報の取扱いなどのルールづくり	人事管理の方法の整備	好事例の周知や研修など意識改善の取組	サテライトオフィスなどの整備	その他	わからない	無回答
全 県		65.5	51.1	46.7	24.8	23.4	22.0	16.5	7.5	7.2	3.6	1.0	1.2
性別	男 性	62.9	53.6	47.4	22.9	26.1	19.2	17.6	6.1	7.1	5.6	1.0	0.5
	女 性	69.5	47.4	45.5	26.9	19.9	26.0	15.1	9.4	7.3	1.0	1.1	2.0
性別間の差		6.6	6.2	1.9	4.0	6.2	6.8	2.5	3.3	0.2	4.6	0.1	1.5

【年代別】

区分		書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止	職場のシステム改善	自宅の仕事環境の改善	経営者や管理職の理解	同僚や上司とのコミュニケーションの導入	機密情報の取扱いなどのルールづくり	人事管理の方法の整備	好事例の周知や研修など意識改善の取組	サテライトオフィスなどの整備	その他	わからない	無回答
全 県		65.5	51.1	46.7	24.8	23.4	22.0	16.5	7.5	7.2	3.6	1.0	1.2
年代別	10・20代	75.8	55.2	44.6	19.6	16.0	11.7	3.3	0.0	6.6	0.0	0.0	2.6
	30代	79.0	51.8	40.4	35.0	29.8	19.0	21.6	1.7	4.1	3.0	0.4	0.0
	40代	69.4	41.6	43.8	27.5	21.9	24.2	8.9	4.2	11.7	6.0	0.0	0.4
	50代	61.3	56.6	51.6	23.7	27.7	24.7	25.3	12.6	9.0	6.0	0.0	2.1
	60代	45.3	55.4	46.0	16.1	16.6	29.3	19.6	10.2	2.1	0.0	4.4	0.0
	70代	57.6	38.4	60.7	12.7	19.5	8.9	0.0	17.3	5.3	0.0	6.8	5.3
	80歳以上	84.2	15.8	77.7	0.0	15.8	0.0	0.0	93.5	6.5	0.0	0.0	0.0
年代間の差		38.9	40.8	37.3	35.0	14.0	29.3	25.3	93.5	9.6	6.0	6.8	5.3

【性・年代別】

区分		書類のやりとり の電子化、ペー パレス化、押印の 廃止	職場のシステム 改善	自宅の仕事環境 の改善	経営者や管理職 の理解	同僚や上司との コミュニケーション の導入	機密情報の取扱い などのルールづく り	人事管理の方法 の整備	最大値	最小値	わからない	無回答	
									の好事例の周知 や研修など意識 改善	サテライトオフィス などの整備			その他
全 県		65.5	51.1	46.7	24.8	23.4	22.0	16.5	7.5	7.2	3.6	1.0	1.2
男性・ 年代別	10・20代	77.8	51.6	58.9	15.7	33.0	12.5	5.2	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	30代	75.8	47.1	41.7	33.9	34.9	13.9	26.6	0.5	1.9	5.4	0.0	0.0
	40代	66.1	49.6	40.7	25.4	23.9	17.0	6.7	0.0	13.2	7.5	0.0	0.7
	50代	59.2	63.5	45.9	24.9	31.7	22.4	22.4	8.1	11.6	11.6	0.0	0.0
	60代	43.8	60.9	48.9	17.4	11.0	31.5	26.4	10.0	2.3	0.0	5.2	0.0
	70代	61.7	28.9	72.7	0.0	23.8	0.0	0.0	23.7	7.3	0.0	0.0	7.3
	80歳以上	84.2	15.8	77.7	0.0	15.8	0.0	0.0	93.5	6.5	0.0	0.0	0.0
男性・年代間の差		40.4	47.7	37.0	33.9	23.9	31.5	26.6	93.5	12.2	11.6	5.2	7.3
女性・ 年代別	10・20代	73.8	58.6	31.1	23.3	0.0	10.8	1.6	0.0	11.8	0.0	0.0	5.0
	30代	83.1	57.7	38.8	36.5	23.3	25.6	15.4	3.2	6.9	0.0	1.0	0.0
	40代	73.8	31.1	47.9	30.2	19.3	33.6	11.9	9.8	9.8	4.1	0.0	0.0
	50代	63.6	49.3	57.7	22.4	23.5	27.2	28.4	17.4	6.2	0.0	0.0	4.4
	60代	49.6	39.3	37.4	12.2	32.6	22.8	0.0	10.8	1.3	0.0	2.2	0.0
	70代	46.7	63.8	28.3	46.7	7.9	32.9	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性・年代間の差		36.4	32.7	29.4	34.5	32.6	22.8	28.4	17.4	11.8	4.1	25.0	5.0

※80歳以上女性は回答対象者なし

問 16 リモートワークを行う場所

問 16

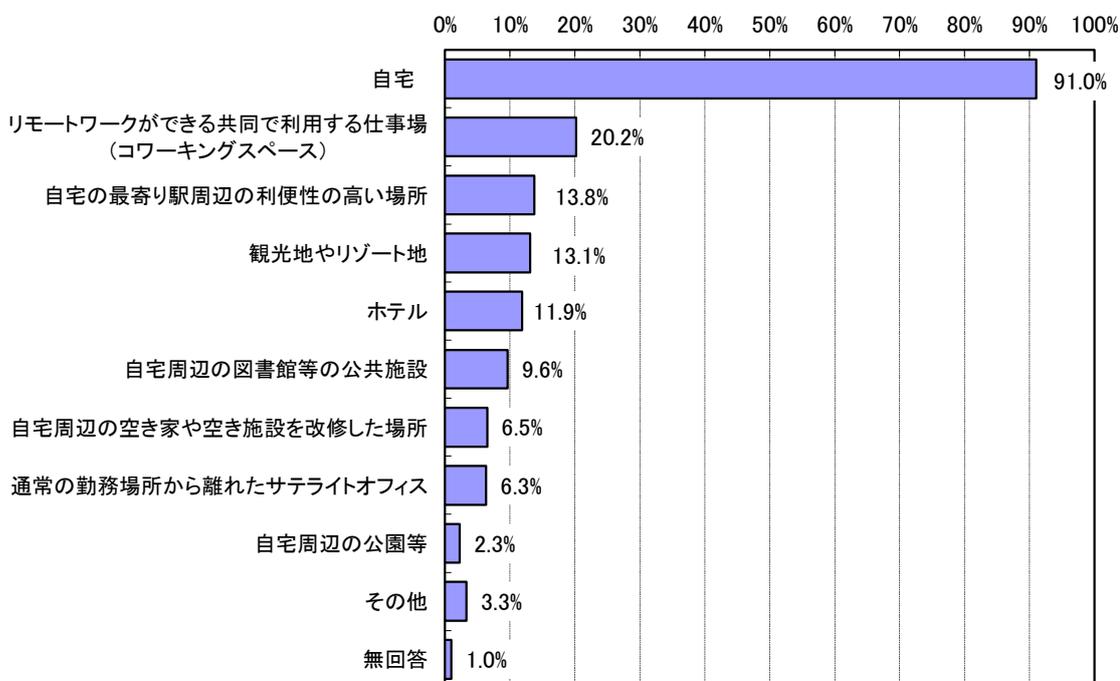
(問 13 で「1. 経験がある」を選択された方) リモートワークをする場合、どのような場所で行いたいですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 自宅
- 2 自宅の最寄り駅周辺の利便性の高い場所
- 3 自宅周辺の空き家や空き施設を改修した場所
- 4 自宅周辺の公園等
- 5 自宅周辺の図書館等の公共施設
- 6 通常の勤務場所から離れたサテライトオフィス
- 7 リモートワークができる共同で利用する仕事場(コワーキングスペース)
- 8 ホテル
- 9 観光地やリゾート地
- 10 その他

(問 13 で「1. 経験がある」を選択された方(全体の 16.1%)が回答)

【全 県】

「自宅(91.0%)」が最も多い。



リモートワークを行う場所

【地域別】

区分	自宅	リモートワークが できる共同 スペース	リモートワークが できる共同 スペース	自宅の最寄り 駅周辺の利便性 の高場所	観光地やリゾート地	ホテル	自宅周辺の図書館等の 公共施設	自宅周辺の空き家や 空き施設を 改修した場所	最大値	最小値	その他	無回答
									6.3	2.3		
全 県	91.0	20.2	13.8	13.1	11.9	9.6	6.5	6.3	2.3	3.3	1.0	
地域別	神 戸	90.3	21.0	16.1	6.5	12.9	12.9	6.5	1.6	1.6	4.8	1.6
	阪神南	98.4	14.5	11.3	19.4	9.7	1.6	4.8	8.1	3.2	1.6	0.0
	阪神北	91.1	20.0	17.8	17.8	13.3	13.3	11.1	11.1	2.2	2.2	0.0
	東播磨	91.9	21.6	13.5	16.2	8.1	10.8	2.7	8.1	2.7	2.7	0.0
	北播磨	88.9	27.8	0.0	5.6	0.0	22.2	0.0	16.7	0.0	5.6	0.0
	中播磨	79.5	28.2	12.8	17.9	20.5	10.3	10.3	7.7	2.6	2.6	2.6
	西播磨	58.3	33.3	8.3	0.0	12.5	16.7	12.5	8.3	0.0	4.2	8.3
	但 馬	77.8	22.2	0.0	11.1	11.1	11.1	5.6	16.7	0.0	16.7	0.0
	丹 波	92.9	21.4	14.3	14.3	7.1	7.1	3.6	7.1	7.1	0.0	0.0
	淡 路	90.9	18.2	4.5	4.5	4.5	0.0	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0
地域間の差	40.1	18.8	17.8	19.4	20.5	22.2	12.5	15.1	7.1	16.7	8.3	

リモートワークを行う場所

【性別】

区分		自宅	利用する仕事場（コワーキングスペース）	リモートワークができる共同で	高い場所	自宅の最寄り駅周辺の利便性の	観光地やリゾート地	ホテル	自宅周辺の図書館等の公共施設	改修した場所	自宅周辺の空き家や空き施設を	通常の勤務場所から離れたサテライトオフィス	自宅周辺の公園等	その他	無回答
全 県		91.0	20.2	13.8	13.1	11.9	9.6	6.5	6.3	2.3	3.3	1.0			
性別	男 性	91.3	23.0	14.6	15.2	9.8	11.4	8.9	7.3	3.4	3.0	0.5			
	女 性	90.6	16.4	12.6	10.3	14.7	7.1	3.2	5.0	0.7	3.7	1.6			
性別間の差		0.7	6.6	2.0	4.9	4.9	4.3	5.7	2.3	2.7	0.7	1.1			

【年代別】

区分		自宅	利用する仕事場（コワーキングスペース）	リモートワークができる共同で	高い場所	自宅の最寄り駅周辺の利便性の	観光地やリゾート地	ホテル	自宅周辺の図書館等の公共施設	改修した場所	自宅周辺の空き家や空き施設を	通常の勤務場所から離れたサテライトオフィス	自宅周辺の公園等	その他	無回答
全 県		91.0	20.2	13.8	13.1	11.9	9.6	6.5	6.3	2.3	3.3	1.0			
年代別	10・20代	90.0	14.3	24.7	3.5	10.1	11.0	4.9	5.8	0.0	4.6	0.0			
	30代	96.3	20.3	10.2	17.0	16.8	8.4	10.1	3.5	0.0	2.2	0.0			
	40代	87.7	26.2	16.8	12.0	15.3	10.6	11.4	4.2	3.9	5.8	0.4			
	50代	88.6	24.1	18.4	12.9	10.3	14.0	4.5	10.5	1.1	3.9	2.1			
	60代	96.2	12.4	2.1	14.5	5.8	2.3	0.0	5.5	4.2	0.0	0.6			
	70代	84.1	5.3	0.0	24.1	8.9	5.3	5.3	6.8	10.5	0.0	5.3			
	80歳以上	84.2	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0			
年代間の差		12.2	20.9	24.7	24.1	16.8	14.0	11.4	12.3	10.5	5.8	5.3			

リモートワークを行う場所

【性・年代別】

区分	自宅	リモートワークが できる共同 スペース	自宅の最寄り 駅周辺の利便性 の高い場所	観光地やリゾ ート地	ホテル	自宅周辺の 図書館等の公 共施設	改修した場 所	自宅周辺の 空き家や空き 施設を	最大値	最小値	その他	無回 答	(%)
									11.1	2.3			
全 県	91.0	20.2	13.8	13.1	11.9	9.6	6.5	6.3	2.3	3.3	1.0		
男性・ 年代別	10・20代	91.7	19.5	24.1	6.2	8.4	15.7	10.0	11.1	0.0	4.2	0.0	
	30代	94.2	28.9	15.5	20.2	24.6	5.8	18.0	1.1	0.0	0.0	0.0	
	40代	89.5	32.4	14.3	12.4	12.1	15.9	14.8	7.5	6.9	10.3	0.7	
	50代	89.4	23.5	24.3	14.5	4.1	18.1	4.1	11.6	0.0	1.5	0.0	
	60代	96.4	12.2	2.4	16.8	3.7	3.1	0.0	7.4	5.6	0.0	0.0	
	70代	78.2	7.3	0.0	23.7	0.0	7.3	7.3	0.0	14.4	0.0	7.3	
	80歳以上	84.2	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	
男性・年代間の差	18.2	25.1	24.3	23.7	24.6	18.1	18.0	15.8	14.4	10.3	7.3		
女性・ 年代別	10・20代	88.4	9.4	25.2	0.9	11.8	6.6	0.0	0.9	0.0	5.0	0.0	
	30代	99.0	9.5	3.6	13.0	6.9	11.8	0.0	6.5	0.0	4.9	0.0	
	40代	85.3	18.3	20.1	11.4	19.5	3.8	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	50代	87.7	24.8	12.2	11.2	16.9	9.6	4.8	9.3	2.3	6.5	4.4	
	60代	95.6	13.0	1.3	7.8	11.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	
	70代	100.0	0.0	0.0	25.0	32.9	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性・年代間の差	14.7	24.8	25.2	24.1	26.0	11.8	7.0	25.0	2.3	6.5	4.4		

※80歳以上女性は回答対象者なし

問 17 リモートワークによって生まれた時間の活用

問 17

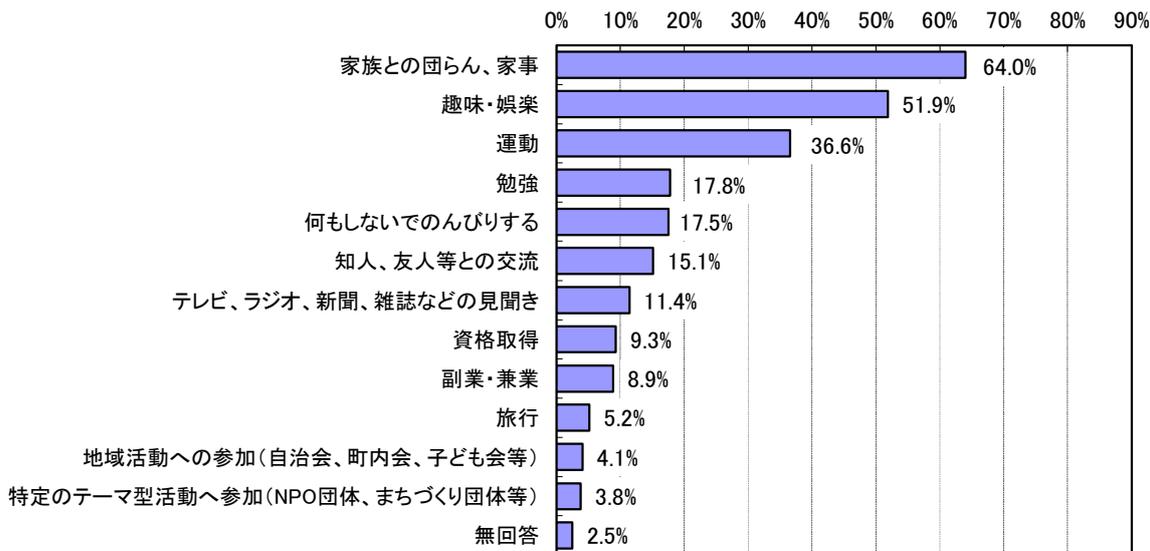
(問 13 で「1. 経験がある」を選択された方) コロナ禍を経験して、リモートワークによって生まれた時間を主に何に活用したいですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 地域活動への参加（自治会、町内会、子ども会等）
- 2 特定のテーマ型活動へ参加（NPO 団体、まちづくり団体等）
- 3 家族との団らん、家事
- 4 知人、友人等との交流
- 5 運動
- 6 趣味・娯楽
- 7 旅行
- 8 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き
- 9 副業・兼業
- 10 勉強
- 11 資格取得
- 12 何もしないでのんびりする

(問 13 で「1. 経験がある」を選択された方(全体の 16.1%)が回答)

【全 県】

「家族との団らん、家事(64.0%)」が最も多く、「趣味・娯楽(51.9%)」が続いている。



リモートワークによって生まれた時間の活用

【地域別】

区分	家族との団らん、家事	趣味・娯楽	運動	勉強	何もしないでのんびりする	知人、友人等との交流	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き	資格取得	副業・兼業	旅行	最大値	最小値	特定のテーマ型活動へ参加（NPO団体、まちづくりに参加）	無回答
											会、町内会、子ども会等	(%)		
全 県	64.0	51.9	36.6	17.8	17.5	15.1	11.4	9.3	8.9	5.2	4.1	3.8	2.5	
地域別	神 戸	72.6	51.6	37.1	21.0	16.1	17.7	8.1	14.5	6.5	1.6	3.2	4.8	1.6
	阪神南	64.5	56.5	40.3	16.1	19.4	11.3	14.5	3.2	11.3	4.8	6.5	3.2	4.8
	阪神北	55.6	48.9	33.3	20.0	15.6	15.6	8.9	8.9	13.3	4.4	2.2	0.0	2.2
	東播磨	59.5	40.5	32.4	16.2	27.0	13.5	13.5	8.1	5.4	5.4	0.0	0.0	0.0
	北播磨	55.6	61.1	27.8	16.7	16.7	27.8	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0
	中播磨	51.3	56.4	38.5	10.3	5.1	15.4	15.4	7.7	7.7	17.9	5.1	7.7	2.6
	西播磨	41.7	54.2	29.2	8.3	20.8	12.5	12.5	4.2	12.5	16.7	4.2	12.5	8.3
	但 馬	66.7	38.9	27.8	11.1	27.8	16.7	5.6	22.2	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0
	丹 波	57.1	46.4	35.7	21.4	17.9	10.7	14.3	7.1	3.6	10.7	7.1	0.0	0.0
	淡 路	59.1	50.0	27.3	22.7	31.8	13.6	13.6	4.5	9.1	4.5	13.6	9.1	0.0
地域間の差	30.9	22.2	13.0	14.4	26.7	17.1	16.6	19.0	13.1	16.3	13.6	12.5	8.3	

リモートワークによって生まれた時間の活用

【性別】

区分		家族との団らん、家事	趣味・娯楽	運動	勉強	何もしないでのんびりする	知人、友人等との交流	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き	資格取得	副業・兼業	旅行	町内会、子ども会等	地域活動への参加（自治会、NPO団体、まちづくり団体等）	特定のテーマ型活動へ参加（NPO団体、まちづくり団体等）	無回答
全 県		64.0	51.9	36.6	17.8	17.5	15.1	11.4	9.3	8.9	5.2	4.1	3.8	2.5	
性別	男 性	62.0	57.1	43.9	19.0	15.5	12.0	13.0	8.2	8.4	3.9	3.5	4.1	2.4	
	女 性	67.1	44.5	26.7	16.3	20.3	19.0	9.4	10.8	9.6	6.4	4.9	3.5	2.6	
性別間の差		5.1	12.6	17.2	2.7	4.8	7.0	3.6	2.6	1.2	2.5	1.4	0.6	0.2	

【年代別】

区分		家族との団らん、家事	趣味・娯楽	運動	勉強	何もしないでのんびりする	知人、友人等との交流	聞き	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見	資格取得	副業・兼業	旅行	子ども会等	地域活動への参加（自治会、町内会、NPO団体等）	特定のテーマ型活動へ参加（NPO団体等）	無回答
全 県		64.0	51.9	36.6	17.8	17.5	15.1	11.4	9.3	8.9	5.2	4.1	3.8	2.5		
年代別	10・20代	54.6	69.7	23.9	10.5	15.2	22.1	1.2	17.0	4.6	5.4	0.5	0.5	0.0		
	30代	69.8	47.3	33.6	25.2	12.5	21.4	6.0	11.5	20.3	5.8	0.2	0.9	0.0		
	40代	69.5	56.3	38.7	17.1	22.0	16.7	12.9	4.0	6.0	3.7	2.6	5.2	2.2		
	50代	63.9	46.5	37.3	21.4	22.3	9.1	11.0	10.1	7.1	4.4	3.2	1.7	3.7		
	60代	59.0	46.0	47.3	12.3	13.7	12.1	18.6	10.5	3.5	3.9	11.3	8.0	5.1		
	70代	51.4	63.1	22.6	5.3	6.8	7.7	24.0	0.0	14.6	15.8	17.3	15.8	5.3		
	80歳以上	77.7	22.3	77.7	0.0	0.0	0.0	77.7	0.0	0.0	0.0	15.8	15.8	0.0		
年代間の差		26.3	47.4	55.1	25.2	22.3	22.1	76.5	17.0	20.3	15.8	17.1	15.3	5.3		

リモートワークによって生まれた時間の活用

【性・年代別】

区分	家族との団らん、家事	趣味・娯楽	運動	勉強	何もしないでのんびりする	知人、友人等との交流	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き	資格取得	副業・兼業	旅行	最大値	最小値	特定のテーマ型活動へ参加（NPO団体、まちづくり団体等）	無回答
											地域活動への参加（自治会、町内会、子ども会等）	(%)		
全 県	64.0	51.9	36.6	17.8	17.5	15.1	11.4	9.3	8.9	5.2	4.1	3.8	2.5	
男性・年代別	10・20代	33.4	69.2	32.4	20.7	20.8	17.8	2.4	33.3	9.5	4.2	1.0	1.0	0.0
	30代	71.7	43.0	29.1	33.9	10.3	19.0	3.9	3.0	16.8	2.5	0.0	0.8	0.0
	40代	76.7	64.1	49.5	14.4	16.1	11.2	9.5	2.6	7.3	0.0	4.6	4.6	4.0
	50代	60.9	63.4	48.1	19.2	19.7	5.4	14.5	9.4	3.2	4.6	4.4	0.7	3.0
	60代	54.3	50.3	57.2	12.8	14.7	15.5	22.7	9.5	4.8	4.5	2.2	7.1	2.4
	70代	43.8	59.9	16.6	7.3	9.3	0.0	23.6	0.0	20.1	21.7	14.4	21.7	7.3
	80歳以上	77.7	22.3	77.7	0.0	0.0	0.0	77.7	0.0	0.0	0.0	15.8	15.8	0.0
男性・年代間の差	44.3	46.9	61.1	33.9	20.8	19.0	75.3	33.3	20.1	21.7	15.8	21.0	7.3	
女性・年代別	10・20代	74.4	70.2	15.9	0.9	10.0	26.1	0.0	1.6	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0
	30代	67.3	52.7	39.3	14.1	15.2	24.4	8.6	22.2	24.8	10.0	0.4	1.0	0.0
	40代	60.0	46.1	24.6	20.5	29.8	23.9	17.3	5.9	4.3	8.6	0.0	6.0	0.0
	50代	67.0	28.4	25.7	23.7	25.2	13.1	7.3	10.9	11.3	4.1	2.0	2.8	4.4
	60代	72.8	33.6	18.6	10.8	10.8	2.2	6.9	13.5	0.0	2.2	37.8	10.8	13.0
	70代	71.7	71.7	38.8	0.0	0.0	28.3	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性・年代間の差	14.4	43.3	23.4	23.7	29.8	26.1	25.0	22.2	24.8	10.0	37.8	10.8	13.0	

※80歳以上女性は回答対象者なし

問 18 インターネット等の活用

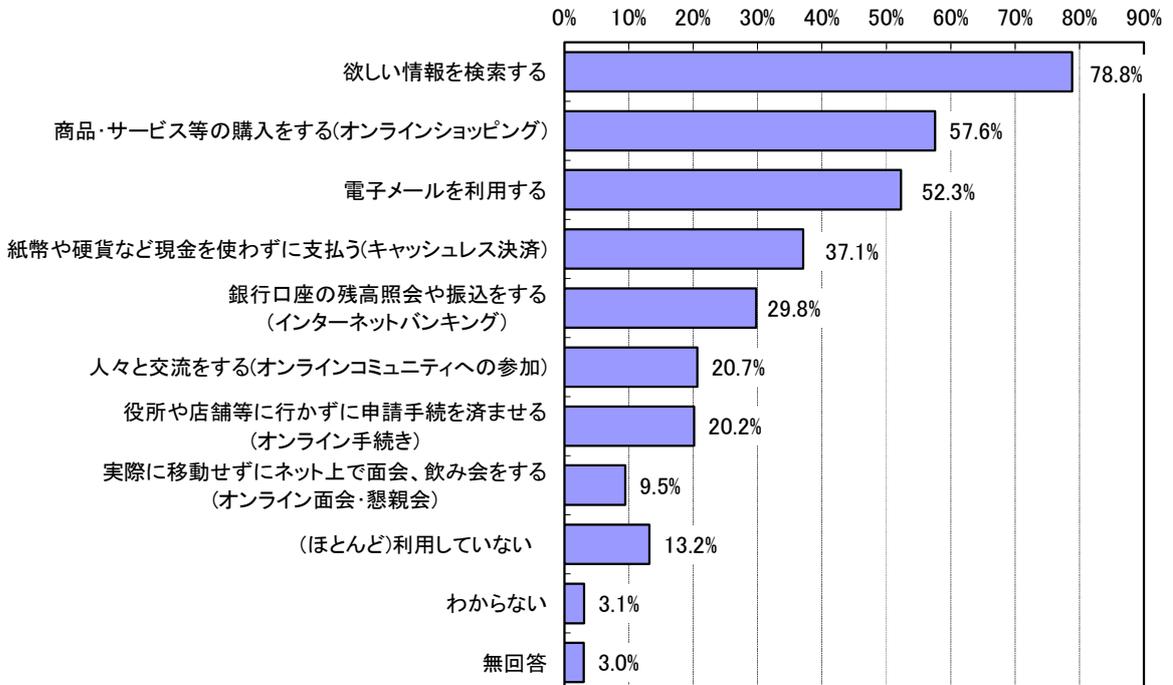
問 18

あなたは、暮らしの中でどのような時にインターネット、パソコン・スマートフォンを活用していますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 欲しい情報を検索する
- 2 電子メールを利用する
- 3 銀行口座の残高照会や振込をする(インターネットバンキング)
- 4 商品・サービス等の購入をする(オンラインショッピング)
- 5 紙幣や硬貨など現金を使わずに支払う(キャッシュレス決済)
- 6 役所や店舗等に行かずに申請手続きを済ませる(オンライン手続き)
- 7 人々と交流をする(オンラインコミュニティへの参加)
- 8 実際に移動せずにネット上で面会、飲み会をする(オンライン面会・懇親会)
- 9 (ほとんど)利用していない
- 10 わからない

【全 県】

「欲しい情報を検索する(78.8%)」が最も多く、「商品・サービス等の購入をする(57.6%)」「電子メールを利用する(52.3%)」が5割を超えている。



インターネット等の活用

【地域別】

インターネットを活用している選択肢についてはいずれも、神戸または阪神南が最も高くなっている。

区分	欲しい情報を検索する	商品・サービス等の購入をする (オンラインショッピング)	電子メールを利用する	紙幣や硬貨など現金を使わずに支払う (キャッシュレス決済)	銀行口座の残高照会や振込をする (インターネットバンキング)	人々と交流をする (オンラインコミュニティへの参加)	役所や店舗等に行かずに申請手続きを済ませる (オンライン手続き)	最大値	最小値	無回答		
								9.5	13.2			
全 県	78.8	57.6	52.3	37.1	29.8	20.7	20.2	9.5	13.2	3.1	3.0	
地域別	神 戸	81.0	61.6	53.1	40.8	31.6	26.9	23.5	11.6	13.6	2.4	2.4
	阪神南	83.0	63.5	61.0	42.2	37.5	22.0	22.7	9.7	10.5	1.4	2.2
	阪神北	81.4	58.8	55.1	34.9	31.2	19.6	23.3	11.3	13.0	1.3	4.3
	東播磨	76.9	56.9	52.2	40.1	30.4	17.1	19.4	9.0	12.0	5.0	2.3
	北播磨	77.8	51.2	45.8	33.7	24.2	18.9	13.8	6.7	13.8	4.4	2.7
	中播磨	75.2	50.7	48.3	31.8	26.2	14.2	19.2	7.9	13.6	4.3	4.3
	西播磨	72.7	51.1	42.3	25.5	17.1	18.0	8.7	7.2	16.2	5.1	3.3
	但 馬	68.8	43.8	37.8	22.2	15.9	12.5	11.3	3.4	18.4	6.6	6.3
	丹 波	65.8	41.7	38.4	20.2	14.6	14.6	7.1	2.7	21.4	4.8	3.3
淡 路	70.6	47.2	38.5	33.1	16.4	14.4	9.7	5.4	17.1	5.0	4.7	
地域間の差	17.2	21.8	23.2	22.0	22.9	14.4	16.4	8.9	10.9	5.3	4.1	

【性別】

区分		欲しい情報を検索する	商品・サービス等の購入をする (オンラインショッピング)	電子メールを利用する	紙幣や硬貨など現金を使わずに 支払う (キャッシュレス決済)	銀行口座の残高照会や振込をする (インターネットバンキング)	参加 (オンラインコミュニティへの参 加)	人々と交流をする (オンラインコミュニティへの参 加)	役所や店舗等に行かずに申請手 続を済ませる (オンライン手続き)	会、飲み会をする (オンライン面会・懇親会)	実際に移動せずにネット上で面 会、飲み会をする	(ほとんど)利用していない	わからない	無回答
全 県		78.8	57.6	52.3	37.1	29.8	20.7	20.2	9.5	13.2	3.1	3.0		
性別	男性	80.9	58.9	53.9	37.4	36.2	19.7	23.0	7.5	12.1	2.4	3.1		
	女性	78.8	57.6	52.0	37.6	25.9	21.6	18.7	11.1	13.4	3.6	2.5		
性別間の差		2.1	1.3	1.9	0.2	10.3	1.9	4.3	3.6	1.3	1.2	0.6		

【年代別】

「欲しい情報を検索する」は、10~50代では9割を超えている。

区分		欲しい情報を検索する	商品・サービス等の購入をする (オンラインショッピング)	電子メールを利用する	紙幣や硬貨など現金を使わずに 支払う (キャッシュレス決済)	銀行口座の残高照会や振込をする (インターネットバンキング)	参加 (オンラインコミュニティへの参 加)	人々と交流をする (オンラインコミュニティへの参 加)	役所や店舗等に行かずに申請手 続を済ませる (オンライン手続き)	会、飲み会をする (オンライン面会・懇親会)	実際に移動せずにネット上で面 会、飲み会をする	(ほとんど)利用していない	わからない	無回答
		最大値	最小値											
全 県		78.8	57.6	52.3	37.1	29.8	20.7	20.2	9.5	13.2	3.1	3.0		
年代別	10・20代	98.3	83.2	59.6	53.9	38.5	43.4	27.8	23.2	0.3	0.1	0.0		
	30代	97.9	84.6	70.0	59.0	48.7	33.7	30.3	22.3	0.1	0.4	0.7		
	40代	95.9	80.8	66.1	53.8	42.7	21.7	31.6	11.3	1.1	0.0	1.1		
	50代	92.3	72.7	71.1	45.0	39.8	20.9	22.9	9.9	5.2	0.5	0.7		
	60代	84.7	55.0	53.1	37.8	26.4	14.0	20.5	7.8	11.2	1.5	2.4		
	70代	59.0	28.2	35.2	14.2	14.2	14.9	8.3	1.7	26.2	7.8	4.2		
	80歳以上	30.9	13.7	12.2	8.2	5.7	11.0	5.7	0.6	44.4	10.7	10.7		
年代間の差		67.4	70.9	58.9	50.8	43.0	32.4	25.9	22.6	44.3	10.7	10.7		

インターネット等の活用

【性・年代別】

区分		最大値							最小値		無回答	(%)		
		欲しい情報を検索する	商品・サービス等の購入をする (オンラインショッピング)	電子メールを利用する	払う (キャッシュレス決済)	紙幣や硬貨など現金を使わずに支	銀行口座の残高照会や振込をする (インターネットバンキング)	加 (オンラインコミュニティへの参	人々と交流をする (オンラインコミュニケーションへの参	を済ませる (オンライン手続き)			役所や店舗等に行かずに申請手続	会、飲み会をする (オンライン面会・懇親会)
全 県		78.8	57.6	52.3	37.1	29.8	20.7	20.2	9.5	13.2	3.1	3.0		
男性・年代別	10・20代	98.1	75.2	61.7	50.1	46.2	49.5	29.2	16.3	0.3	0.0	0.0		
	30代	96.4	85.2	71.5	64.1	58.5	29.5	28.5	20.5	0.3	1.0	1.9		
	40代	92.5	75.4	57.6	49.4	42.8	14.1	31.0	4.1	2.5	0.0	1.7		
	50代	91.5	69.3	69.5	41.9	45.0	14.9	25.8	7.6	6.3	1.1	1.7		
	60代	86.1	59.7	58.4	43.0	37.7	19.7	25.2	9.7	8.0	1.9	2.9		
	70代	66.5	39.5	46.0	16.8	24.2	17.0	14.0	1.5	20.6	4.8	3.6		
	80歳以上	38.9	17.7	11.5	7.2	5.6	7.6	10.6	0.4	46.4	7.3	9.3		
男性・年代間の差		59.2	67.5	60.0	56.9	52.9	41.9	20.4	20.1	46.1	7.3	9.3		
女性・年代別	10・20代	98.4	89.3	58.0	56.8	32.6	38.7	26.7	28.6	0.3	0.2	0.0		
	30代	98.9	84.2	69.0	55.7	42.2	36.5	31.4	23.5	0.0	0.0	0.0		
	40代	98.0	84.2	71.6	56.6	42.5	26.6	32.0	16.0	0.2	0.0	0.7		
	50代	92.8	74.8	72.2	46.9	36.7	24.6	21.2	11.3	4.5	0.2	0.1		
	60代	83.3	50.6	49.2	32.9	17.2	9.4	16.8	6.3	14.0	1.2	1.9		
	70代	53.3	19.4	26.5	12.4	6.5	13.5	3.9	1.9	30.4	10.3	4.7		
	80歳以上	25.9	11.1	13.0	9.1	5.9	13.7	2.3	0.7	42.7	13.5	10.7		
女性・年代間の差		73.0	78.2	59.2	47.7	36.6	29.3	29.7	27.9	42.7	13.5	10.7		

問 19 行政手続きのオンライン化

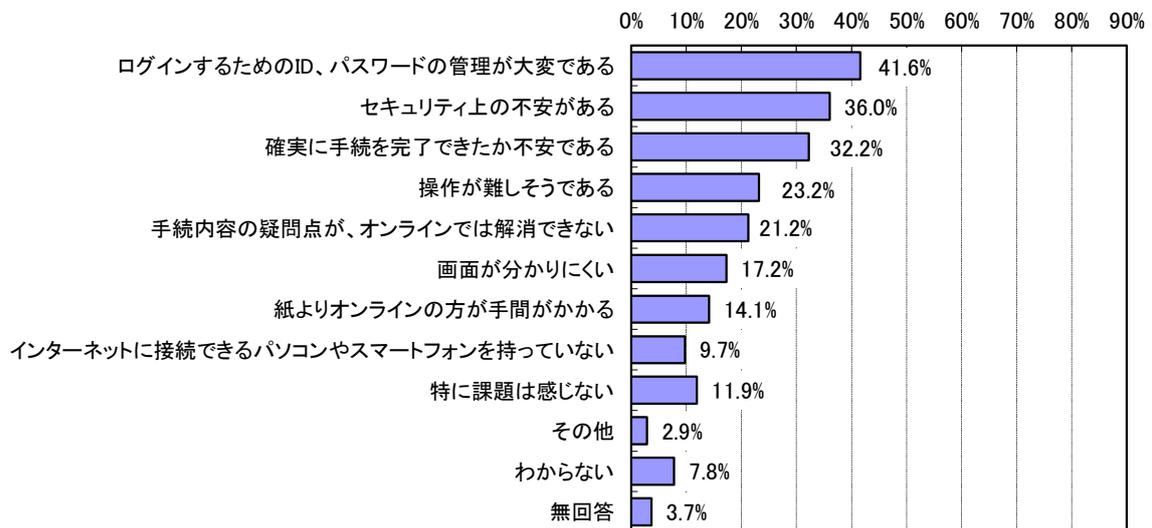
問 19

行政機関とのオンラインを通じた手続きについて、あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 インターネットに接続できるパソコンやスマートフォンを持っていない
- 2 操作が難しそうである
- 3 画面が分かりにくい
- 4 手続内容の疑問点が、オンラインでは解消できない
- 5 紙よりオンラインの方が手間がかかる
- 6 セキュリティ上の不安がある
- 7 ログインするための ID、パスワードの管理が大変である
- 8 確実に手続を完了できたか不安である
- 9 特に課題は感じない
- 10 その他
- 11 わからない

【全 県】

「ログインするための ID、パスワードの管理が大変である (41.6%)」が最も多い。



行政手続きのオンライン化

【地域別】

区分	スロウ ワイド の管理 がため の変 ID、 パ	セキュ リテイ 上の不 安があ る	確 実に手 続を完 了でき たか不 安であ る	操 作が難 しそうで ある	手 続内容 の疑問 点が、 オンラ イ	画 面が分 かりにく い	紙 より オンラ イ ンの方 が手間 がか かる	持 つてい ない イン ター ネッ トに 接 続 で き る	最大値	最小値	わ から ない	無 回 答	(%)
									特に課 題は感 じない	そ の 他			
全 県	41.6	36.0	32.2	23.2	21.2	17.2	14.1	9.7	11.9	2.9	7.8	3.7	
地域別	神 戸	42.2	35.7	32.7	21.4	22.8	19.7	15.3	7.8	12.9	3.7	8.2	4.1
	阪神南	44.0	37.2	33.6	20.6	18.4	17.0	13.7	8.3	14.1	2.5	5.1	2.9
	阪神北	42.5	37.5	31.2	22.6	23.3	17.6	15.3	9.3	11.3	3.3	7.6	3.3
	東播磨	40.5	36.1	31.8	24.1	21.1	15.7	11.7	12.7	15.1	2.0	7.4	2.3
	北播磨	40.7	37.0	32.3	30.0	22.6	14.8	15.5	11.8	7.4	1.0	8.1	6.1
	中播磨	42.7	36.1	33.8	25.8	23.5	19.2	14.2	10.3	7.6	3.3	8.6	3.0
	西播磨	37.2	33.9	29.7	26.1	15.6	8.4	13.5	11.1	9.6	2.1	11.4	4.5
	但 馬	33.1	26.6	27.5	24.7	17.8	15.3	10.9	12.8	10.9	2.8	12.5	5.9
	丹 波	34.2	32.1	27.1	24.1	18.5	14.6	11.6	12.8	7.1	2.1	11.0	7.1
	淡 路	39.1	38.5	31.8	28.1	19.4	14.7	14.0	13.7	7.4	2.0	9.4	5.4
地域間の差	10.9	11.9	6.7	9.4	7.9	11.3	4.6	5.9	8.0	2.7	7.4	4.8	

行政手続きのオンライン化

【性別】

「セキュリティ上の不安がある」で男女間の差が最も大きい（8.6ポイント差）。

区分		ログインするためのID、パスワードの管理が大変である	セキュリティ上の不安がある	確実に手続きを完了できたか不安である	操作が難しそうである	手続内容の疑問点がない、オンラインでは解消できない	画面が分かりにくい	紙よりオンラインの方が手間がかかる	持っているスマートフォンに接続できる	特に課題は感じない	その他	わからない	無回答
全 県		41.6	36.0	32.2	23.2	21.2	17.2	14.1	9.7	11.9	2.9	7.8	3.7
性別	男性	41.9	31.4	29.3	22.6	18.6	19.6	13.6	9.8	14.8	4.0	6.9	2.8
	女性	42.2	40.0	34.5	23.6	23.5	15.6	14.7	9.5	10.2	1.9	8.5	3.7
性別間の差		0.3	8.6	5.2	1.0	4.9	4.0	1.1	0.3	4.6	2.1	1.6	0.9

【年代別】

「ログインするためのID、パスワードの管理が大変である」は、年代とともに高くなり、60代で最も高くなっている。

区分		ログインするためのID、パスワードの管理が大変である	セキュリティ上の不安がある	確実に手続きを完了できたか不安である	操作が難しそうである	手続内容の疑問点がない、オンラインでは解消できない	画面が分かりにくい	紙よりオンラインの方が手間がかかる	持っているスマートフォンに接続できる	特に課題は感じない	その他	わからない	無回答
全 県		41.6	36.0	32.2	23.2	21.2	17.2	14.1	9.7	11.9	2.9	7.8	3.7
年代別	10・20代	39.7	29.0	27.9	13.7	19.7	12.9	5.7	1.4	24.9	2.4	11.5	0.6
	30代	40.4	36.0	31.6	13.7	24.2	20.6	12.6	1.4	18.4	3.6	4.1	1.6
	40代	44.6	45.9	34.4	12.0	21.7	16.0	11.6	2.1	15.1	3.8	6.9	1.5
	50代	53.6	44.5	29.3	18.9	26.4	22.3	16.6	1.6	11.2	3.6	6.1	1.1
	60代	56.2	43.1	43.4	29.5	26.7	20.0	18.0	5.7	7.3	1.6	4.0	2.8
	70代	32.1	29.0	31.8	33.8	17.6	14.2	17.5	20.5	9.2	2.0	10.1	5.9
	80歳以上	17.8	16.4	20.0	32.9	9.5	11.8	11.0	34.9	6.2	3.0	15.0	10.7
年代間の差		38.4	29.5	23.4	21.8	17.2	10.5	12.3	33.5	18.7	2.2	11.0	10.1

行政手続きのオンライン化

【性・年代別】

区分		ログインするためのID、パスワードの管理が大変である	セキュリティ上の不安がある	確実に手続きを完了できたか不安である	操作が難しそうである	手続内容の疑問点が、オンラインでは解消できない	画面が分かりにくい	紙よりオンラインの方が手間がかかる	最大値	最小値	わからない	無回答	
									特に課題は感じない	その他			(%)
全 県		41.6	36.0	32.2	23.2	21.2	17.2	14.1	9.7	11.9	2.9	7.8	3.7
男性・年代別	10・20代	39.5	31.6	28.8	16.6	19.3	19.0	9.7	0.2	23.8	2.2	11.0	0.0
	30代	37.7	35.2	21.6	16.4	23.7	20.7	13.2	2.3	17.4	8.6	4.1	1.4
	40代	47.8	40.3	31.5	13.0	16.1	20.6	10.0	3.9	18.7	5.6	4.5	1.6
	50代	53.2	35.9	30.5	17.5	22.8	22.4	16.4	2.5	11.3	5.3	8.8	2.3
	60代	53.1	36.3	39.3	25.5	20.8	23.2	13.0	5.5	12.4	0.9	2.7	3.1
	70代	33.3	24.5	29.8	31.5	18.1	17.8	17.9	12.7	15.5	3.3	8.4	4.1
	80歳以上	18.8	12.9	13.4	32.3	8.0	10.6	11.7	45.8	7.7	4.4	11.9	4.8
男性・年代間の差		34.4	27.4	25.9	19.3	15.7	12.6	8.2	45.6	16.1	7.7	9.2	4.8
女性・年代別	10・20代	39.9	27.1	27.2	11.5	20.0	8.2	2.7	2.3	25.7	2.6	11.8	1.1
	30代	42.2	36.5	38.2	12.0	24.6	20.6	12.2	0.8	19.1	0.4	4.0	1.7
	40代	42.4	49.5	36.3	11.3	25.3	13.1	12.6	0.9	12.7	2.7	8.5	1.5
	50代	53.9	49.8	28.5	19.8	28.6	22.2	16.7	1.1	11.0	2.6	4.5	0.4
	60代	58.3	49.2	47.3	33.1	32.0	17.6	22.2	5.9	3.1	2.3	5.1	2.6
	70代	31.5	33.0	33.3	36.0	17.4	11.5	16.9	26.6	4.2	0.9	11.1	7.3
	80歳以上	17.5	19.4	25.3	34.3	10.9	13.0	10.8	28.1	5.3	2.0	17.7	12.5
女性・年代間の差		40.8	30.4	22.0	24.7	21.1	14.0	19.5	27.3	22.6	2.3	13.7	12.1

問 20 学校におけるオンラインの活用

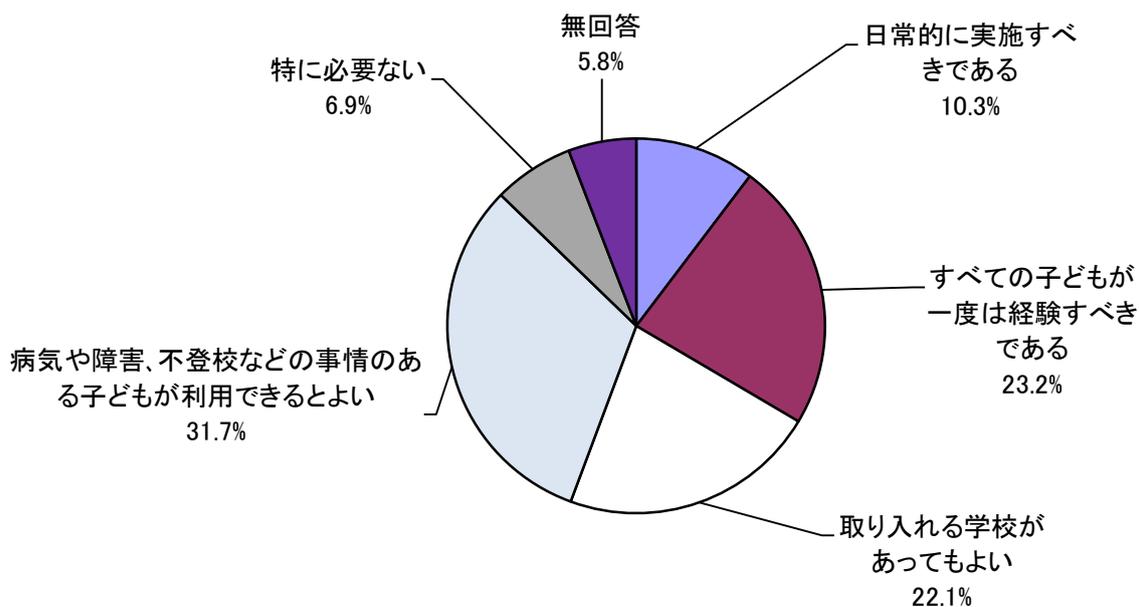
問 20

学校における遠隔授業やリモート交流について、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 日常的に実施すべきである
- 2 すべての子どもが一度は経験すべきである
- 3 取り入れる学校があってもよい
- 4 病気や障害、不登校などの事情のある子どもが利用できるとよい
- 5 特に必要ない

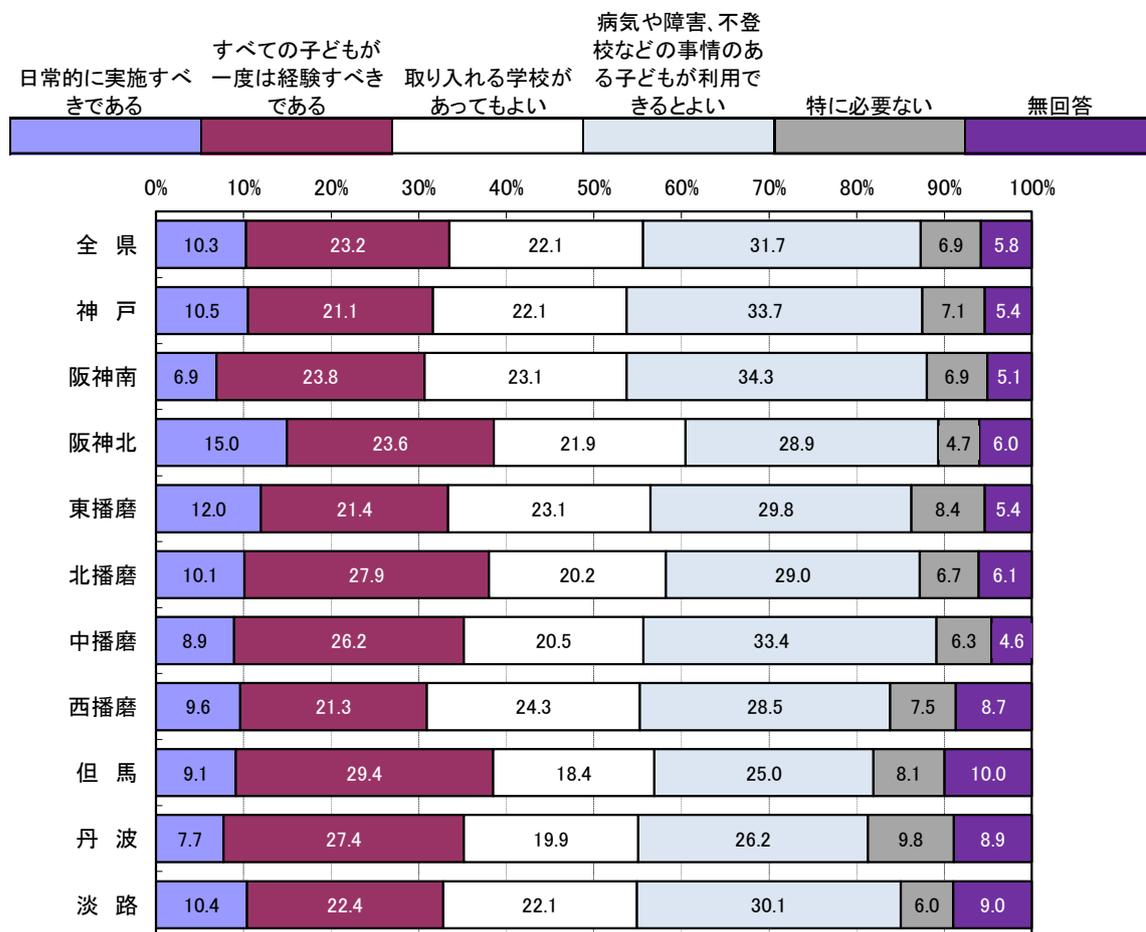
【全 県】

「病気や障害、不登校などの事情がある子どもが利用できるとよい(31.7%)」が最も多い。

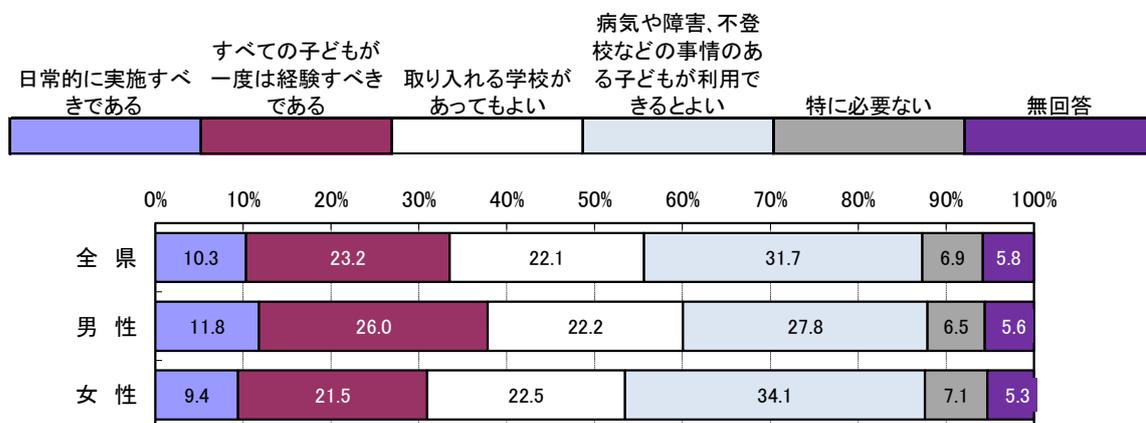


学校におけるオンラインの活用

【地域別】



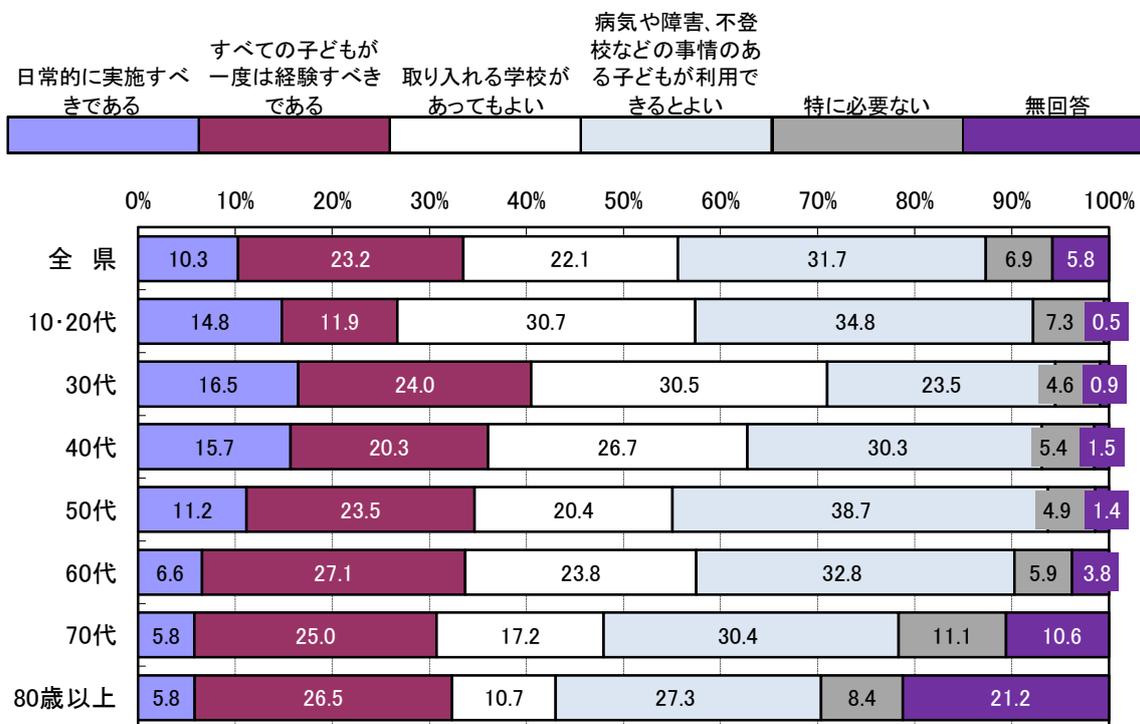
【性 別】



学校におけるオンラインの活用

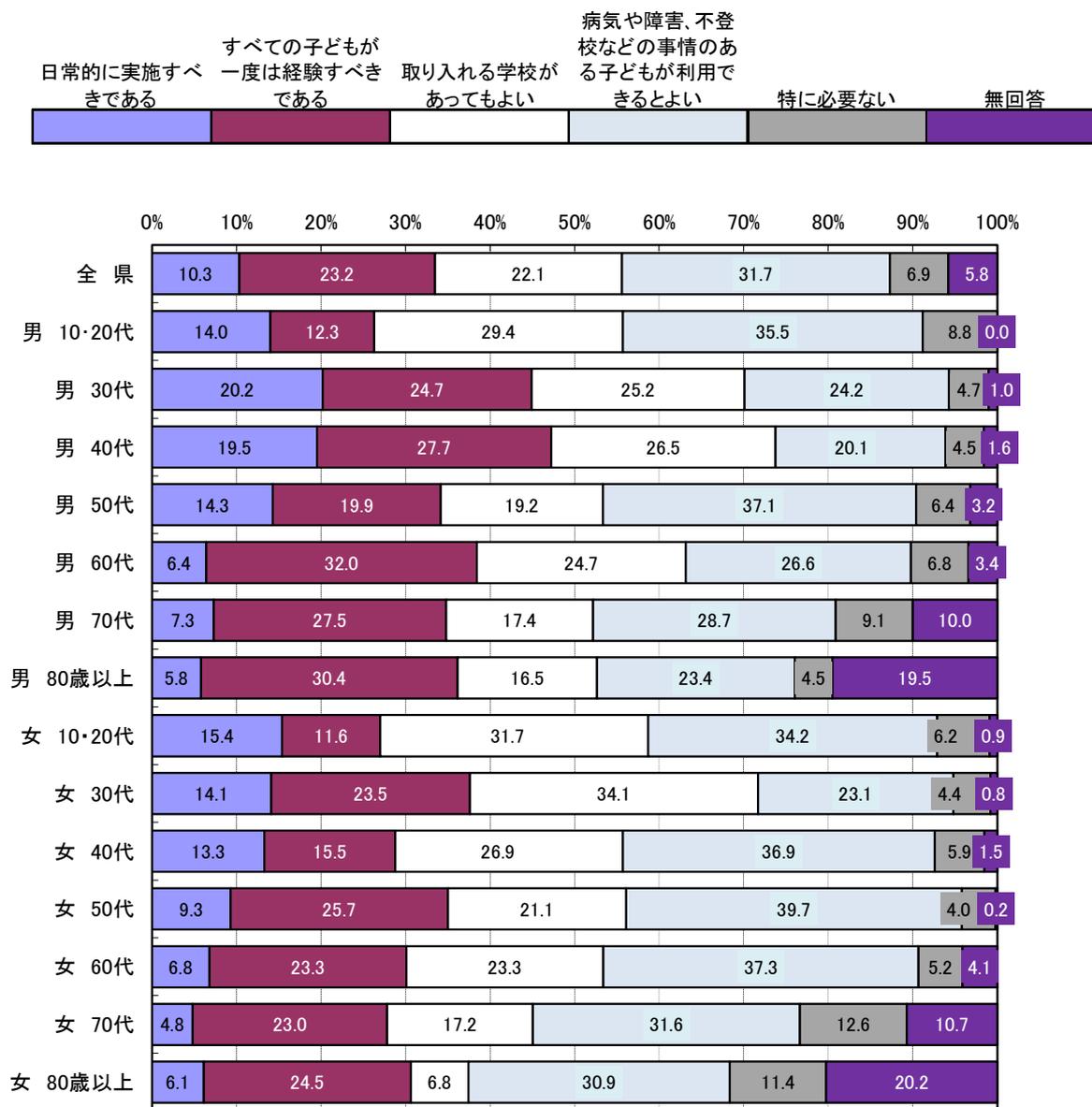
【年代別】

「日常的に実施すべきである」「取り入れる学校があってもよい」は年代間で差があり、年代が若くなるほど多い傾向となっている。



学校におけるオンラインの活用

【性・年代別】



問 21 美術館・博物館に求めること

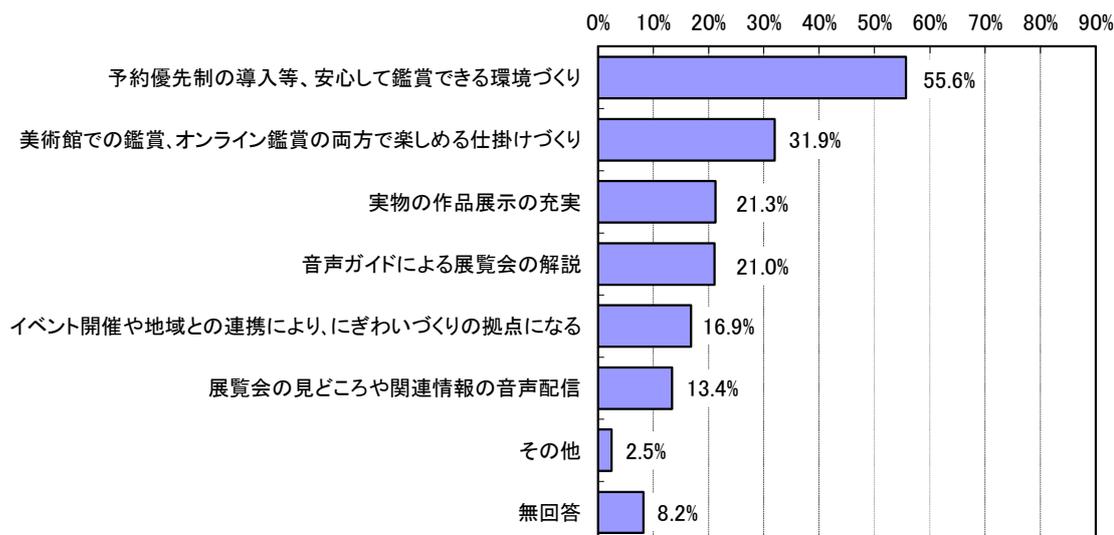
問 21

コロナ禍の経験をふまえ、これからの県立美術館・博物館はどのような対応をすればよいと思いますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 予約優先制の導入等、安心して鑑賞できる環境づくり
- 2 美術館での鑑賞、オンライン鑑賞の両方で楽しめる仕掛けづくり
- 3 イベント開催や地域との連携により、にぎわいづくりの拠点になる
- 4 音声ガイドによる展覧会の解説
- 5 展覧会の見どころや関連情報の音声配信
- 6 実物の作品展示の充実
- 7 その他

【全 県】

「予約優先制の導入等、安心して鑑賞できる環境づくり (55.6%)」が最も多い。



【地域別】

すべての地域で「予約優先制の導入等、安心して鑑賞できる環境づくり」が最も高い。

区分		最大値					最小値		無回答	(%)
		鑑賞できる環境づくり	予約優先制の導入等、安心して鑑賞できる環境づくり	美術館での鑑賞、オンライン鑑賞の両方で楽しむ、オンライン鑑賞	実物の作品展示の充実	音声ガイドによる展覧会の解説	よりイベント開催や地域の拠点になる	展覧会の見どころや関連情報の音声配信		
全 県		55.6	31.9	21.3	21.0	16.9	13.4	2.5	8.2	
地域別	神 戸	56.1	29.9	22.4	20.1	18.7	10.9	2.0	8.8	
	阪神南	58.5	34.7	21.3	22.4	14.1	11.9	1.1	6.1	
	阪神北	60.5	36.9	23.3	22.9	16.3	17.6	2.3	6.0	
	東播磨	55.2	31.1	22.1	20.4	17.7	12.4	3.3	6.7	
	北播磨	53.9	32.3	19.2	23.2	14.1	19.2	5.1	9.8	
	中播磨	49.0	30.5	22.8	23.5	21.9	18.5	3.0	7.6	
	西播磨	54.7	32.1	14.1	16.8	12.3	11.7	3.6	13.2	
	但 馬	50.0	25.9	12.5	12.5	14.7	8.1	4.1	16.6	
	丹 波	46.1	28.9	21.4	21.7	15.2	10.7	1.2	14.6	
	淡 路	52.2	26.4	14.0	18.4	12.7	13.7	4.0	11.0	
地域間の差		14.4	11.0	10.8	11.0	9.6	11.1	4.0	10.6	

【性別】

「予約優先制の導入等、安心して鑑賞できる環境づくり」で最も男女間の差が大きく、女性の方が男性よりも12.1ポイント高くなっている。

(%)

区分		予約優先制の導入等、安心して鑑賞できる環境づくり	美術館での鑑賞、オンライン鑑賞の両方で楽しめる仕掛けづくり	実物の作品展示の充実	音声ガイドによる展覧会の解説	イベント開催や地域との連携による、にぎわいづくりの拠点になる	展覧会の見どころや関連情報の音声配信	その他	無回答
全 県		55.6	31.9	21.3	21.0	16.9	13.4	2.5	8.2
性別	男 性	48.9	33.5	21.7	21.7	18.5	13.1	3.3	8.8
	女 性	61.0	31.2	21.3	21.0	16.0	13.9	1.9	7.2
性別間の差		12.1	2.3	0.4	0.7	2.5	0.8	1.4	1.6

【年代別】

区分		最大値 最小値 (%)							
		賞 予約 できる 環境 づくり	美術 館で の鑑 賞、 オン ライ ン鑑 賞	実物 の作 品展 示の 充実	音 声 ガイ ドに よる 展覧 会の 解説	リ イ ベ ン ト に ぎ わ い づ く り の 拠 点 に よ る	展 覧 会 の 見 ど こ ろ や 関 連 情 報 の 音 声 配 信	そ の 他	無 回 答
全 県		55.6	31.9	21.3	21.0	16.9	13.4	2.5	8.2
年 代 別	10・20代	68.5	42.9	18.2	15.1	22.2	9.9	0.5	1.3
	30代	71.8	30.5	15.6	18.5	23.4	10.2	1.8	1.0
	40代	64.9	36.5	20.3	19.0	15.9	11.6	2.4	4.1
	50代	62.1	34.8	20.1	19.0	17.4	9.9	3.0	3.9
	60代	53.5	34.6	25.7	25.0	16.4	17.9	0.8	6.1
	70代	40.4	25.5	24.4	24.0	15.5	16.2	3.6	14.6
	80歳以上	38.2	21.5	21.6	24.7	11.7	16.2	4.6	23.2
年代間の差		33.6	21.4	10.1	9.9	11.7	8.0	4.1	22.2

【性・年代別】

区分		最大値				最小値			(%)
		賞予 できる 環境の づくり	の美術 館での 鑑賞、 オン ライ ン鑑 賞	実物 の作 品展 示の 充実	音 声 ガ イ ド に よ る 展 覧 会 の 解 説	リ イ ベ ン ト 開 催 や 地 域 と の 連 携 に よ る に ぎ わ い づ く り の 拠 点 に な る よ	展 覧 会 の 見 ど こ ろ や 関 連 情 報 の 音 声 配 信	そ の 他	
全 県		55.6	31.9	21.3	21.0	16.9	13.4	2.5	8.2
男性・ 年代別	10・20代	63.0	44.3	22.3	12.6	22.8	7.3	0.6	0.3
	30代	57.7	29.9	13.5	12.9	28.2	10.7	4.6	1.4
	40代	52.6	35.9	19.6	16.6	18.2	7.4	1.8	6.1
	50代	56.8	32.2	23.5	18.5	15.7	9.1	5.8	5.3
	60代	47.7	39.5	27.4	27.1	20.9	16.6	0.3	6.9
	70代	37.5	28.5	21.6	27.1	14.7	18.1	4.5	14.5
	80歳以上	36.7	25.8	19.6	29.7	13.1	18.5	5.8	23.3
男性・年代間の差		26.3	18.5	13.9	17.1	15.1	11.2	5.5	23.0
女性・ 年代別	10・20代	72.7	41.9	15.1	16.9	21.7	11.9	0.4	2.0
	30代	81.3	31.0	17.0	22.3	20.3	9.8	0.0	0.7
	40代	72.8	36.9	20.7	20.5	14.4	14.3	2.8	2.8
	50代	65.3	36.3	18.0	19.3	18.4	10.3	1.4	3.1
	60代	58.9	30.8	23.6	23.6	12.7	19.2	1.3	5.5
	70代	42.2	23.6	26.8	21.4	16.1	14.9	2.9	14.7
	80歳以上	40.3	19.0	23.7	21.8	11.0	14.9	3.8	21.1
女性・年代間の差		41.0	22.9	11.7	6.7	10.7	9.4	3.8	20.4

2 毎年調査項目

問 22 今の生活全般での満足度

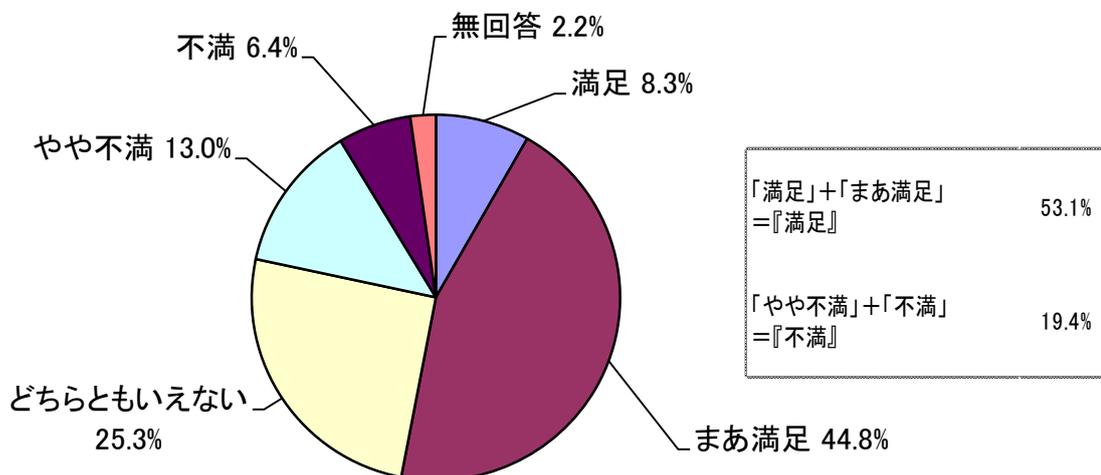
問 22

あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない
4 やや不満 5 不満

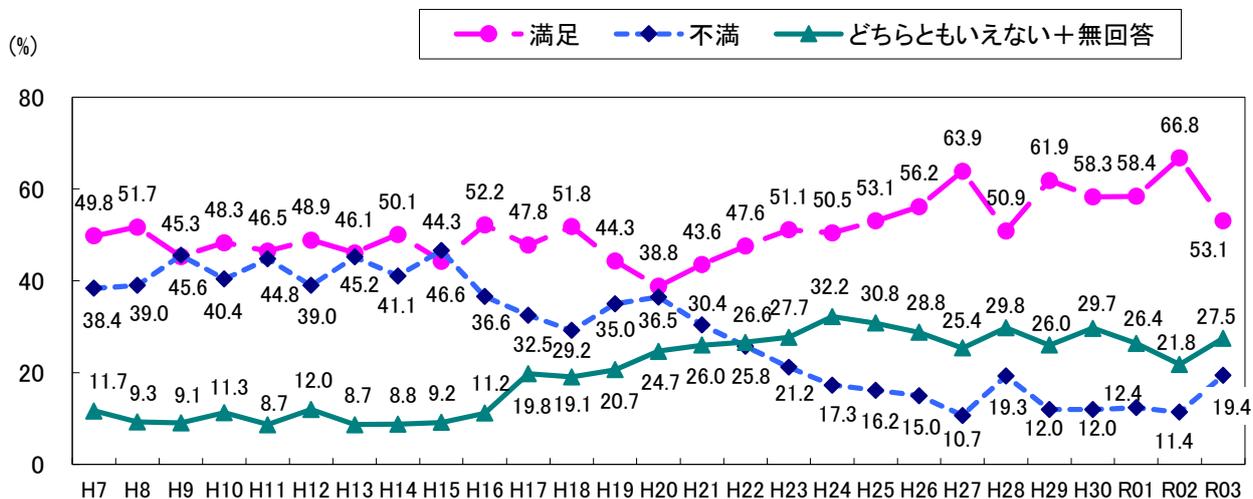
【全県】

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足(53.1%)』が、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満(19.4%)』を33.7ポイント上回っている。



【経年比較】

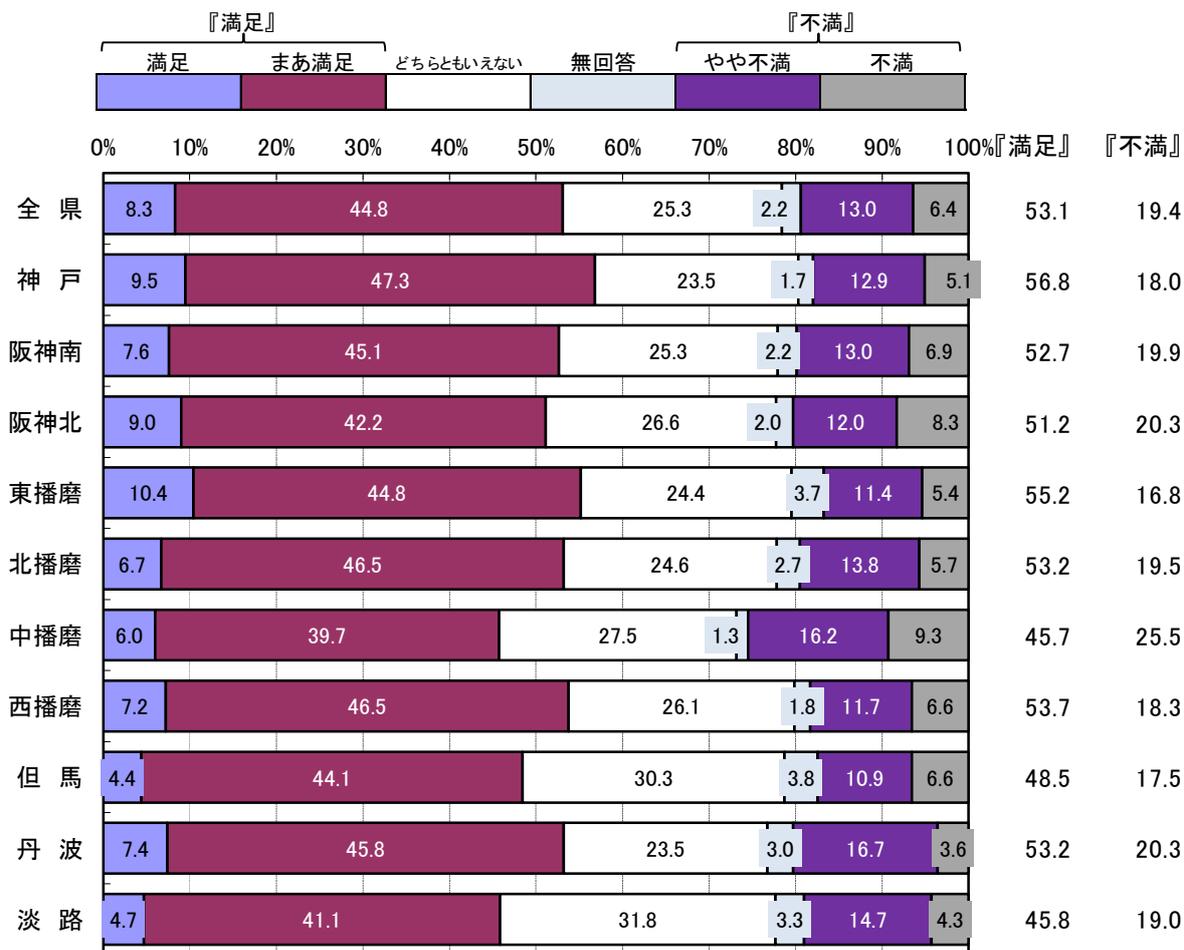
『満足』は前年より13.7ポイント減少、『不満』は8.0ポイント増加となった。



今の生活全般での満足度

【地域別】

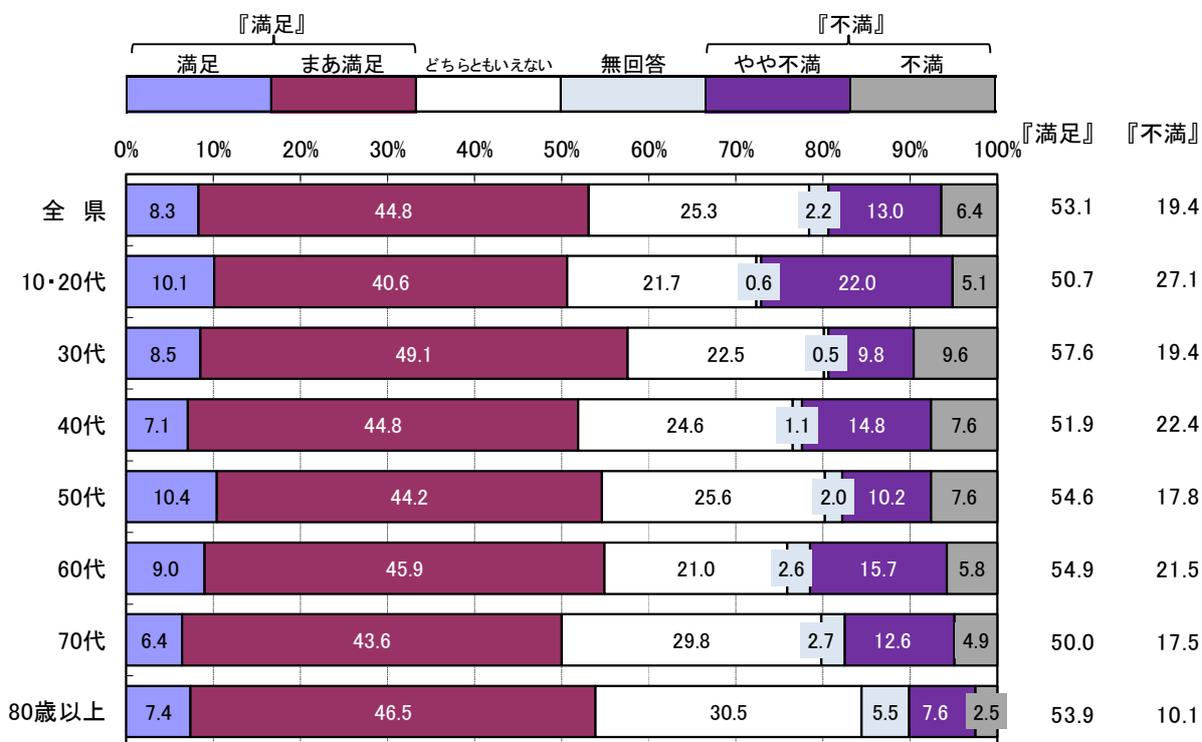
『満足』は神戸が最も高く、東播磨、北播磨、西播磨、丹波が全県を上回った。



今の生活全般での満足度

【年代別】

70代の『満足(50.0%)』が前年より最も減少し(21.3ポイント減)、60代の『不満(21.5%)』が前年より最も増加した(13.8ポイント増)。

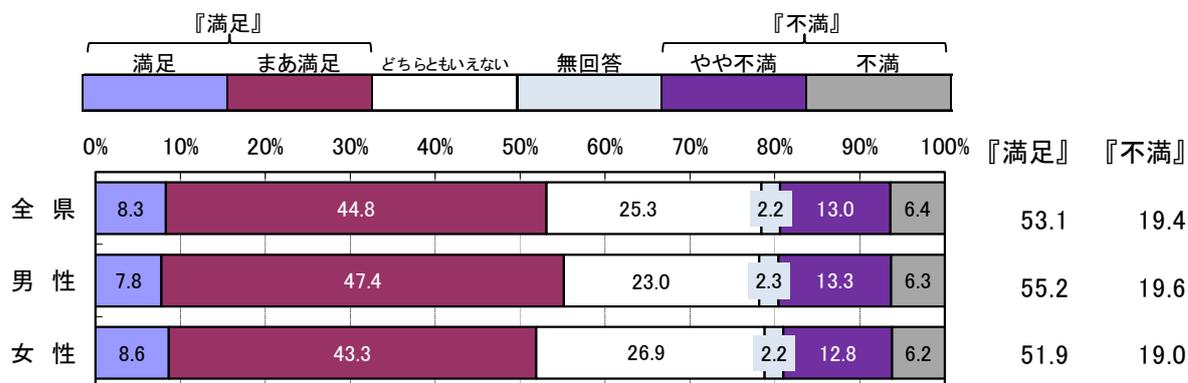


区分	『満足』		R03-R02	『不満』		R03-R02
	R03	R02		R03	R02	
全県	53.1	66.8	-13.7	19.4	11.4	8.0
10・20代	50.7	64.0	-13.3	27.1	16.5	10.6
30代	57.6	64.4	-6.8	19.4	17.2	2.2
40代	51.9	65.6	-13.7	22.4	15.1	7.3
50代	54.6	64.3	-9.7	17.8	13.1	4.7
60代	54.9	68.7	-13.8	21.5	7.7	13.8
70代	50.0	71.3	-21.3	17.5	8.1	9.4
80歳以上	53.9	68.3	-14.4	10.1	6.4	3.7

今の生活全般での満足度

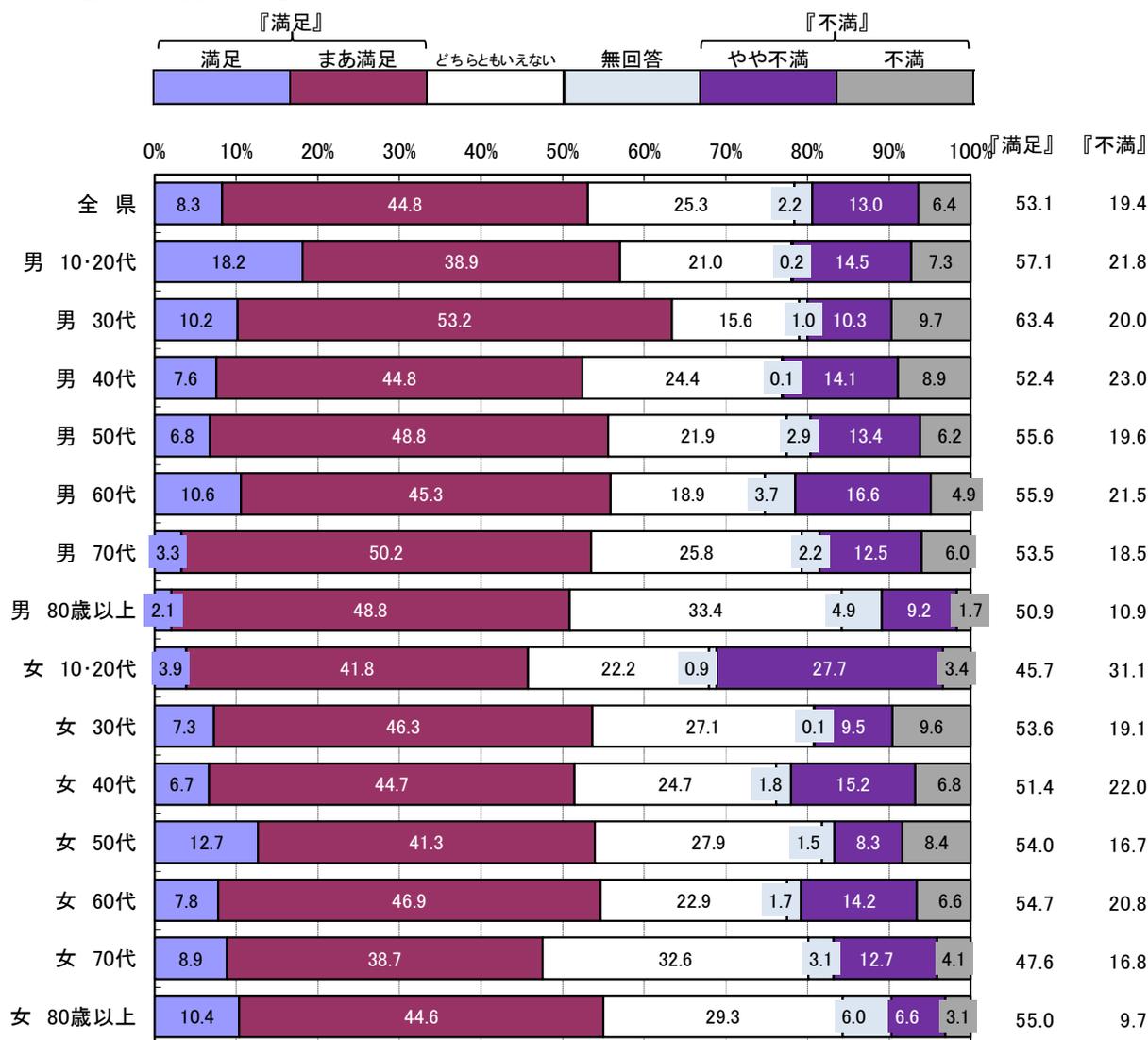
【性別】

『満足』は、男性が女性より3.3ポイント高い。



【性・年代別】

男性、女性ともに、全ての世代で『満足』が『不満』を上回り、最も『満足』が高いのは、男性は30代、女性は80歳以上となった。



問 23 今の生活の項目別での満足度

問 23

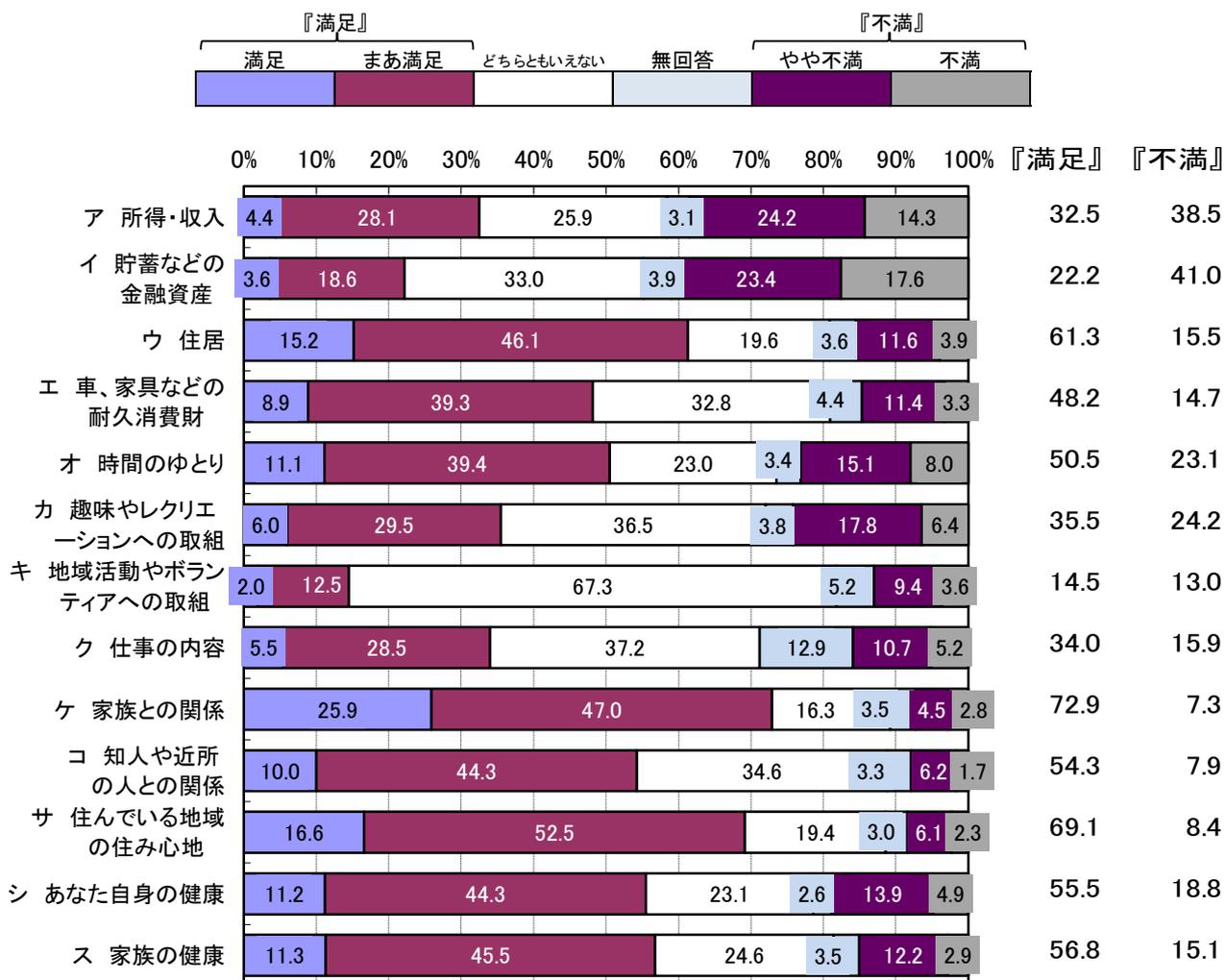
あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれどの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| ア 所得・収入 | ク 仕事の内容 |
| イ 貯蓄などの金融資産 | ケ 家族との関係 |
| ウ 住居 | コ 知人や近所の人との関係 |
| エ 車、家具などの耐久消費財 | サ 住んでいる地域の住み心地 |
| オ 時間のゆとり | シ あなた自身の健康 |
| カ 趣味やレクリエーションへの取組 | ス 家族の健康 |
| キ 地域活動やボランティアへの取組 | |

1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

【全県】

『満足』は、「ケ 家族との関係(72.9%)」が最も高く、続いて「サ 住んでいる地域の住み心地(69.1%)」、「ウ 住居(61.3%)」と続いている。

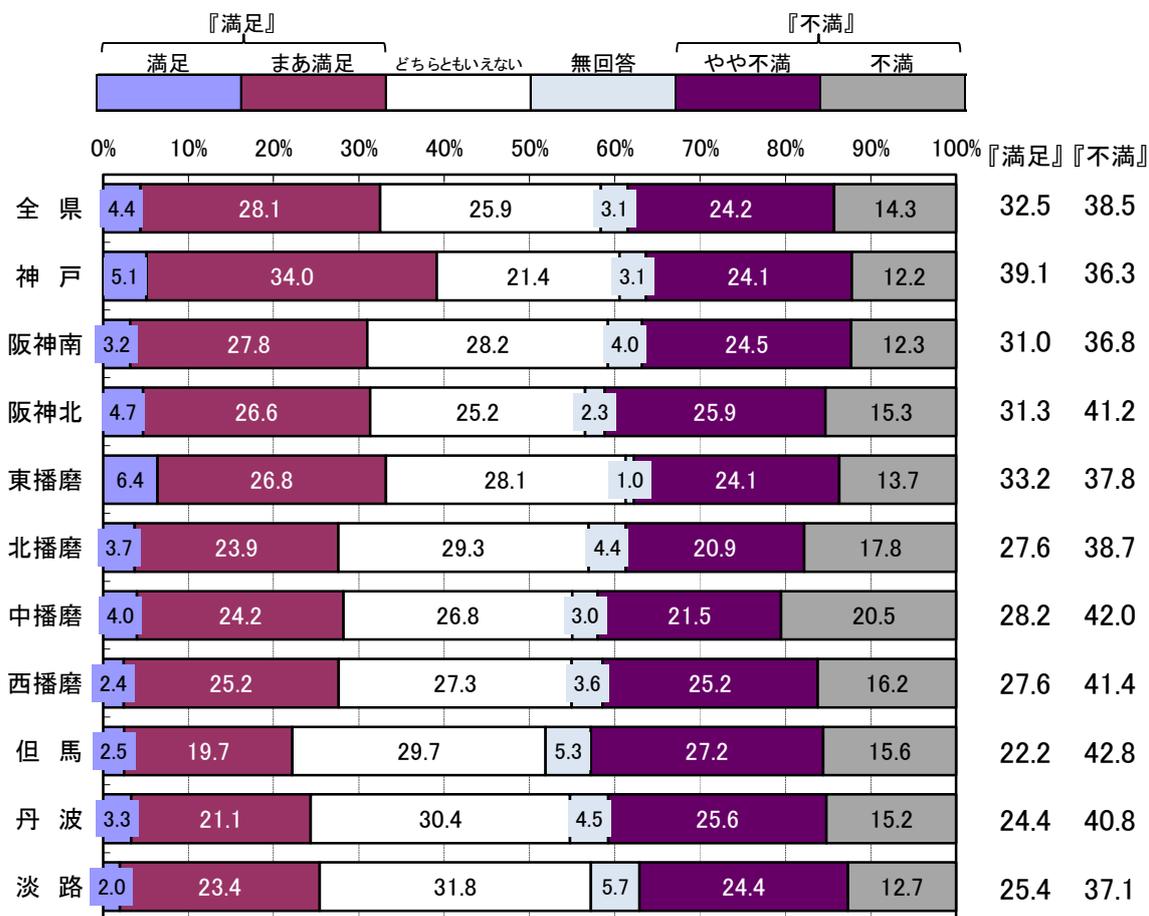


今の生活の項目別での満足度-所得・収入

〔ア 所得・収入〕

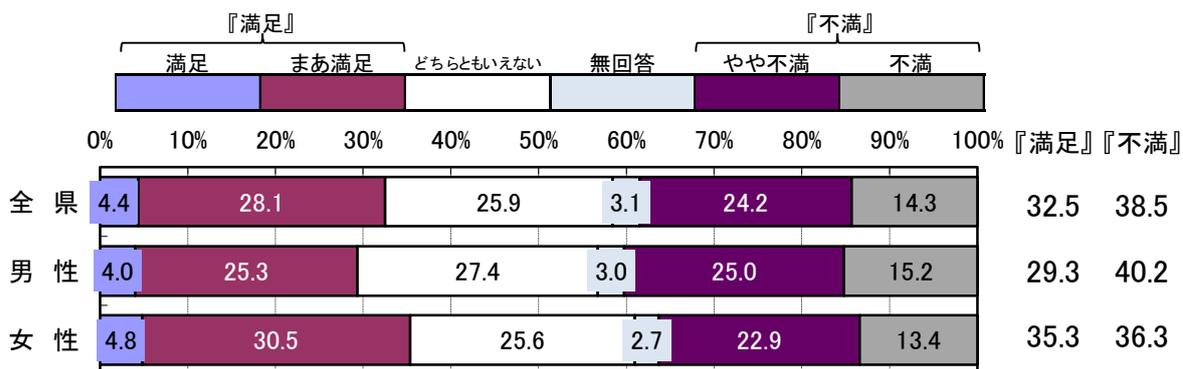
【地域別】

『満足』は神戸が最も高く、東播磨、阪神北が続いている。



【性別】

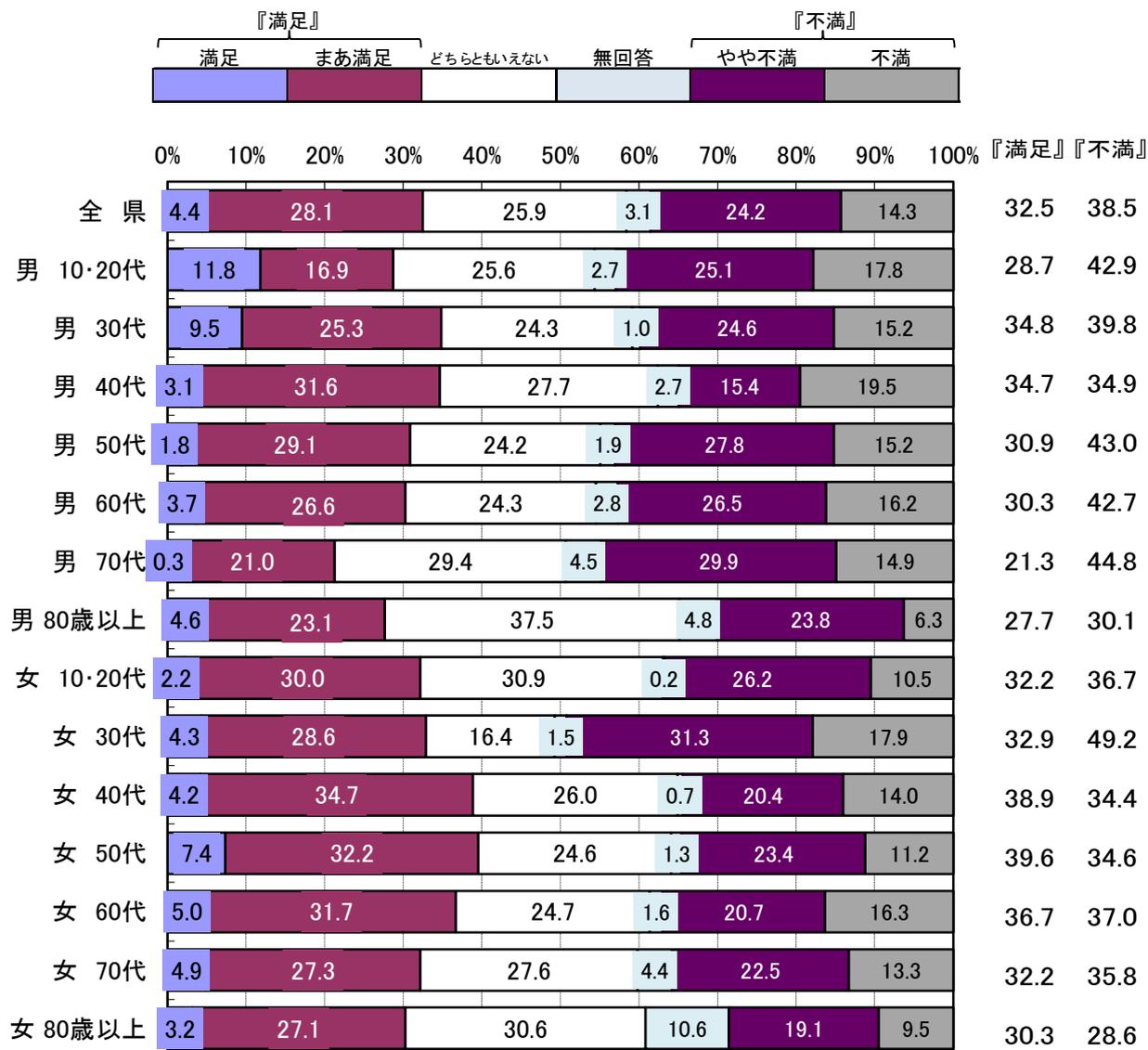
『満足』は女性が男性より6.0ポイント高く、『不満』は男性の方が女性より3.9ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-所得・収入

【性・年代別】

『満足』は、男性は30代、女性は50代が最も高い。

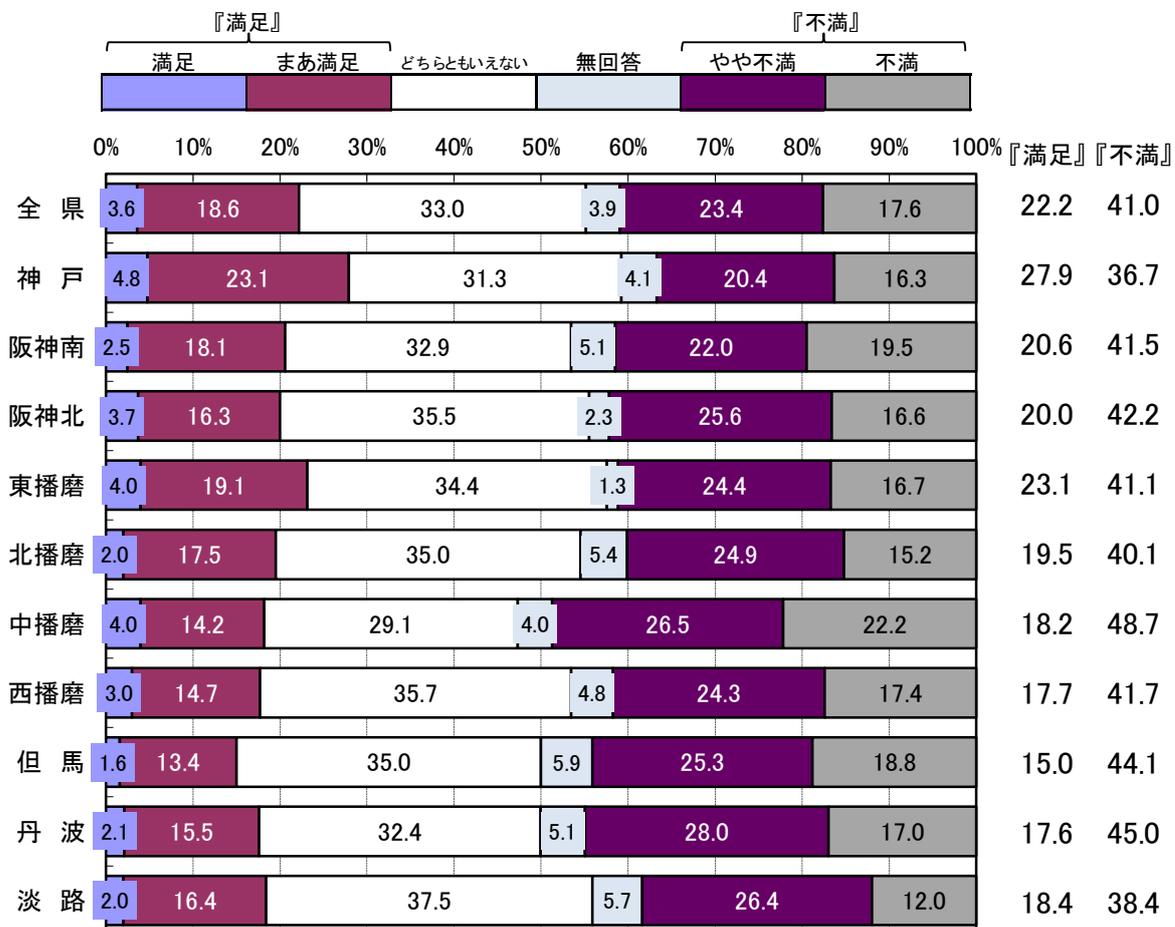


今の生活の項目別での満足度-金融資産

〔イ 貯蓄などの金融資産〕

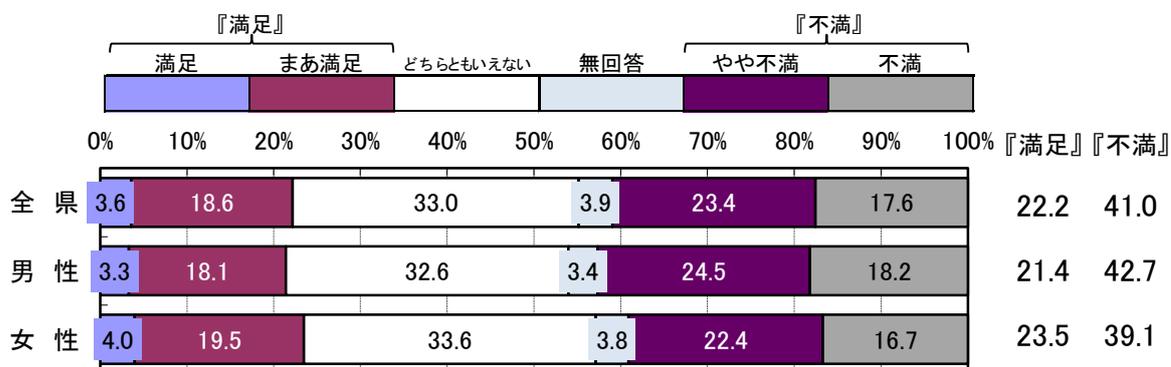
【地域別】

『満足』は神戸が最も高く、東播磨、阪神南が続いている。



【性別】

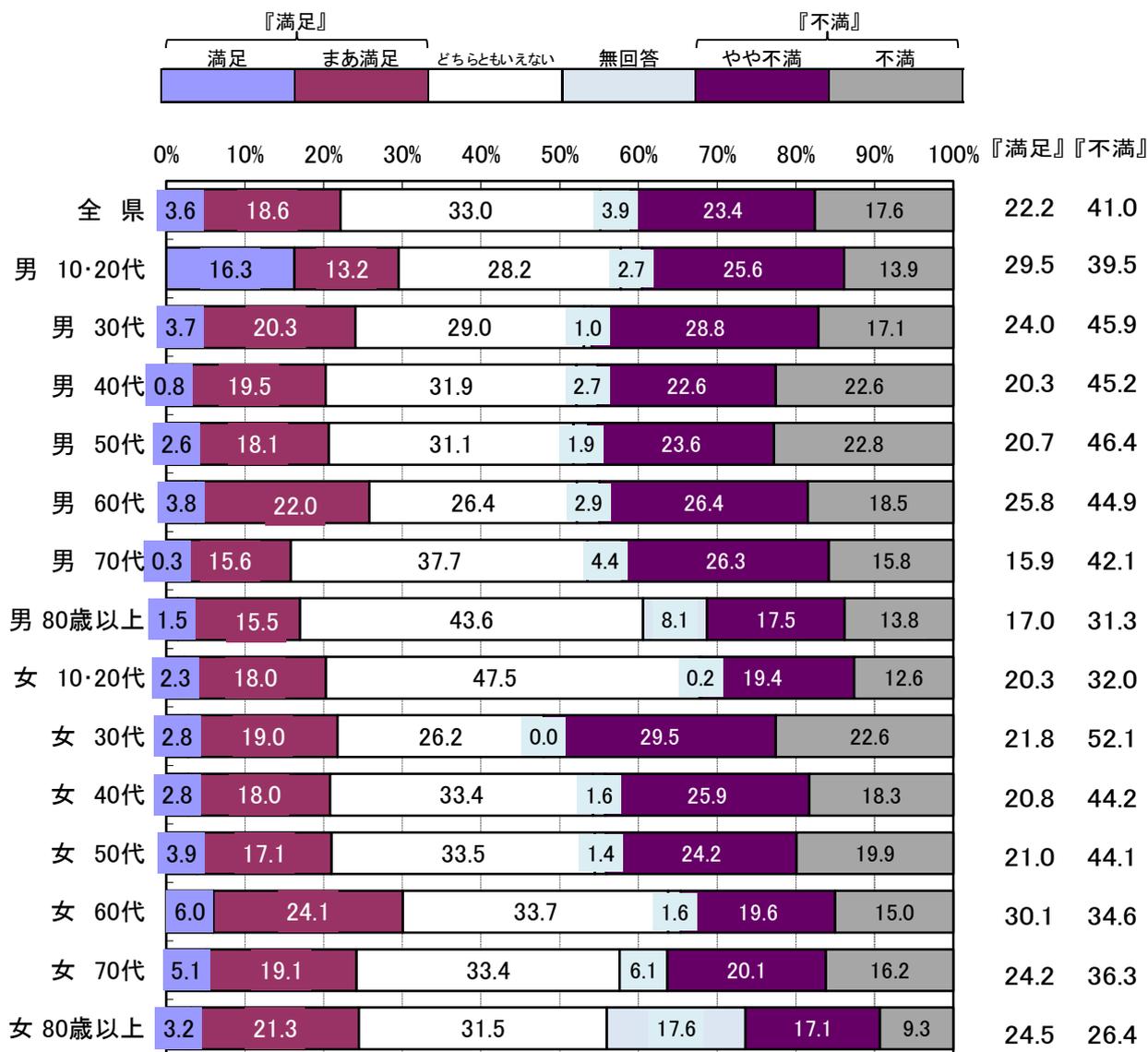
『満足』は女性の方が男性より2.1ポイント高く、『不満』は男性の方が女性より3.6ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-金融資産

【性・年代別】

『満足』は、男性は10・20代、女性は60代が最も高い。

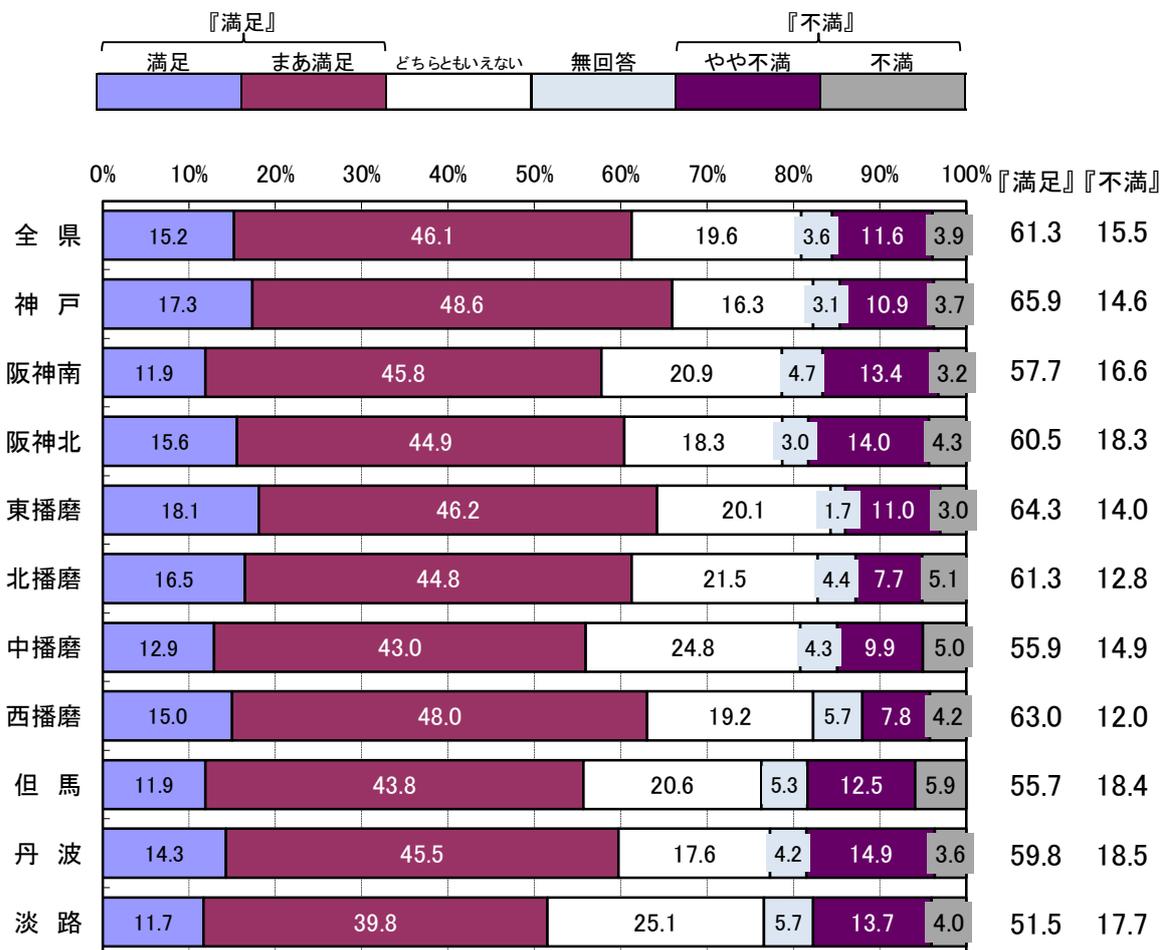


今の生活の項目別での満足度-住居

〔ウ 住居〕

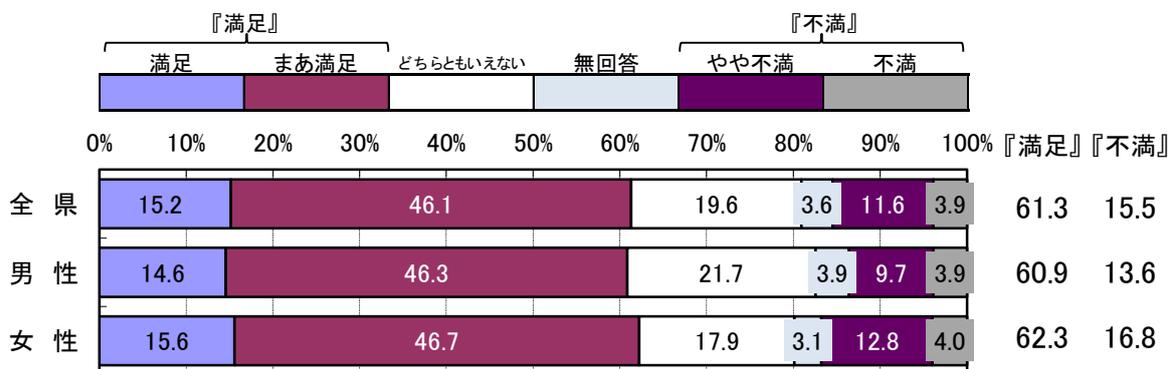
【地域別】

『満足』は神戸が最も高く、東播磨、西播磨が続いている。



【性別】

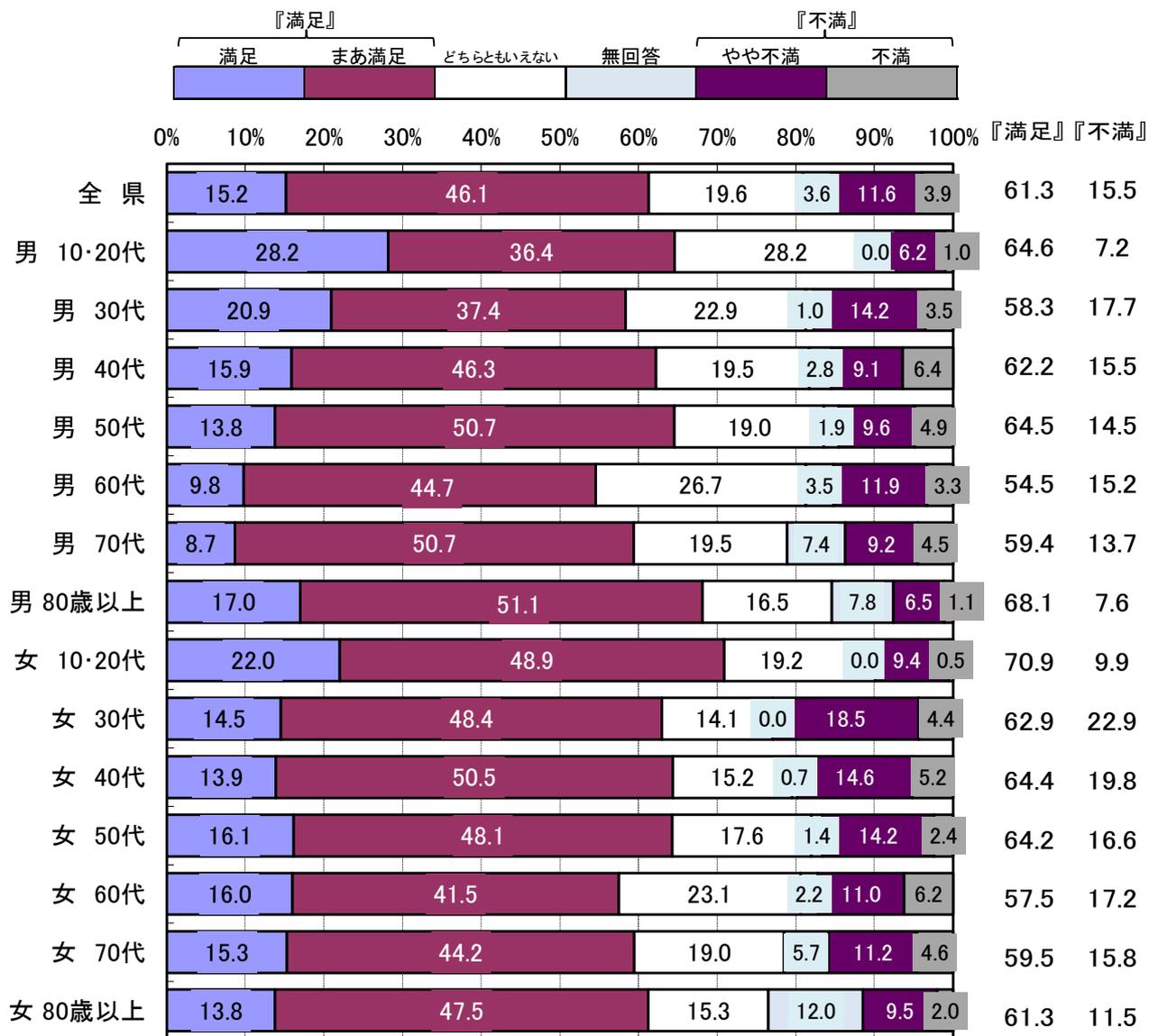
『満足』は女性の方が男性より1.4ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-住居

【性・年代別】

『満足』は、男性は80歳以上、女性は10・20代が最も高い。

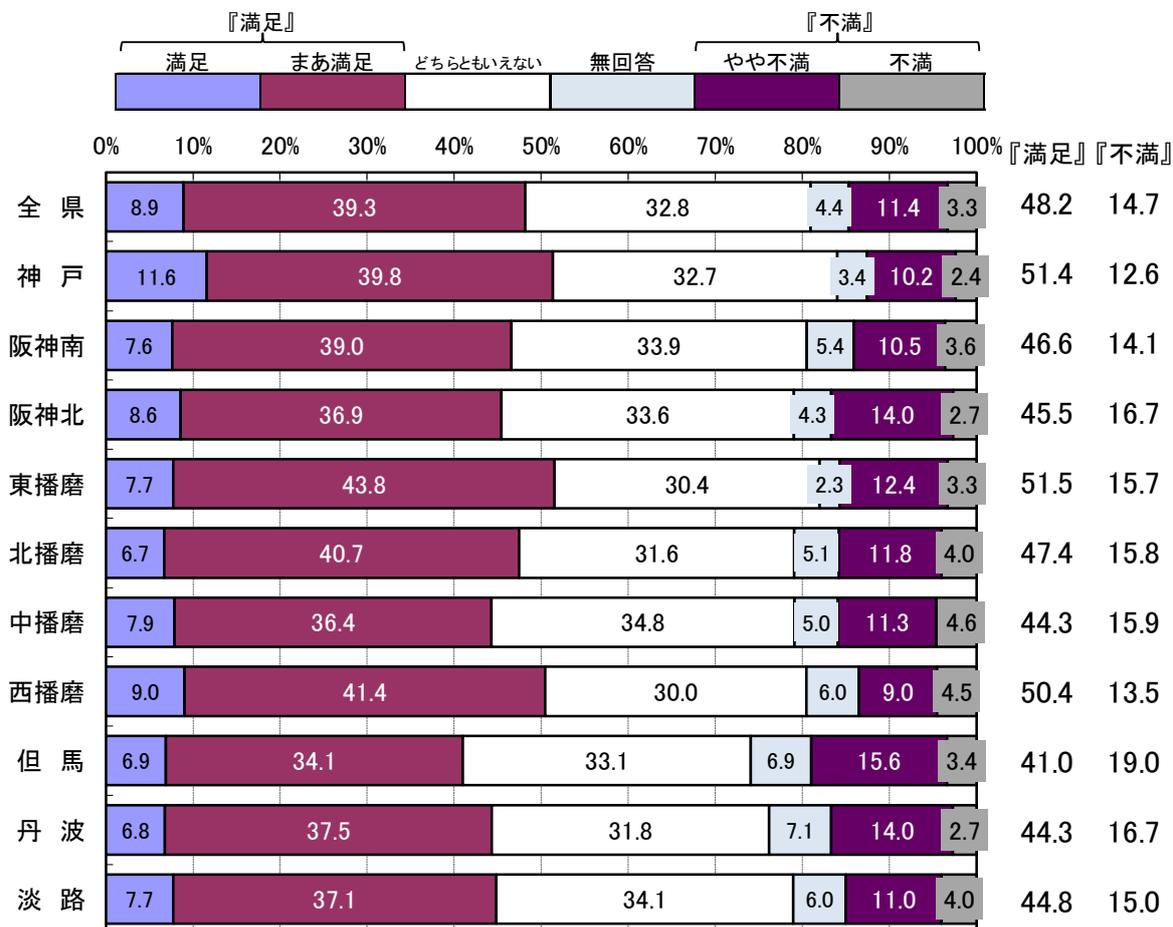


今の生活の項目別での満足度-耐久消費財

〔エ 車、家具などの耐久消費財〕

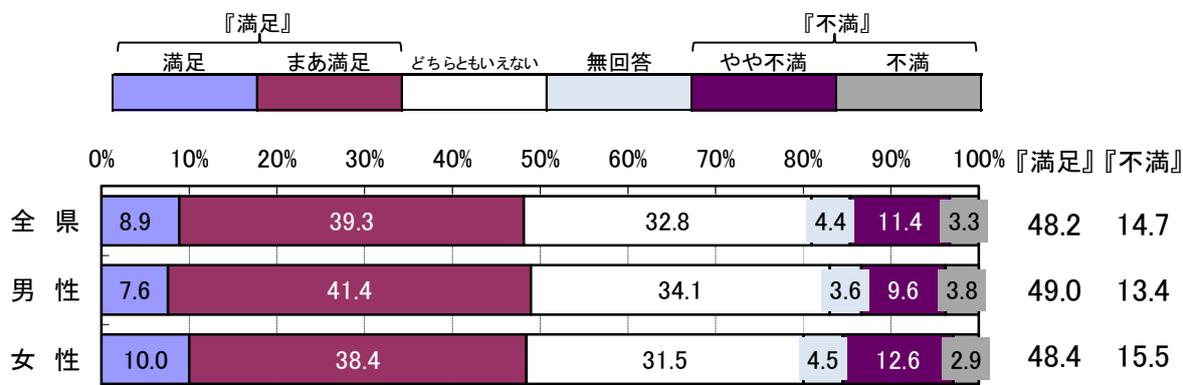
【地域別】

『満足』は東播磨が最も高く、神戸、西播磨が続いている。



【性別】

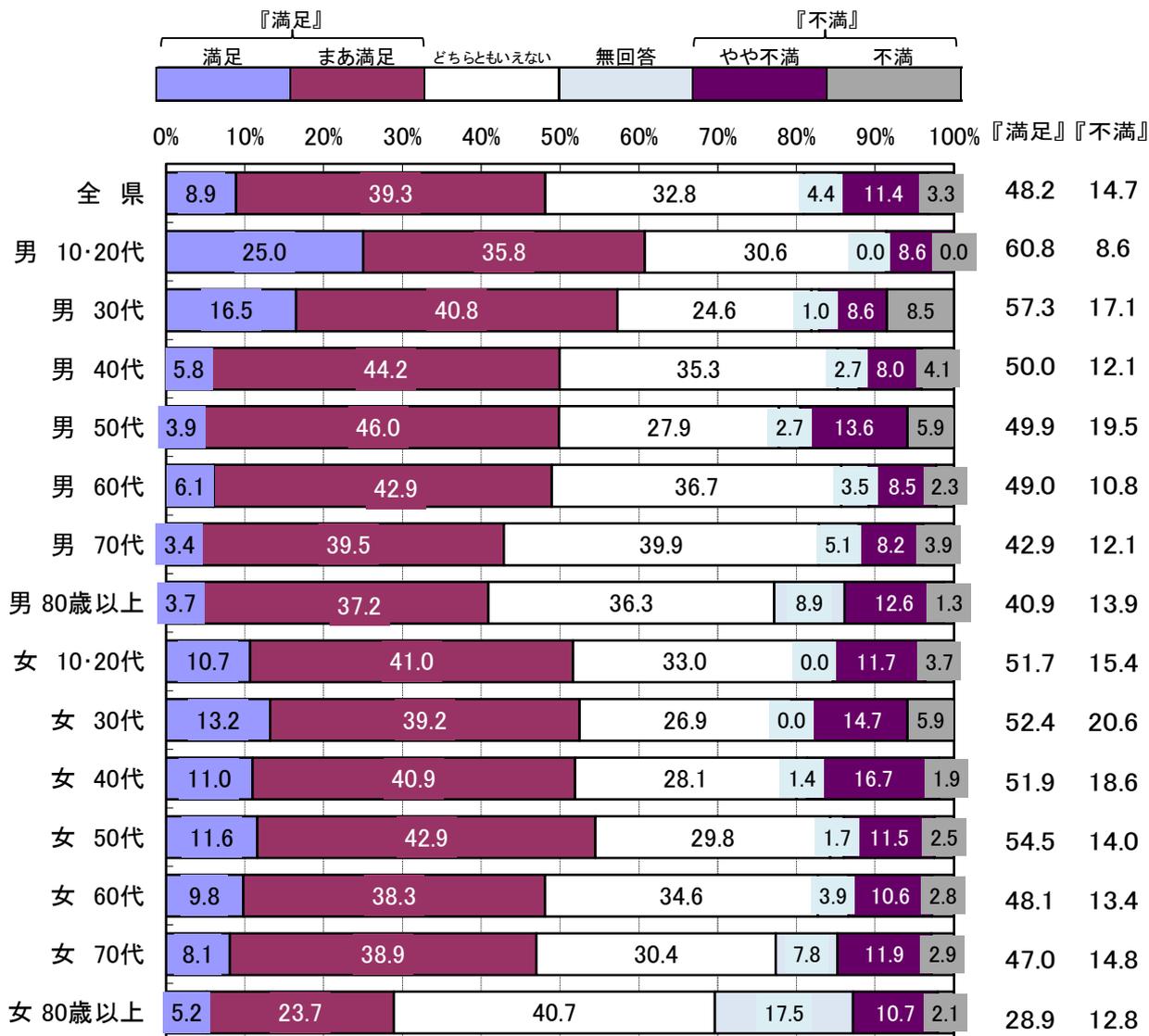
『不満』は女性の方が男性よりも2.1ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-耐久消費財

【性・年代別】

『満足』は、男性は10・20代、女性は50代が最も高い。

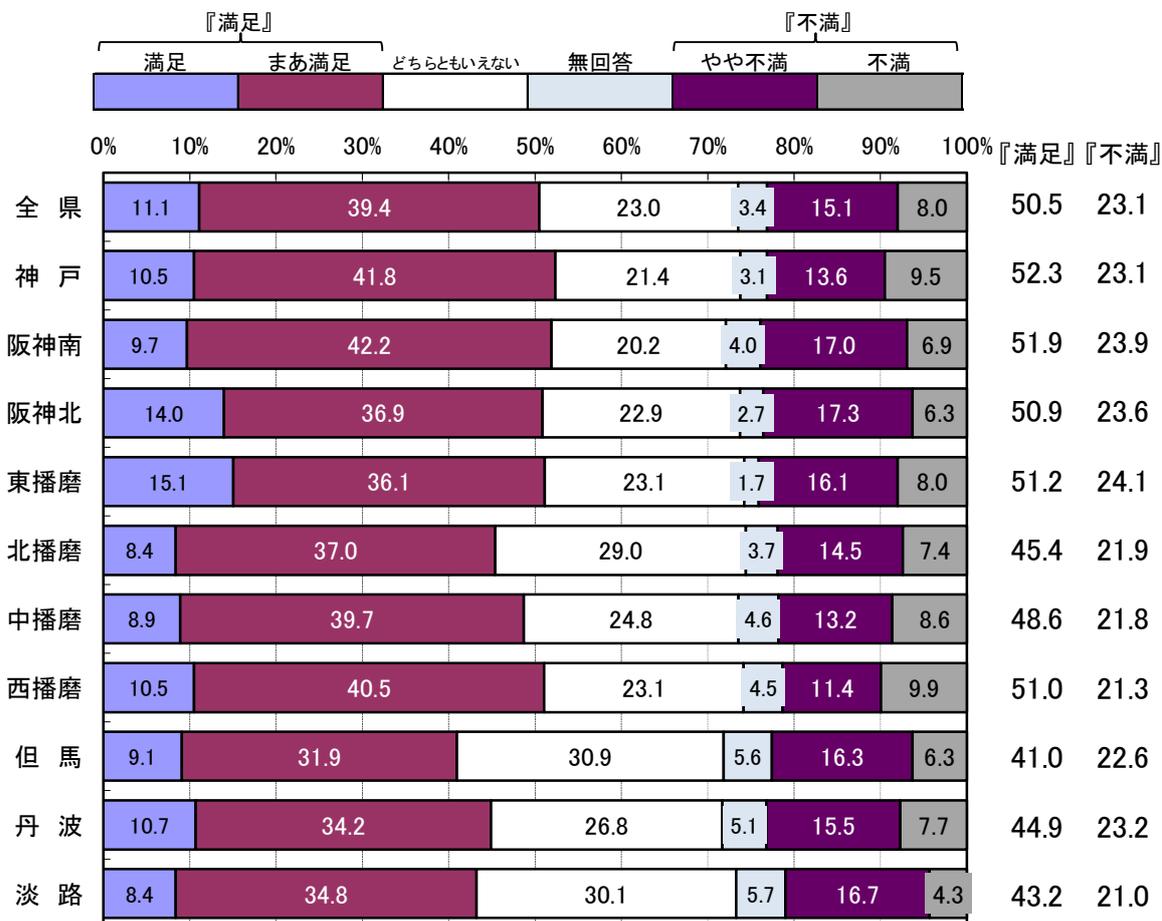


今の生活の項目別での満足度-時間のゆとり

〔オ 時間のゆとり〕

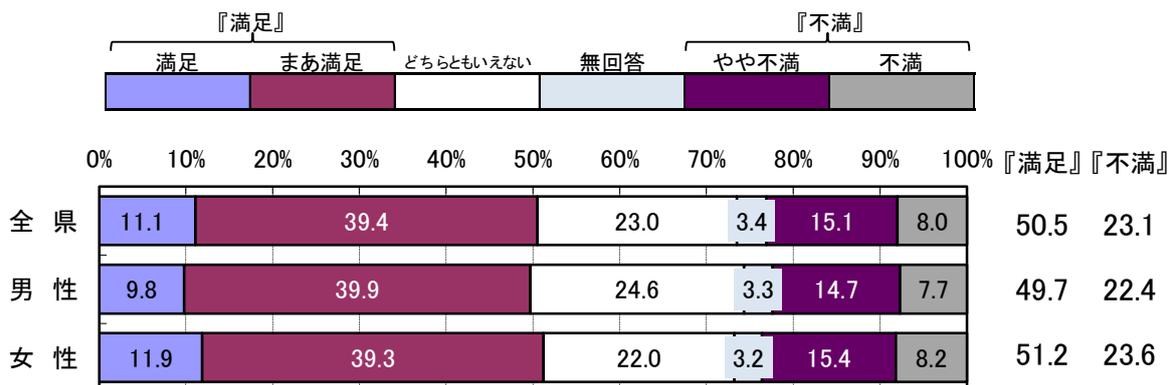
【地域別】

『満足』は神戸が最も高く、阪神南、東播磨が続いている。



【性別】

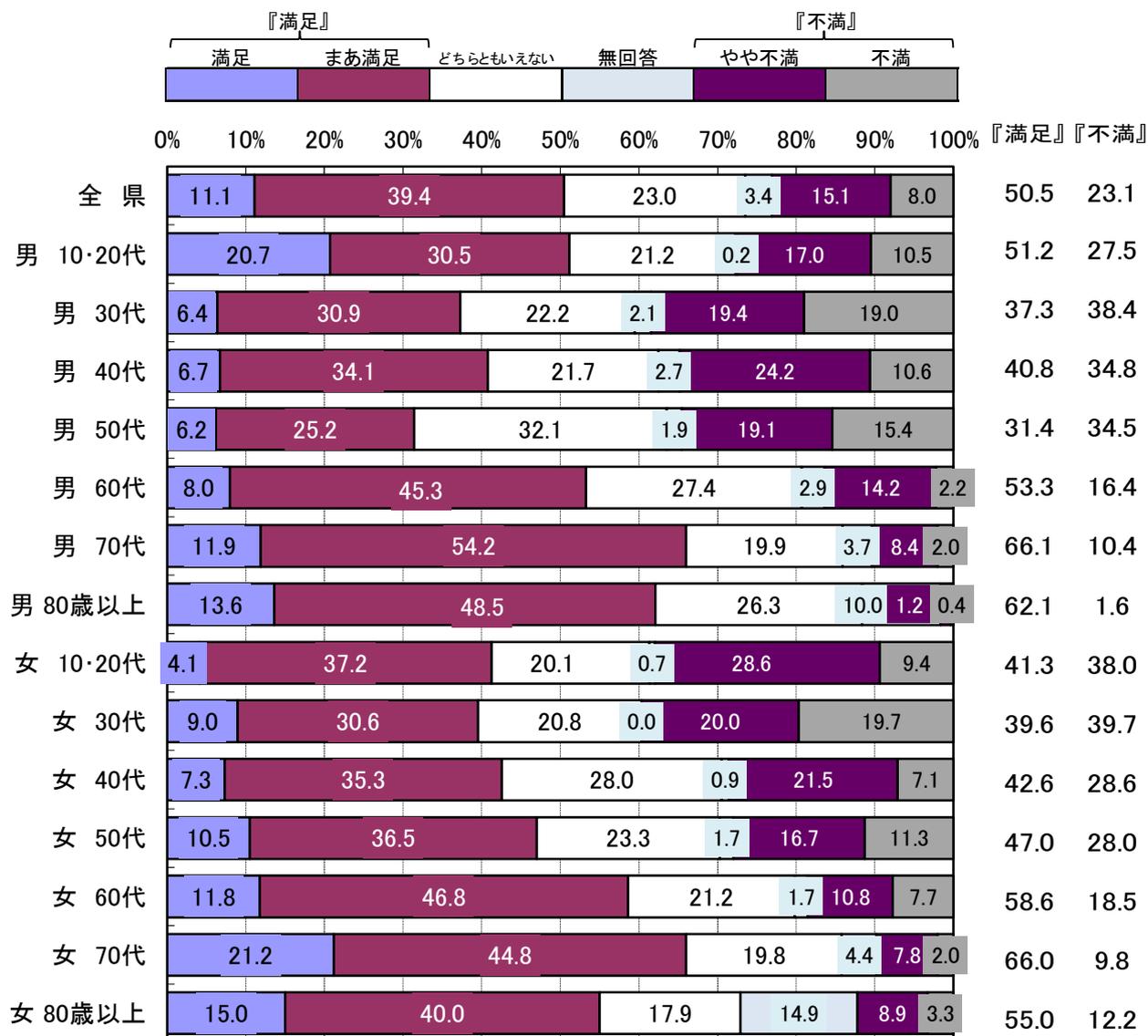
男女間で、大きな差は見られない。



今の生活の項目別での満足度-時間のゆとり

【性・年代別】

『満足』は、男女ともに70代が最も高い。

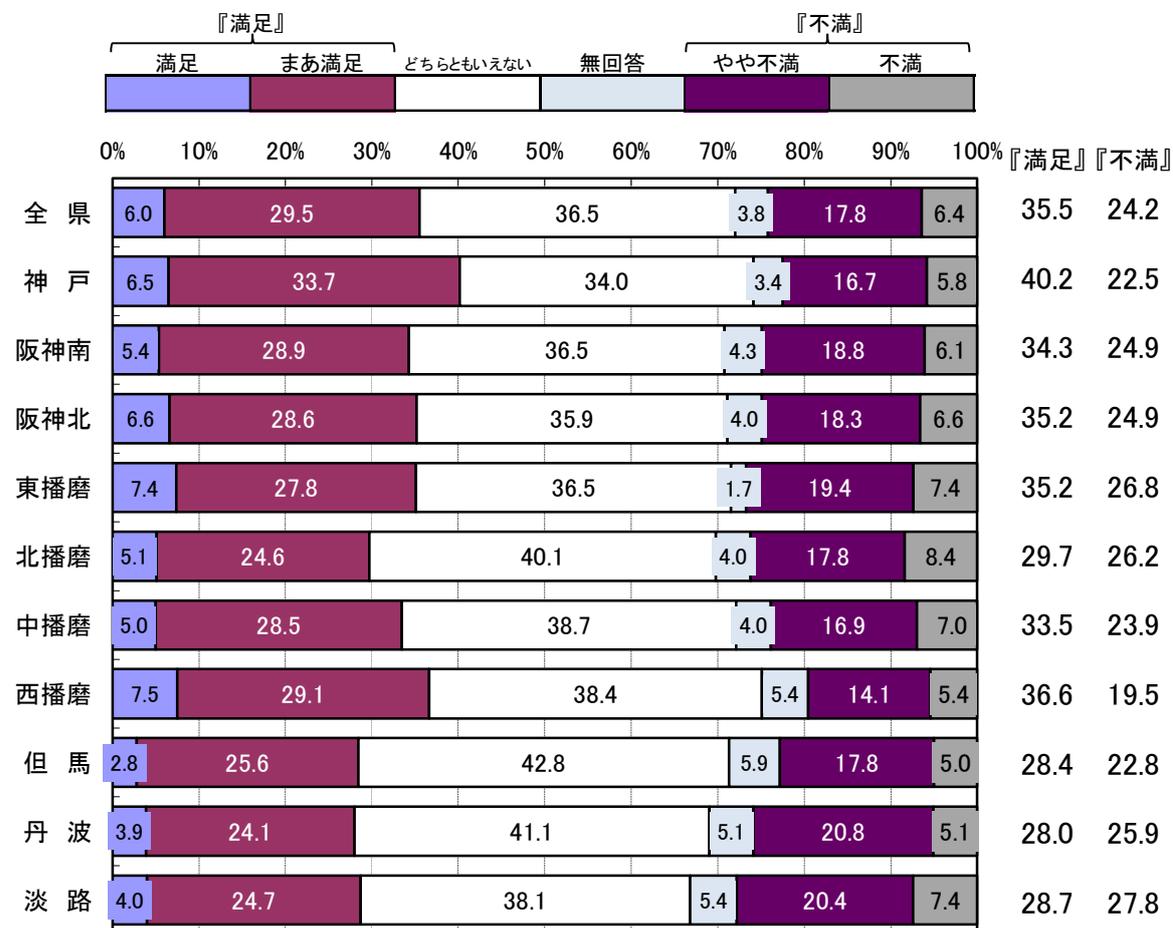


今の生活の項目別での満足度・趣味やレクリエーションの取組

〔カ 趣味やレクリエーションへの取組〕

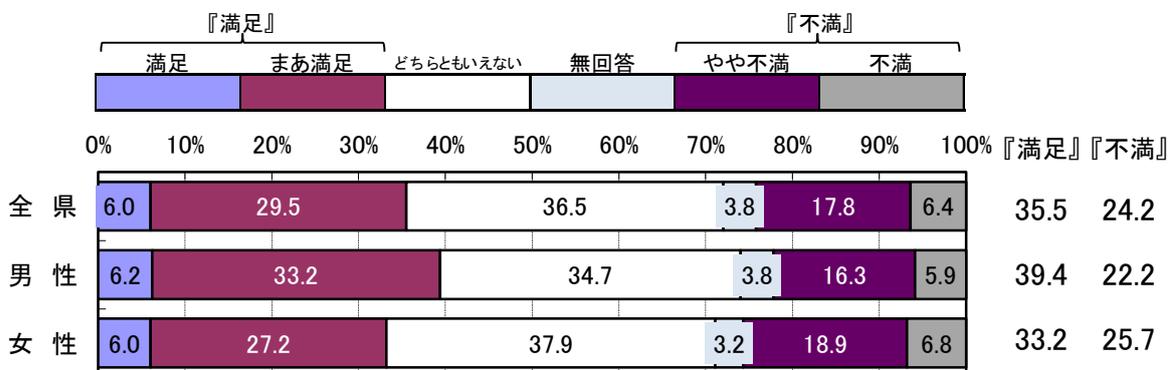
【地域別】

『満足』は神戸が最も高く、西播磨、阪神北、東播磨が続いている。



【性別】

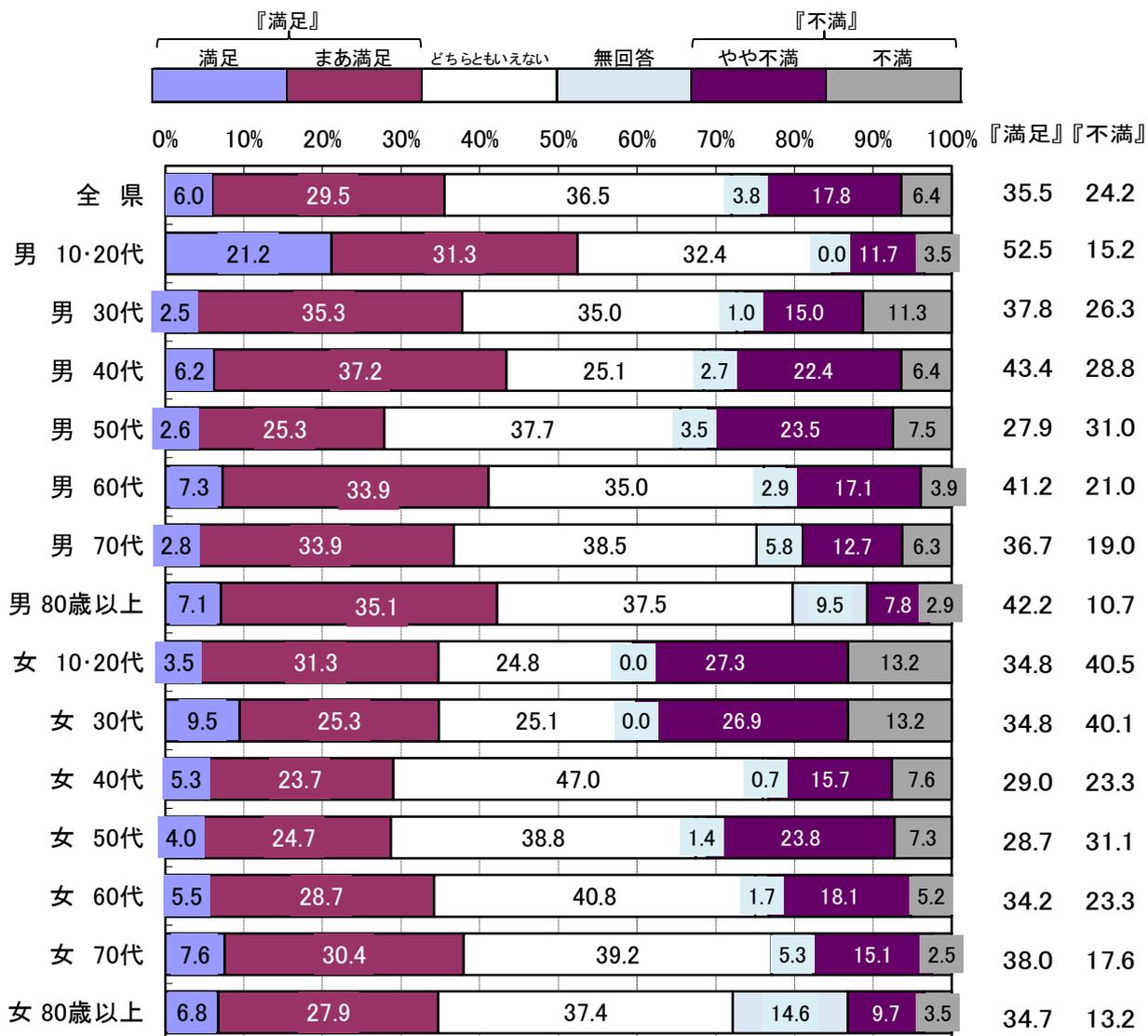
『満足』は男性の方が女性より6.2ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度・趣味やレクリエーションの取組

【性・年代別】

『満足』は、男性は10・20代、女性は70代が最も高い。

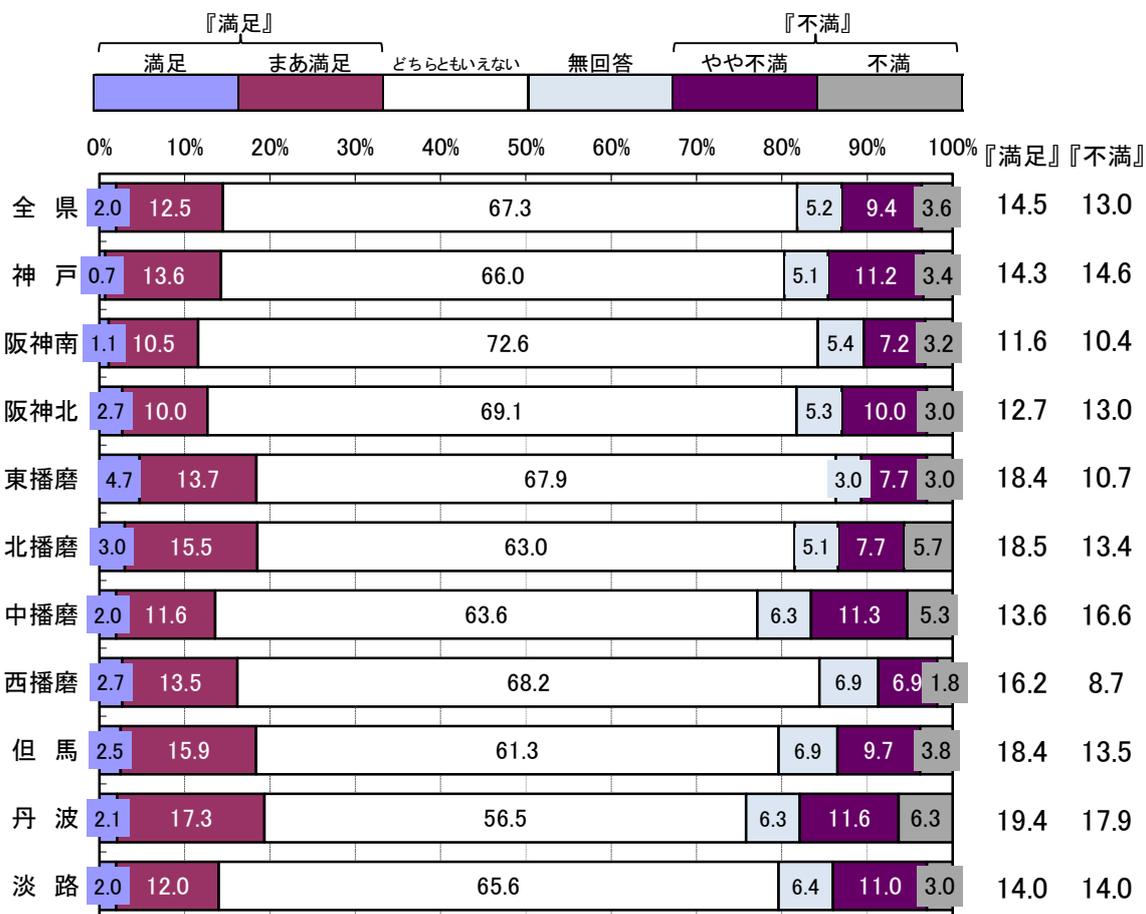


今の生活の項目別での満足度-地域活動やボランティアへの取組

〔キ 地域活動やボランティアへの取組〕

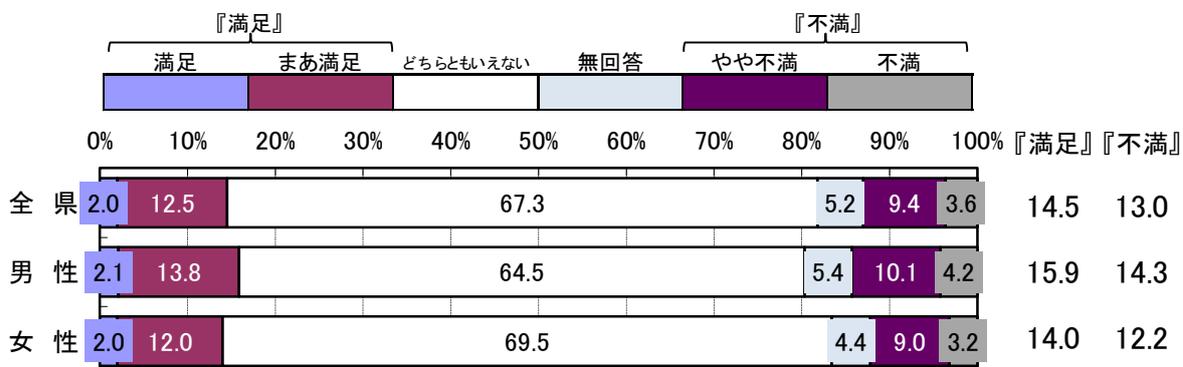
【地域別】

『満足』は丹波が最も高く、北播磨、東播磨、但馬が続いている。



【性別】

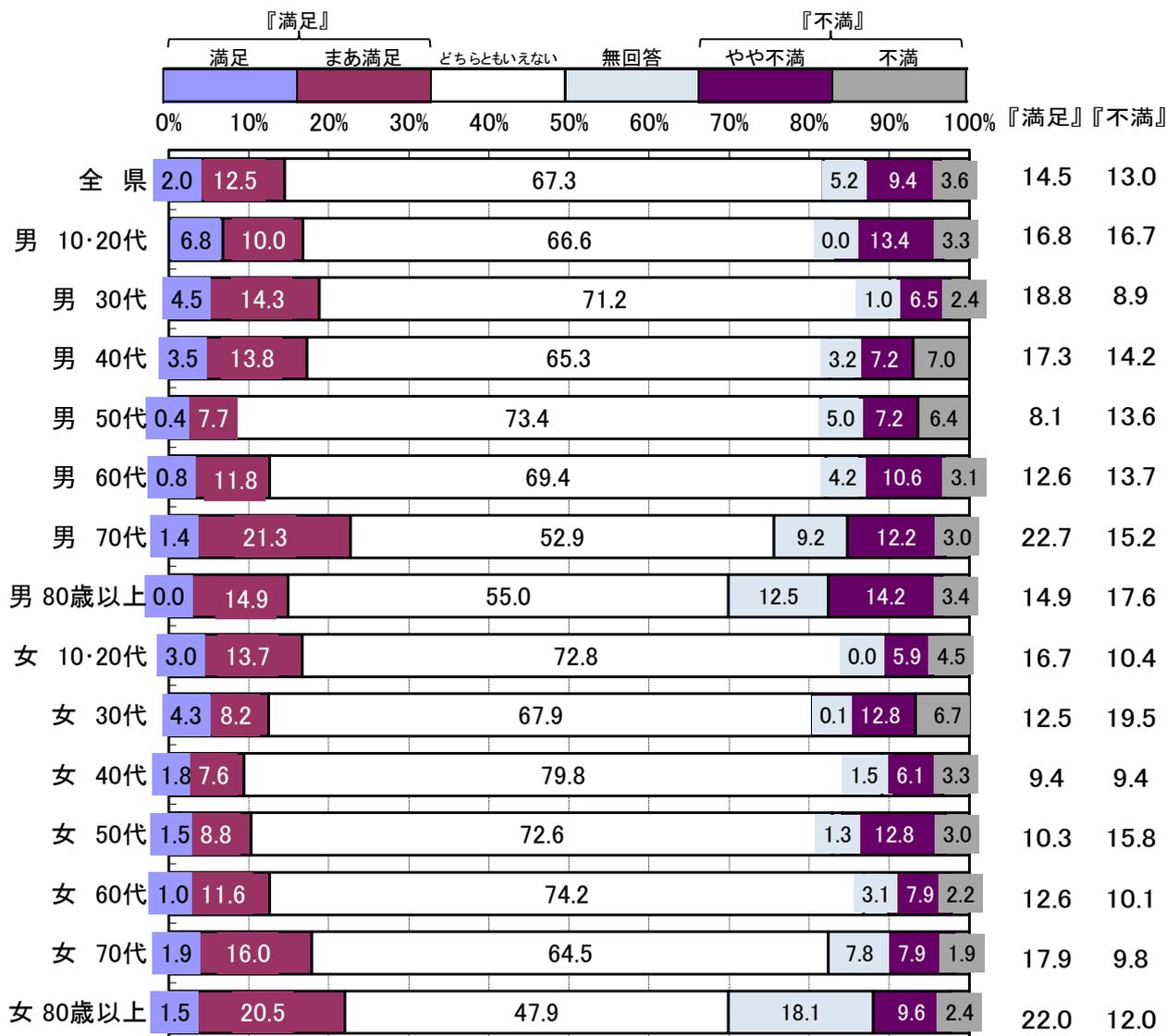
『満足』は、男性の方が女性より 1.9 ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-地域活動やボランティアへの取組

【性・年代別】

『満足』は、男性は70代、女性は80歳以上が最も高い。

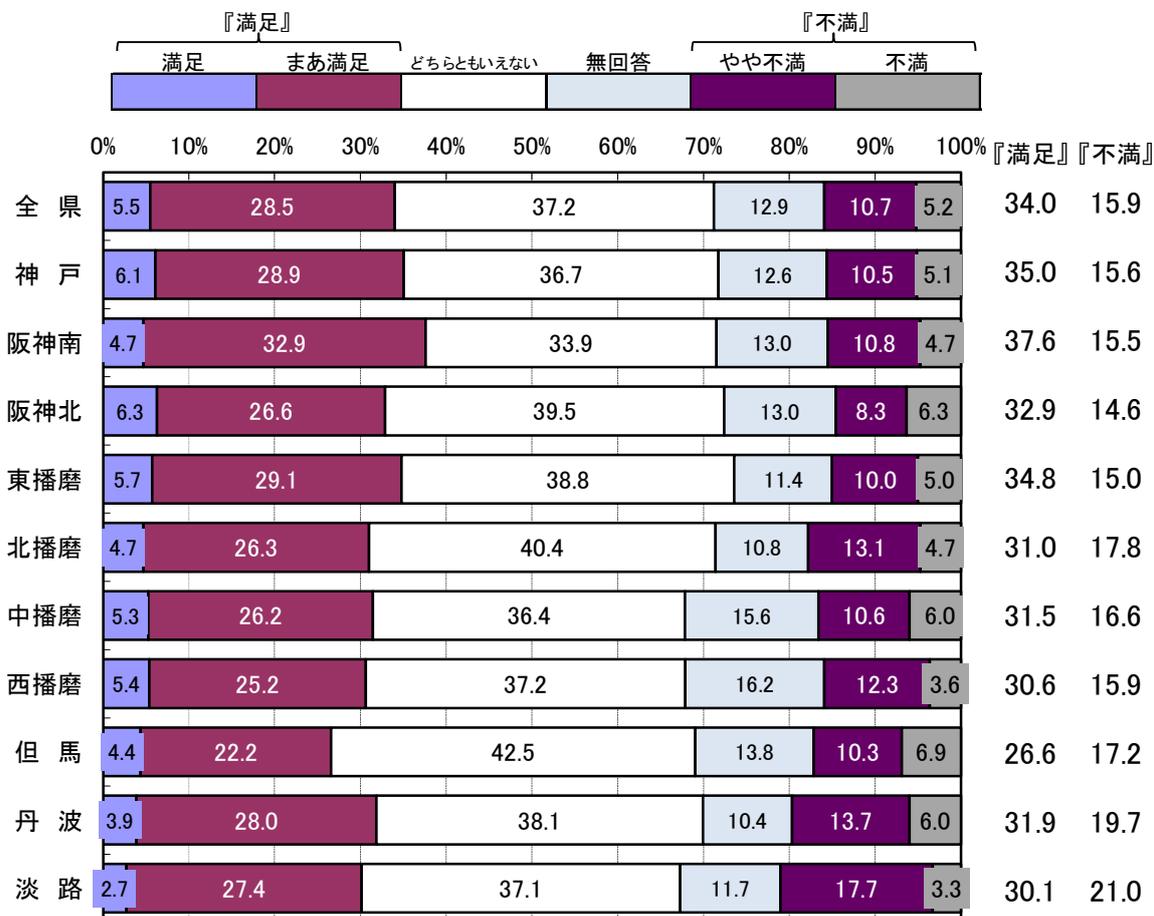


今の生活の項目別での満足度-仕事の内容

〔ク 仕事の内容〕

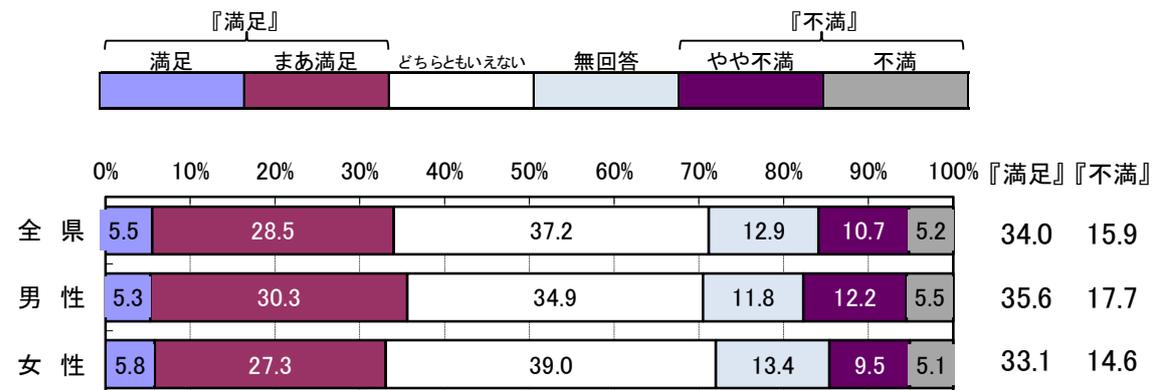
【地域別】

『満足』は、阪神南が最も高く、神戸、東播磨が続いている。



【性別】

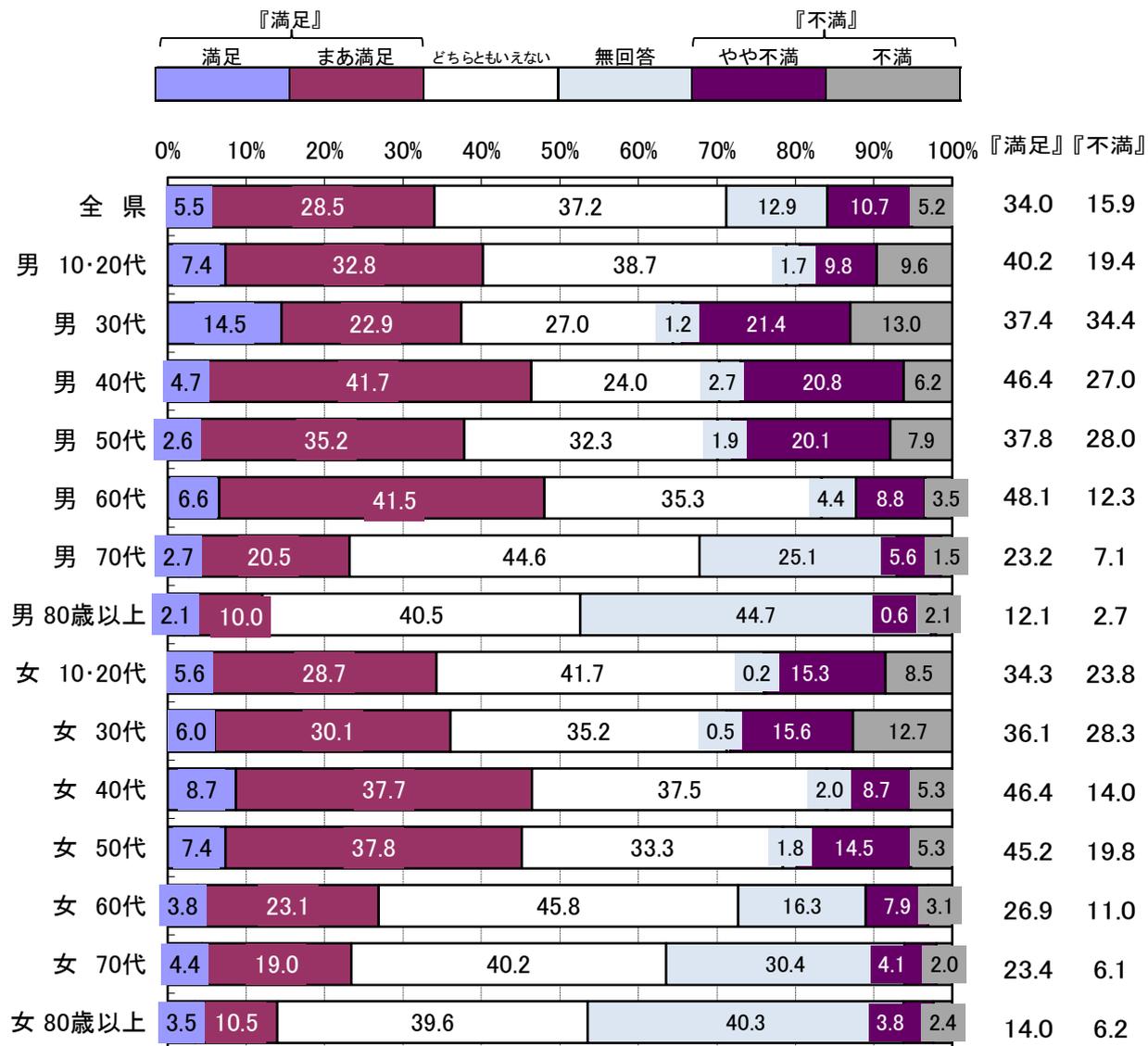
『満足』は、男性の方が女性より 2.5 ポイント高く、『不満』も男性の方が女性より 3.1 ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-仕事の内容

【性・年代別】

『満足』は、男性は60代、女性は40代が最も高い。

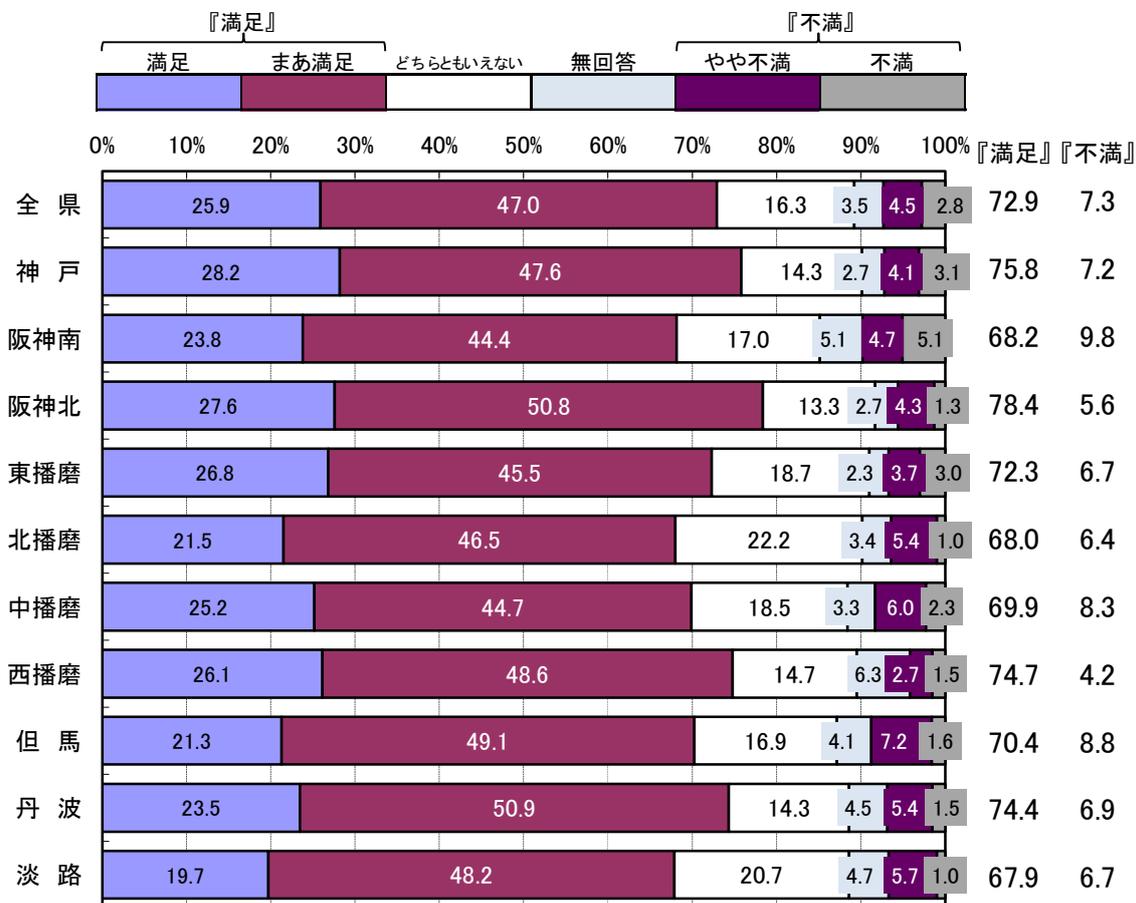


今の生活の項目別での満足度-家族との関係

〔ケ 家族との関係〕

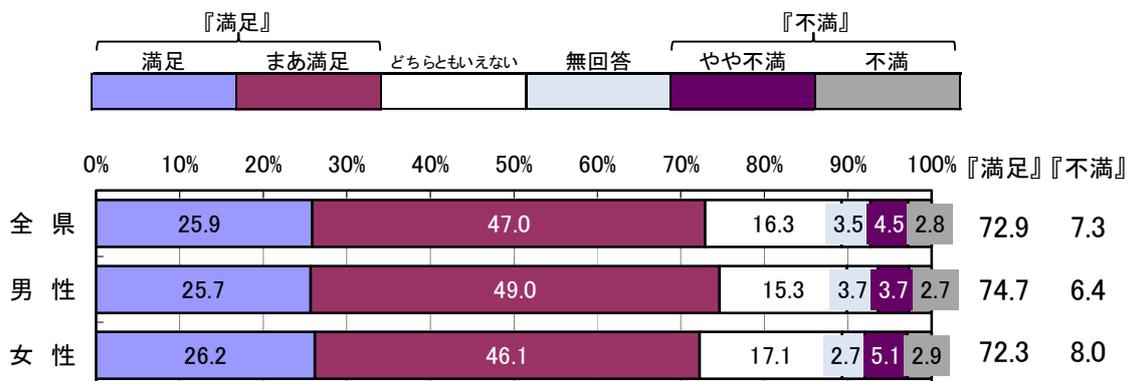
【地域別】

『満足』は、阪神北が最も高く、神戸、西播磨が続いている。



【性別】

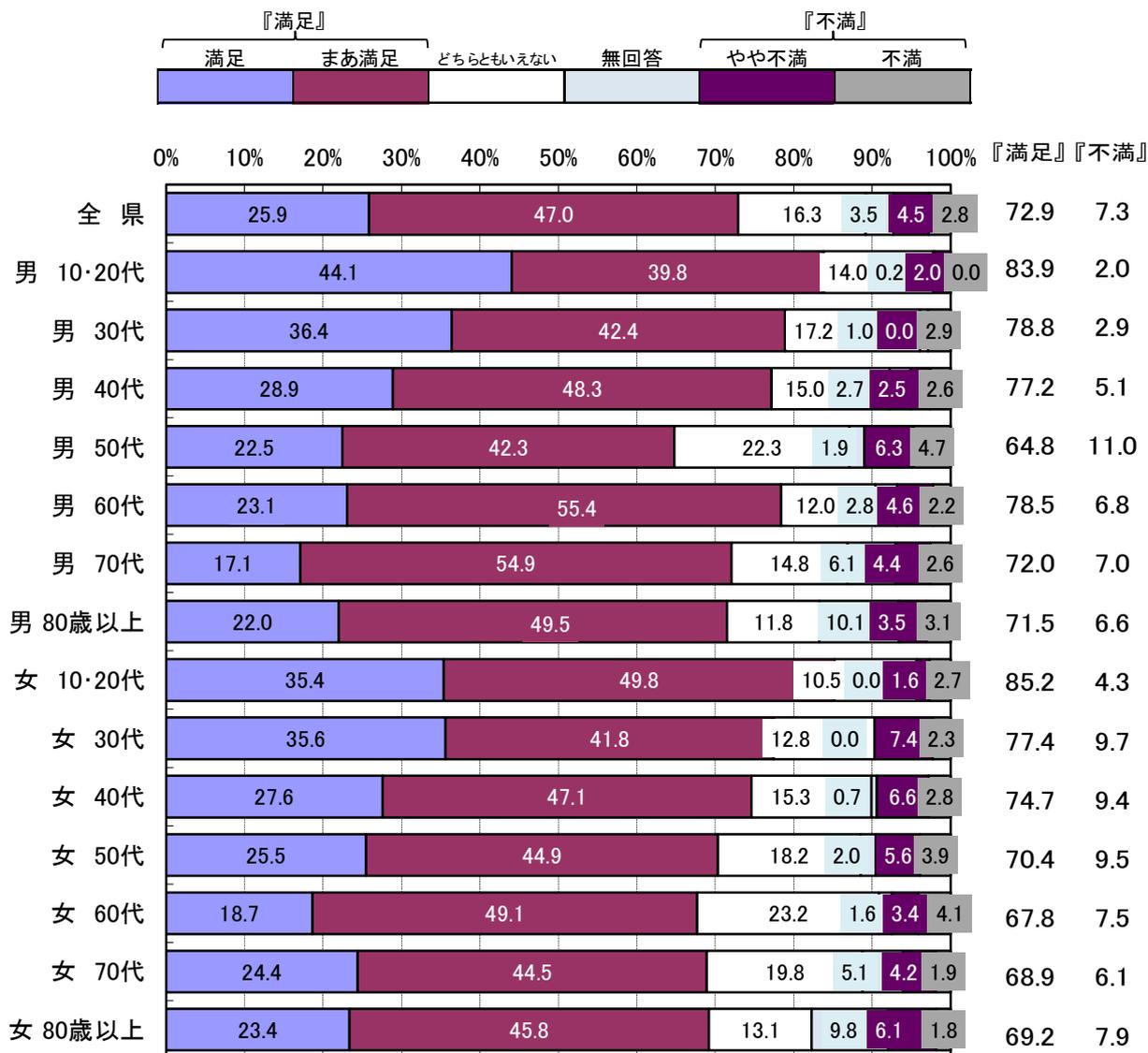
『満足』は、男性の方が女性より 2.4 ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度・家族との関係

【性・年代別】

『満足』は、男女ともに10・20代が最も高い。

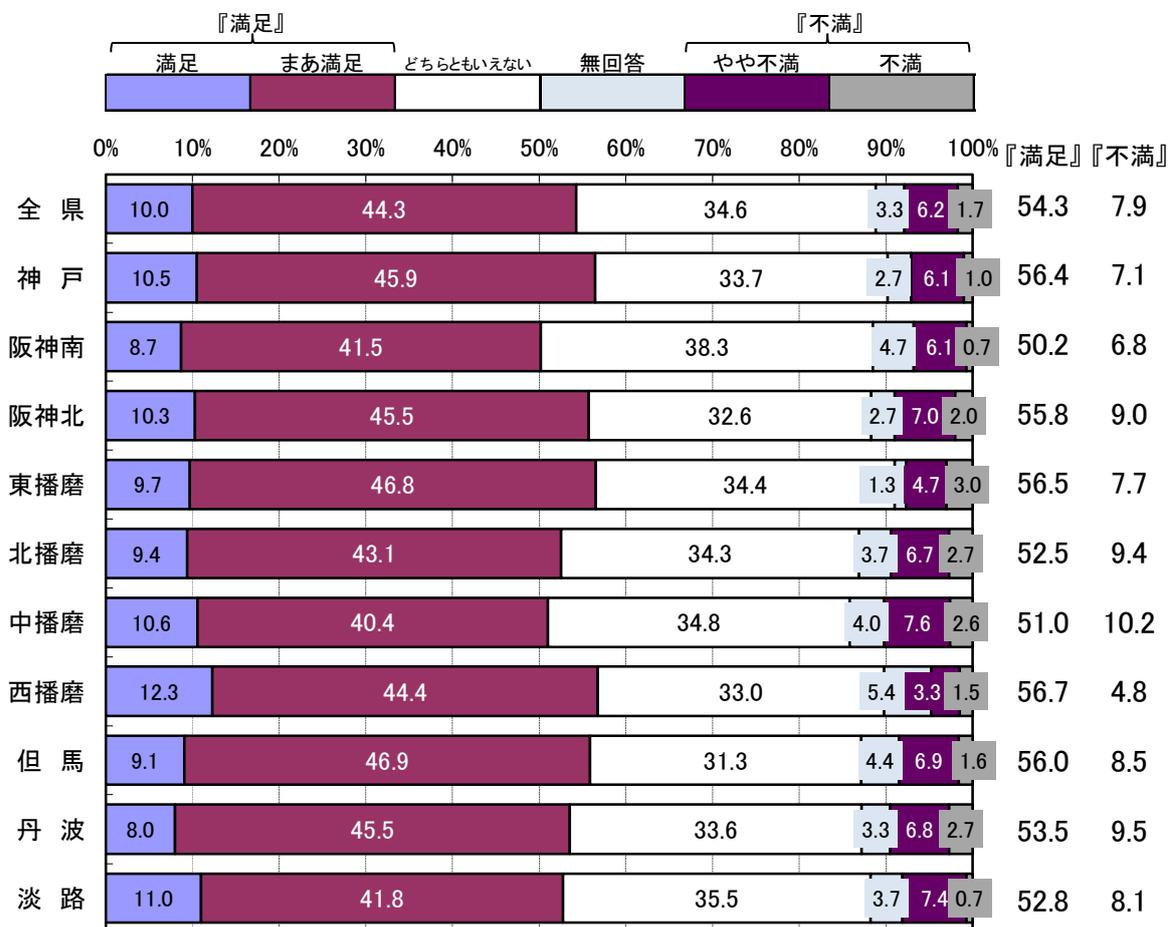


今の生活の項目別での満足度-知人や近所の人との関係

〔コ 知人や近所の人との関係〕

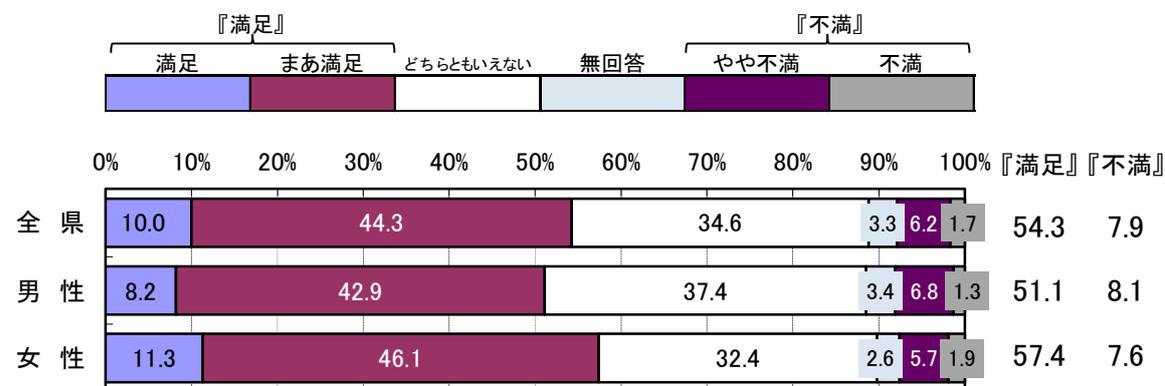
【地域別】

『満足』は、西播磨が最も高く、東播磨、神戸が続いている。



【性別】

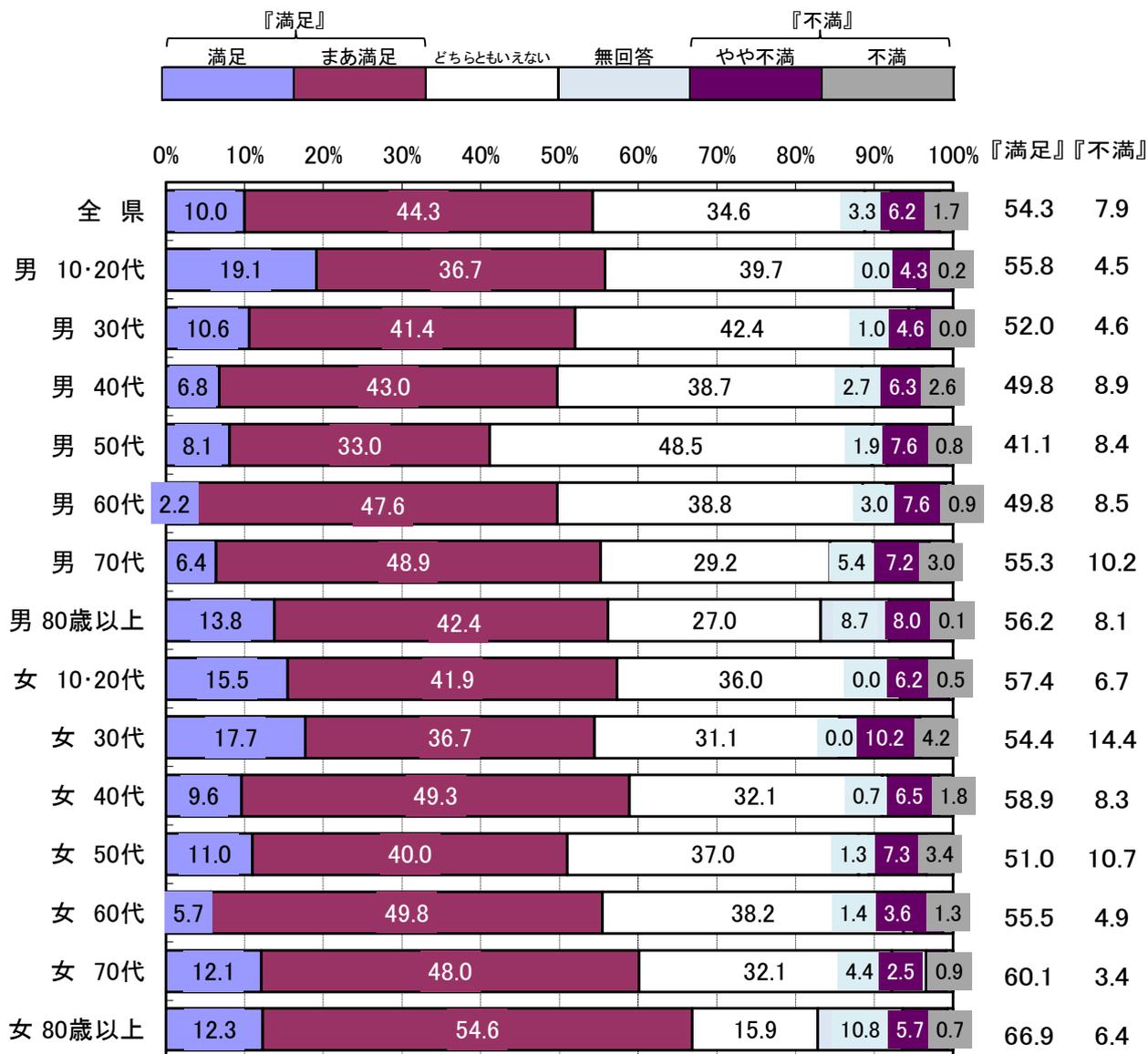
『満足』は、女性の方が男性より6.3ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-知人や近所の人との関係

【性・年代別】

『満足』は、男女ともに80歳以上が最も高い。

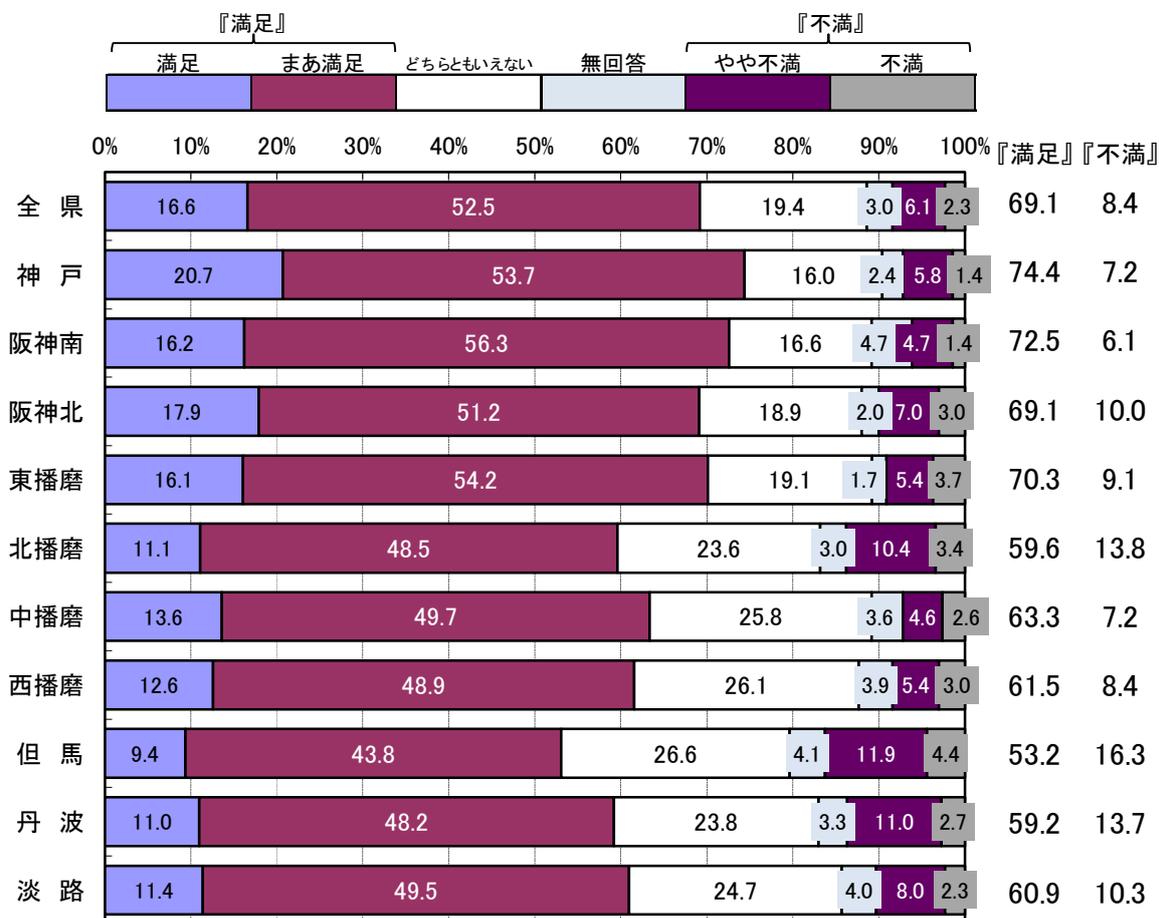


今の生活の項目別での満足度-住んでいる地域の住み心地

〔サ 住んでいる地域の住み心地〕

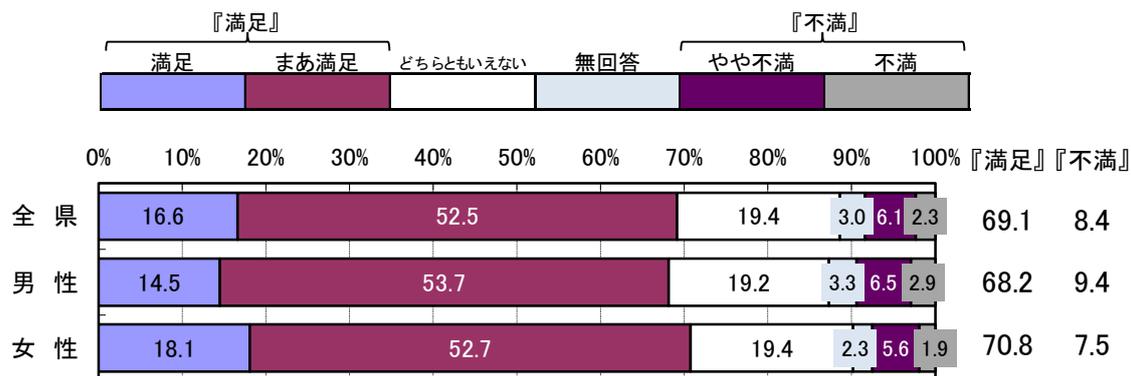
【地域別】

『満足』は神戸が最も高く、阪神南、東播磨が続いている。



【性別】

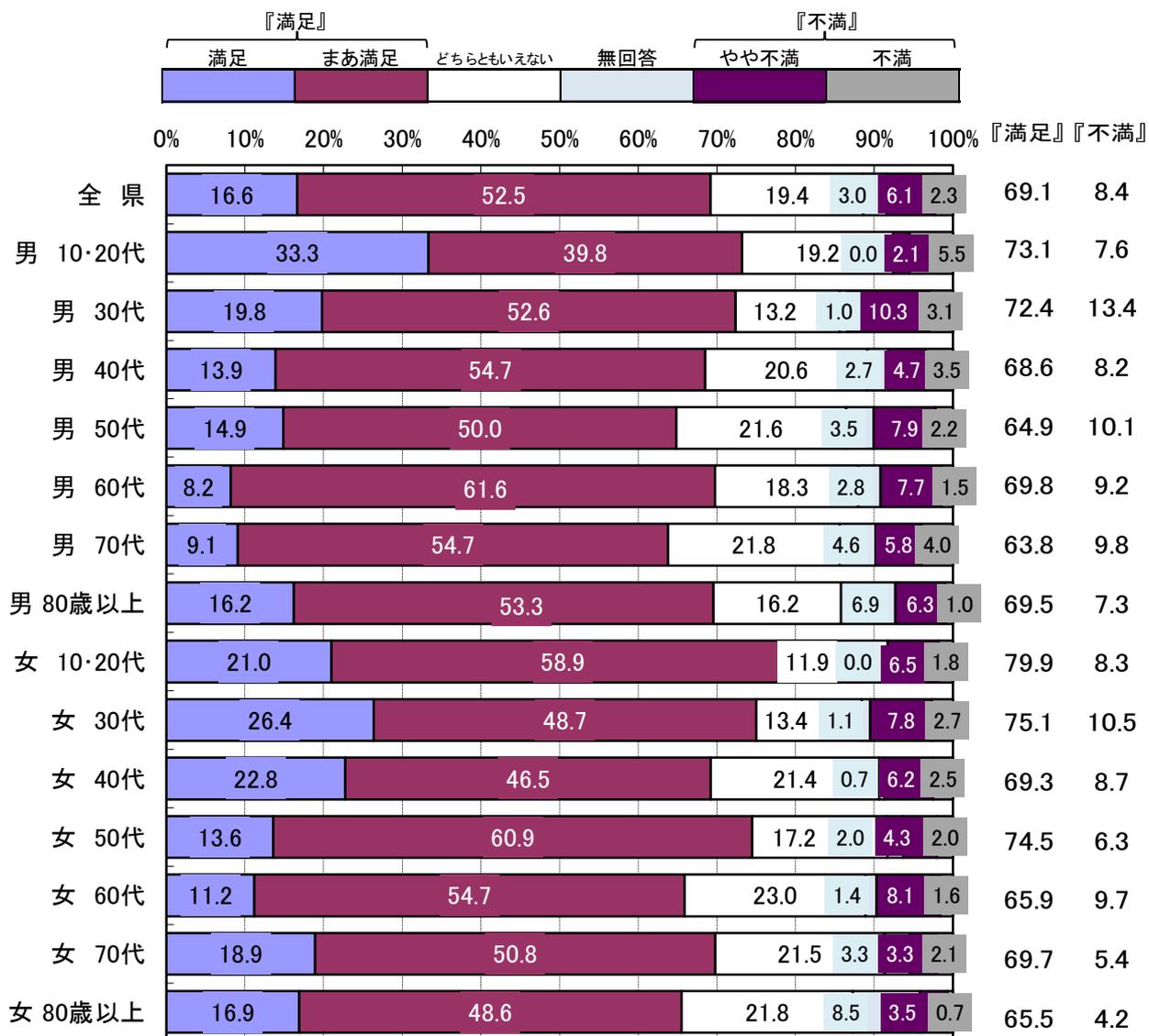
『満足』は、女性の方が男性より2.6ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-住んでいる地域の住み心地

【性・年代別】

『満足』は、男女ともに10・20代が最も高い。

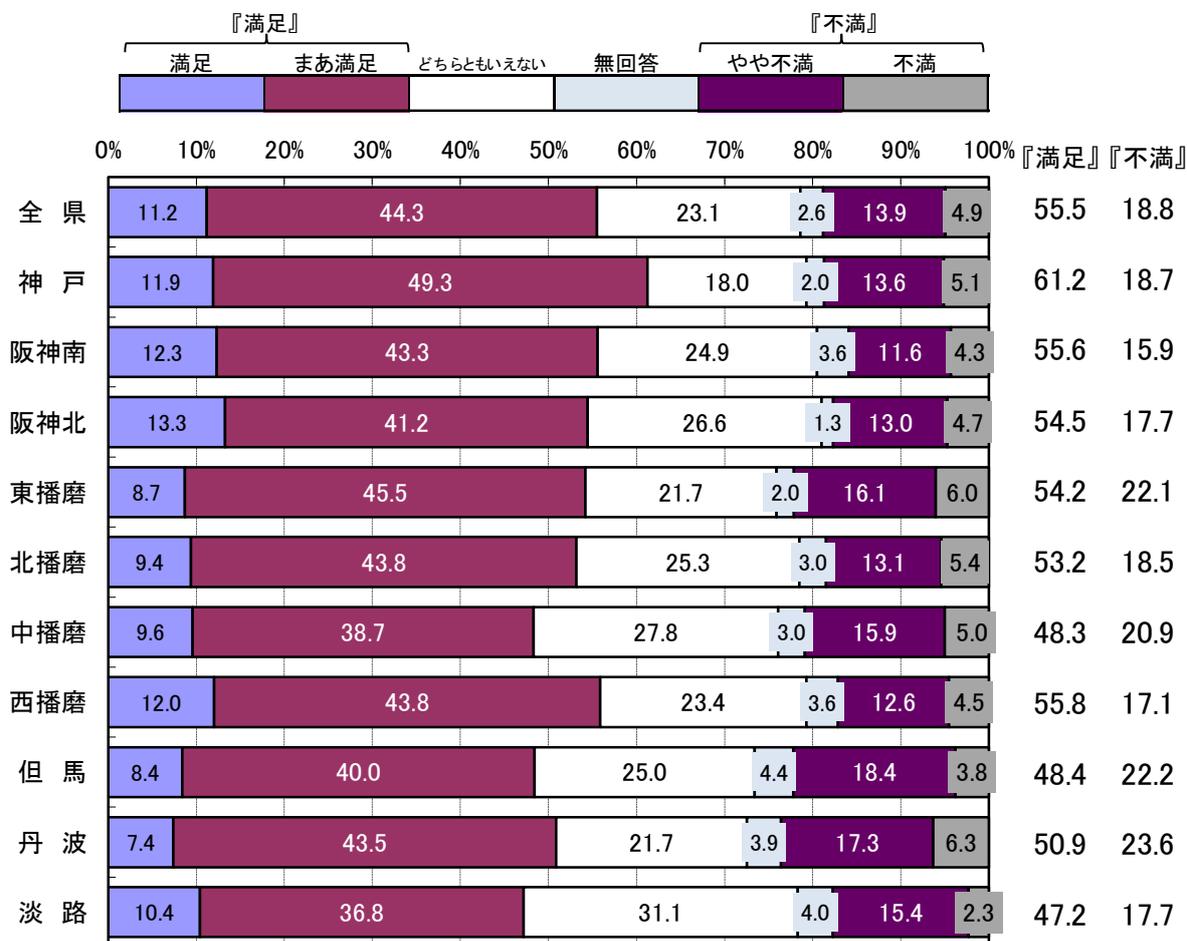


今の生活の項目別での満足度-あなた自身の健康

〔シ あなた自身の健康〕

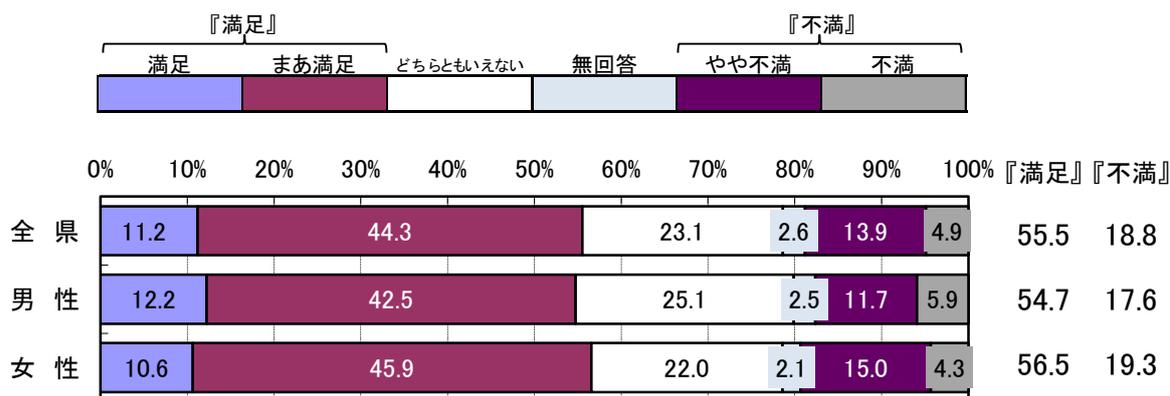
【地域別】

『満足』は、神戸が最も高く、西播磨、阪神南が続いている。



【性別】

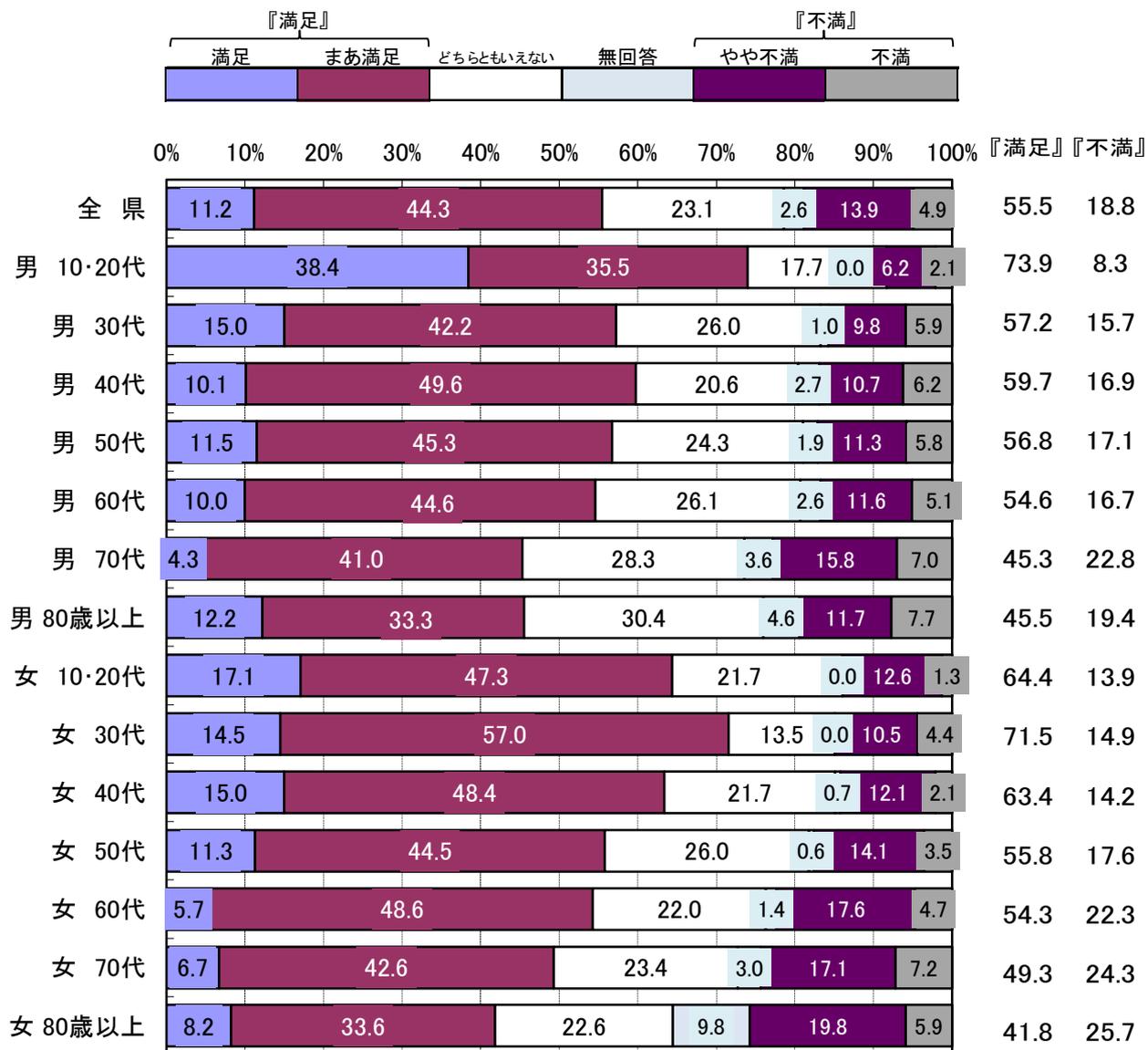
『不満』は、女性の方が男性より1.8ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-あなた自身の健康

【性・年代別】

『満足』は、男性は10・20代、女性は30代が最も高い。

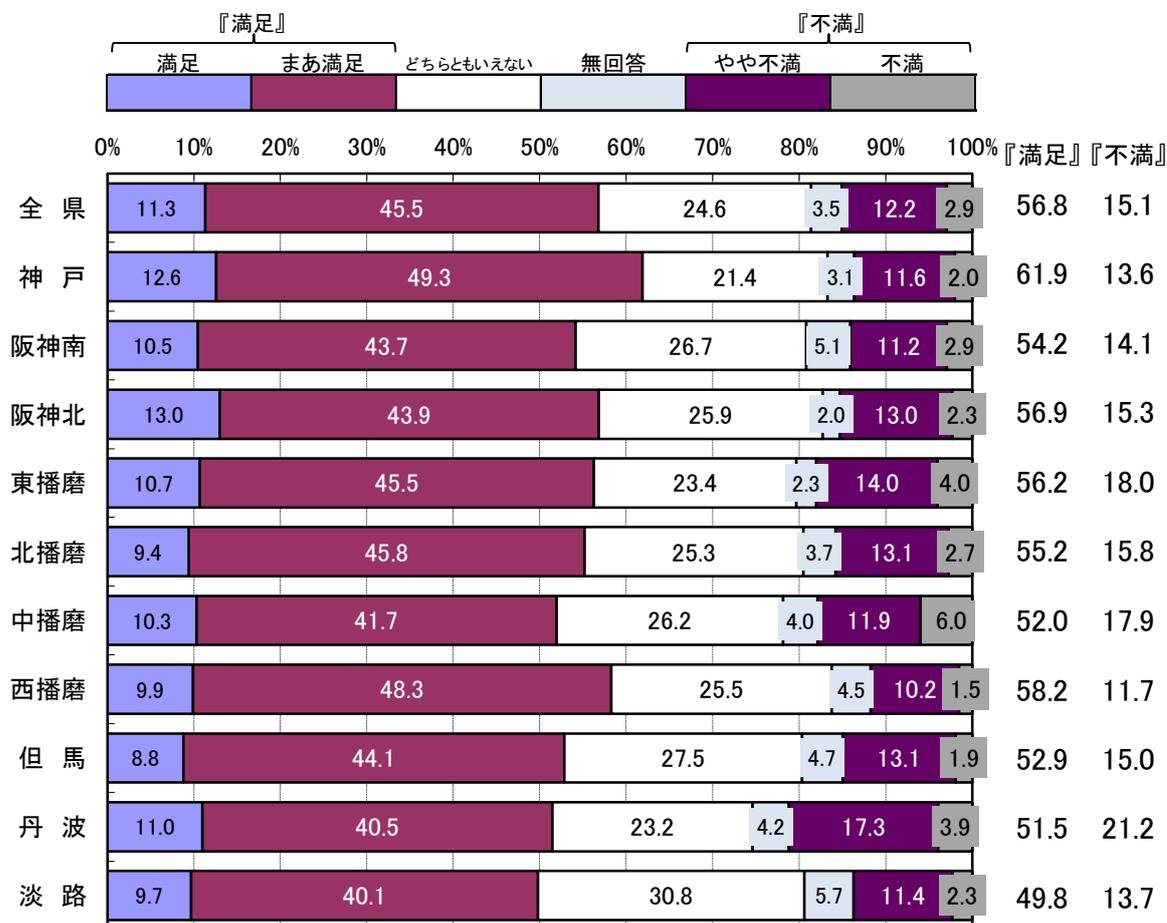


今の生活の項目別での満足度-家族の健康

〔ス 家族の健康〕

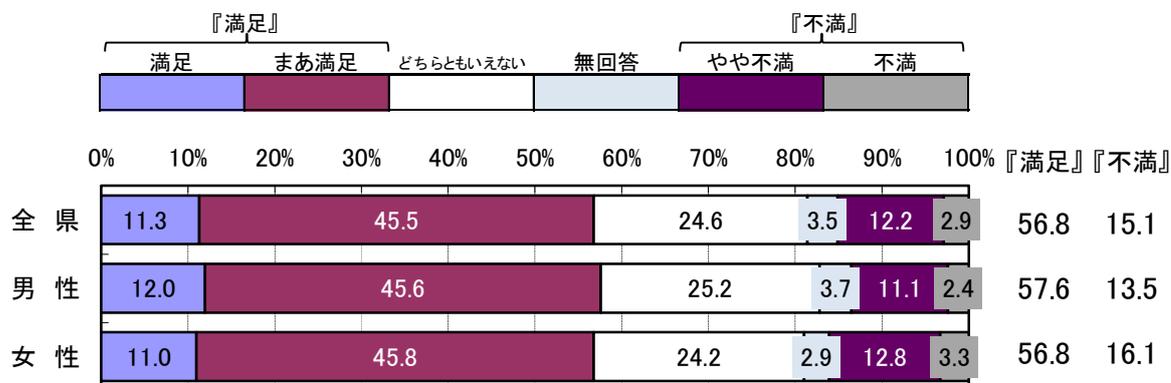
【地域別】

『満足』は、神戸が最も高く、西播磨、阪神北が続いている。



【性別】

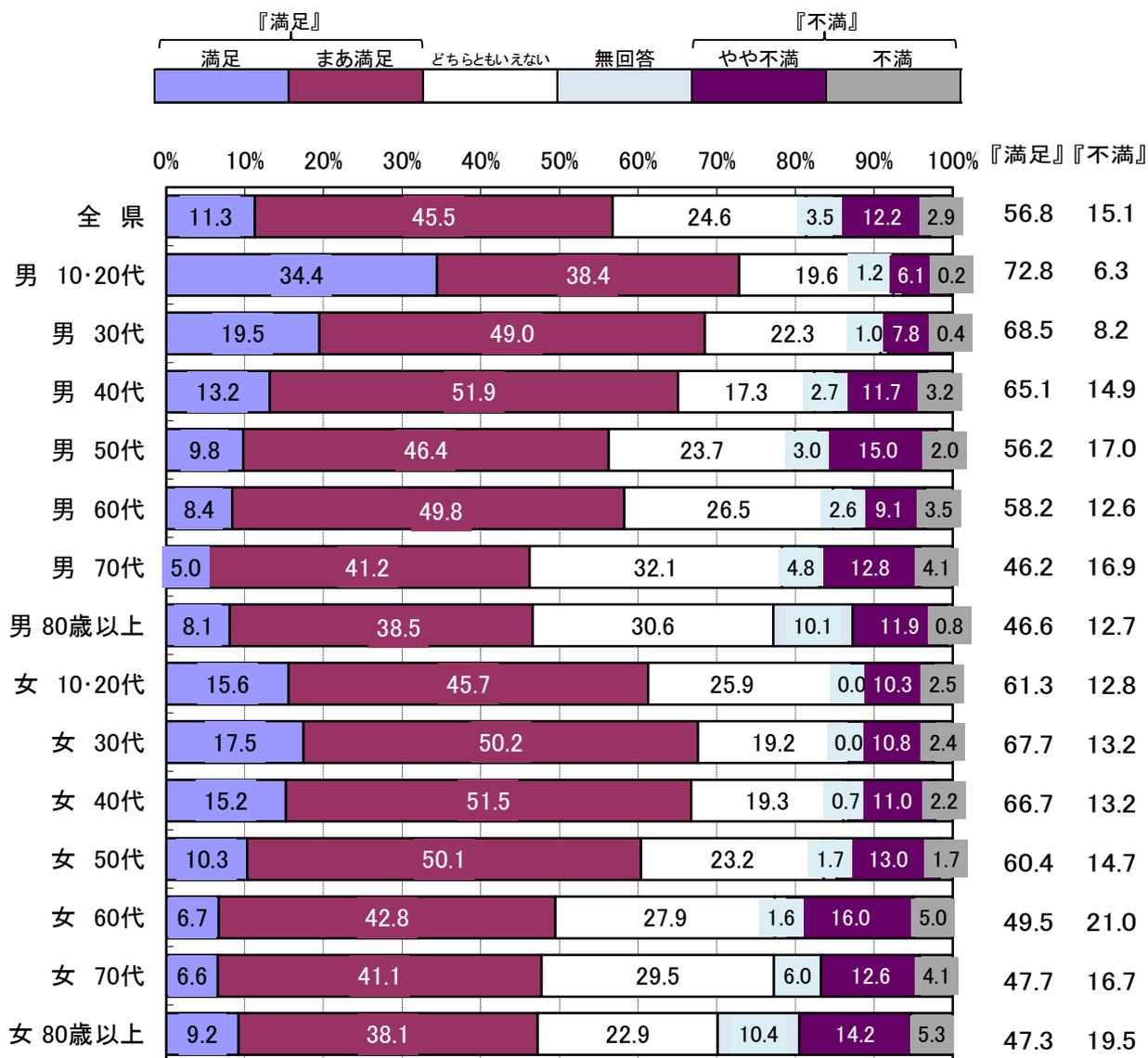
『不満』は、女性の方が男性より2.6ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度・家族の健康

【性・年代別】

『満足』は、男性は10・20代、女性は30代が最も高い。



問 24 去年と比べた生活の向上感

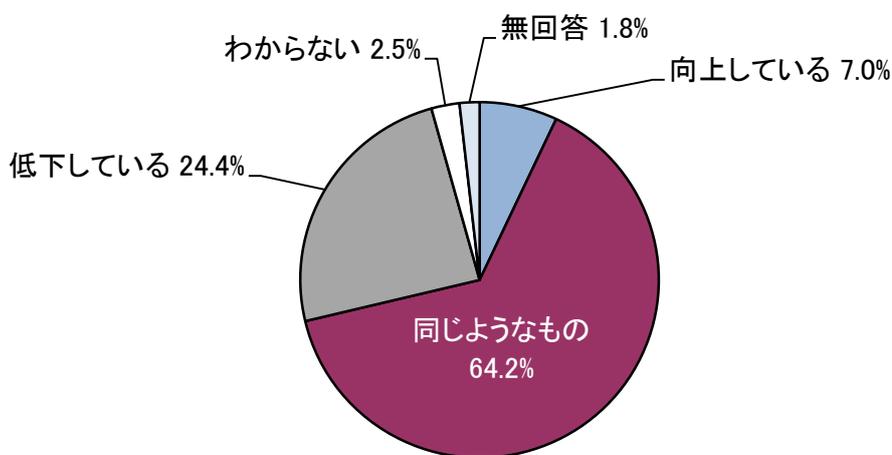
問 24

あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 向上している
- 2 同じようなもの
- 3 低下している
- 4 わからない

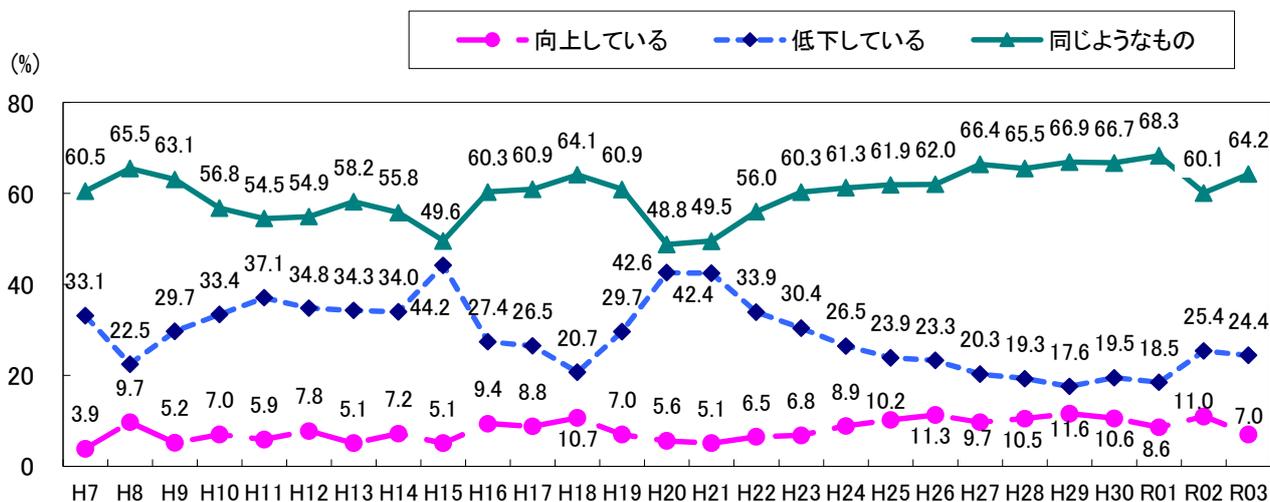
【全県】

「同じようなもの」が最も高く(64.2%)、次いで「低下している」、「向上している」の順となった。



【経年比較】

「向上している」は前年から4.0ポイント減少し、「低下している」も1.0ポイント減少した。



去年と比べた生活の向上感

【地域別】

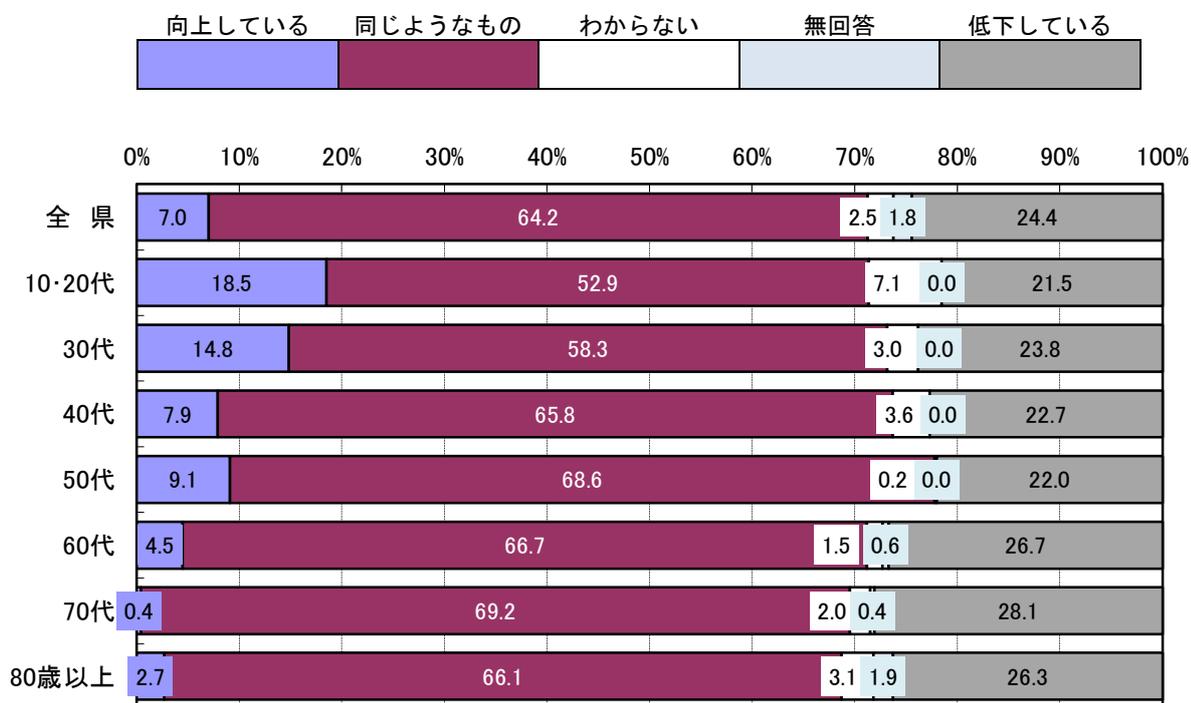
「向上している」は阪神南が最も高く、東播磨、神戸が続いている。



去年と比べた生活の向上感

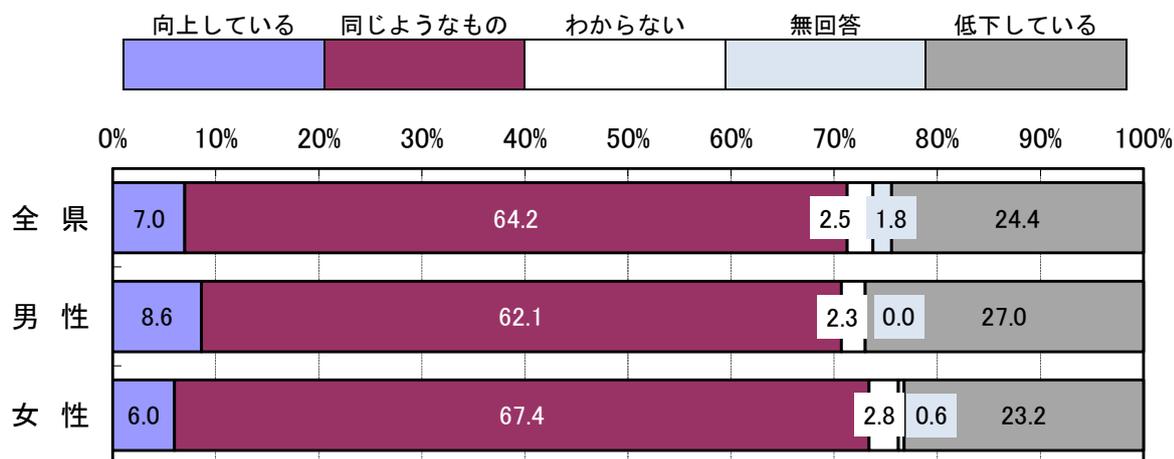
【年代別】

「向上している」は10・20代が最も高い。



【性別】

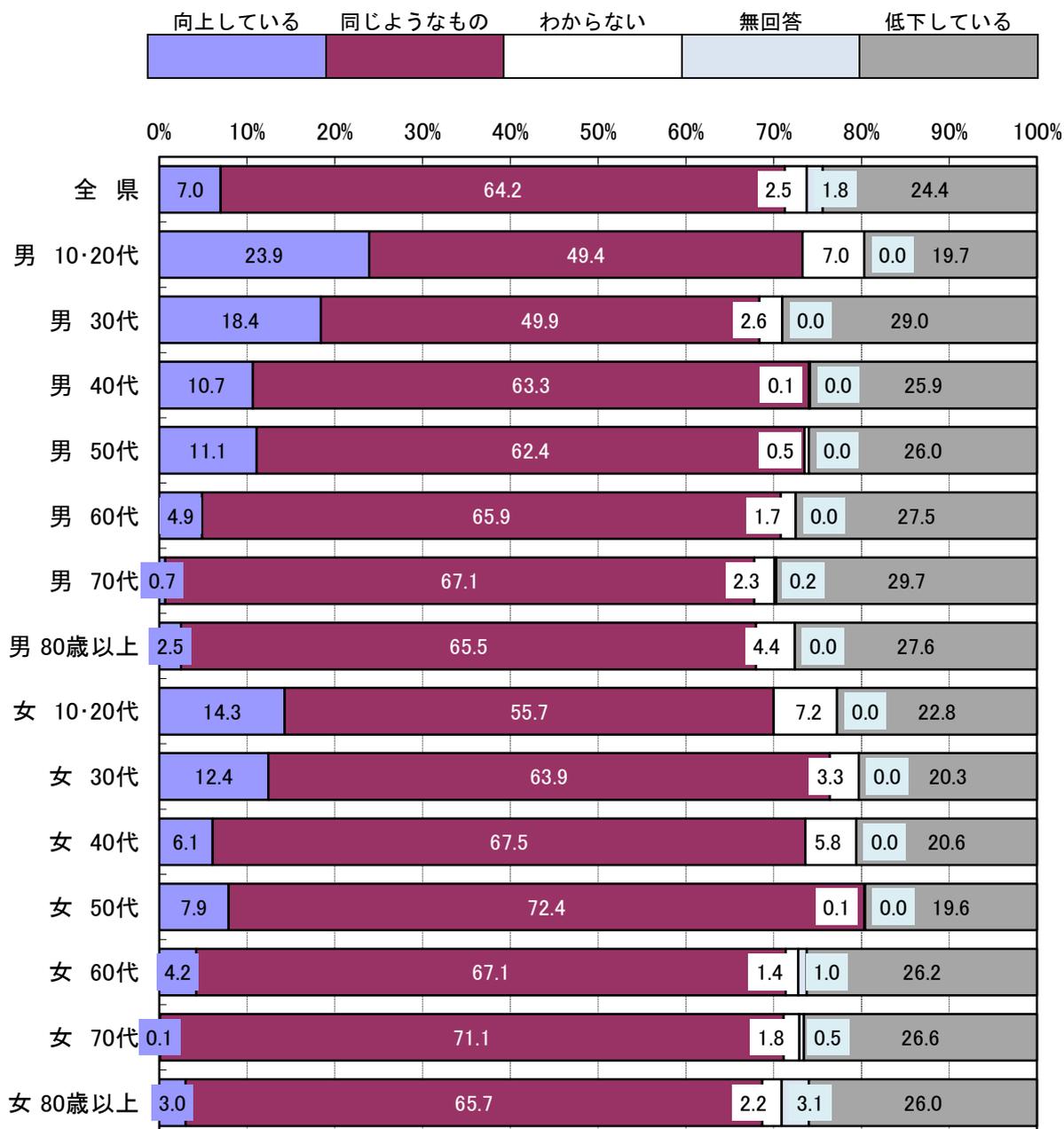
「向上している」は、男性の方が女性より2.6ポイント高い。



去年と比べた生活の向上感

【性・年代別】

「向上している」は、男女ともに10・20代が最も高い。



問 25 大地震発生の可能性

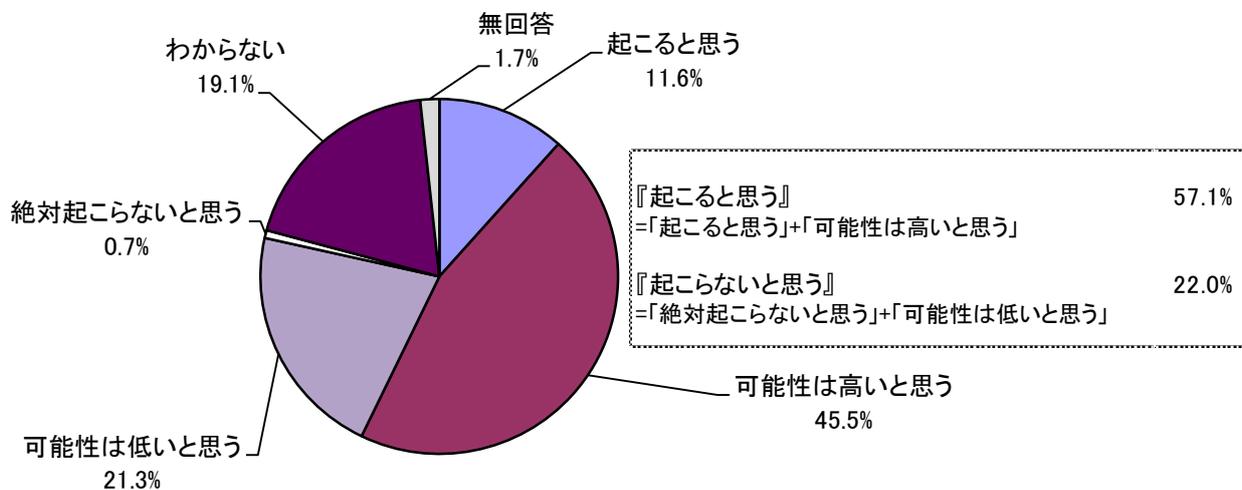
問 25

あなたの住んでいる地域で、今後 10 年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 起こると思う
- 2 可能性は高いと思う
- 3 可能性は低いと思う
- 4 絶対起こらないと思う
- 5 わからない

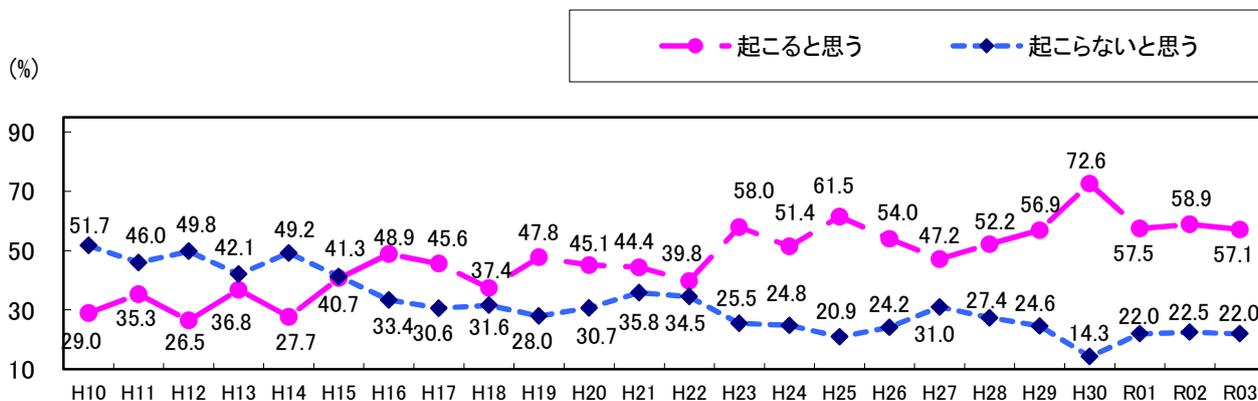
【全県】

「起こると思う」と「可能性は高いと思う」を合わせた『起こると思う』は 57.1%で、「絶対起こらない」と「可能性は低いと思う」を合わせた『起こらないと思う』は 22.0%となった。



【経年比較】

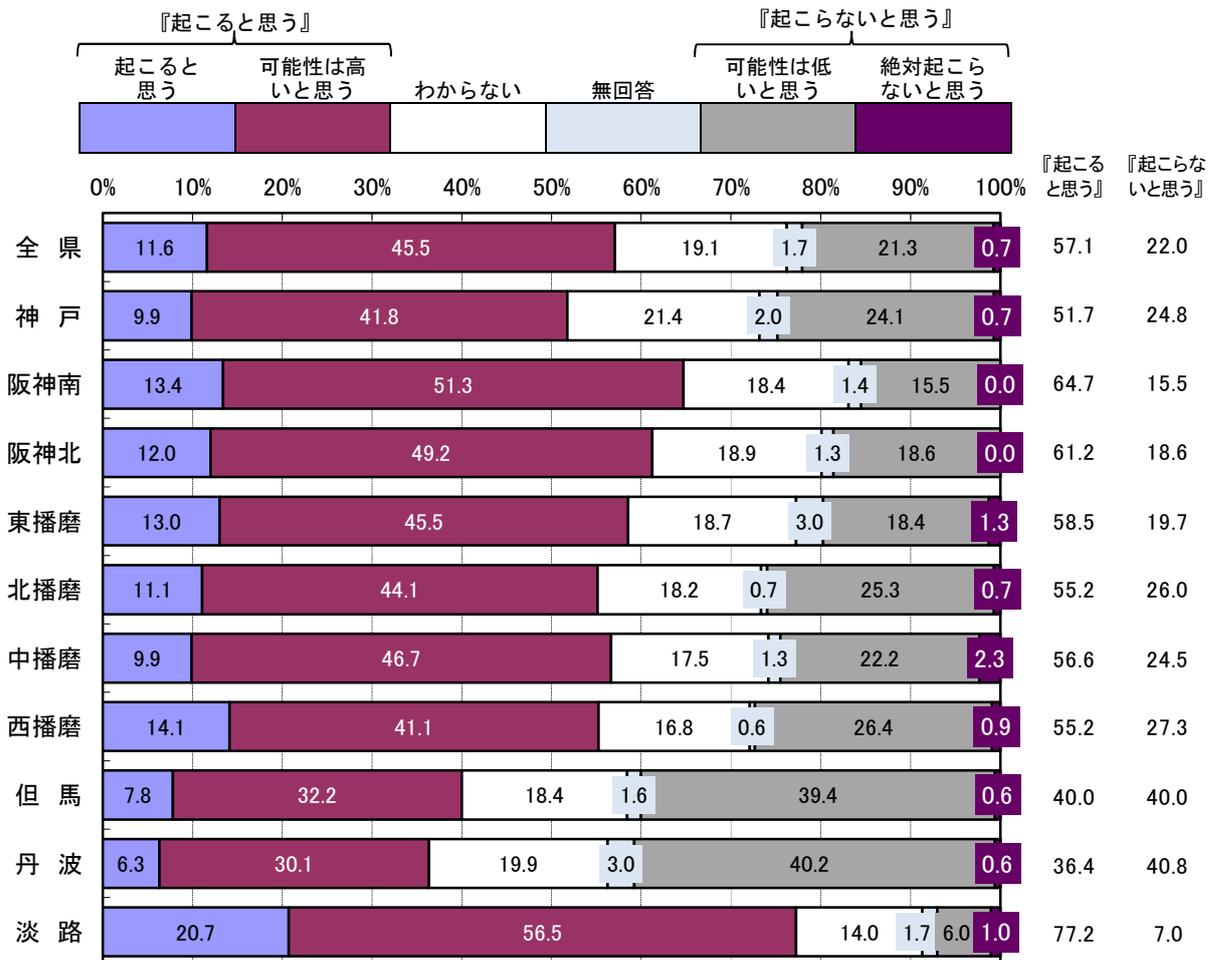
『起こると思う』は、前年よりも 1.8 ポイント減少している。



大地震発生の可能性

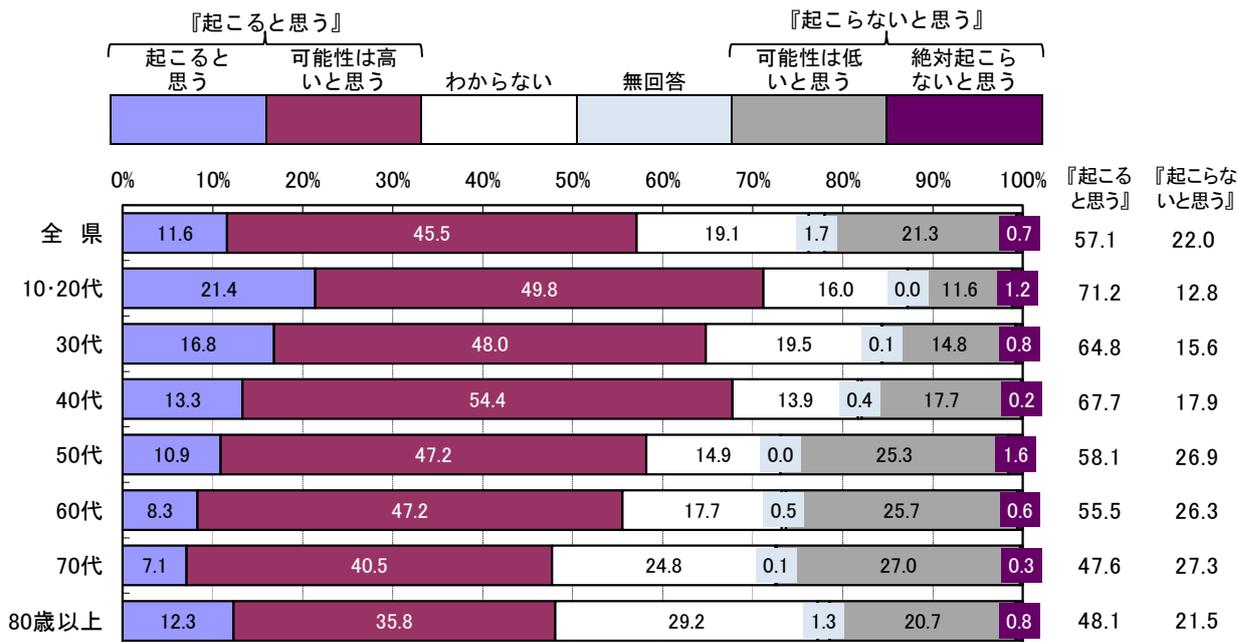
【地域別】

『起こると思う』は淡路が最も高く、次いで阪神南、阪神北が続いている。



【年代別】

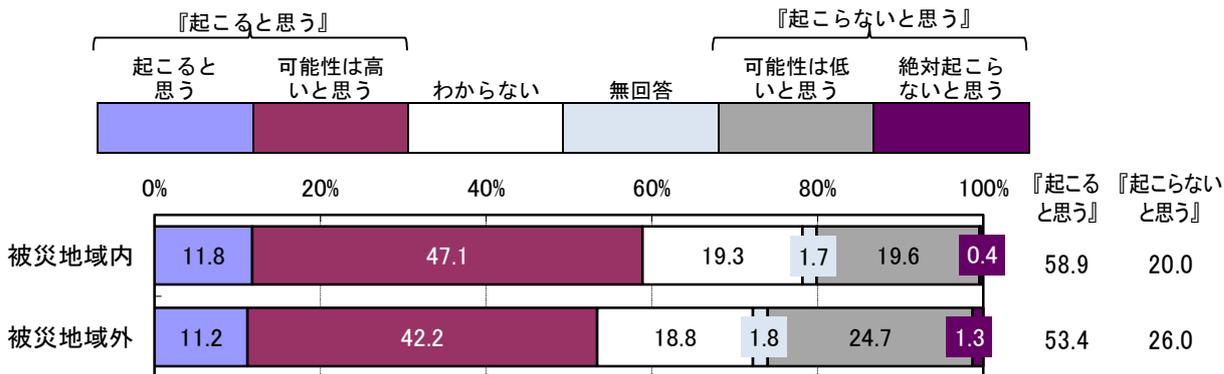
『起こると思う』は10・20代がもっとも高い。



大地震発生の可能性

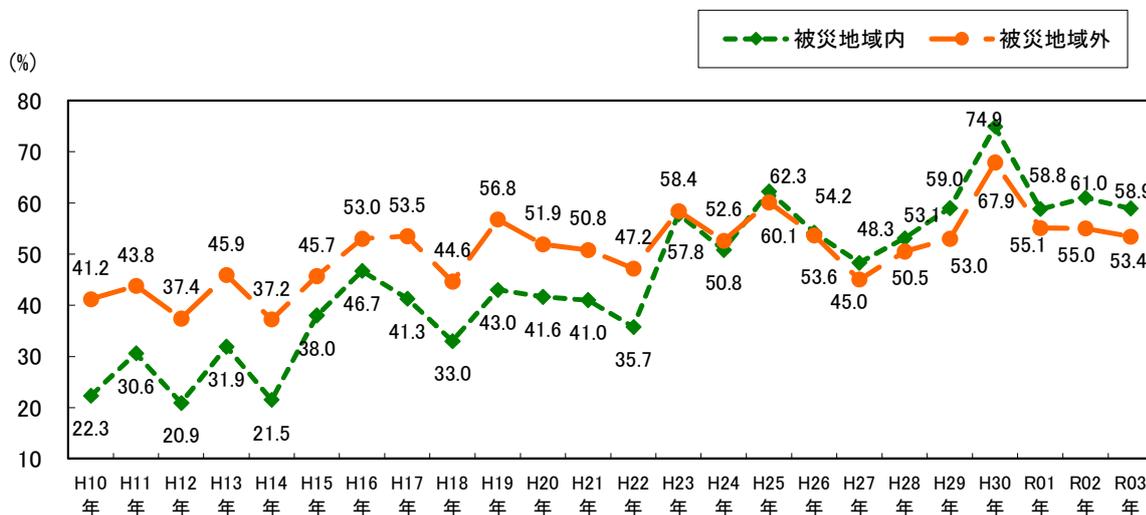
【阪神・淡路大震災 被災地域内外別(※)】

『起こると思う』は、被災地域外よりも被災地域内の方が5.5ポイント高くなっている。



【阪神・淡路大震災 被災地域内外別『起こると思う』(経年比較)】

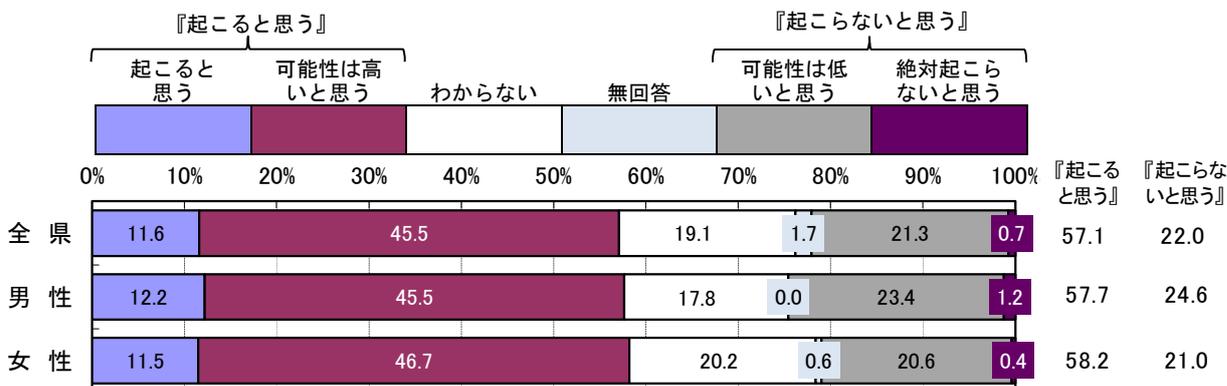
被災地域内は前年より2.1ポイント減少し、被災地域外も1.6ポイント減少している。



※被災地域・・・神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、川西市、淡路市、洲本市、南あわじ市

【性別】

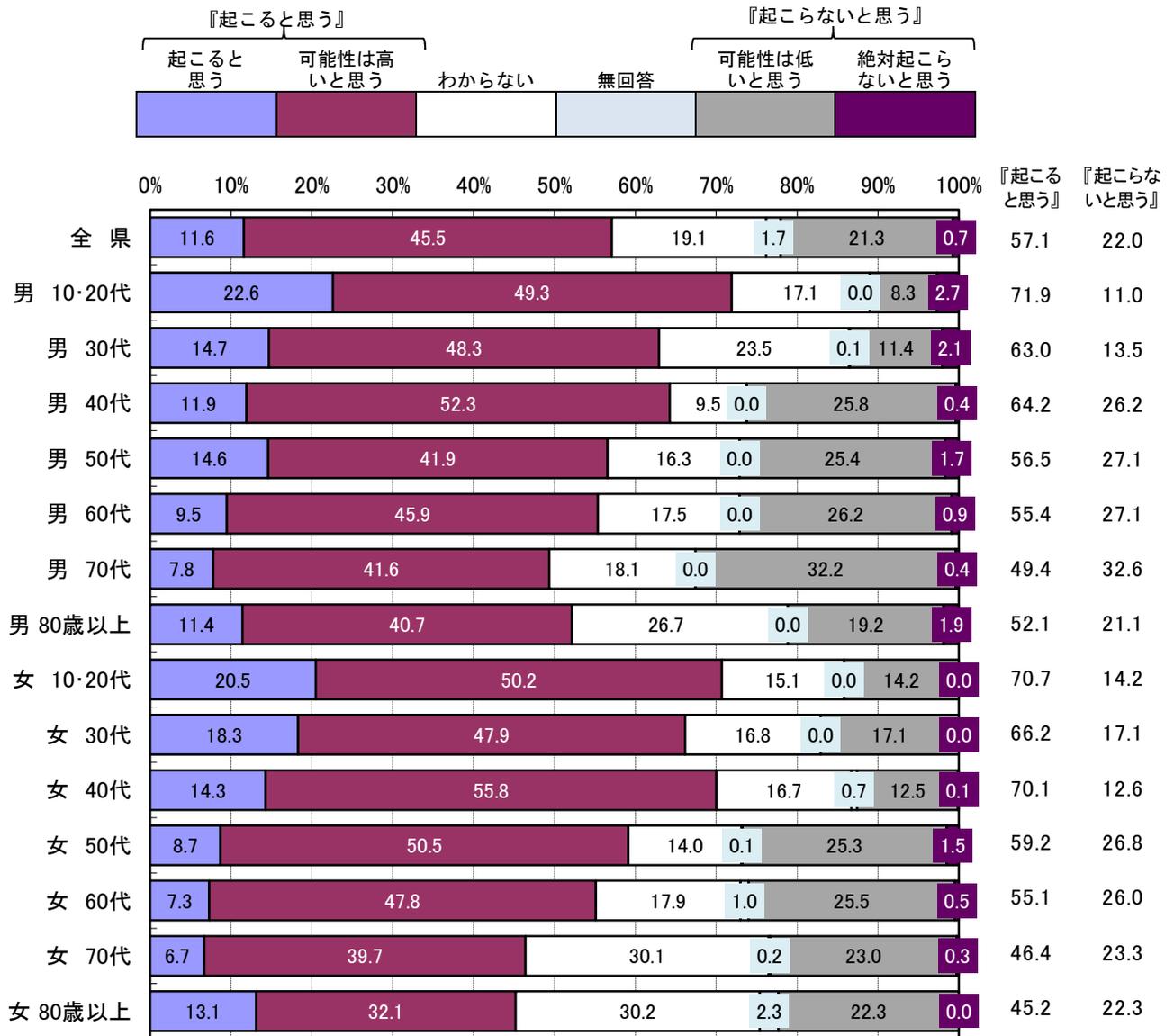
『起こらないと思う』は、男性の方が女性より3.6ポイント高い。



大地震発生の可能性

【性・年代別】

『起こると思う』は、男女ともに10・20代が最も高い。



問 26 地域活動への参加

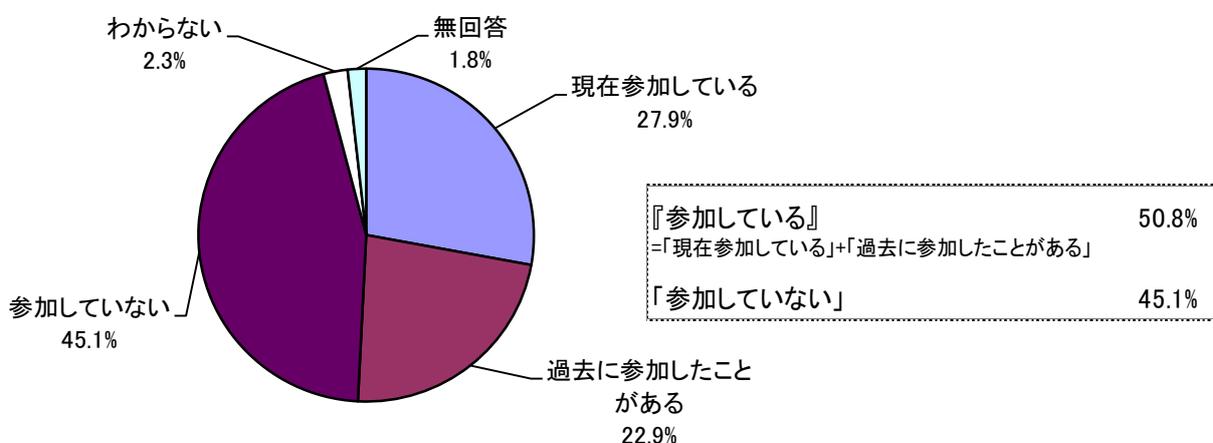
問 26

あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 現在参加している
- 2 過去に参加したことがある
- 3 参加していない
- 4 わからない

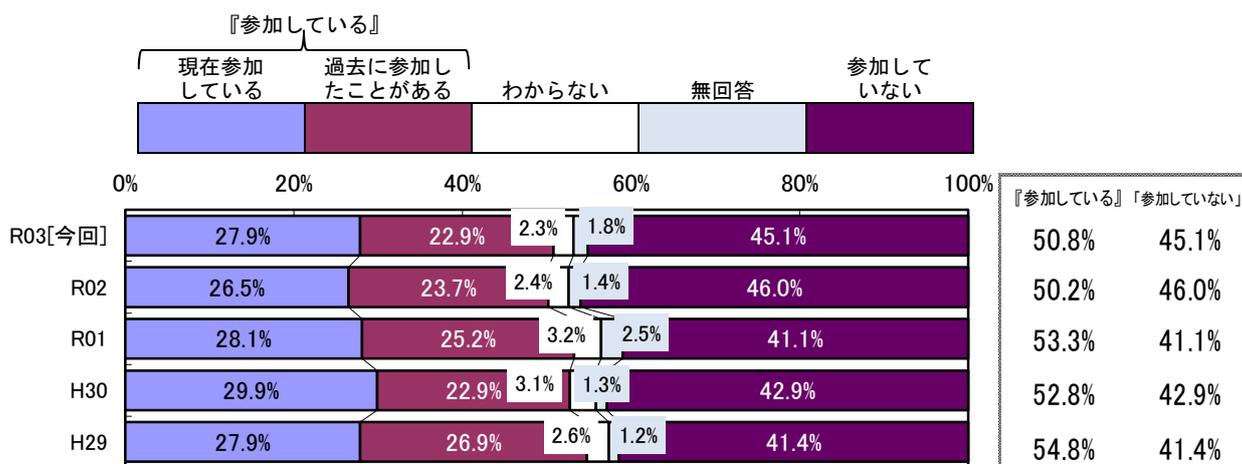
【全県】

「現在参加している」と「過去に参加したことがある」を合わせた『参加している』は50.8%となった。



【経年比較】

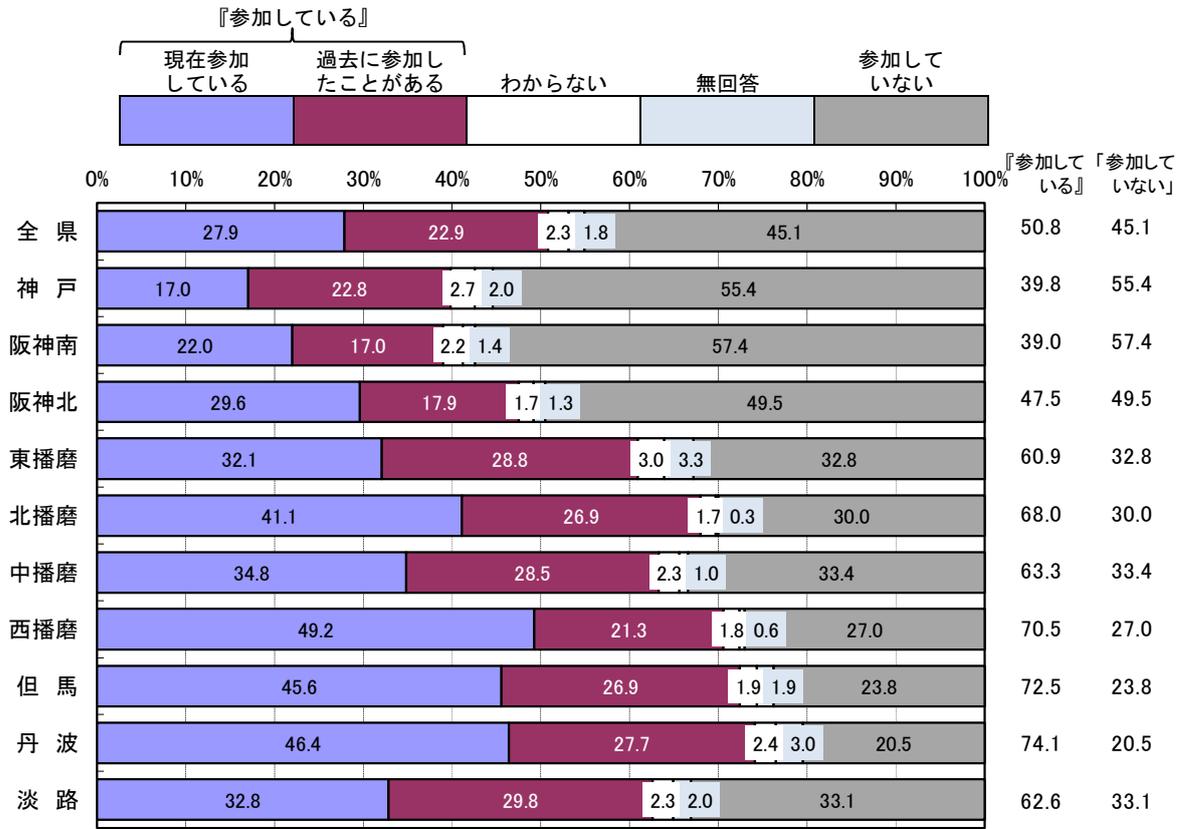
『参加している』は、前年(50.2%)より0.6ポイント増加した。



地域活動への参加

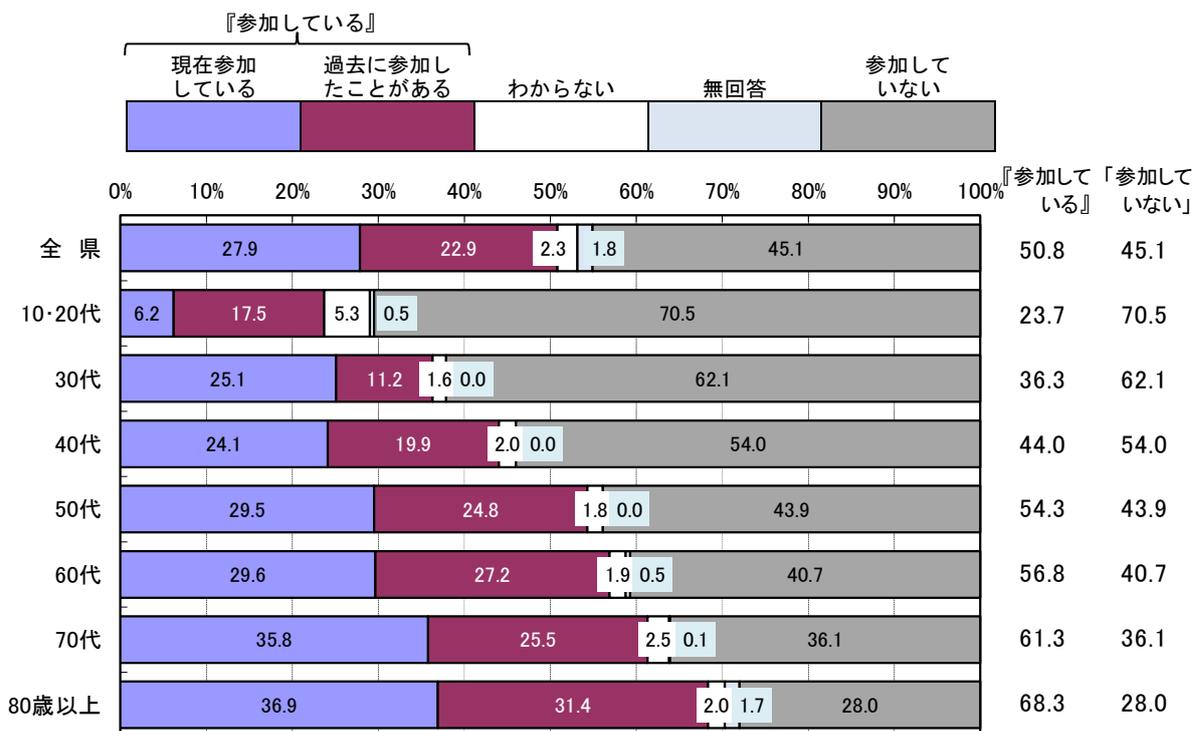
【地域別】

『参加している』は、丹波が最も高く、但馬、西播磨が続いている。



【年代別】

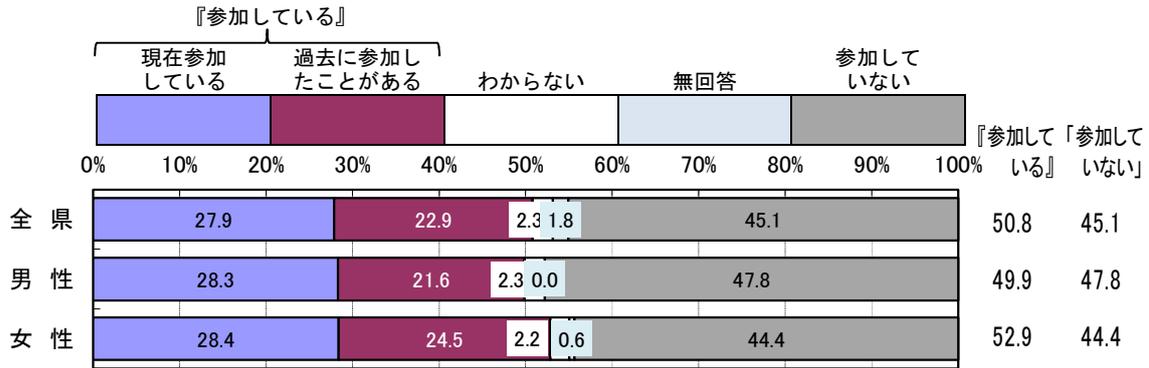
『参加している』は80歳以上が最も高い。



地域活動への参加

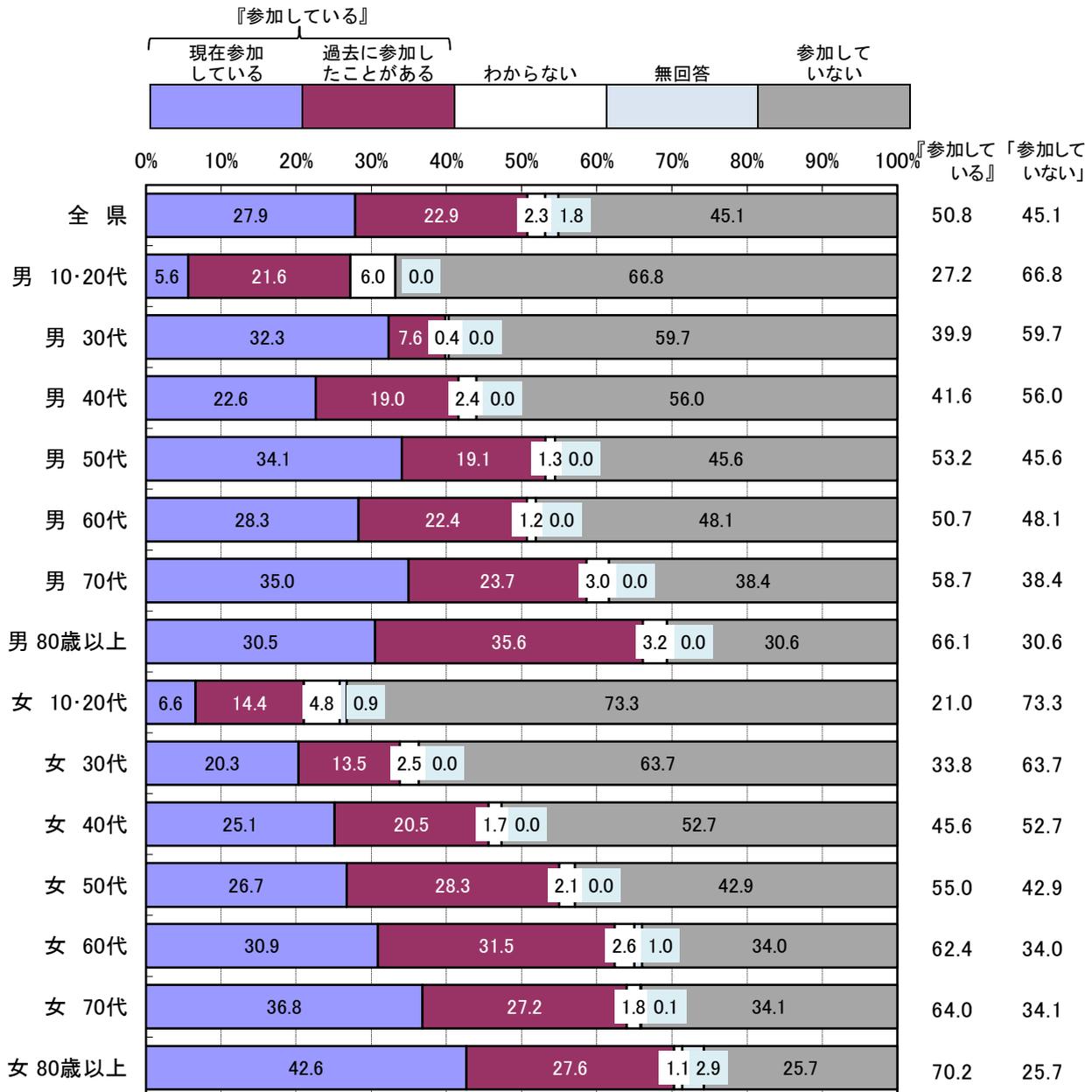
【性別】

『参加している』は、女性の方が男性より3.0ポイント高い。



【性・年代別】

『参加している』は、男女ともに80歳以上が最も高い。



問 27 県政への関心

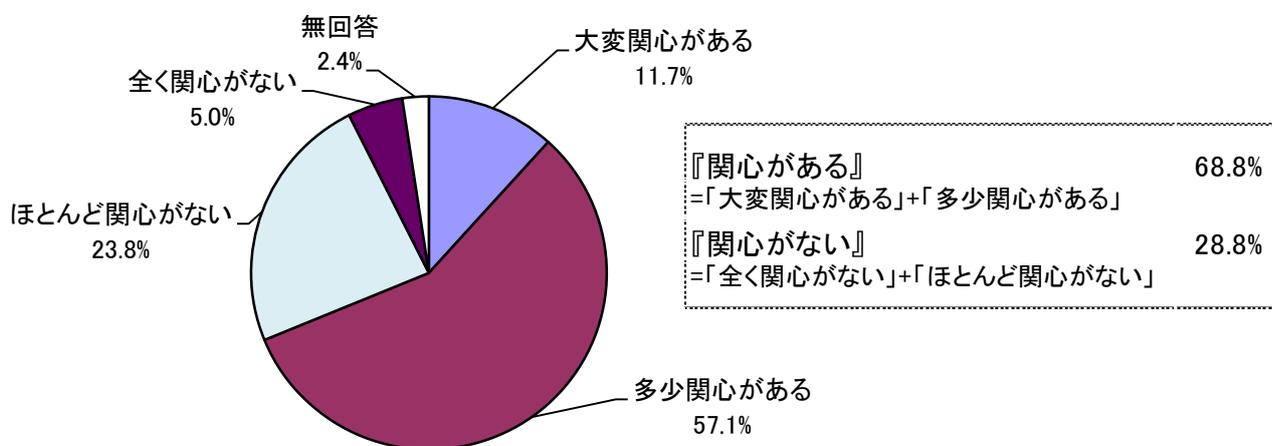
問 27

あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大変関心がある
- 2 多少関心がある
- 3 ほとんど関心がない
- 4 全く関心がない

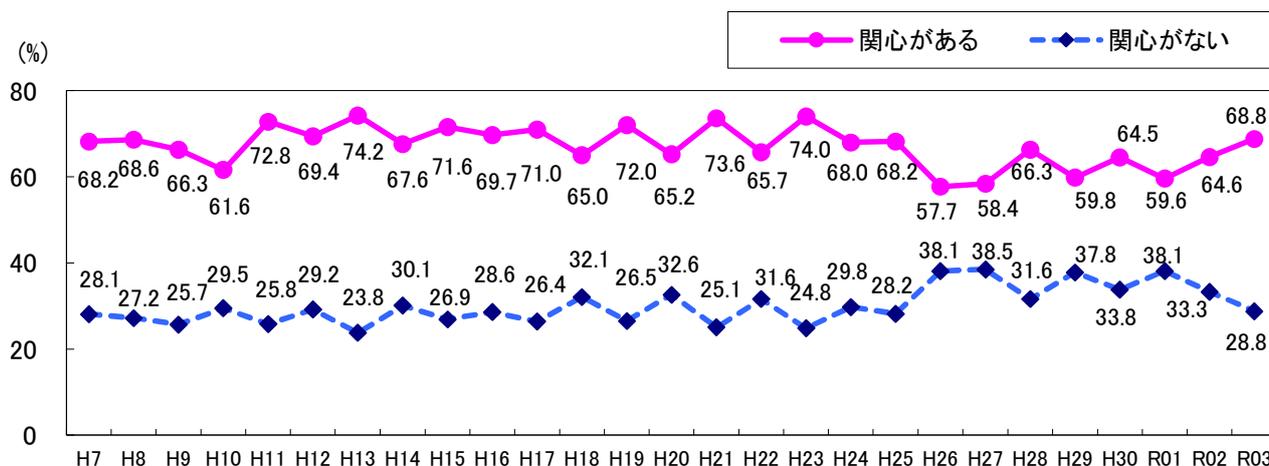
【全県】

「大変関心がある」と「多少関心がある」を合わせた『関心がある』が 68.8%で、「全く関心がない」と「ほとんど関心がない」を合わせた『関心がない』は 28.8%となった。



【経年比較】

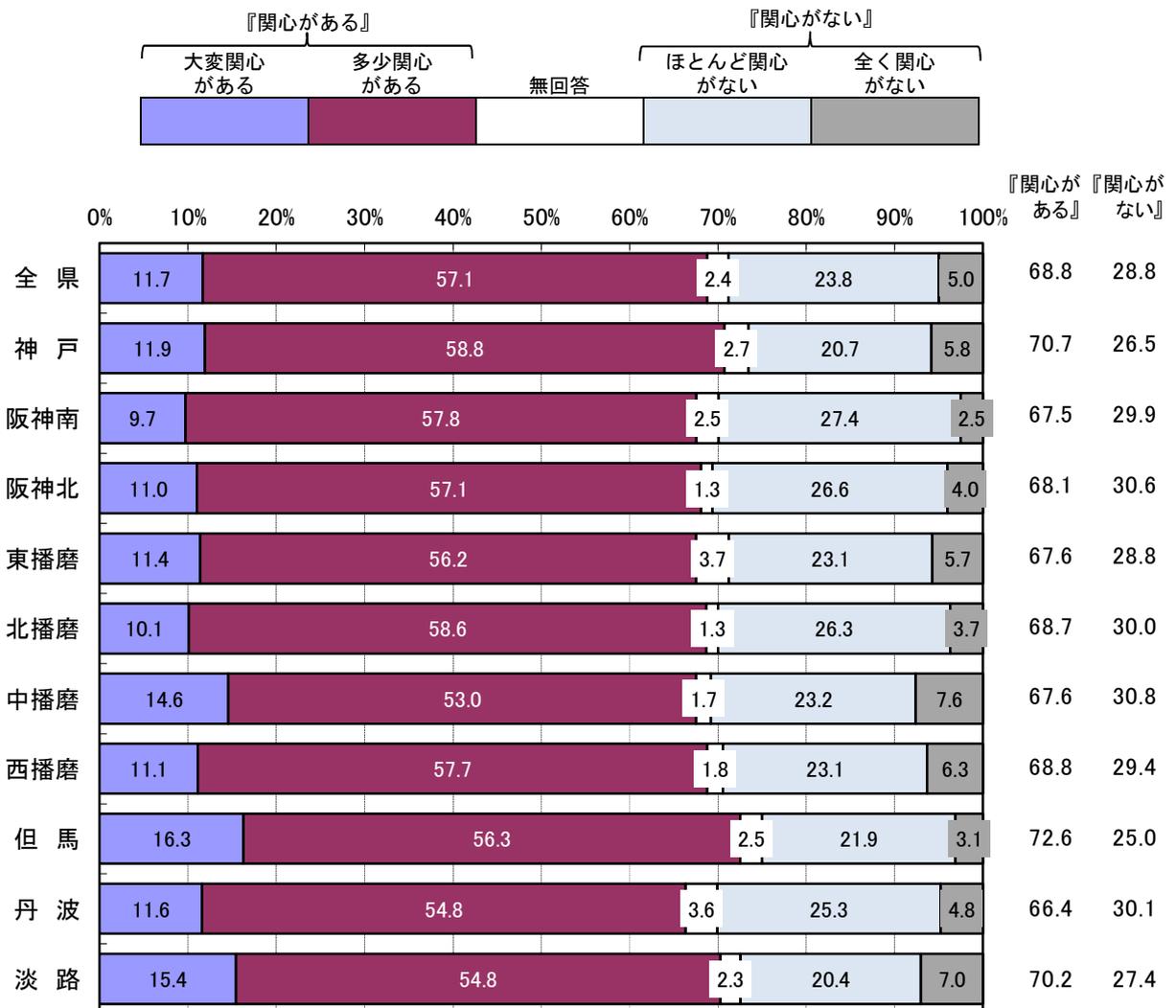
『関心がある』は前年より 4.2 ポイント増加し、『関心がない』は前年より 4.5 ポイント減少している。



県政への関心

【地域別】

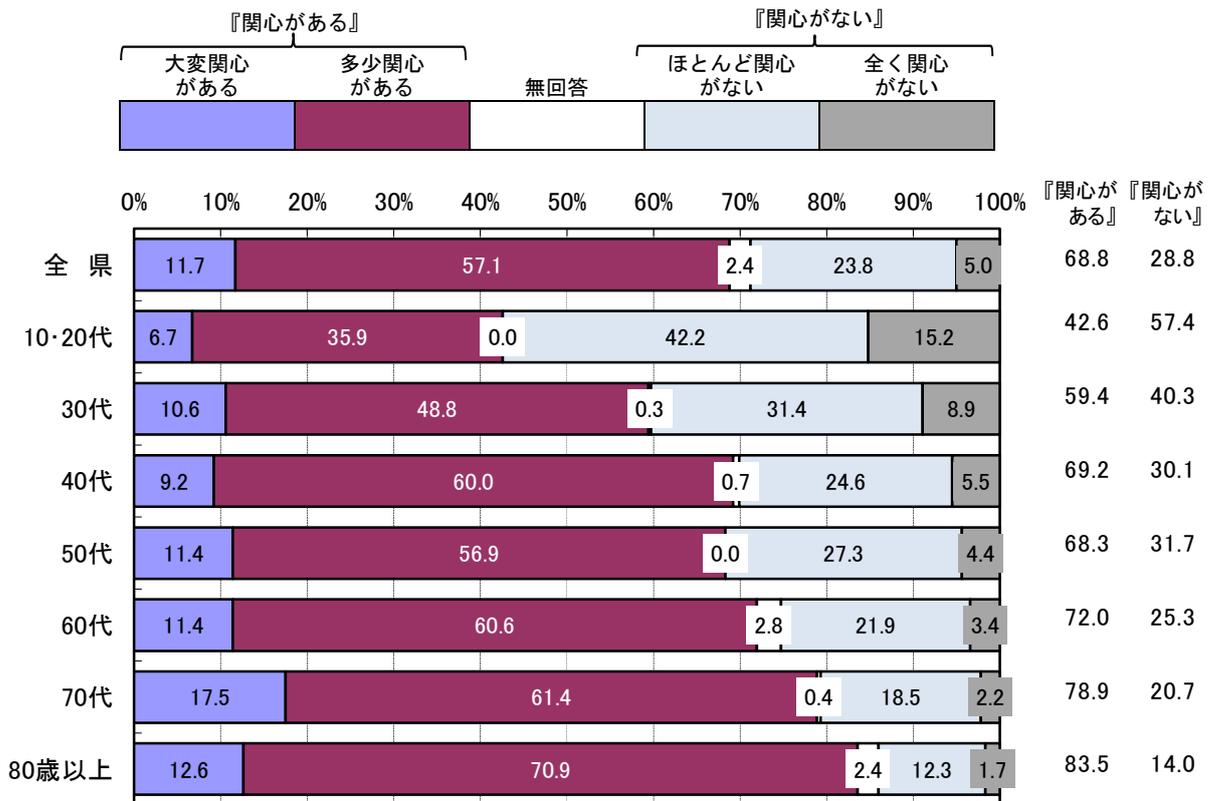
『関心がある』は但馬が最も高く、神戸、淡路が続いている。



県政への関心

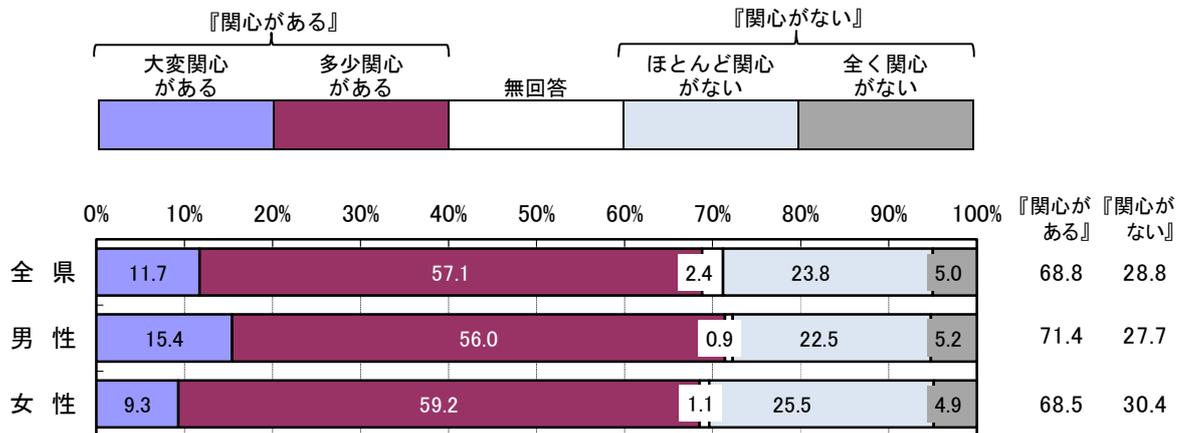
【年代別】

『関心がある』は、80歳以上が最も高い。



【性別】

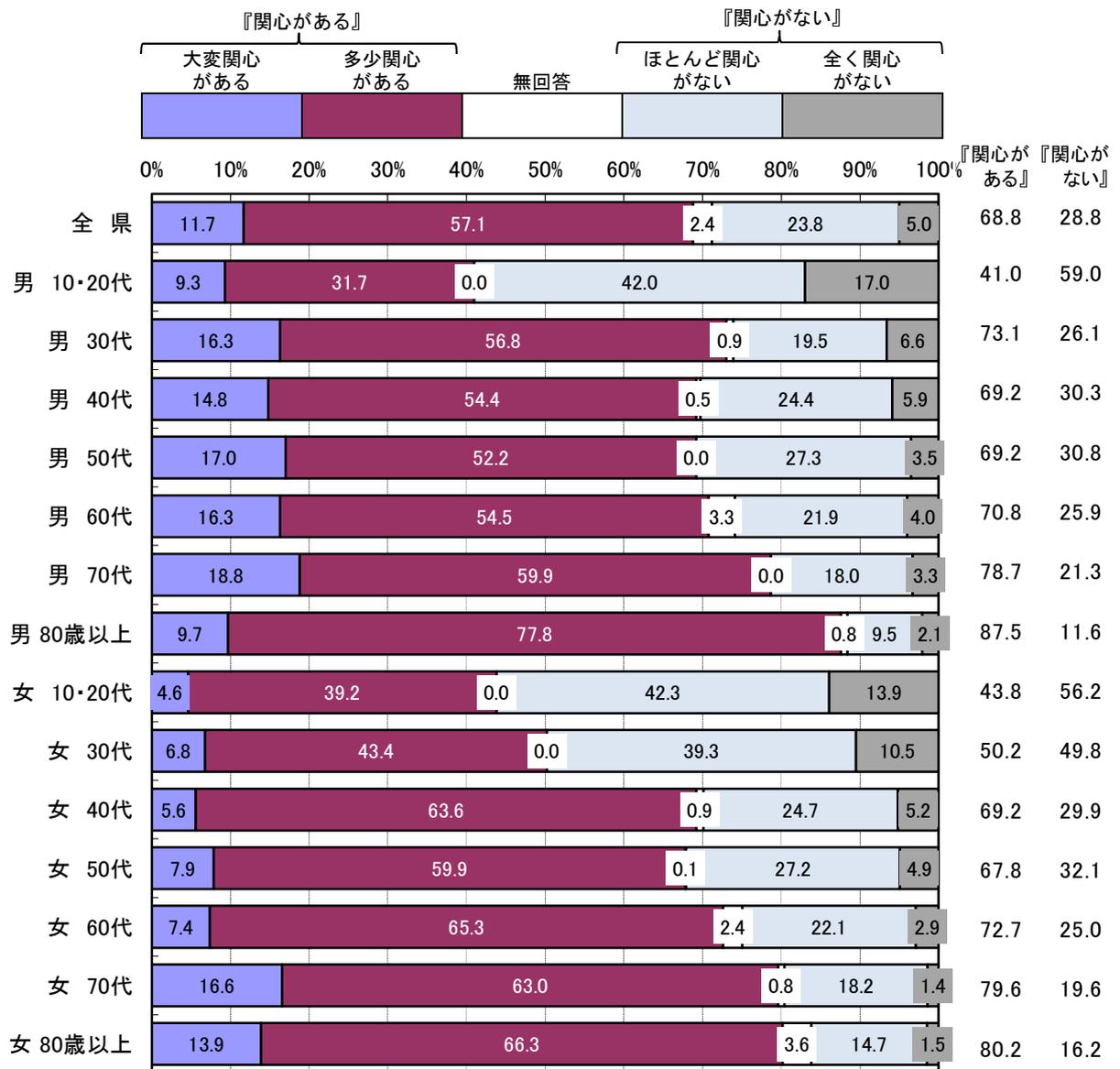
『関心がある』は、男性の方が女性より2.9ポイント高い。



県政への関心

【性・年代別】

『関心がある』は、男女ともに80歳以上が最も高い。



問 28 県政への評価

問 28

県が行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- ア 国際的な交流や協力
- イ 県政の広報・広聴活動
- ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力
- エ 防災対策の充実
- オ 生涯学習活動への支援
- カ 芸術文化の振興
- キ 環境の保全と創造
- ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実
- コ 県内中小企業の育成
- サ 雇用の安定と職業能力の開発
- シ 観光の振興
- ス 農林水産業の活性化対策
- セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- ソ 良質な住宅の供給
- タ 学校教育の充実
- チ 交通安全・防犯対策
- ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 よくやっている | 2 まあまあやっている | 3 どちらともいえない |
| 4 もう少し努力が必要 | 5 もっと努力が必要 | |

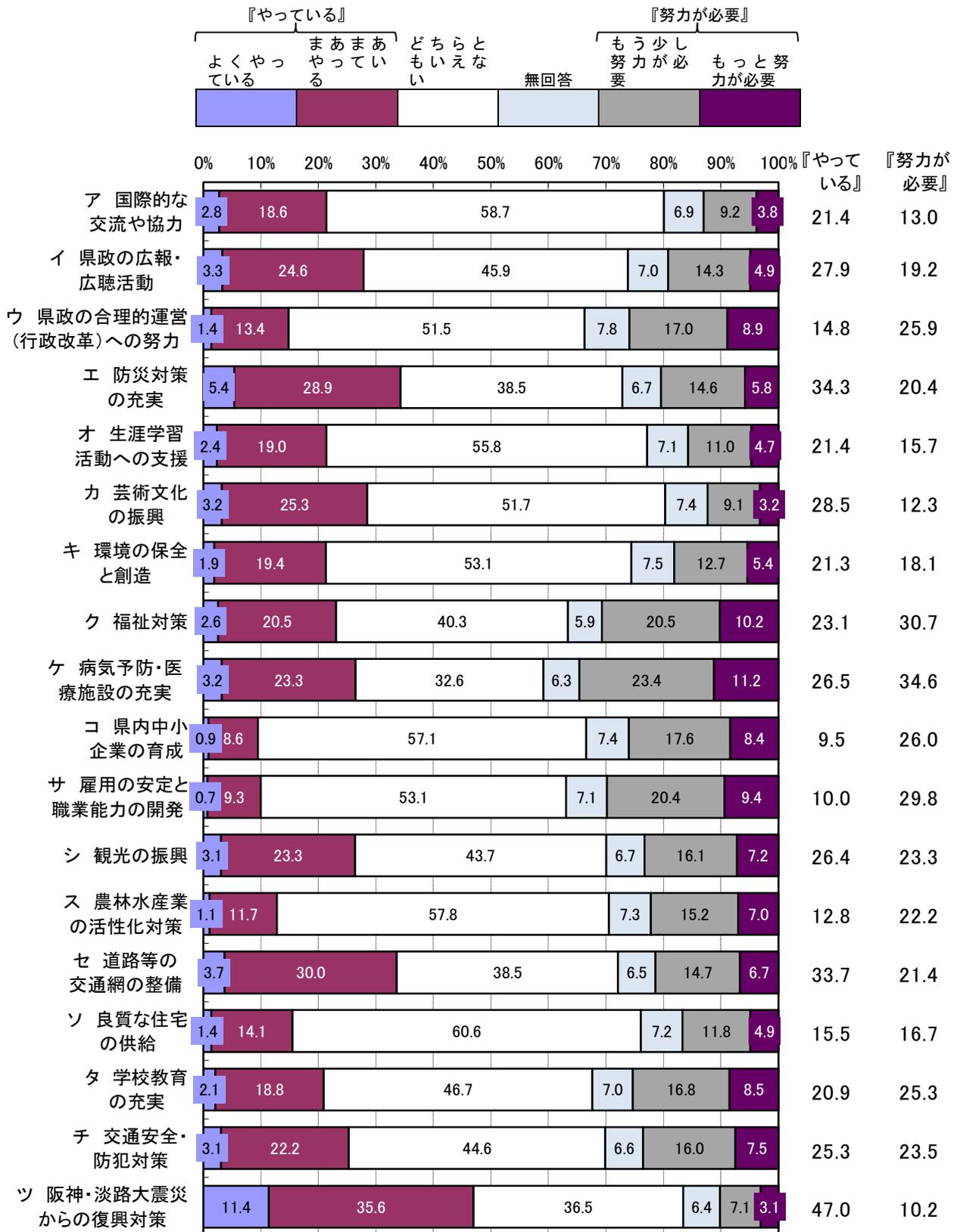
【全 県】

「よくやっている」と「まあまあやっている」を合わせた『やっている』は「ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策(47.0%)」が最も高く、「エ 防災対策の充実(34.3%)」、「セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備(33.7%)」と続く。

「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」を合わせた『努力が必要』は、「ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実(34.6%)」、「ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策(30.7%)」、「サ 雇用の安定と職業能力の開発(29.8%)」が最も高くと続いている。

18項目中、10項目で『やっている』が『努力が必要』を上回った。

県政への評価



県政への評価

【前年度比較】

『やっている』は、〔コ 県内中小企業の育成 (0.5 ポイント増)〕で増加した。

一方、『努力が必要』は〔ケ 病気予防や医療施設の充実 (7.7 ポイント増)〕、〔ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策 (3.3 ポイント増)〕、〔シ 観光の振興 (3.2 ポイント増)〕など、10項目で増加した。

◎県政への評価【前年度比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
コ 県内中小企業の育成	0.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.1
オ 生涯学習活動への支援	-0.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.5
カ 芸術文化の振興	-1.5
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.7
ス 農林水産業の活性化対策	-2.0
エ 防災対策の充実	-2.1
チ 交通安全・防犯対策	-2.5
シ 観光の振興	-2.9
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	-3.0
イ 県政の広報・広聴活動	-3.2
ア 国際的な交流や協力	-3.6
ソ 良質な住宅の供給	-3.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.9
ケ 病気予防や医療施設の充実	-4.4
キ 環境の保全と創造	-4.6
タ 学校教育の充実	-4.8

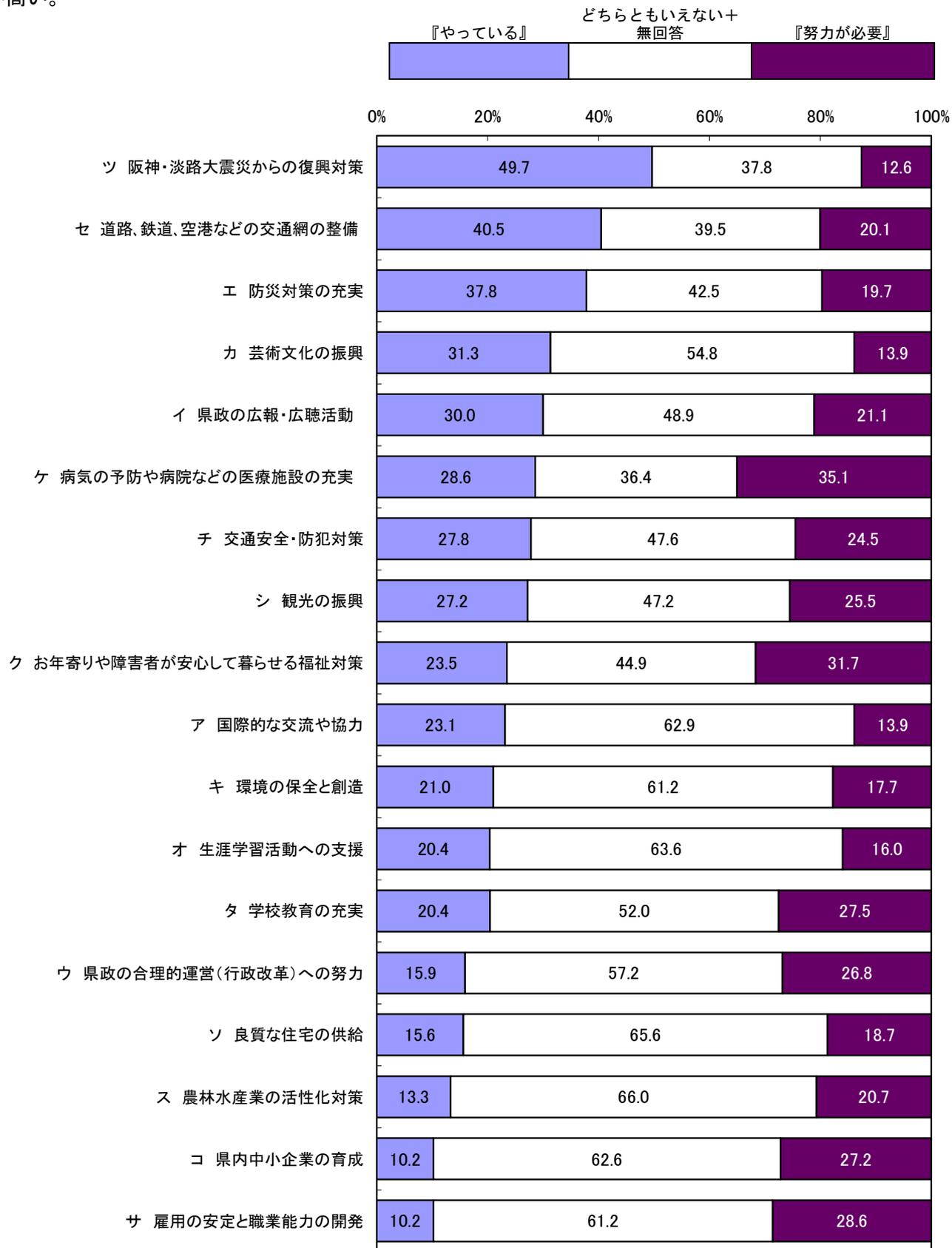
◎県政への評価【前年度比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

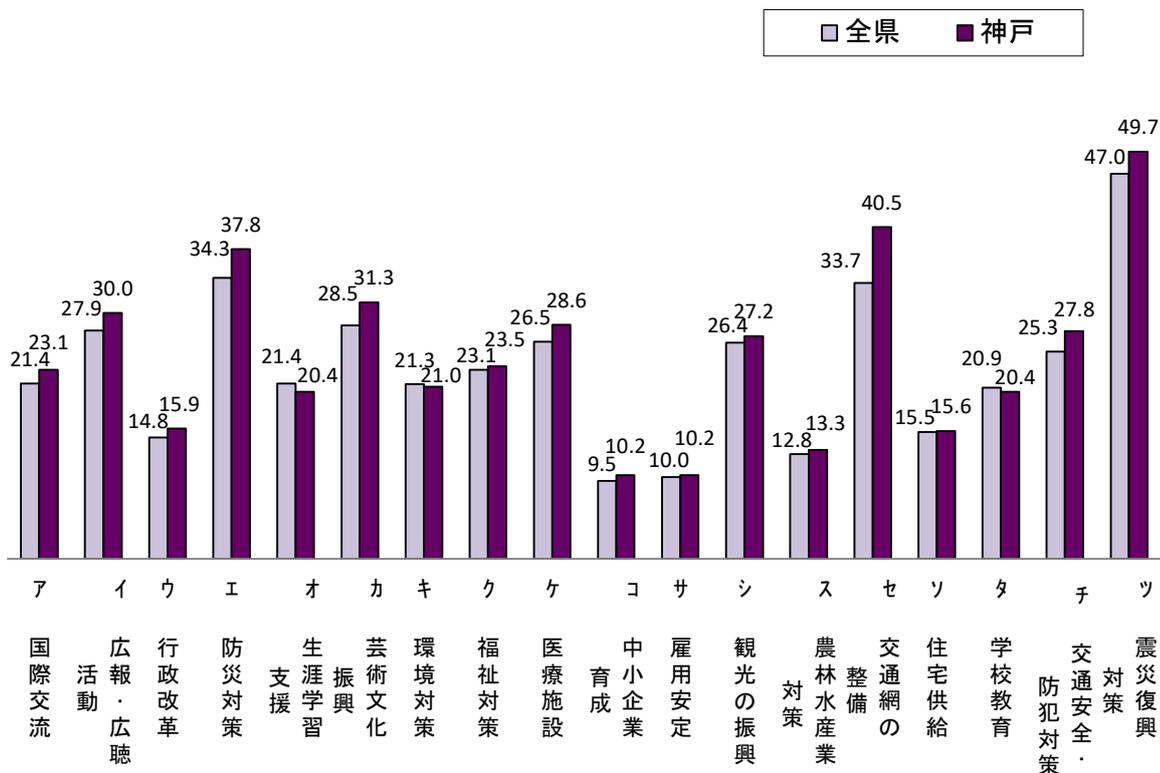
『努力が必要』	増減
ケ 病気予防や医療施設の充実	7.7
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	3.3
シ 観光の振興	3.2
タ 学校教育の充実	3.2
ス 農林水産業の活性化対策	1.3
チ 交通安全・防犯対策	1.1
キ 環境の保全と創造	1.0
エ 防災対策の充実	0.7
イ 県政の広報・広聴活動	0.0
コ 県内中小企業の育成	0.0
カ 芸術文化の振興	-0.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.1
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.2
ソ 良質な住宅の供給	-0.9
オ 生涯学習活動への支援	-1.5
ア 国際的な交流や協力	-3.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.1

《神戸地域》

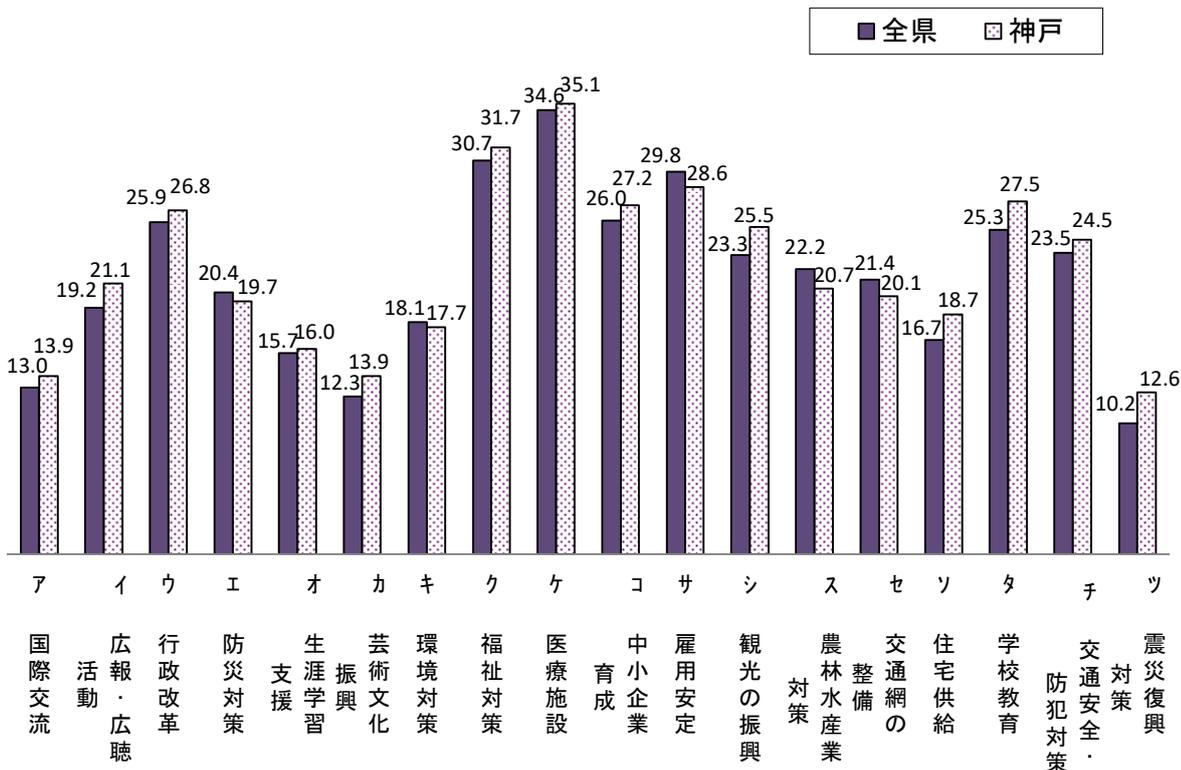
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と神戸】



『努力が必要』【全県と神戸】



全県との比較では、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等の評価が高く、〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔カ 芸術文化の振興〕等の評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.8
エ 防災対策の充実	3.5
カ 芸術文化の振興	2.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.7
チ 交通安全・防犯対策	2.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.1
イ 県政の広報・広聴活動	2.1
ア 国際的な交流や協力	1.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.1
シ 観光の振興	0.8
コ 県内中小企業の育成	0.7
ス 農林水産業の活性化対策	0.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.2
ソ 良質な住宅の供給	0.1
キ 環境の保全と創造	-0.3
タ 学校教育の充実	-0.5
オ 生涯学習活動への支援	-1.0

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.4
シ 観光の振興	2.2
タ 学校教育の充実	2.2
ソ 良質な住宅の供給	2.0
イ 県政の広報・広聴活動	1.9
カ 芸術文化の振興	1.6
コ 県内中小企業の育成	1.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.0
チ 交通安全・防犯対策	1.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.9
ア 国際的な交流や協力	0.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.5
オ 生涯学習活動への支援	0.3
キ 環境の保全と創造	-0.4
エ 防災対策の充実	-0.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.3
ス 農林水産業の活性化対策	-1.5

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

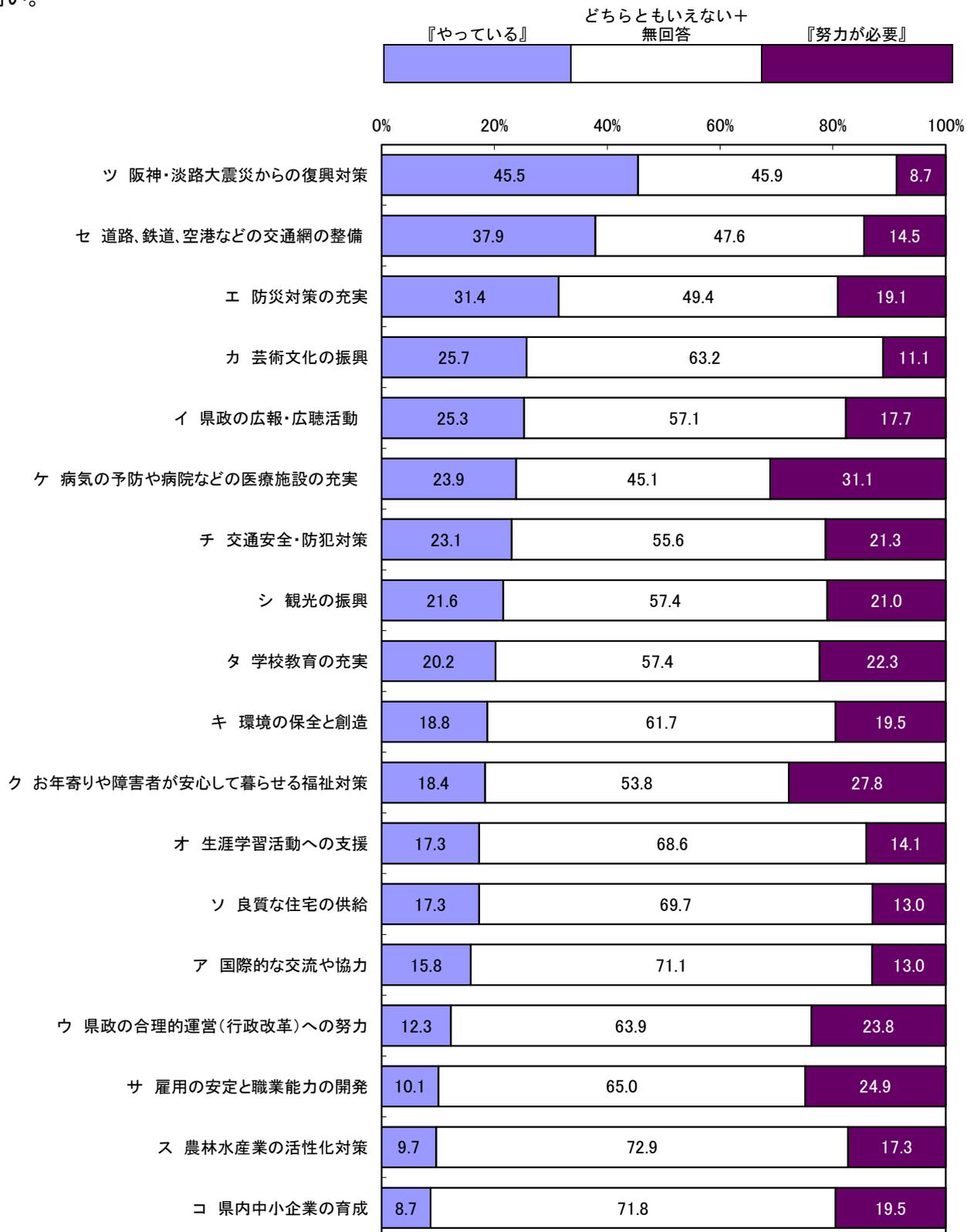
『やっている』	増減
カ 芸術文化の振興	2.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.5
コ 県内中小企業の育成	2.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.6
チ 交通安全・防犯対策	-2.2
イ 県政の広報・広聴活動	-2.4
ス 農林水産業の活性化対策	-2.6
ソ 良質な住宅の供給	-2.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.3
エ 防災対策の充実	-3.6
オ 生涯学習活動への支援	-3.8
シ 観光の振興	-4.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-5.1
ア 国際的な交流や協力	-5.2
タ 学校教育の充実	-5.8
キ 環境の保全と創造	-7.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-7.3

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

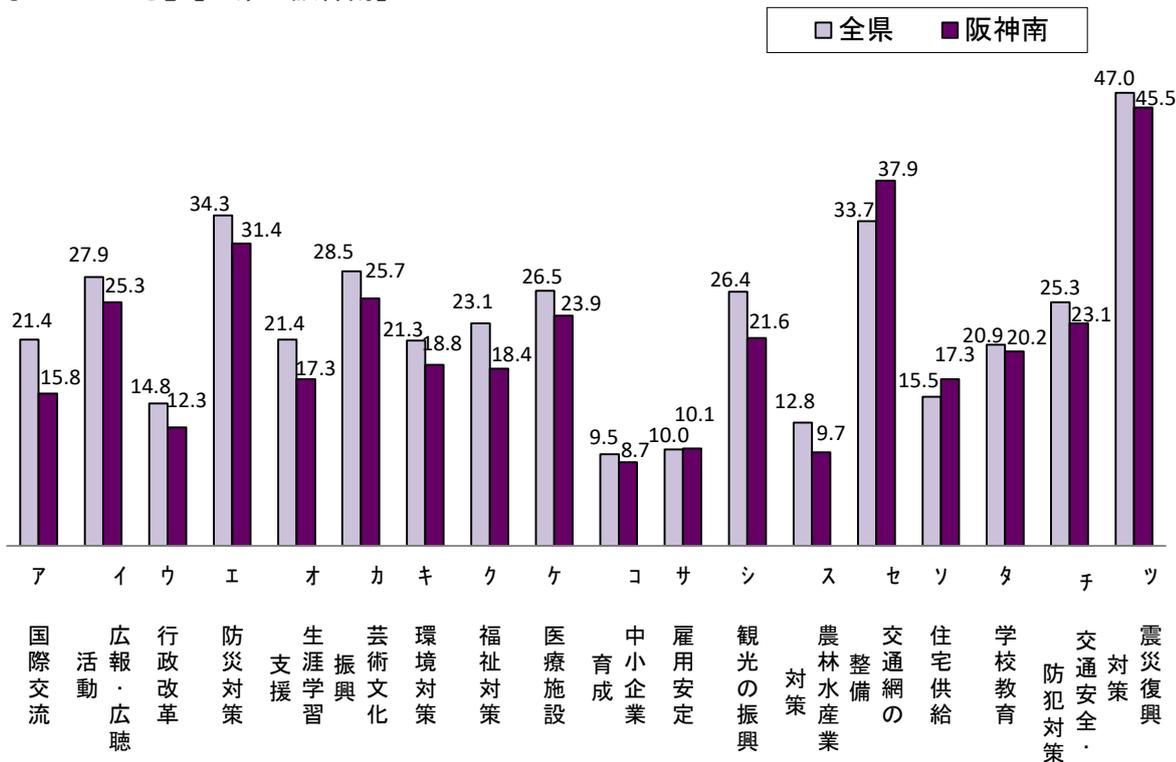
『努力が必要』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	9.6
シ 観光の振興	4.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.8
タ 学校教育の充実	2.7
エ 防災対策の充実	1.7
チ 交通安全・防犯対策	1.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.1
コ 県内中小企業の育成	0.3
キ 環境の保全と創造	0.1
ス 農林水産業の活性化対策	0.0
ソ 良質な住宅の供給	-0.6
カ 芸術文化の振興	-0.9
イ 県政の広報・広聴活動	-1.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.5
ア 国際的な交流や協力	-3.0
オ 生涯学習活動への支援	-3.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-4.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-5.2

《阪神南地域》

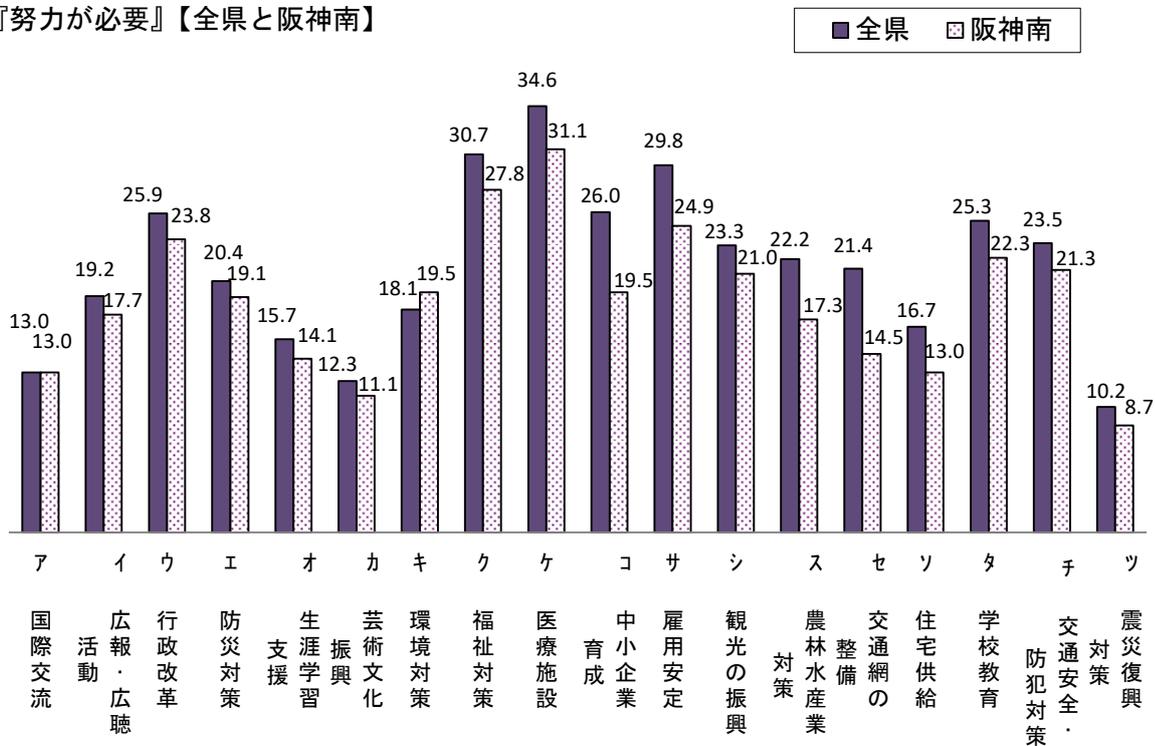
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と阪神南】



『努力が必要』【全県と阪神南】



全県との比較では、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等の評価が高く、〔キ 環境の保全と創造〕等で努力が求められている。

前年度の比較は〔オ 生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.2
ソ 良質な住宅の供給	1.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.1
タ 学校教育の充実	-0.7
コ 県内中小企業の育成	-0.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.5
チ 交通安全・防犯対策	-2.2
キ 環境の保全と創造	-2.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.5
イ 県政の広報・広聴活動	-2.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.6
カ 芸術文化の振興	-2.8
エ 防災対策の充実	-2.9
ス 農林水産業の活性化対策	-3.1
オ 生涯学習活動への支援	-4.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.7
シ 観光の振興	-4.8
ア 国際的な交流や協力	-5.6

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
キ 環境の保全と創造	1.4
ア 国際的な交流や協力	0.0
カ 芸術文化の振興	-1.2
エ 防災対策の充実	-1.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.5
イ 県政の広報・広聴活動	-1.5
オ 生涯学習活動への支援	-1.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.1
チ 交通安全・防犯対策	-2.2
シ 観光の振興	-2.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.9
タ 学校教育の充実	-3.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.5
ソ 良質な住宅の供給	-3.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-4.9
ス 農林水産業の活性化対策	-4.9
コ 県内中小企業の育成	-6.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.9

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

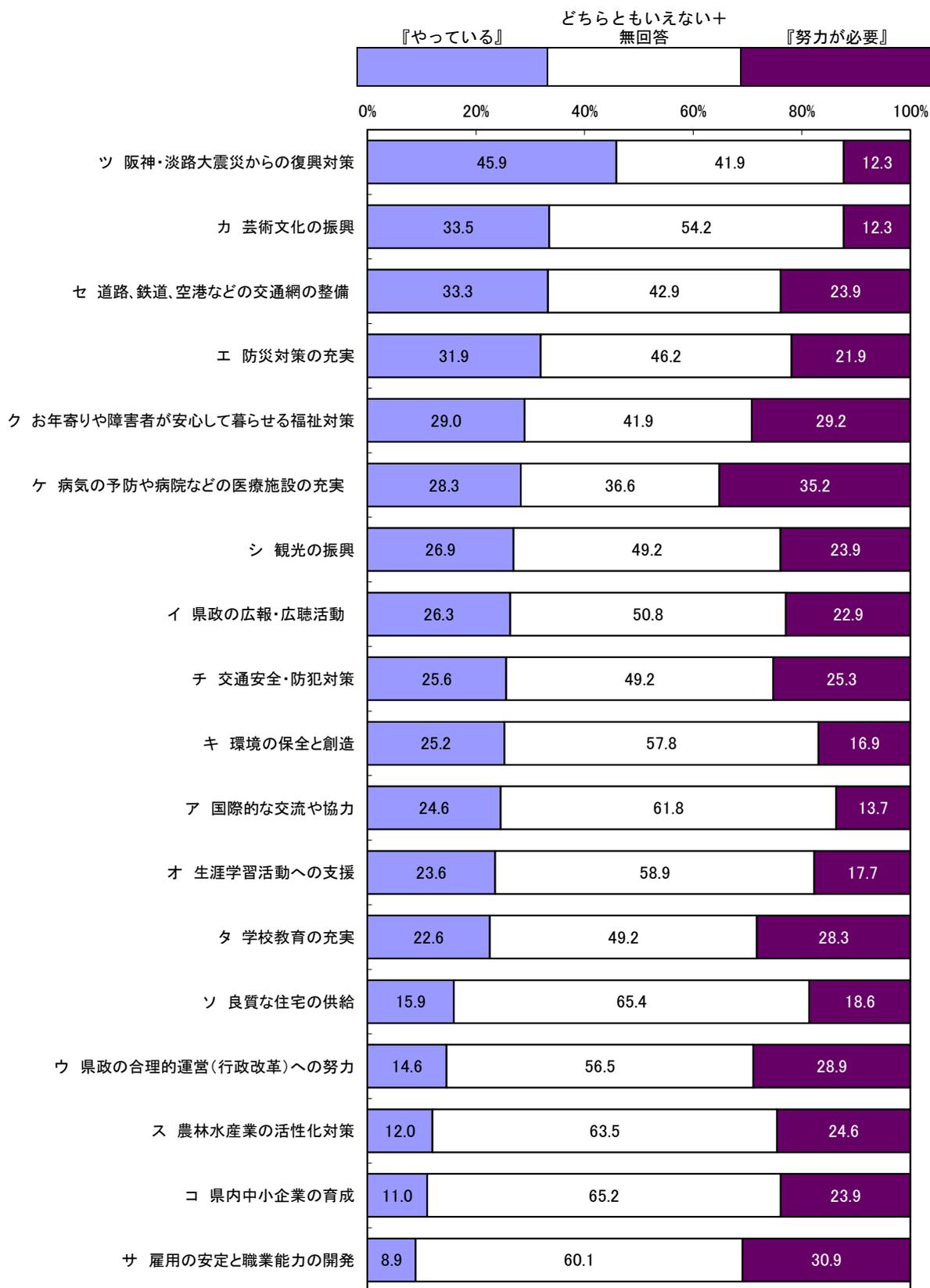
『やっている』	増減
オ 生涯学習活動への支援	0.2
コ 県内中小企業の育成	0.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.5
チ 交通安全・防犯対策	-2.7
ソ 良質な住宅の供給	-2.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.9
エ 防災対策の充実	-3.6
ス 農林水産業の活性化対策	-3.8
イ 県政の広報・広聴活動	-4.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.2
シ 観光の振興	-5.3
ア 国際的な交流や協力	-5.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.5
カ 芸術文化の振興	-6.7
キ 環境の保全と創造	-7.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-7.4
タ 学校教育の充実	-8.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

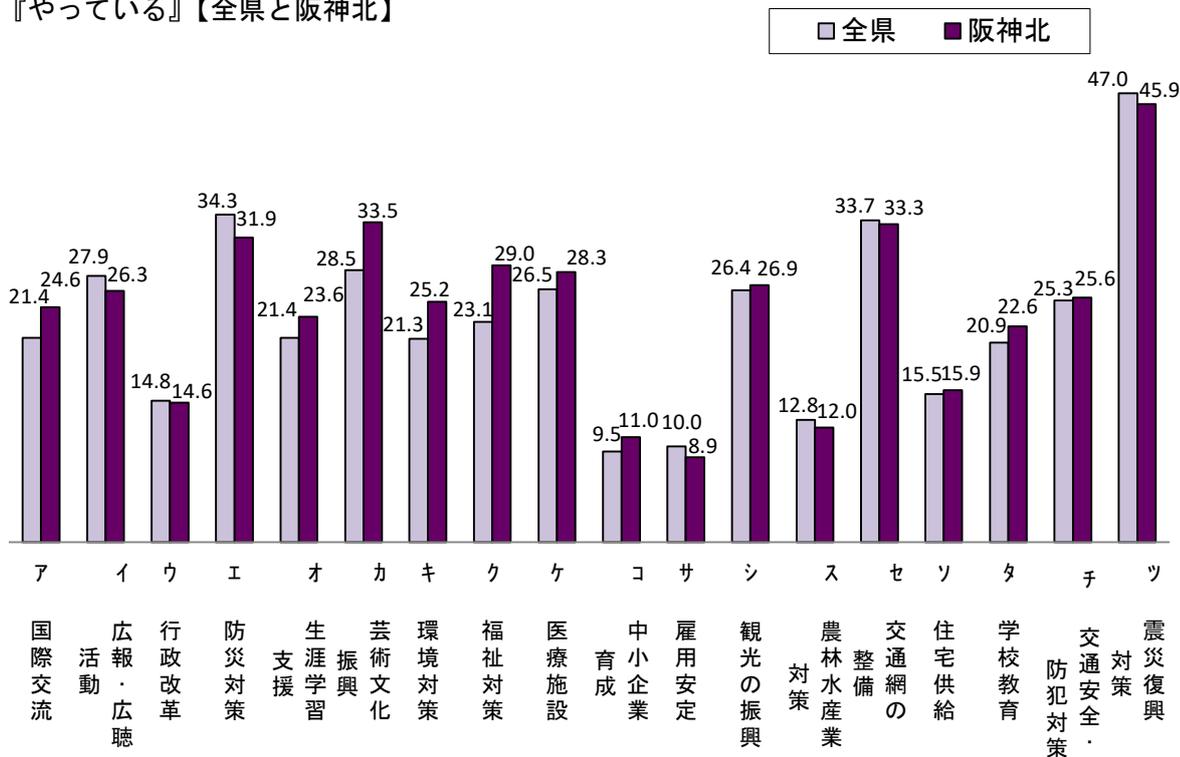
『努力が必要』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	7.1
シ 観光の振興	3.2
タ 学校教育の充実	2.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.9
イ 県政の広報・広聴活動	-0.1
キ 環境の保全と創造	-0.2
カ 芸術文化の振興	-0.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.8
ス 農林水産業の活性化対策	-1.2
エ 防災対策の充実	-3.8
オ 生涯学習活動への支援	-4.4
コ 県内中小企業の育成	-4.5
ソ 良質な住宅の供給	-5.2
ア 国際的な交流や協力	-6.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-6.0
チ 交通安全・防犯対策	-6.4

《阪神北地域》

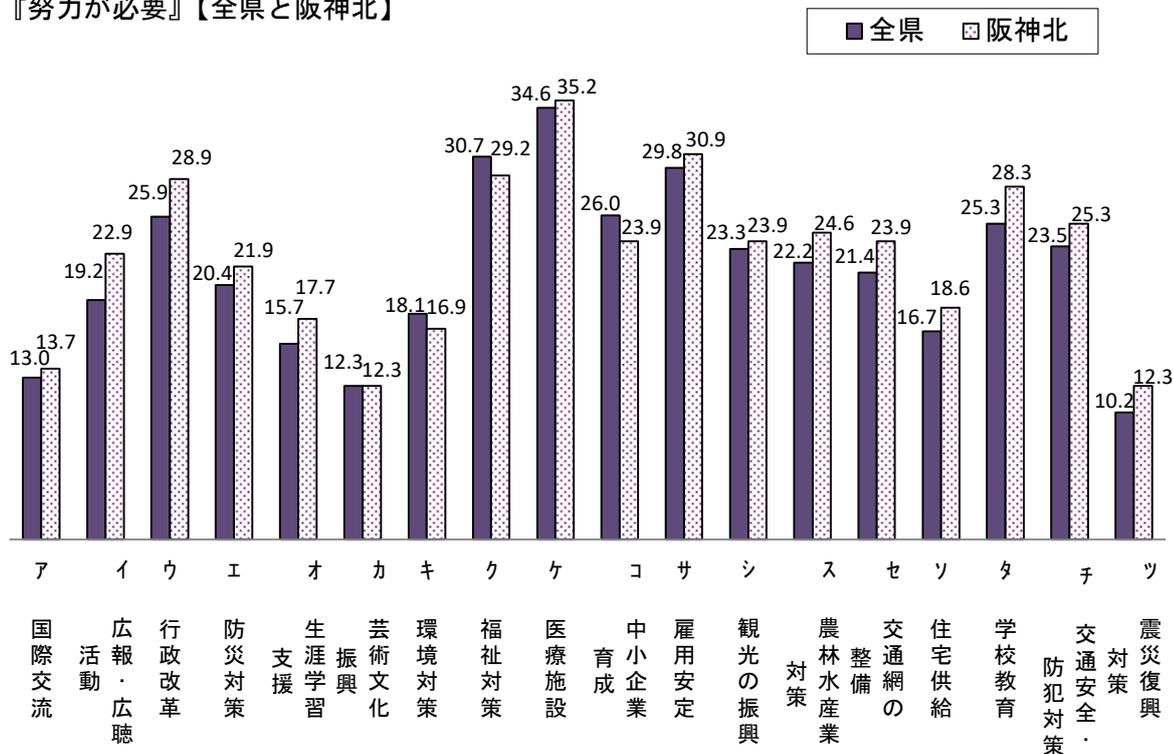
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔カ 芸術文化の振興〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と阪神北】



『努力が必要』【全県と阪神北】



県政への評価-阪神北地域

全県との比較では、〔ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕等で評価が高く、〔イ 県政の広報・広聴活動〕等で努力が求められている。

前年度の比較は〔オ 生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	5.9
カ 芸術文化の振興	5.0
キ 環境の保全と創造	3.9
ア 国際的な交流や協力	3.2
オ 生涯学習活動への支援	2.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.8
タ 学校教育の充実	1.7
コ 県内中小企業の育成	1.5
シ 観光の振興	0.5
ソ 良質な住宅の供給	0.4
チ 交通安全・防犯対策	0.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.4
ス 農林水産業の活性化対策	-0.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.1
イ 県政の広報・広聴活動	-1.6
エ 防災対策の充実	-2.4

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
イ 県政の広報・広聴活動	3.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.0
タ 学校教育の充実	3.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.5
ス 農林水産業の活性化対策	2.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.1
オ 生涯学習活動への支援	2.0
ソ 良質な住宅の供給	1.9
チ 交通安全・防犯対策	1.8
エ 防災対策の充実	1.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.1
ア 国際的な交流や協力	0.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.6
シ 観光の振興	0.6
カ 芸術文化の振興	0.0
キ 環境の保全と創造	-1.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.5
コ 県内中小企業の育成	-2.1

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

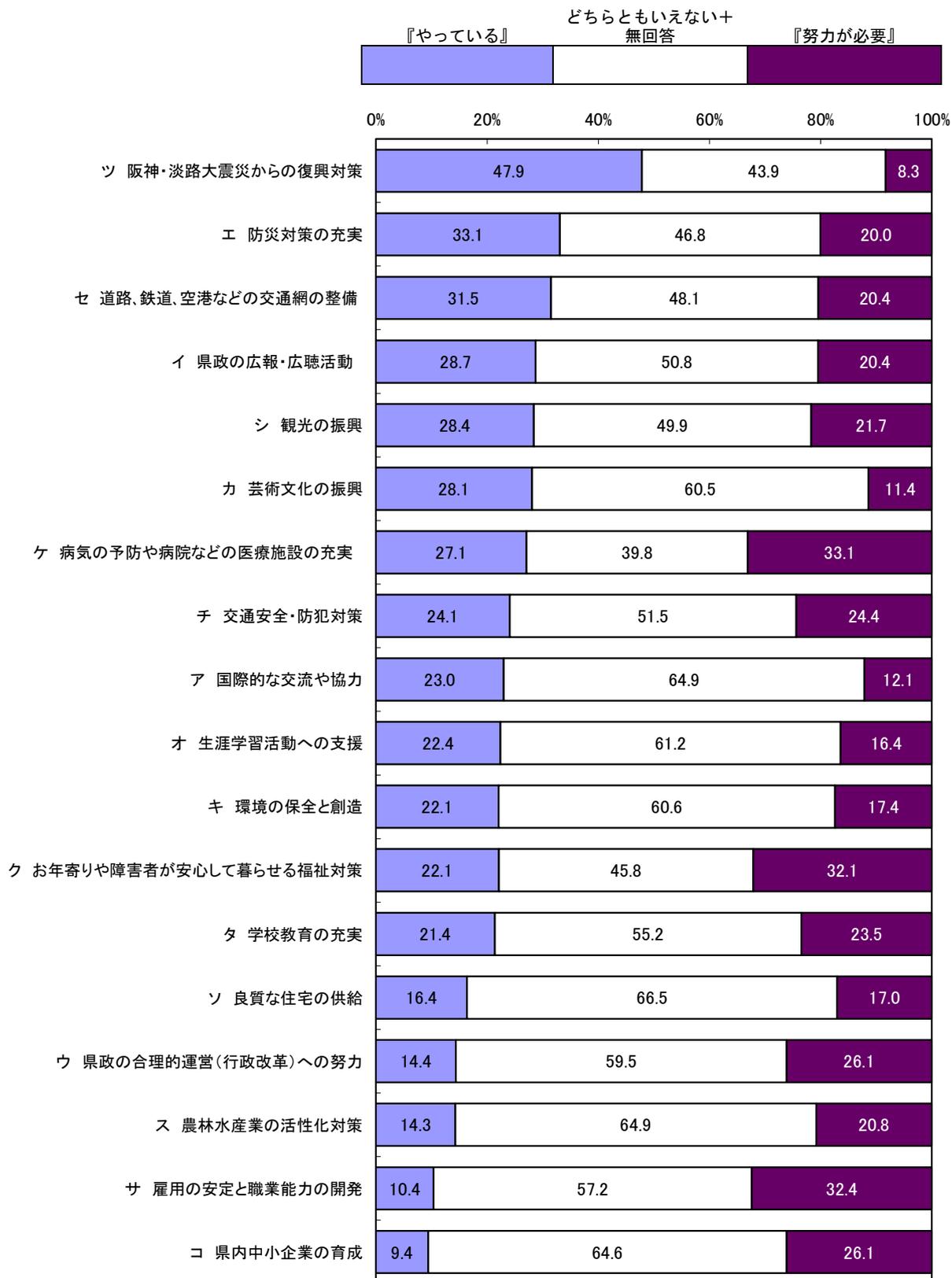
『やっている』	増減
オ 生涯学習活動への支援	7.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	5.2
コ 県内中小企業の育成	3.0
シ 観光の振興	2.8
タ 学校教育の充実	1.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.0
ア 国際的な交流や協力	0.9
カ 芸術文化の振興	0.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.0
エ 防災対策の充実	-0.2
ス 農林水産業の活性化対策	-0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.5
チ 交通安全・防犯対策	-3.4
キ 環境の保全と創造	-4.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-5.2
イ 県政の広報・広聴活動	-5.9
ソ 良質な住宅の供給	-6.8

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

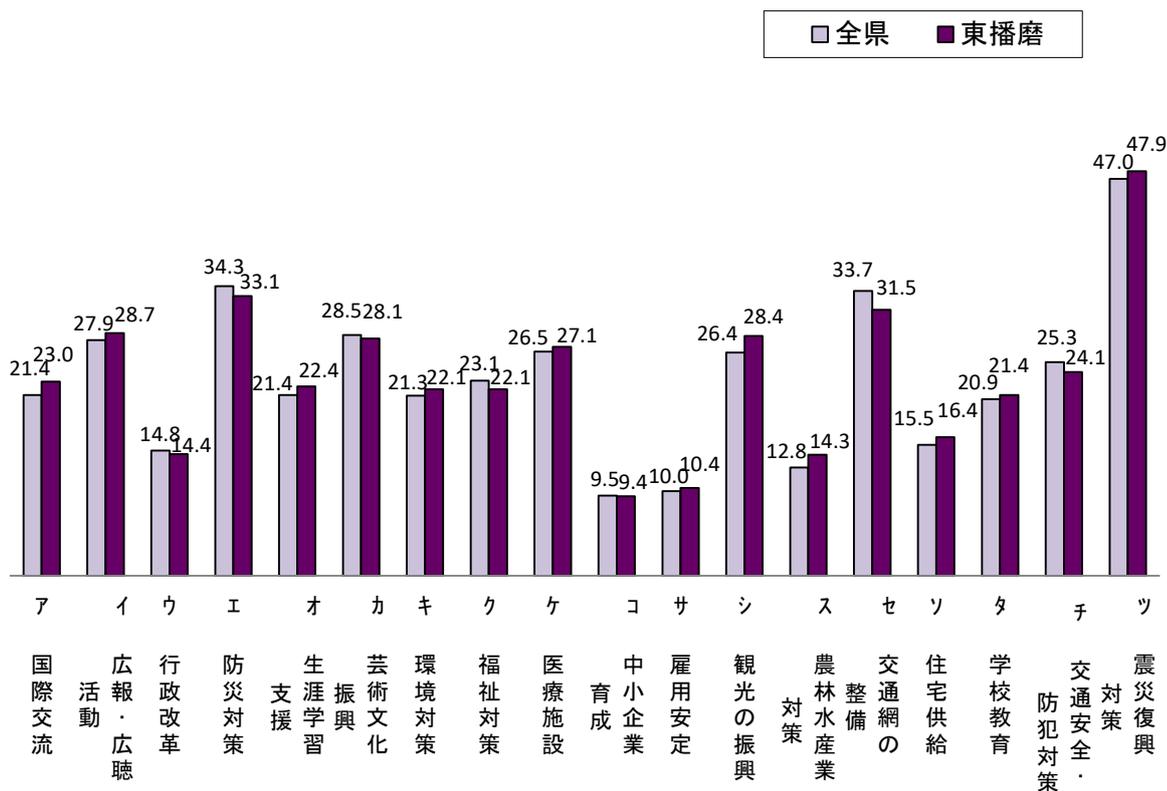
『努力が必要』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	5.8
チ 交通安全・防犯対策	5.8
タ 学校教育の充実	4.9
ス 農林水産業の活性化対策	4.4
イ 県政の広報・広聴活動	3.7
ソ 良質な住宅の供給	3.6
キ 環境の保全と創造	3.6
エ 防災対策の充実	3.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.6
カ 芸術文化の振興	1.5
コ 県内中小企業の育成	0.5
オ 生涯学習活動への支援	0.3
シ 観光の振興	-0.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.1
ア 国際的な交流や協力	-4.8

《東播磨地域》

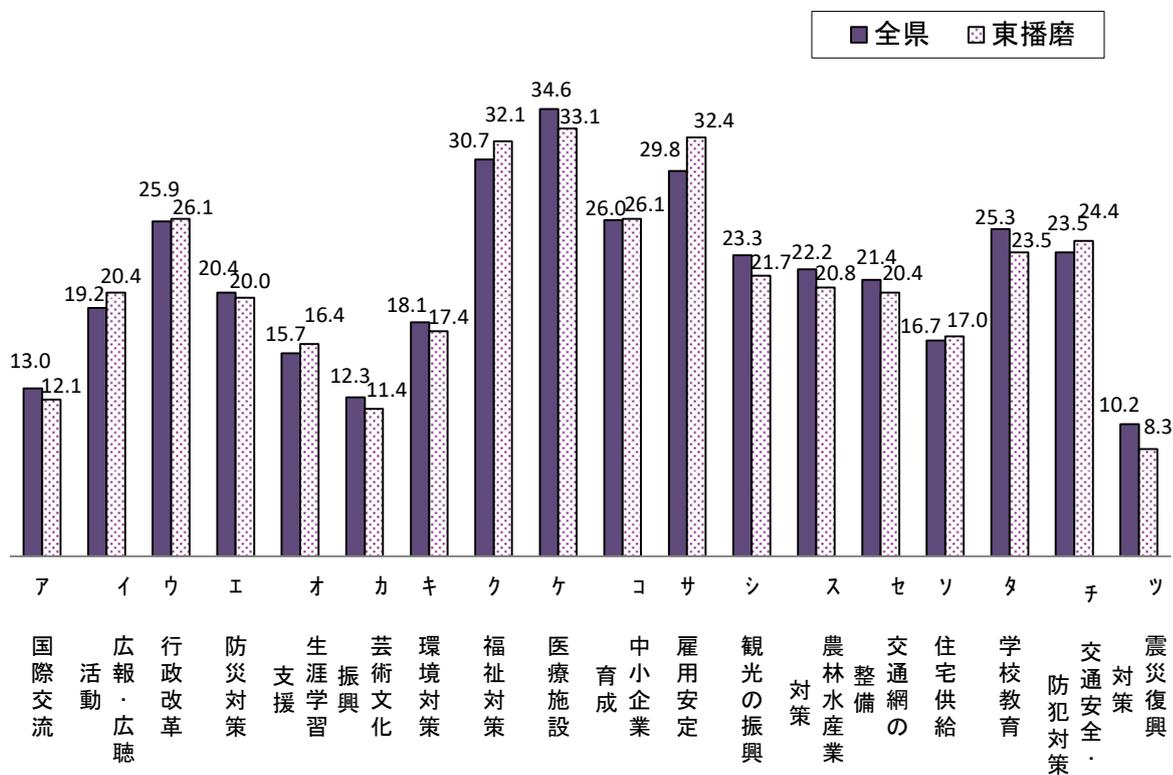
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と東播磨】



『努力が必要』【全県と東播磨】



県政への評価・東播磨地域

全県との比較では、〔シ 観光の振興〕等で評価が高く、〔サ 雇用の安定と職業能力の開発〕で努力が求められている。

前年との比較では、〔オ 生涯学習活動への支援〕等で評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
シ 観光の振興	2.0
ア 国際的な交流や協力	1.6
ス 農林水産業の活性化対策	1.5
オ 生涯学習活動への支援	1.0
ソ 良質な住宅の供給	0.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.9
キ 環境の保全と創造	0.8
イ 県政の広報・広聴活動	0.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.6
タ 学校教育の充実	0.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.4
コ 県内中小企業の育成	-0.1
カ 芸術文化の振興	-0.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.0
エ 防災対策の充実	-1.2
チ 交通安全・防犯対策	-1.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.4
イ 県政の広報・広聴活動	1.2
チ 交通安全・防犯対策	0.9
オ 生涯学習活動への支援	0.7
ソ 良質な住宅の供給	0.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.2
コ 県内中小企業の育成	0.1
エ 防災対策の充実	-0.4
キ 環境の保全と創造	-0.7
ア 国際的な交流や協力	-0.9
カ 芸術文化の振興	-0.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.0
ス 農林水産業の活性化対策	-1.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.5
シ 観光の振興	-1.6
タ 学校教育の充実	-1.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.9

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

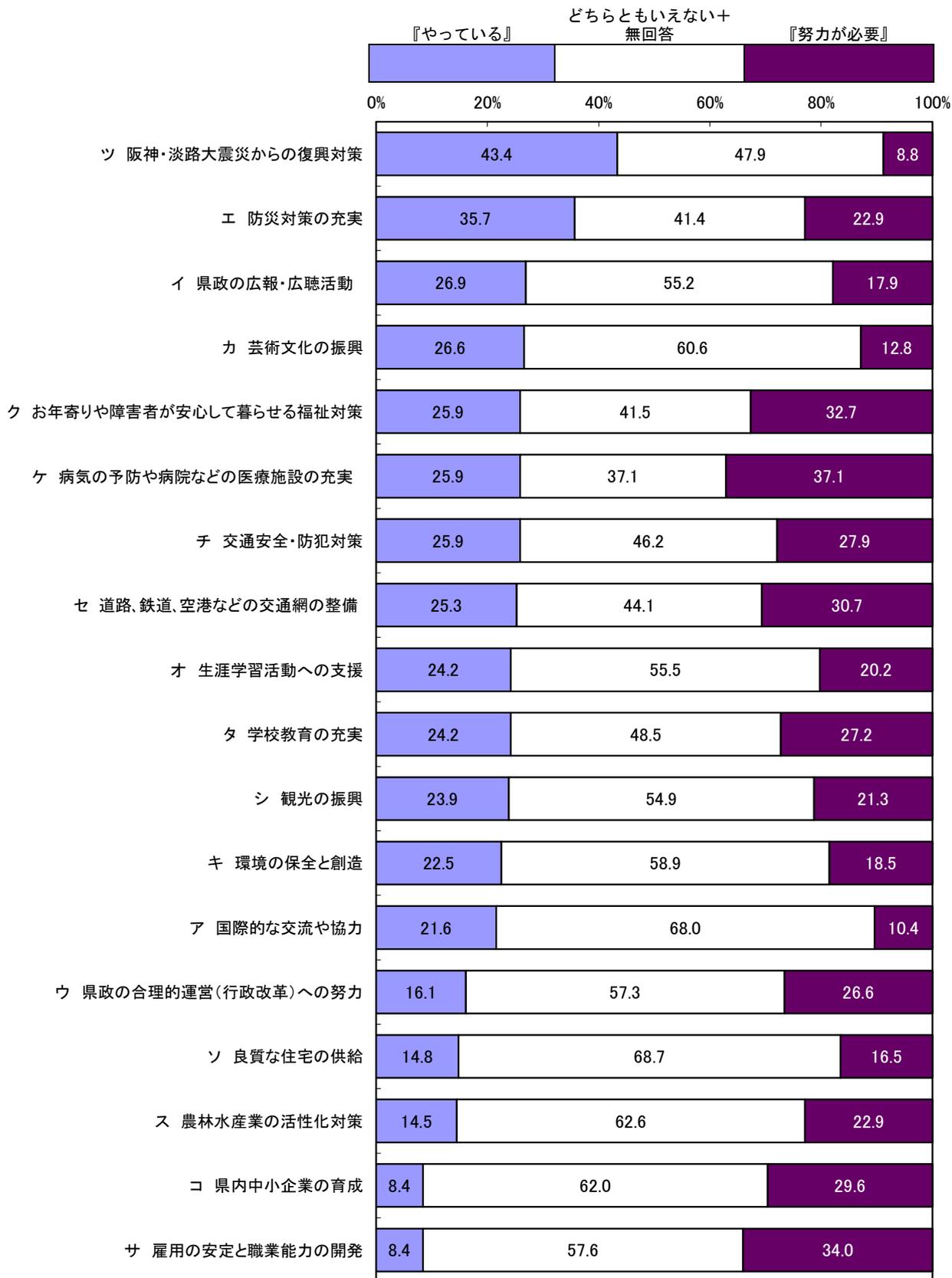
『やっている』	増減
オ 生涯学習活動への支援	3.5
カ 芸術文化の振興	2.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.2
ア 国際的な交流や協力	1.1
シ 観光の振興	1.1
コ 県内中小企業の育成	1.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.4
エ 防災対策の充実	0.3
ス 農林水産業の活性化対策	0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.3
キ 環境の保全と創造	-1.1
チ 交通安全・防犯対策	-1.6
イ 県政の広報・広聴活動	-2.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.6
ソ 良質な住宅の供給	-3.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.7
タ 学校教育の充実	-5.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

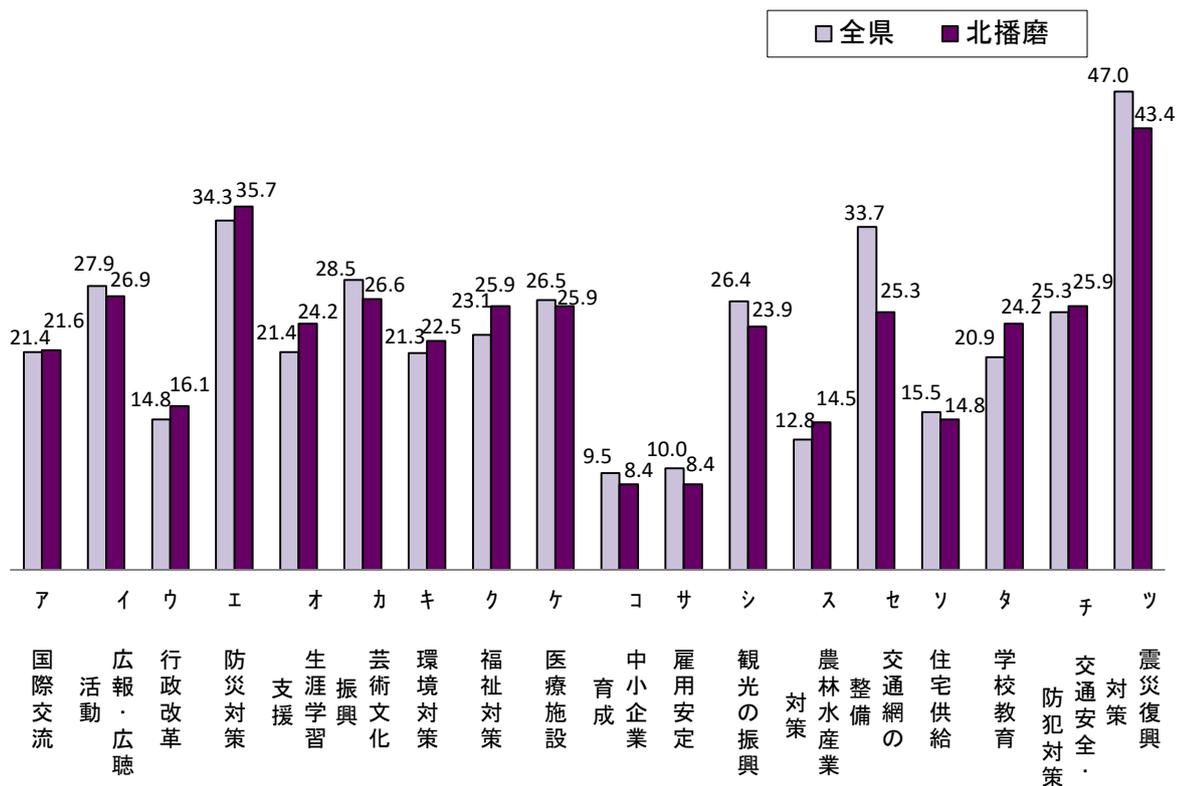
『努力が必要』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	7.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	4.1
タ 学校教育の充実	3.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.1
イ 県政の広報・広聴活動	1.7
カ 芸術文化の振興	1.4
シ 観光の振興	1.1
チ 交通安全・防犯対策	0.9
コ 県内中小企業の育成	0.4
オ 生涯学習活動への支援	0.3
キ 環境の保全と創造	0.3
ア 国際的な交流や協力	-0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.7
エ 防災対策の充実	-1.6
ソ 良質な住宅の供給	-1.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.8

《北播磨地域》

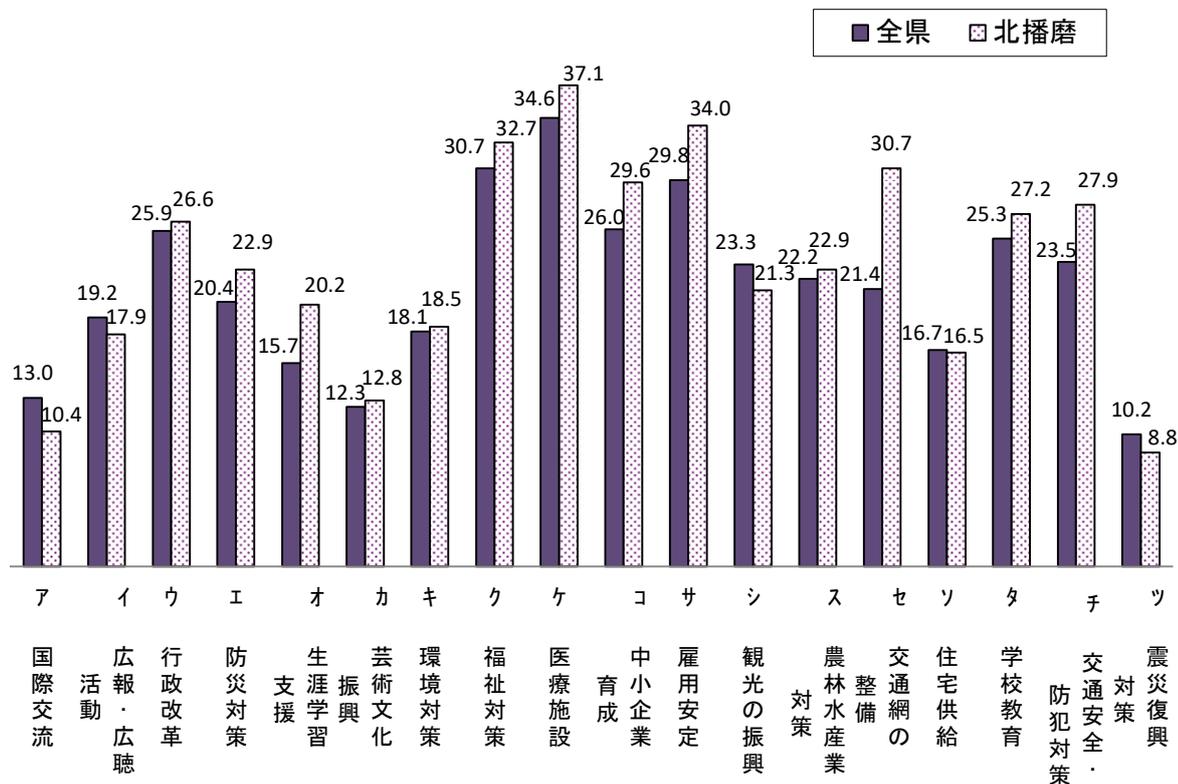
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と北播磨】



『努力が必要』【全県と北播磨】



県政への評価-北播磨地域

全県との比較では〔タ 学校教育の充実〕等で評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔カ 芸術文化の振興〕等で評価が高く、〔チ 交通安全・防犯対策〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
タ 学校教育の充実	3.3
オ 生涯学習活動への支援	2.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.8
ス 農林水産業の活性化対策	1.7
エ 防災対策の充実	1.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.3
キ 環境の保全と創造	1.2
チ 交通安全・防犯対策	0.6
ア 国際的な交流や協力	0.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.6
ソ 良質な住宅の供給	-0.7
イ 県政の広報・広聴活動	-1.0
コ 県内中小企業の育成	-1.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.6
カ 芸術文化の振興	-1.9
シ 観光の振興	-2.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-8.4

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	9.3
オ 生涯学習活動への支援	4.5
チ 交通安全・防犯対策	4.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.2
コ 県内中小企業の育成	3.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.5
エ 防災対策の充実	2.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.0
タ 学校教育の充実	1.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.7
ス 農林水産業の活性化対策	0.7
カ 芸術文化の振興	0.5
キ 環境の保全と創造	0.4
ソ 良質な住宅の供給	-0.2
イ 県政の広報・広聴活動	-1.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.4
シ 観光の振興	-2.0
ア 国際的な交流や協力	-2.6

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

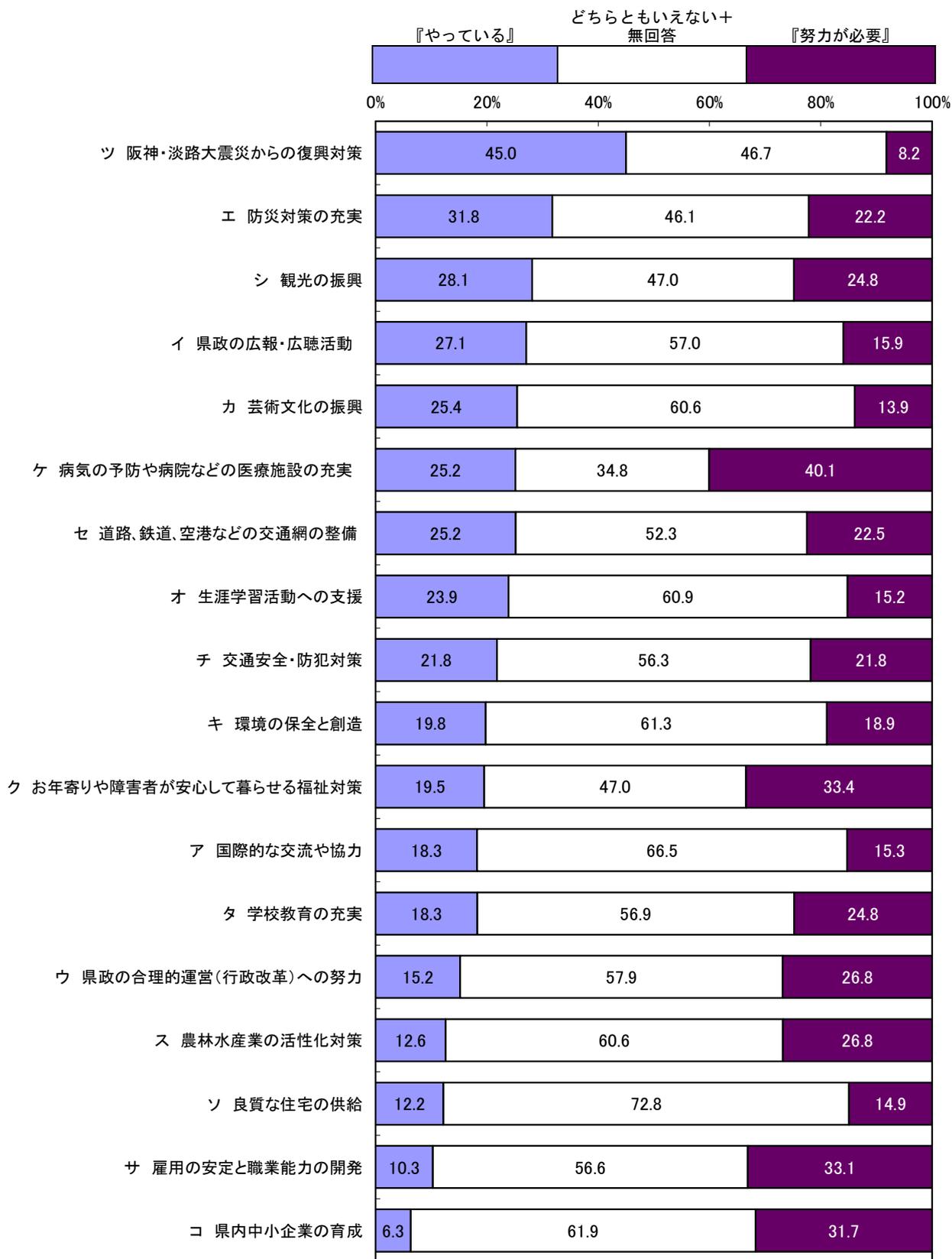
『やっている』	増減
カ 芸術文化の振興	2.9
ス 農林水産業の活性化対策	1.3
キ 環境の保全と創造	0.3
チ 交通安全・防犯対策	0.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.2
タ 学校教育の充実	-0.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.3
オ 生涯学習活動への支援	-0.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.2
シ 観光の振興	-2.4
エ 防災対策の充実	-3.0
ソ 良質な住宅の供給	-3.3
ア 国際的な交流や協力	-3.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.5
コ 県内中小企業の育成	-3.8
イ 県政の広報・広聴活動	-4.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-6.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-6.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

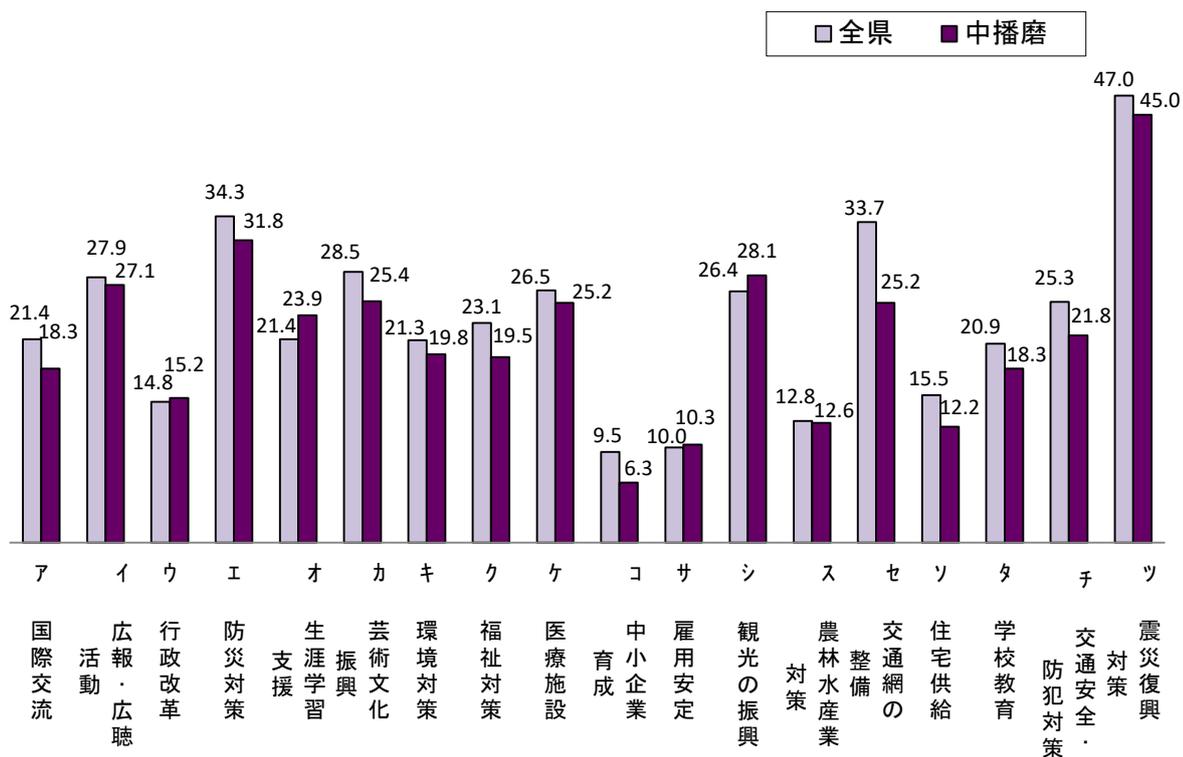
『努力が必要』	増減
チ 交通安全・防犯対策	9.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	7.1
オ 生涯学習活動への支援	6.8
タ 学校教育の充実	4.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.3
カ 芸術文化の振興	3.1
エ 防災対策の充実	2.9
コ 県内中小企業の育成	2.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.9
キ 環境の保全と創造	1.9
イ 県政の広報・広聴活動	1.7
シ 観光の振興	1.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.9
ソ 良質な住宅の供給	-2.0
ス 農林水産業の活性化対策	-3.1
ア 国際的な交流や協力	-5.2

《中播磨地域》

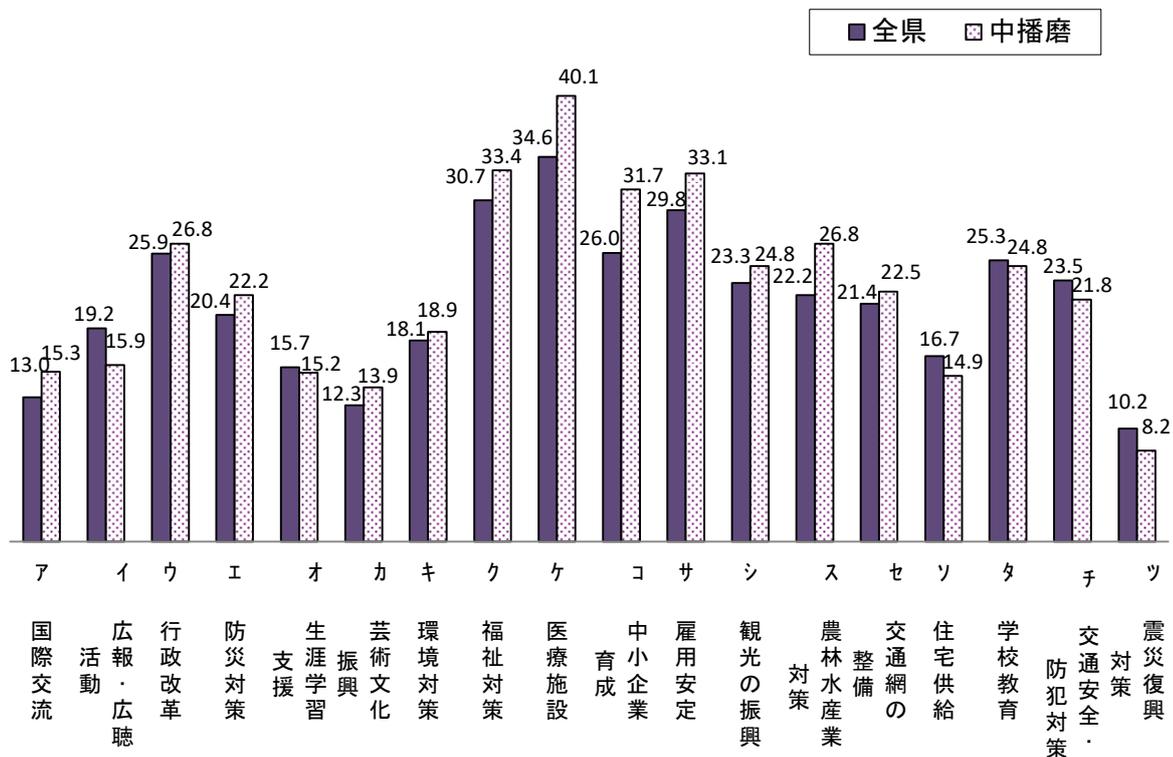
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と中播磨】



『努力が必要』【全県と中播磨】



県政への評価・中播磨地域

全县との比較では〔オ 生涯学習活動への支援〕等で評価が高く、〔コ 県内中小企業の育成〕等で努力が求められている。

前年との比較では〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕等で評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

【全县結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	2.5
シ 観光の振興	1.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.3
ス 農林水産業の活性化対策	-0.2
イ 県政の広報・広聴活動	-0.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.3
キ 環境の保全と創造	-1.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.0
エ 防災対策の充実	-2.5
タ 学校教育の充実	-2.6
カ 芸術文化の振興	-3.1
ア 国際的な交流や協力	-3.1
コ 県内中小企業の育成	-3.2
ソ 良質な住宅の供給	-3.3
チ 交通安全・防犯対策	-3.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-8.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
コ 県内中小企業の育成	5.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	5.5
ス 農林水産業の活性化対策	4.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.7
ア 国際的な交流や協力	2.3
エ 防災対策の充実	1.8
カ 芸術文化の振興	1.6
シ 観光の振興	1.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.9
キ 環境の保全と創造	0.8
オ 生涯学習活動への支援	-0.5
タ 学校教育の充実	-0.5
チ 交通安全・防犯対策	-1.7
ソ 良質な住宅の供給	-1.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.0
イ 県政の広報・広聴活動	-3.3

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

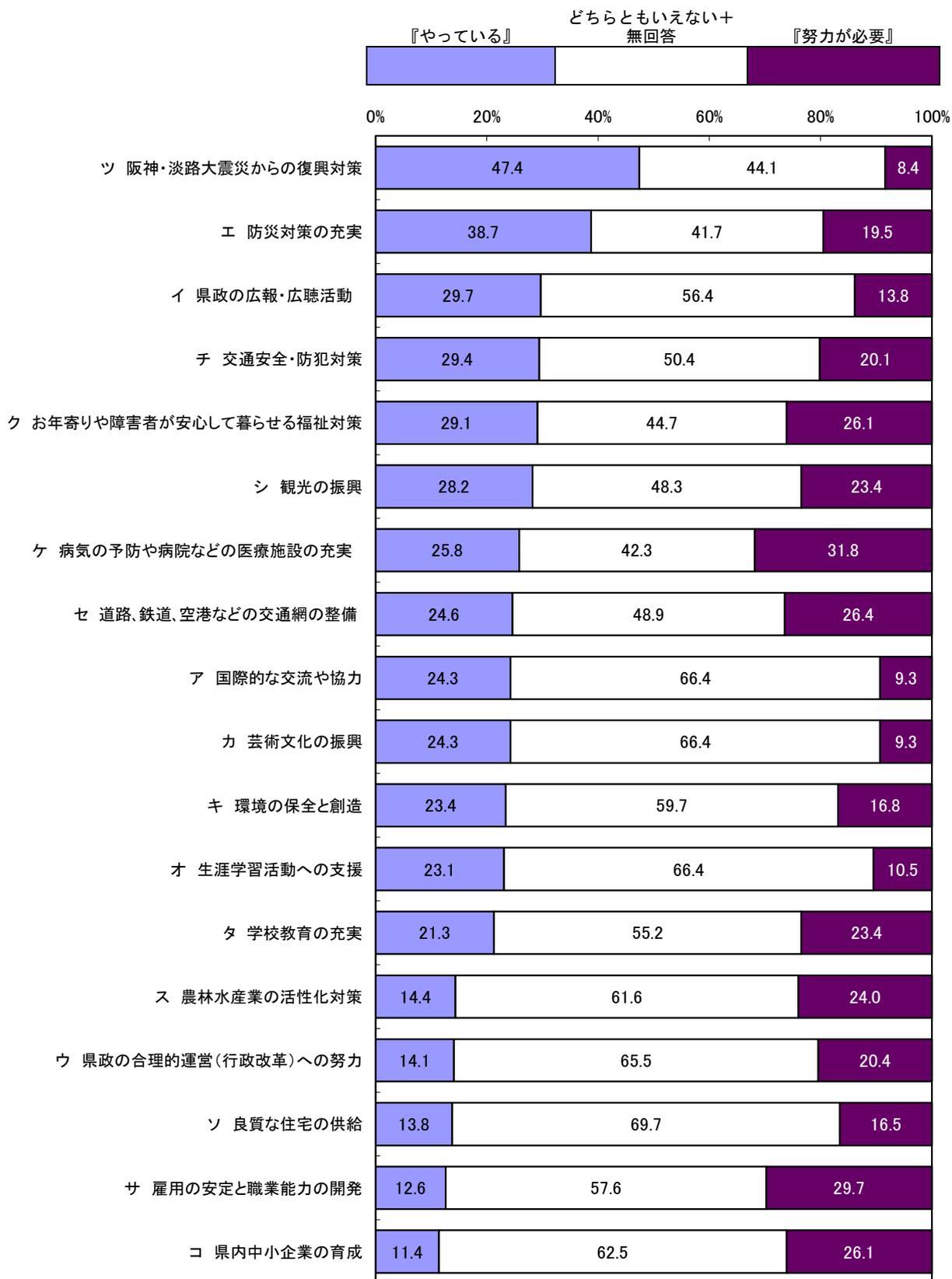
『やっている』	増減
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.4
イ 県政の広報・広聴活動	-2.2
エ 防災対策の充実	-2.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.0
キ 環境の保全と創造	-3.5
ス 農林水産業の活性化対策	-4.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-5.1
チ 交通安全・防犯対策	-5.2
オ 生涯学習活動への支援	-5.3
コ 県内中小企業の育成	-5.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-6.1
カ 芸術文化の振興	-7.5
シ 観光の振興	-8.1
ア 国際的な交流や協力	-8.3
ソ 良質な住宅の供給	-8.8
タ 学校教育の充実	-9.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-14.0

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

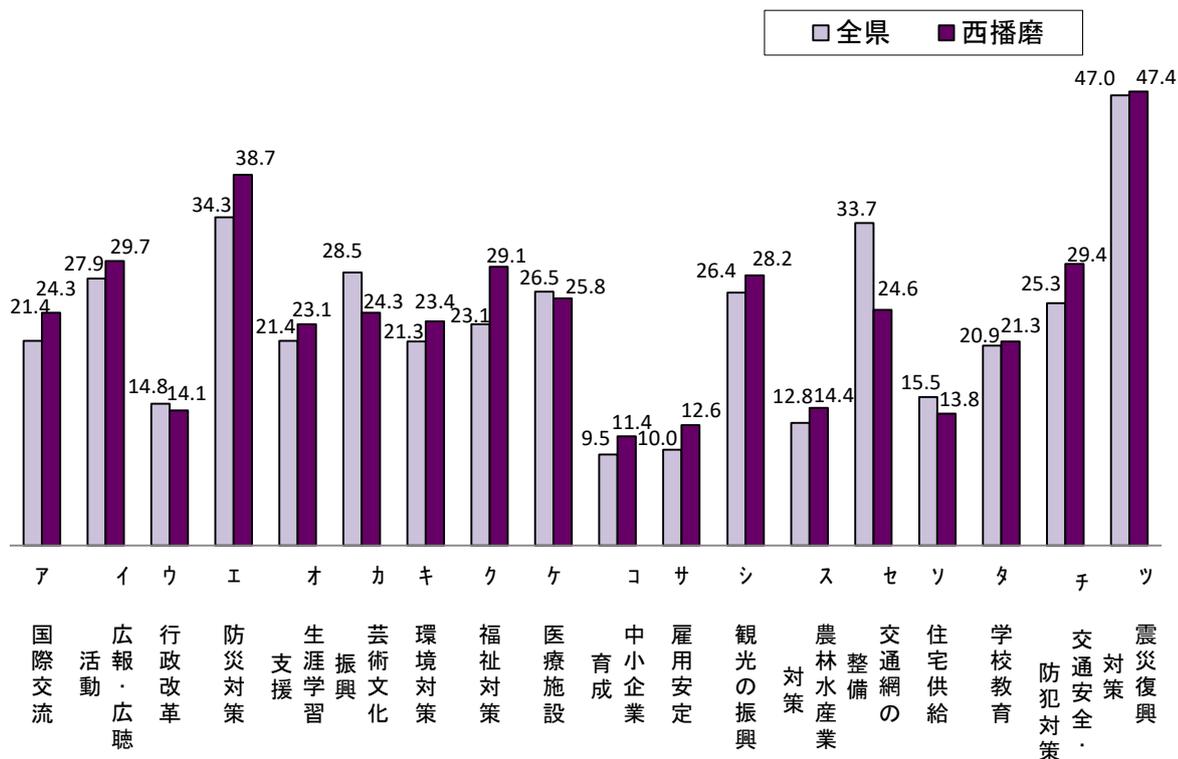
『努力が必要』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	16.2
シ 観光の振興	9.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	8.5
ス 農林水産業の活性化対策	8.2
コ 県内中小企業の育成	7.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	6.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.2
タ 学校教育の充実	3.8
エ 防災対策の充実	3.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.6
チ 交通安全・防犯対策	2.2
キ 環境の保全と創造	1.6
オ 生涯学習活動への支援	1.2
ア 国際的な交流や協力	1.0
ソ 良質な住宅の供給	0.9
イ 県政の広報・広聴活動	-0.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.1
カ 芸術文化の振興	-1.4

《西播磨地域》

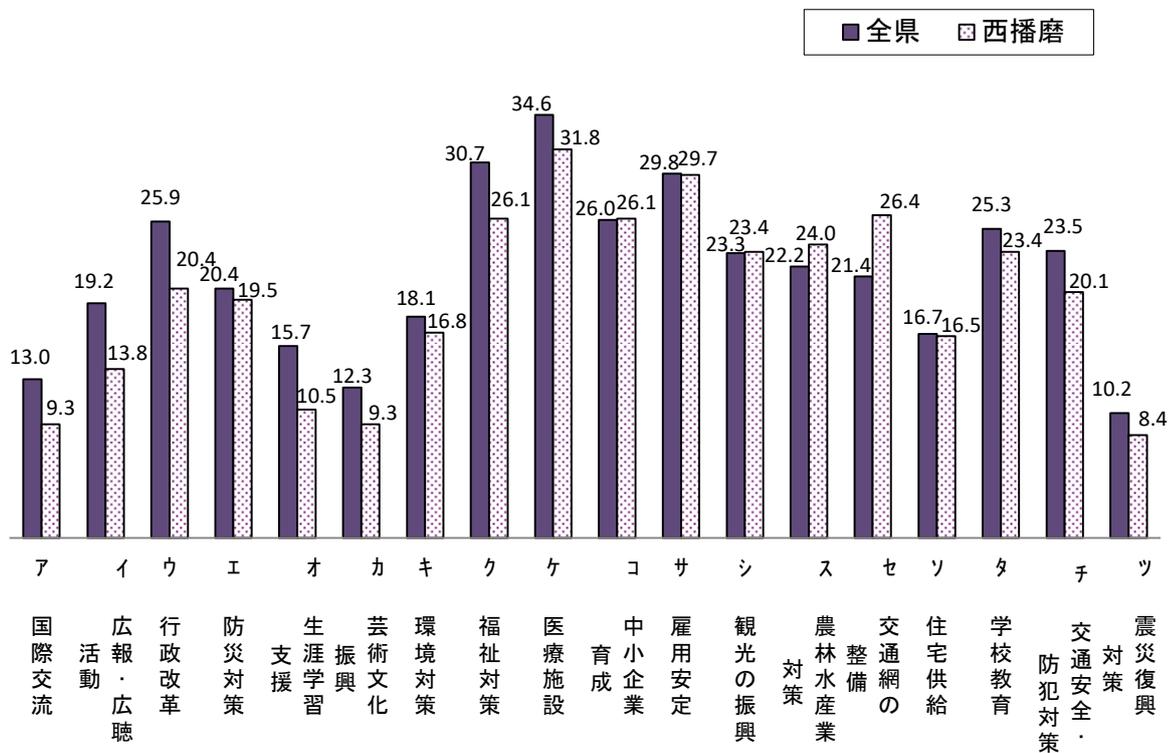
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と西播磨】



『努力が必要』【全県と西播磨】



県政への評価-西播磨地域

全県との比較では〔ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕等で評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では〔エ 防災対策の充実〕等で評価が高く、〔シ 観光の振興〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	6.0
エ 防災対策の充実	4.4
チ 交通安全・防犯対策	4.1
ア 国際的な交流や協力	2.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.6
キ 環境の保全と創造	2.1
コ 県内中小企業の育成	1.9
イ 県政の広報・広聴活動	1.8
シ 観光の振興	1.8
オ 生涯学習活動への支援	1.7
ス 農林水産業の活性化対策	1.6
タ 学校教育の充実	0.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.7
ソ 良質な住宅の供給	-1.7
カ 芸術文化の振興	-4.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-9.1

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	5.0
ス 農林水産業の活性化対策	1.8
コ 県内中小企業の育成	0.1
シ 観光の振興	0.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.1
ソ 良質な住宅の供給	-0.2
エ 防災対策の充実	-0.9
キ 環境の保全と創造	-1.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.8
タ 学校教育の充実	-1.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.8
カ 芸術文化の振興	-3.0
チ 交通安全・防犯対策	-3.4
ア 国際的な交流や協力	-3.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.6
オ 生涯学習活動への支援	-5.2
イ 県政の広報・広聴活動	-5.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-5.5

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

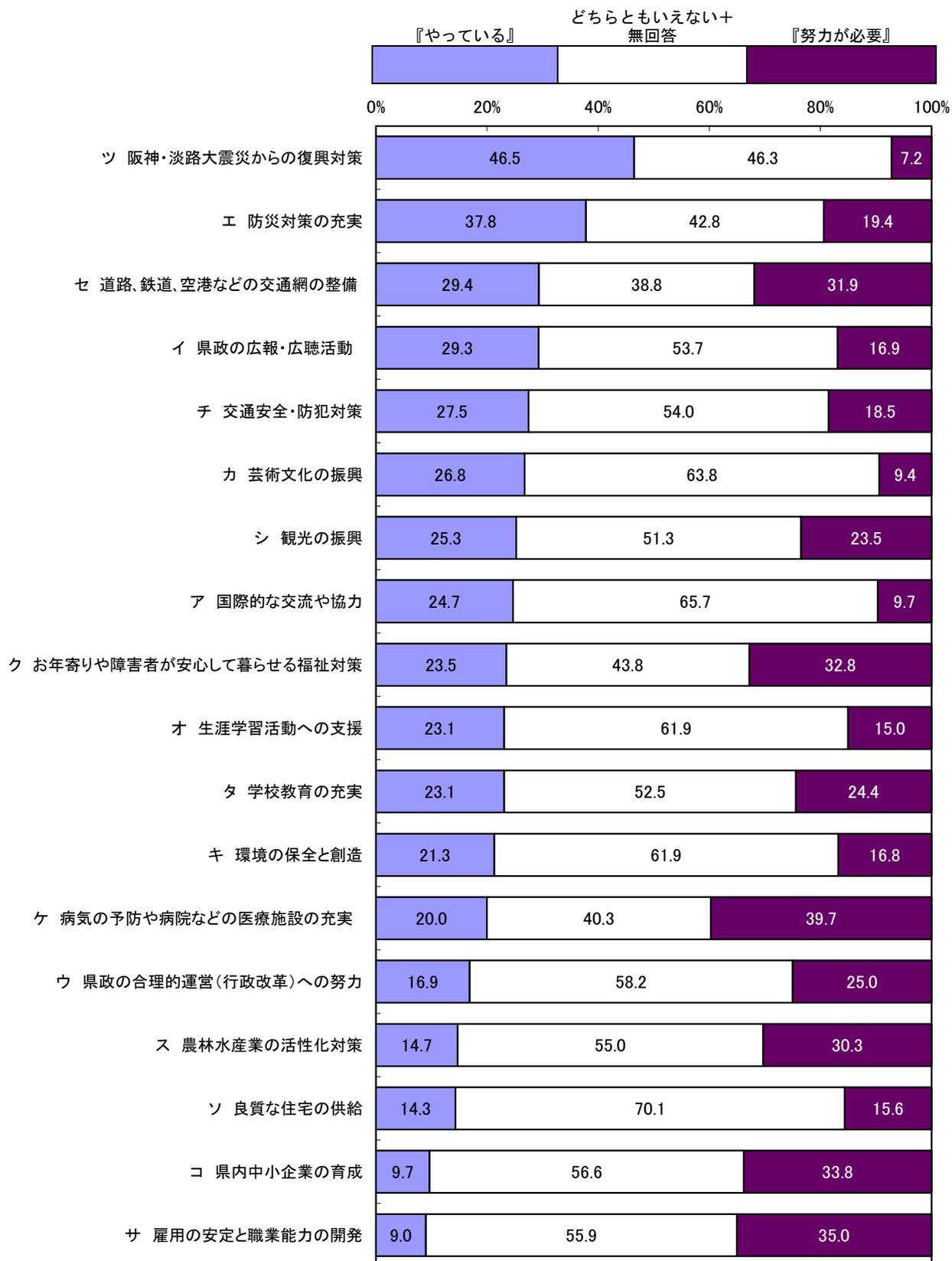
『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	6.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.4
シ 観光の振興	3.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.0
チ 交通安全・防犯対策	2.9
ス 農林水産業の活性化対策	2.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.7
コ 県内中小企業の育成	0.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.5
キ 環境の保全と創造	0.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.2
イ 県政の広報・広聴活動	-0.1
オ 生涯学習活動への支援	-1.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.6
ソ 良質な住宅の供給	-2.2
ア 国際的な交流や協力	-2.5
タ 学校教育の充実	-3.4
カ 芸術文化の振興	-5.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

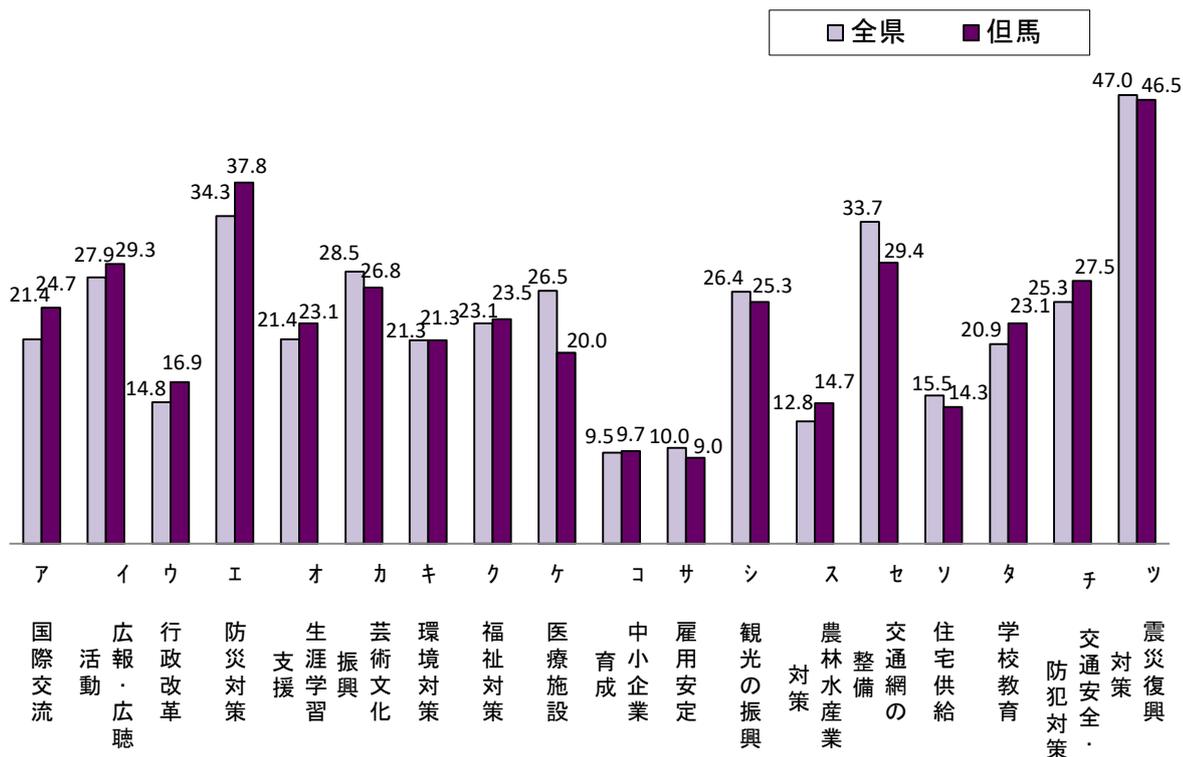
『努力が必要』	増減
シ 観光の振興	2.9
タ 学校教育の充実	2.3
エ 防災対策の充実	1.4
キ 環境の保全と創造	0.3
ソ 良質な住宅の供給	0.3
カ 芸術文化の振興	-1.2
ス 農林水産業の活性化対策	-1.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.8
チ 交通安全・防犯対策	-1.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.9
ア 国際的な交流や協力	-2.1
イ 県政の広報・広聴活動	-3.4
オ 生涯学習活動への支援	-5.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-5.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-5.5
コ 県内中小企業の育成	-5.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-7.0

《但馬地域》

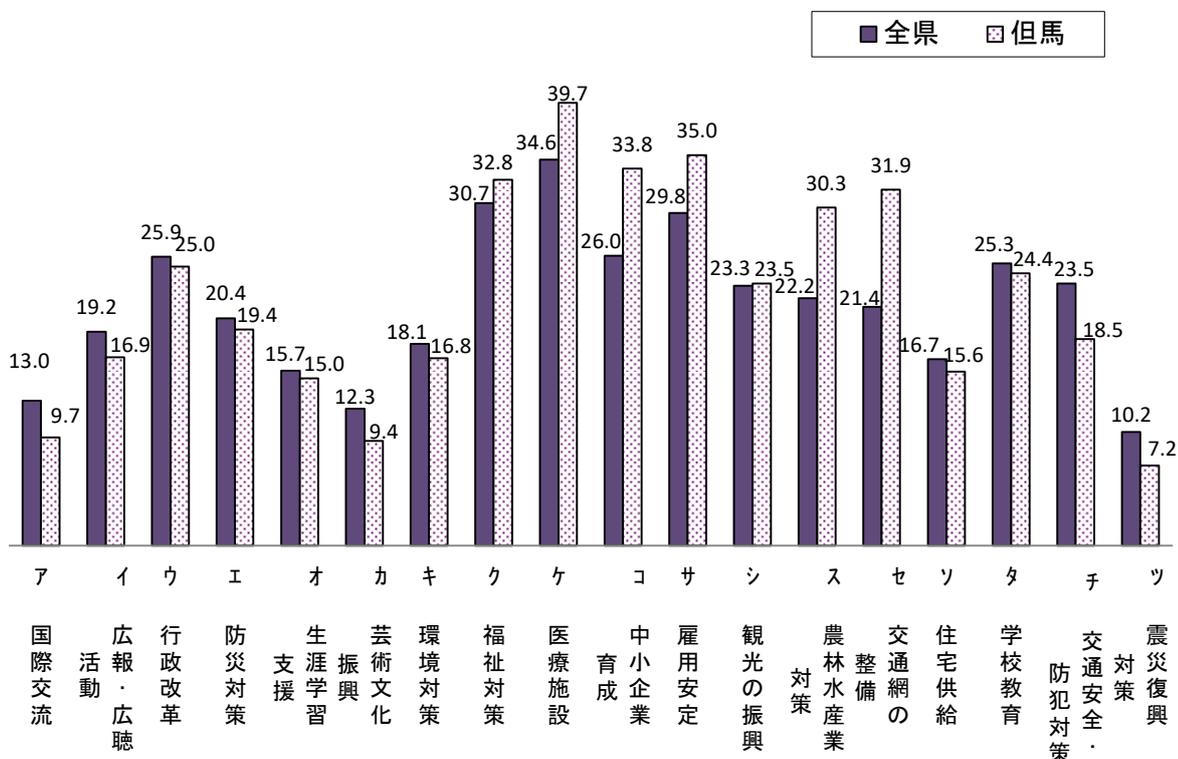
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と但馬】



『努力が必要』【全県と但馬】



県政への評価-但馬地域

全県との比較では、〔エ 防災対策の充実〕等で評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔タ 学校教育の充実〕等で評価が高く、〔ス 農林水産業の活性化対策〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
エ 防災対策の充実	3.5
ア 国際的な交流や協力	3.3
チ 交通安全・防犯対策	2.2
タ 学校教育の充実	2.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.1
ス 農林水産業の活性化対策	1.9
オ 生涯学習活動への支援	1.7
イ 県政の広報・広聴活動	1.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.4
コ 県内中小企業の育成	0.2
キ 環境の保全と創造	0.0
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.0
シ 観光の振興	-1.1
ソ 良質な住宅の供給	-1.2
カ 芸術文化の振興	-1.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-6.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	10.5
ス 農林水産業の活性化対策	8.1
コ 県内中小企業の育成	7.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	5.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	5.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.1
シ 観光の振興	0.2
オ 生涯学習活動への支援	-0.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.9
タ 学校教育の充実	-0.9
エ 防災対策の充実	-1.0
ソ 良質な住宅の供給	-1.1
キ 環境の保全と創造	-1.3
イ 県政の広報・広聴活動	-2.3
カ 芸術文化の振興	-2.9
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.0
ア 国際的な交流や協力	-3.3
チ 交通安全・防犯対策	-5.0

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

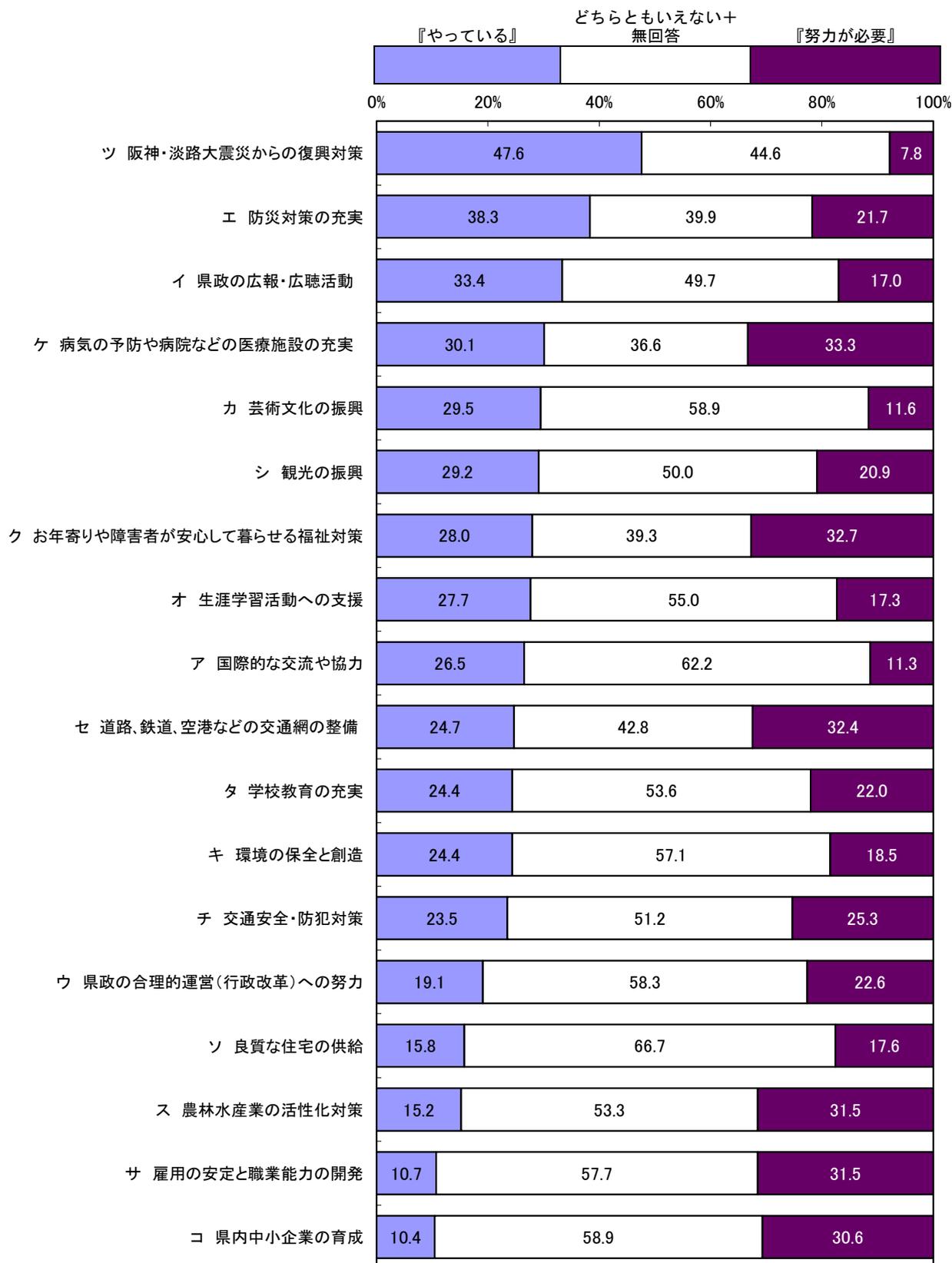
『やっている』	増減
タ 学校教育の充実	1.7
ソ 良質な住宅の供給	1.6
コ 県内中小企業の育成	0.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.7
チ 交通安全・防犯対策	-1.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.8
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.3
オ 生涯学習活動への支援	-2.4
ア 国際的な交流や協力	-3.3
イ 県政の広報・広聴活動	-3.9
エ 防災対策の充実	-4.1
キ 環境の保全と創造	-6.1
カ 芸術文化の振興	-6.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-7.3
ス 農林水産業の活性化対策	-8.3
シ 観光の振興	-8.8

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

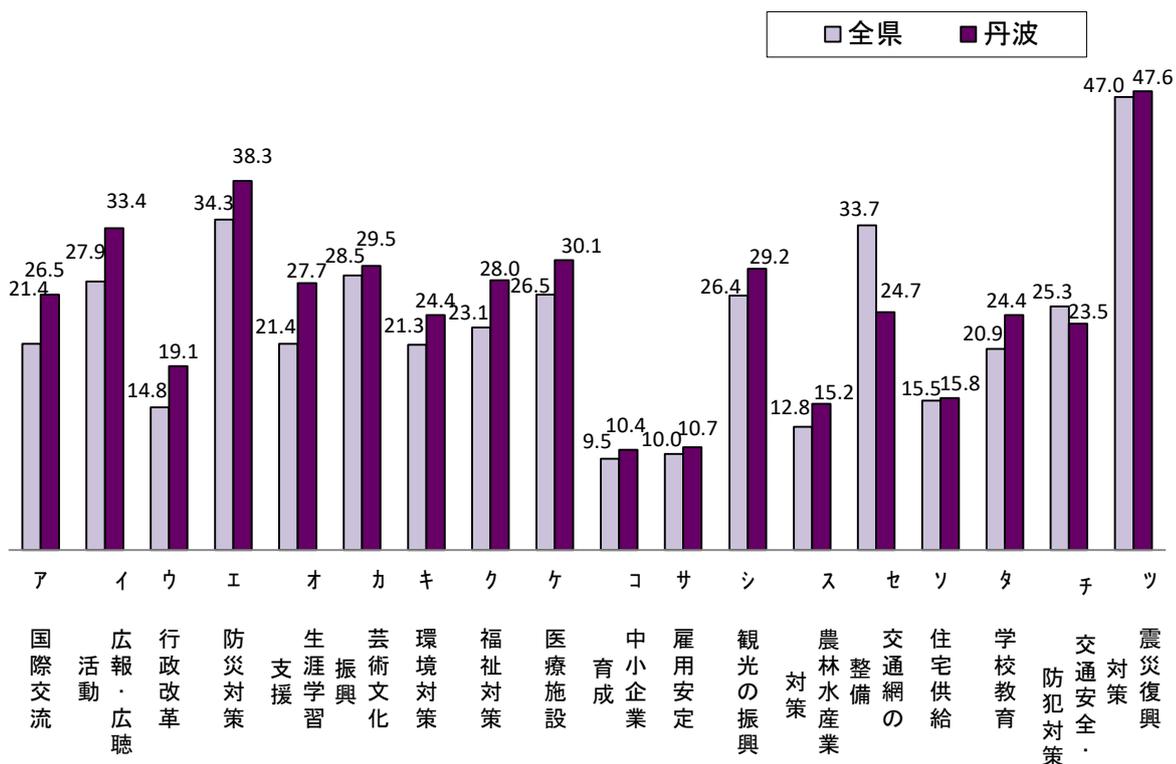
『努力が必要』	増減
ス 農林水産業の活性化対策	6.7
シ 観光の振興	5.8
タ 学校教育の充実	3.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.3
キ 環境の保全と創造	3.2
イ 県政の広報・広聴活動	2.6
オ 生涯学習活動への支援	1.7
チ 交通安全・防犯対策	1.5
エ 防災対策の充実	1.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.8
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.1
カ 芸術文化の振興	-1.2
ソ 良質な住宅の供給	-2.1
コ 県内中小企業の育成	-2.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.2
ア 国際的な交流や協力	-4.0

《丹波地域》

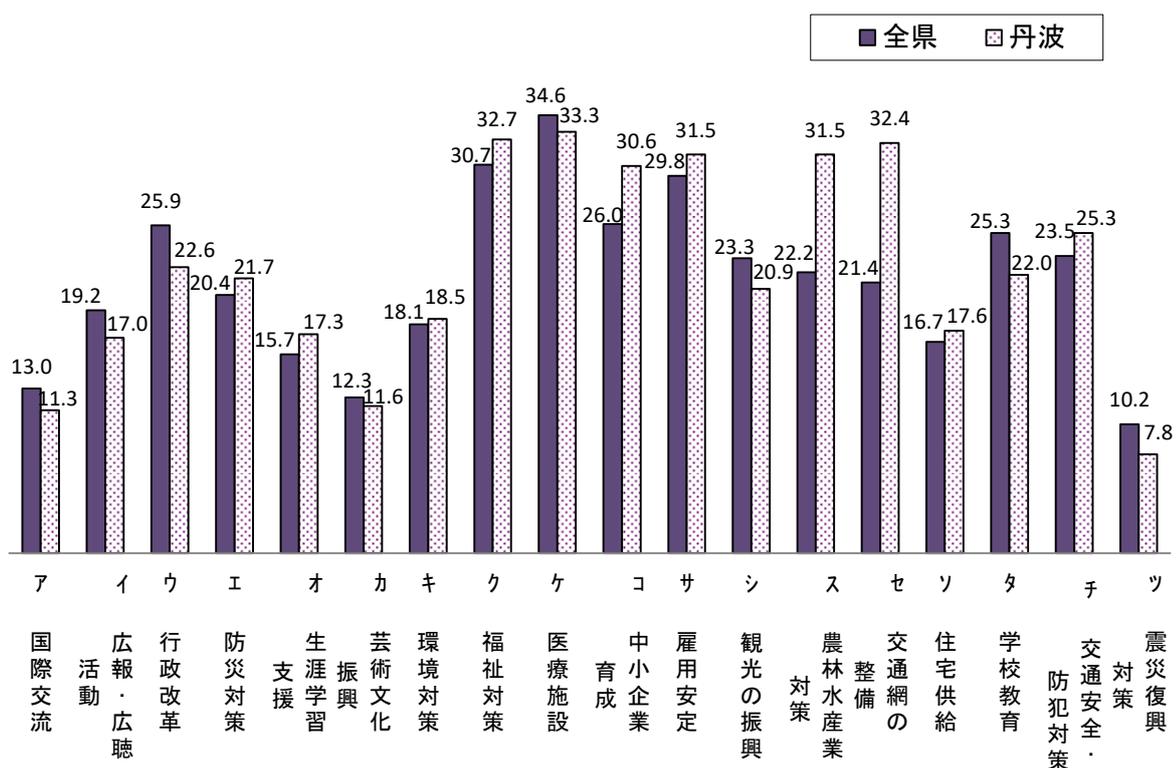
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と丹波】



『努力が必要』【全県と丹波】



県政への評価・丹波地域

全県との比較では〔オ 生涯学習活動への支援〕が最も評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔オ 生涯学習活動への支援〕等で評価が高く、〔チ 交通安全・防犯対策〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	6.3
イ 県政の広報・広聴活動	5.5
ア 国際的な交流や協力	5.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	4.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	4.3
エ 防災対策の充実	4.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.6
タ 学校教育の充実	3.5
キ 環境の保全と創造	3.1
シ 観光の振興	2.8
ス 農林水産業の活性化対策	2.4
カ 芸術文化の振興	1.0
コ 県内中小企業の育成	0.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.7
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.6
ジ 良質な住宅の供給	0.3
チ 交通安全・防犯対策	-1.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-9.0

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	11.0
ス 農林水産業の活性化対策	9.3
コ 県内中小企業の育成	4.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.0
チ 交通安全・防犯対策	1.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.7
オ 生涯学習活動への支援	1.6
エ 防災対策の充実	1.3
ソ 良質な住宅の供給	0.9
キ 環境の保全と創造	0.4
カ 芸術文化の振興	-0.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.3
ア 国際的な交流や協力	-1.7
イ 県政の広報・広聴活動	-2.2
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.4
シ 観光の振興	-2.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.3
タ 学校教育の充実	-3.3

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

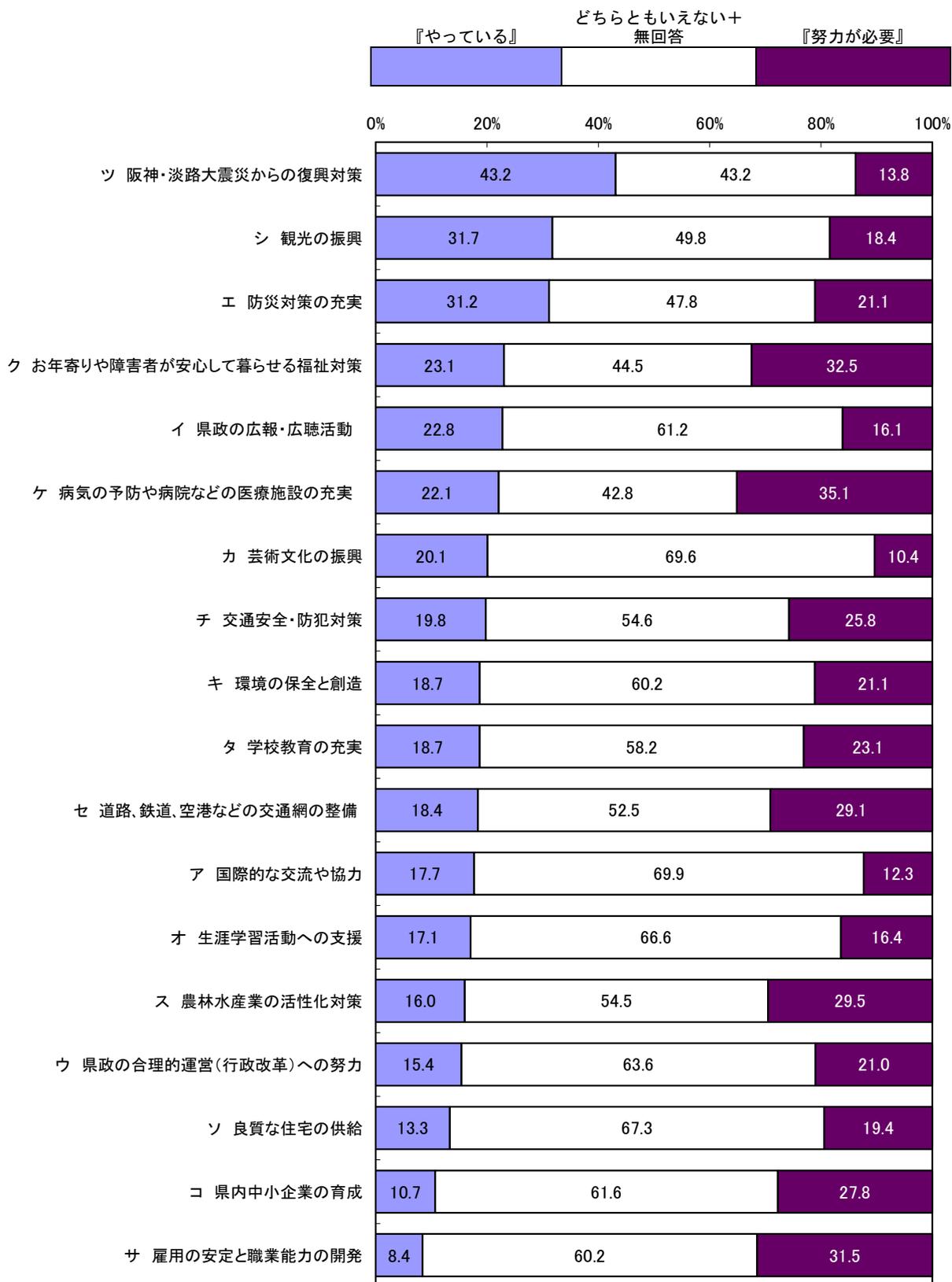
『やっている』	増減
オ 生涯学習活動への支援	3.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.3
ソ 良質な住宅の供給	3.0
タ 学校教育の充実	2.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.8
エ 防災対策の充実	1.8
キ 環境の保全と創造	1.7
イ 県政の広報・広聴活動	1.7
ス 農林水産業の活性化対策	0.8
シ 観光の振興	-0.2
コ 県内中小企業の育成	-0.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.2
カ 芸術文化の振興	-2.8
ア 国際的な交流や協力	-3.3
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.3
チ 交通安全・防犯対策	-6.3

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

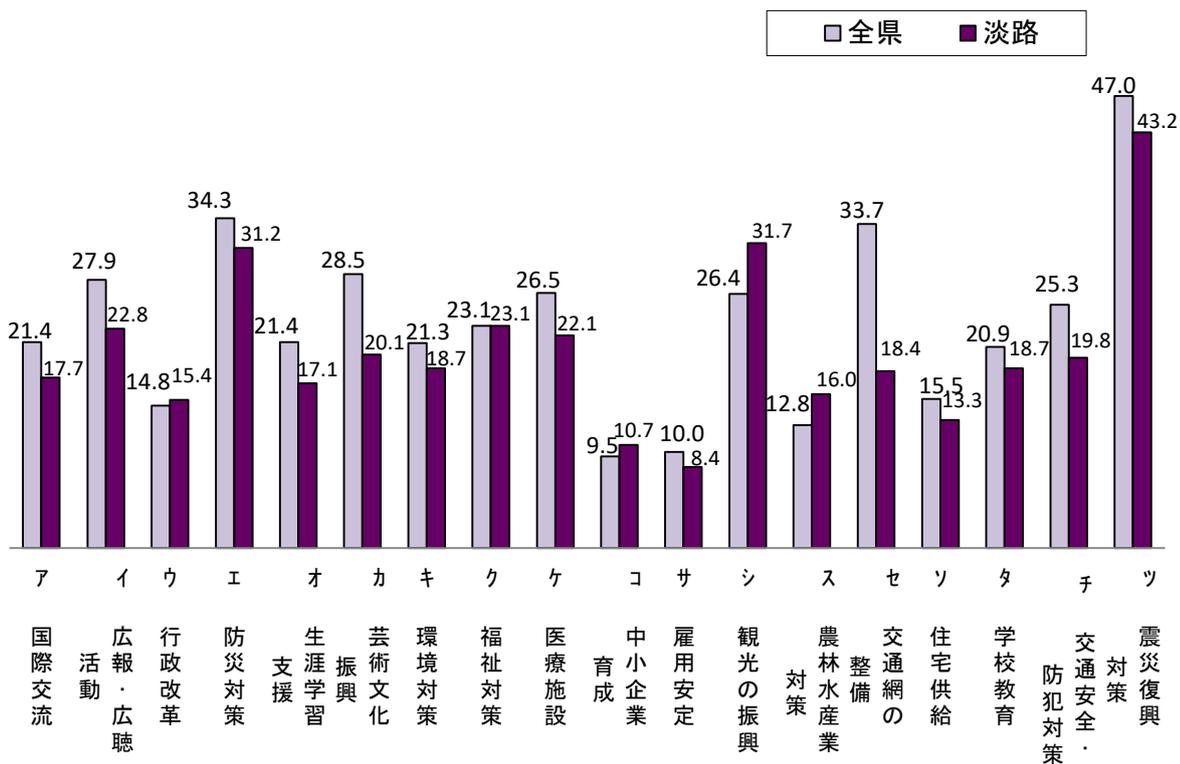
『努力が必要』	増減
チ 交通安全・防犯対策	6.1
コ 県内中小企業の育成	4.3
オ 生涯学習活動への支援	2.9
ス 農林水産業の活性化対策	2.7
シ 観光の振興	2.0
キ 環境の保全と創造	0.9
エ 防災対策の充実	0.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.6
カ 芸術文化の振興	0.4
ソ 良質な住宅の供給	0.3
タ 学校教育の充実	0.2
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.6
ア 国際的な交流や協力	-2.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.0
イ 県政の広報・広聴活動	-5.1

《淡路地域》

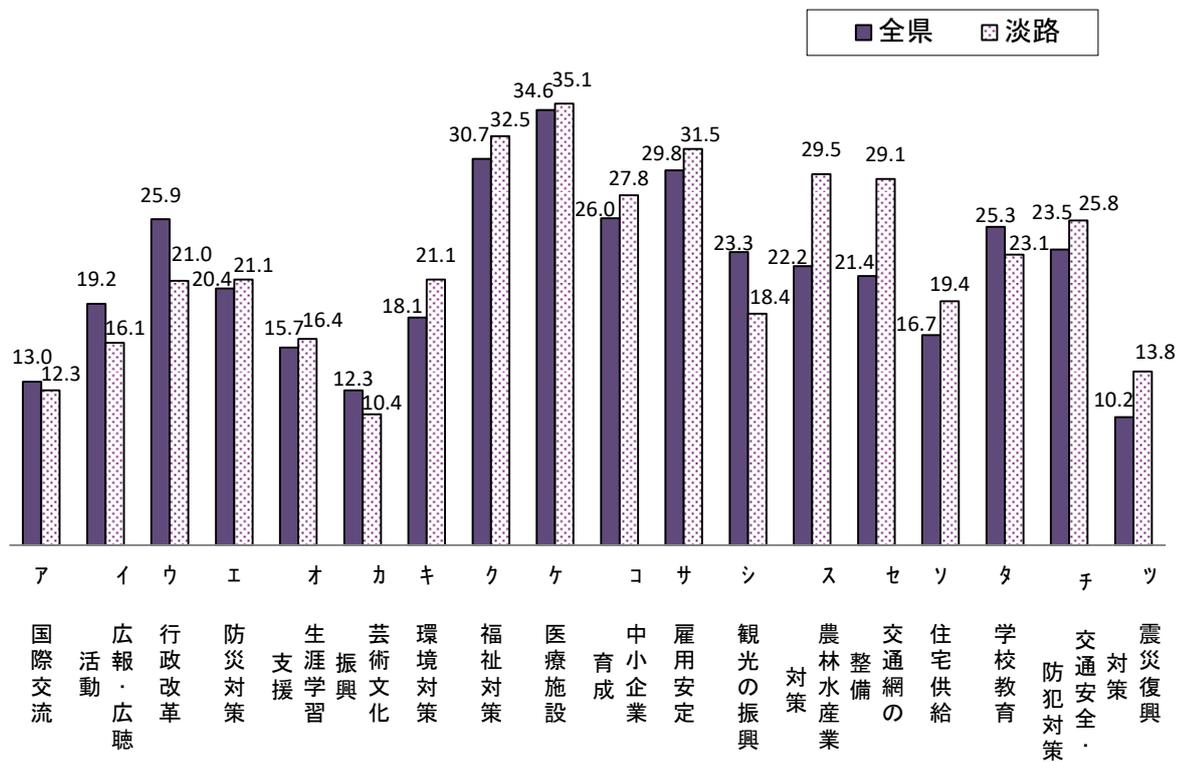
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔シ 観光の振興〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と淡路】



『努力が必要』【全県と淡路】



県政への評価-淡路地域

全県との比較では〔シ 観光の振興〕が最も評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔ソ 良質な住宅の供給〕等で評価が高く、〔チ 交通安全・防犯対策〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
シ 観光の振興	5.3
ス 農林水産業の活性化対策	3.2
コ 県内中小企業の育成	1.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.6
ソ 良質な住宅の供給	-2.2
タ 学校教育の充実	-2.2
キ 環境の保全と創造	-2.6
エ 防災対策の充実	-3.1
ア 国際的な交流や協力	-3.7
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.8
オ 生涯学習活動への支援	-4.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.4
イ 県政の広報・広聴活動	-5.1
チ 交通安全・防犯対策	-5.5
カ 芸術文化の振興	-8.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-15.3

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	7.7
ス 農林水産業の活性化対策	7.3
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.6
キ 環境の保全と創造	3.0
ソ 良質な住宅の供給	2.7
チ 交通安全・防犯対策	2.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.8
コ 県内中小企業の育成	1.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.7
エ 防災対策の充実	0.7
オ 生涯学習活動への支援	0.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.5
ア 国際的な交流や協力	-0.7
カ 芸術文化の振興	-1.9
タ 学校教育の充実	-2.2
イ 県政の広報・広聴活動	-3.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.9
シ 観光の振興	-4.9

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ソ 良質な住宅の供給	1.7
コ 県内中小企業の育成	1.5
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.2
キ 環境の保全と創造	-0.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.8
タ 学校教育の充実	-2.8
オ 生涯学習活動への支援	-3.1
イ 県政の広報・広聴活動	-3.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.6
ス 農林水産業の活性化対策	-3.6
ア 国際的な交流や協力	-4.6
カ 芸術文化の振興	-5.2
チ 交通安全・防犯対策	-5.2
シ 観光の振興	-6.0
エ 防災対策の充実	-9.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
チ 交通安全・防犯対策	12.1
ス 農林水産業の活性化対策	5.2
エ 防災対策の充実	4.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.0
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.9
タ 学校教育の充実	3.9
キ 環境の保全と創造	3.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.0
シ 観光の振興	1.9
オ 生涯学習活動への支援	1.0
カ 芸術文化の振興	-0.3
ア 国際的な交流や協力	-1.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.6
ソ 良質な住宅の供給	-1.8
イ 県政の広報・広聴活動	-2.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.7
コ 県内中小企業の育成	-3.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.7

問 29 県民局・県民センターの認知度

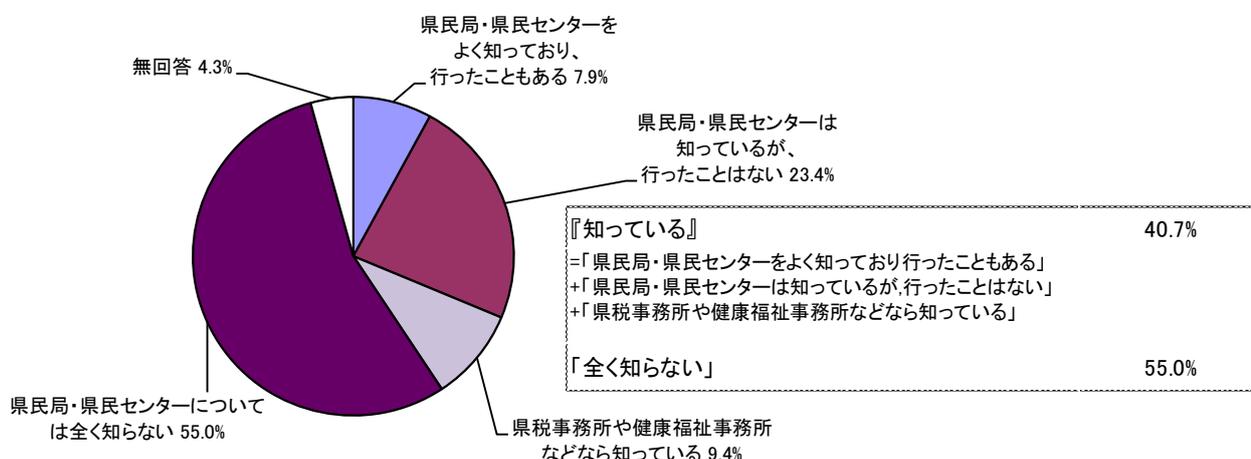
問 29

あなたがお住まいの地域の県民局・県民センターについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない
- 3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている
- 4 県民局・県民センターについては全く知らない

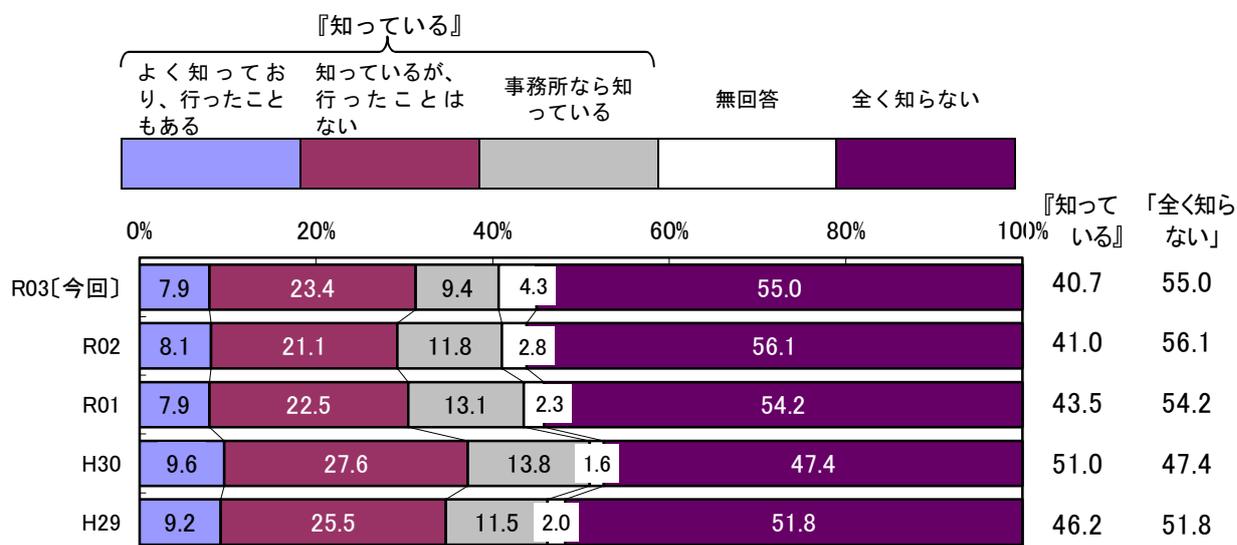
【全県】

「よく知っており、いったこともある」、「知っているが、行ったことはない」、「事務所なら知っている」を合わせた『知っている』は40.7%となった。



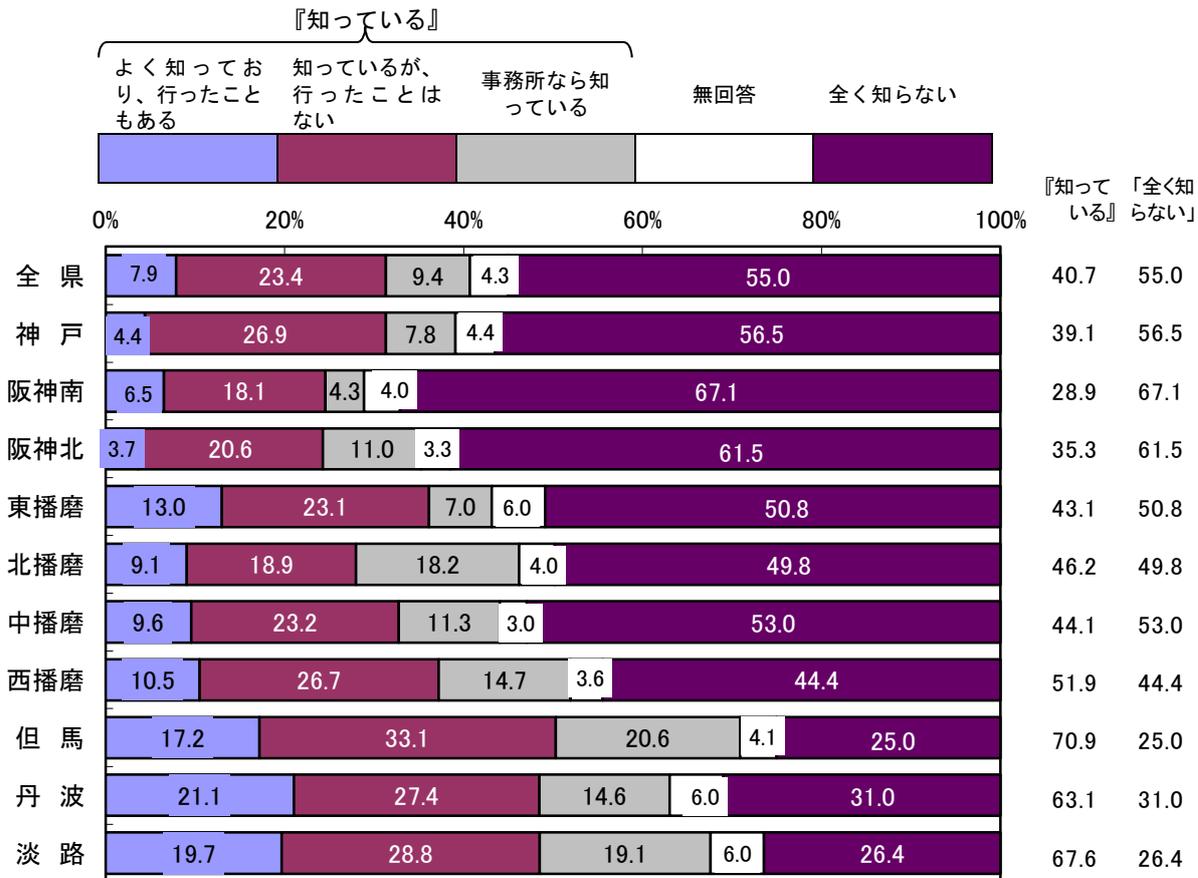
【経年比較】

『知っている』は、前年より0.3ポイント減少した。



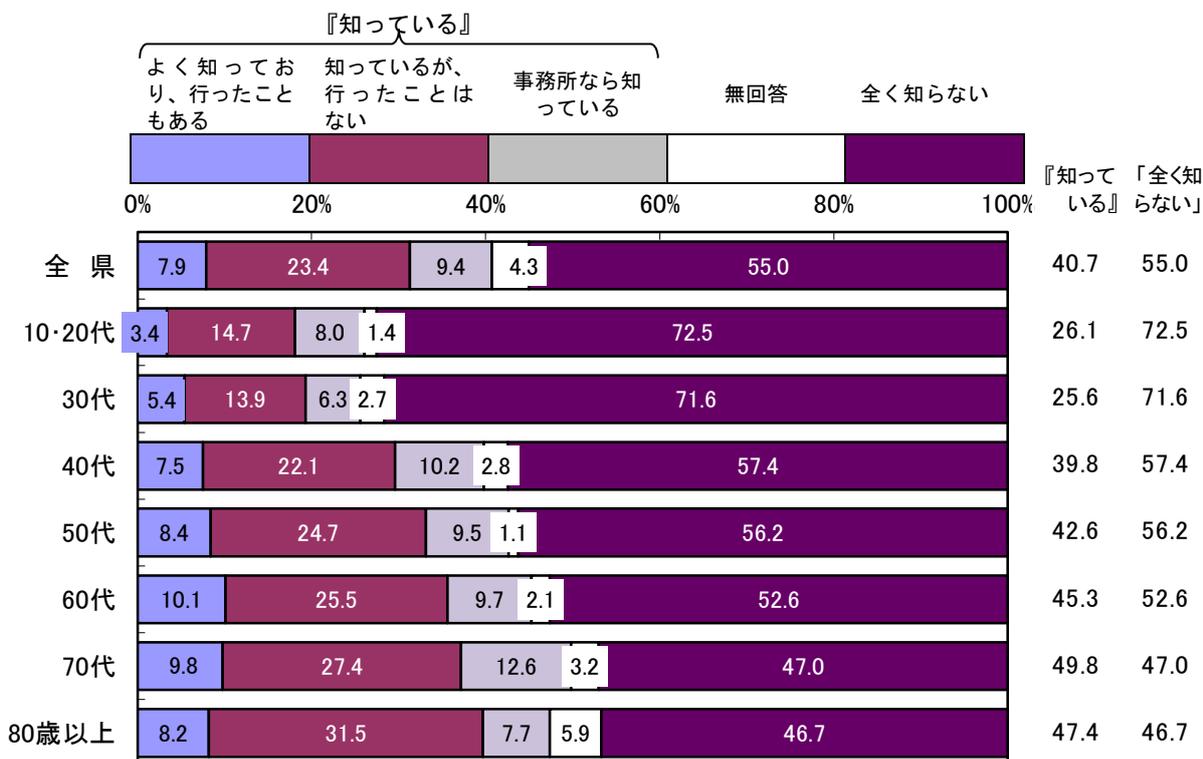
【地域別】

『知っている』は、但馬が最も高く、淡路、丹波が続いている。



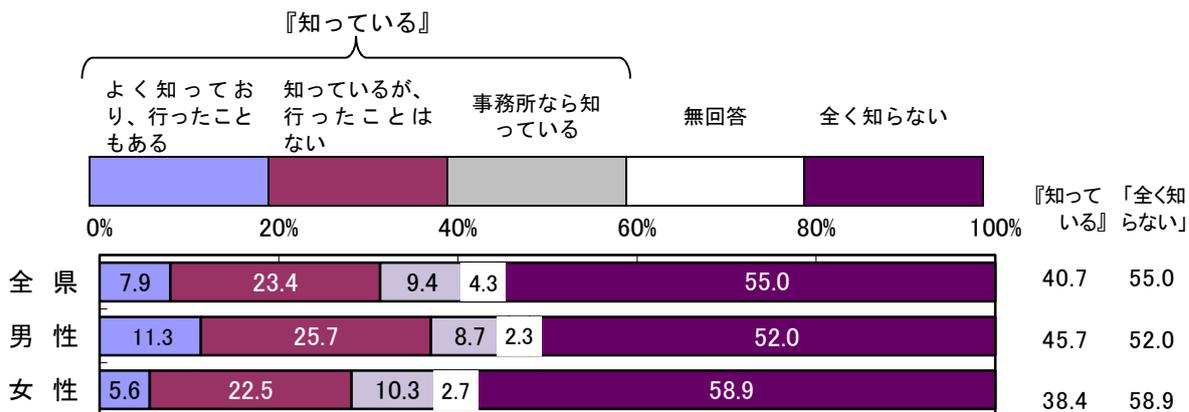
【年代別】

『知っている』は70代が最も高い。



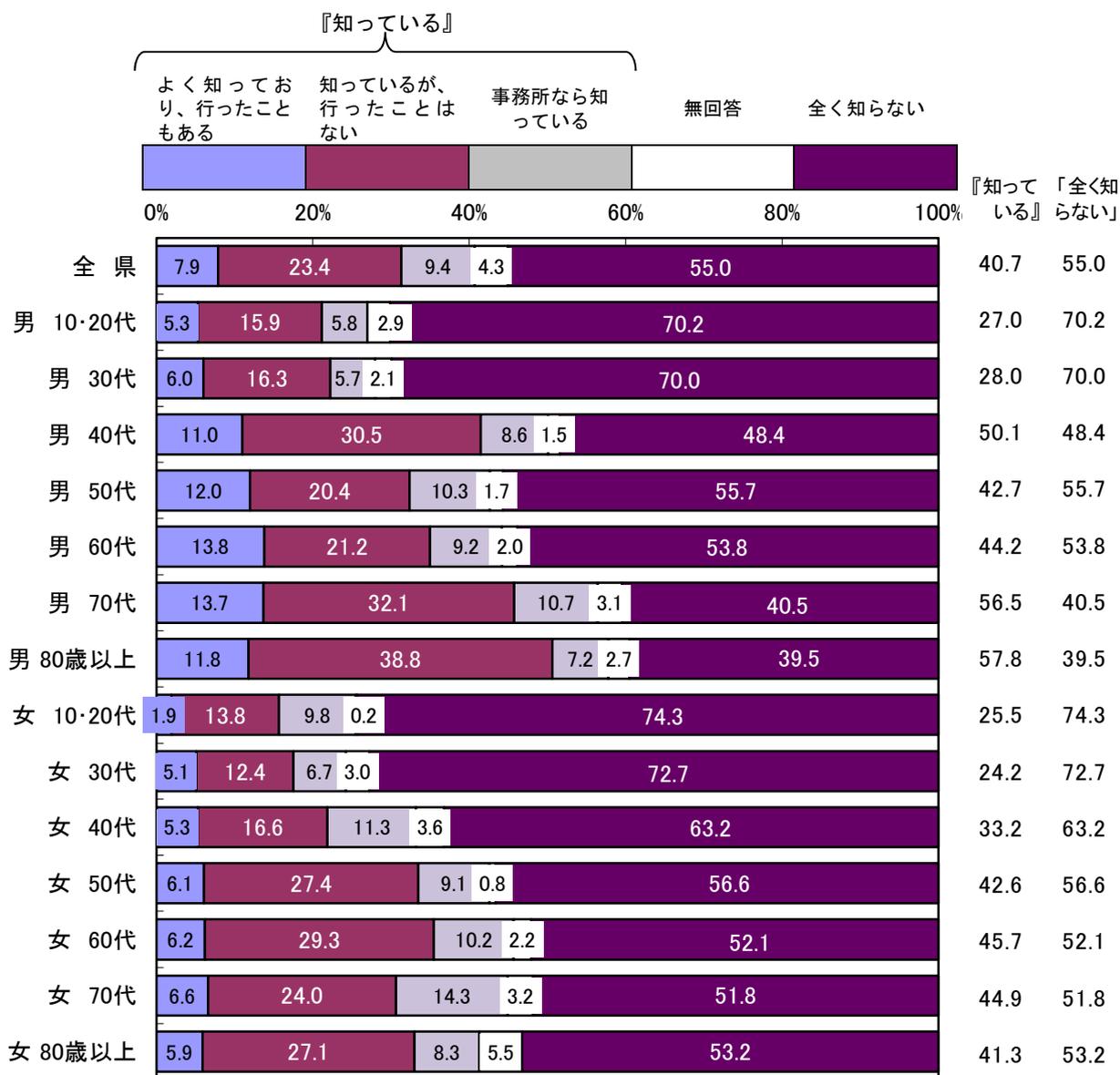
【性別】

『知っている』は、男性の方が女性より7.3ポイント高い。



【性・年代別】

『知っている』は、男性は80歳以上、女性は60代が最も高い。



Ⅲ 調査票

第 27 回 県民意識調査「コロナ禍とその後の社会の展望」調査票



コロナ禍とその後の社会の展望

新型コロナウイルス感染症拡大の防止に向けて、さまざまなご協力をいただいている県民の皆様、事業者の皆様へ心からお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、医療現場や経済活動だけでなく多方面に影響し、日常生活全般にさまざまな変化を生じさせました。今後も、新しい生活様式の浸透や新しいデジタル技術の普及等により、リモートワークや地方回帰の促進など大きな変化が予想されます。

こうしたことを背景にコロナ禍とその後の社会に対応した施策の検討に役立てるため、県民の皆様のお考えを伺うこととし、回答者として県民の皆様の中からあなたを選ばせていただきました。お忙しい中誠に恐縮ですが、下記の調査にご協力いただけますようお願いいたします。



令和3年9月
兵庫県知事 齋藤元彦

※ 回答ご記入についてのお願い

- ご回答は、必ずあて名の方がご記入くださいますようお願いいたします。なお、調査票は、両面刷りになっておりますので、お開きいただき1から4ページまでのすべてに回答をお願いします。
 - ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、恐縮ですが、9月27日（月）までにご返送くださいますようお願いいたします。
 - この調査は無記名でお願いしておりますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。
 - 調査結果は、来年1月をめどに、県ホームページなどで公表するとともに、県政の貴重な資料として活用いたします。
 - ご不明な点がありましたら、下記にお問い合わせください。また、点字の調査票を用意いたしますので、必要な場合は下記までご連絡ください。
- ◆ 兵庫県企画県民部 広聴課広聴相談班 TEL078(362)3021

問1 新型コロナウイルス感染症流行が終わったら、感染症流行以前と比べて、あなたの暮らしはどうなると思いますか。それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

問2 近い将来の社会のあり方について、どのようになっただよいと考えていますか。それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| | 全 | ど | ど | ど | 全 |
| | く | ち | ち | ち | く |
| | そ | ら | ら | ら | そ |
| | う | か | で | か | う |
| | 思 | と | も | と | 思 |
| | う | 言 | な | 言 | わ |
| | | え | い | え | な |
| | | ば | ば | い | |
| | | そ | そ | | |
| | | う | う | | |
| | | 思 | 思 | | |
| | | う | わ | | |
| | | | な | | |
| | | | い | | |
- 1 ほぼ同じ暮らしに戻っているだろう 1 2 3 4 5
 - 2 遠くに遊びに行く回数は少なくなるだろう 1 2 3 4 5
 - 3 多くの人々が集まる地域に行くことを避けるようになるだろう 1 2 3 4 5
 - 4 オンライン技術を使うことによって、対面せず人と関わる機会が増えるだろう 1 2 3 4 5
 - 5 自分の家やその近くで過ごす時間が長くなるだろう 1 2 3 4 5
 - 6 お金をあまり使わない暮らしをしようとしているだろう 1 2 3 4 5

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| | 全 | ど | ど | ど | 全 |
| | く | ち | ち | ち | く |
| | そ | ら | ら | ら | そ |
| | う | か | で | か | う |
| | 思 | と | も | と | 思 |
| | う | 言 | な | 言 | わ |
| | | え | い | え | な |
| | | ば | ば | い | |
| | | そ | そ | | |
| | | う | う | | |
| | | 思 | 思 | | |
| | | う | わ | | |
| | | | な | | |
| | | | い | | |
- 1 街なかや農山漁村に暮らす人が増えてほしい 1 2 3 4 5
 - 2 コロナ禍で中止されたイベントなどが、元通りの形で再開してほしい 1 2 3 4 5
 - 3 安全で快適な新交通手段が発展し、人々の移動が活発な社会になってほしい 1 2 3 4 5
 - 4 国境を越える人々の往来が、元通り活発になってほしい 1 2 3 4 5
 - 5 リモートワーク(※)が促進され、職場にあまり行かなくても済む社会になってほしい 1 2 3 4 5
 - 6 対面サービスの多くがオンライン化された、効率のよい社会になってほしい 1 2 3 4 5
 - 7 インターネット上での個別の学びが促進されるように、学校の教育環境が整ってほしい 1 2 3 4 5
 - 8 お金を使わずに楽しく暮らせる社会になってほしい 1 2 3 4 5

※ リモートワーク…自宅など職場から離れた場所で仕事すること

問3 コロナ禍を経験して、あなたの生活で特に気になるようになったことがあれば、すべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 心身の健康
- 2 家族や夫婦のこと
- 3 職場や友人など
- 4 子どもの教育
- 5 生きがい
- 6 自分や家族の将来
- 7 仕事のこと
- 8 経済的なこと
- 9 社会の変化
- 10 行政サービス
- 11 その他()
- 12 特に気になるようになったことはない → 問7へ

→ 問4へ

問4 問3で答えられた特に気になるようになったことについて、相談しましたか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 家族に相談した
- 2 友人・知人等に相談した
- 3 職場に相談した
- 4 行政の窓口相談した
- 5 民間やNPO等団体の窓口相談した
- 6 インターネット掲示板(相談箱等)で助言を求めた
- 7 相談していない → 問5へ

→ 問6へ

問5 (問4で「7.相談していない」を選択した方) 相談しなかった理由を1つ選んで番号に○をつけてください

- 1 誰に相談していいかわからなかった
- 2 相談したい時間に開いていなかった
- 3 相談するほどではないと思った
- 4 その他()

問6 コロナ禍を経験して、あなたの生活で特に気になるようになったことを相談する場合、その方法について、あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 電話
- 2 実際に会う
- 3 SNS(ツイッター、インスタグラム)などに書き込む
- 4 メール
- 5 Webによる面談(パソコンやスマートフォンを利用して行う遠隔面談)
- 6 その他()

問7 あなたはコロナ禍をきっかけに、以下のようなことについて、何か変わったことはありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 インターネットなどの通信販売を利用する機会が増えた
- 2 動画配信などのオンラインサービスを利用するようになった
- 3 キャッシュレス決済(クレジットカード、電子マネー)を利用するようになった
- 4 社会や環境に配慮した製品を購入するようになった
- 5 地産地消を心がけるようになった
- 6 食品ロス(食料)を減らす意識が高まった
- 7 中食(テイクアウト、デリバリーなど)をする機会が増えた
- 8 災害などに備えて、備蓄を行うようになった
- 9 特に変わっていない
- 10 その他()

問8 コロナ禍を経験して、住まいに関する要素の中で、より重要だと思ようになったものはありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 価格・家賃
- 2 広さや間取り
- 3 高齢者への配慮(段差がない等)
- 4 設備(高速・大容量ネットワーク、水回りなど)
- 5 築年数
- 6 自然災害(地震、水害など)への安全性
- 7 通勤・通学の利便性
- 8 日常の買物などの利便性
- 9 医療・福祉・介護などの生活支援
- 10 子どもの遊び場、教育・子育て支援
- 11 親・子・親せきとの距離
- 12 治安、防犯性
- 13 住居周辺の快適性
- 14 感染症対策への配慮(玄関手洗い、換気等)
- 15 その他()

問9 コロナ禍を経験して、より重要だと思ようになった場所はありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 休憩や運動などができる屋外広場
- 2 オープンカフェなどの開放的な賑わいスペース
- 3 イベントやマーケットとして利用できる公園
- 4 花みどり活動や農作業ができる場所
- 5 地域住民が気軽に集える交流スペース
- 6 リモートワークができる共同で利用する仕事場(コワーキングスペース)

問10 コロナ禍を経験して、以下のようなことに関心がありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 自然豊かな地域への移住
- 2 歴史、文化を感じられる地域への移住
- 3 緑や空間的ゆとりのある郊外住宅地への移住
- 4 病院や店舗等の便利施設が近い地域への移住
- 5 現在の居住地と他の地域にまたがる二地域居住

問11 コロナ禍の影響で、あなたの働き方に変化はありましたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大きく変わった
- 2 多少変わった
- 3 特に変化はない
- 4 働いていない

問12 コロナ禍後の社会において、どのような働き方が望ましいとお考えですか。あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 これまで以上にリモートワークを進める
- 2 出勤とリモートワークを使い分けた働き方を進める
- 3 時差出勤やフレックスタイムを進める
- 4 決まった時間に出勤する等コロナ禍以前の働き方にしたい
- 5 その他()
- 6 わからない

問13 あなたはコロナ禍において、リモートワークでお仕事をされた経験がありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 経験がある → 問14へ
- 2 経験はないが身近に経験者がいる } → 問18へ
- 3 全く関わりがない

問14 (問13で「1.経験がある」を選択された方) リモートワークでのお仕事はどの程度の回数ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 月に1回程度実施
- 2 月に2回程度実施
- 3 週1回程度実施
- 4 週2～3回程度実施
- 5 週4回実施
- 6 ほぼ毎日実施

問15 (問13で「1. 経験がある」を選択された方)リモートワークを進めるにあたって何が必要だと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止
- 2 職場のシステム改善
- 3 人事管理の方法の整備
- 4 経営者や管理職の理解
- 5 自宅の仕事環境の改善
- 6 機密情報の取扱いなどのルールづくり
- 7 同僚や上司とのコミュニケーションツールの導入
- 8 サテライトオフィスなどの整備
- 9 好事例の周知や研修など意識改善の取組
- 10 その他 ()
- 11 わからない

問16 (問13で「1. 経験がある」を選択された方)リモートワークをする場合、どのような場所で行いたいですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 自宅
- 2 自宅の最寄り駅周辺の利便性の高い場所
- 3 自宅周辺の空き家や空き施設を改修した場所
- 4 自宅周辺の公園等
- 5 自宅周辺の図書館等の公共施設
- 6 通常の勤務場所から離れたサテライトオフィス
- 7 リモートワークができる共同で利用する仕事場(コワーキングスペース)
- 8 ホテル
- 9 観光地やリゾート地
- 10 その他 ()

問17 (問13で「1. 経験がある」を選択された方)コロナ禍を経験して、リモートワークによって生まれた時間を主に何に活用したいですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 地域活動への参加(自治会、町内会、子ども会等)
- 2 特定のテーマ型活動へ参加(NPO団体、まちづくり団体等)
- 3 家族との団らん、家事
- 4 知人、友人等との交流
- 5 運動
- 6 趣味・娯楽
- 7 旅行
- 8 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き
- 9 副業・兼業
- 10 勉強
- 11 資格取得
- 12 何もしないでのんびりする

問18 あなたは、暮らしの中でどのような時にインターネット、パソコン・スマートフォンを活用していますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 欲しい情報を検索する。
- 2 電子メールを利用する。
- 3 銀行口座の残高照会や振込をする(インターネットバンキング)
- 4 商品・サービス等の購入をする(オンラインショッピング)
- 5 紙幣や硬貨など現金を使わずに支払う(キャッシュレス決済)
- 6 役所や店舗等に行かずに申請手続を済ませる(オンライン手続き)
- 7 人々と交流をする(オンラインコミュニティへの参加)
- 8 実際に移動せずにネット上で面会、飲み会をする(オンライン面会・懇話会)
- 9 (ほとんど)利用していない
- 10 わからない

問19 行政機関とのオンラインを通じた手続きについて、あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 インターネットに接続できるパソコンやスマートフォンを持っていない
- 2 操作が難しそうである
- 3 画面が分かりにくい
- 4 手続内容の疑問点が、オンラインでは解消できない
- 5 紙よりオンラインの方が手間がかかる
- 6 セキュリティ上の不安がある
- 7 ログインするためのID、パスワードの管理が大変である
- 8 確実に手続を完了できたか不安である
- 9 特に課題は感じない
- 10 その他 ()
- 11 わからない

問20 学校における遠隔授業やリモート交流について、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 日常的に実施すべきである
- 2 すべての子どもが一度は経験すべきである
- 3 取り入れる学校があってもよい
- 4 病気や障害、不登校などの事情のある子どもが利用できるとよい
- 5 特に必要ない

問21 コロナ禍の経験をふまえ、これからの県立美術館・博物館はどのような対応をすればよいと思いますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 予約優先制の導入等、安心して鑑賞できる環境づくり
- 2 美術館での鑑賞、オンライン鑑賞の両方で楽しめる仕掛けづくり
- 3 イベント開催や地域との連携により、にぎわいづくりの拠点になる
- 4 音声ガイドによる展覧会の解説
- 5 展覧会の見どころや関連情報の音声配信
- 6 実物の作品展示の充実
- 7 その他 ()

◆「生活全般や県政」に関することについてお聞きます。

問22 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 満足
- 2 まあ満足
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 不満

問23 あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
ア 所得・収入	1	2	3	4	5
イ 貯蓄などの金融資産	1	2	3	4	5
ウ 住居	1	2	3	4	5
エ 車、家具などの耐久消費財	1	2	3	4	5
オ 時間のゆとり	1	2	3	4	5
カ 趣味やレクリエーションへの取組	1	2	3	4	5
キ 地域活動やボランティアへの取組	1	2	3	4	5
ク 仕事の内容	1	2	3	4	5
ケ 家族との関係	1	2	3	4	5
コ 知人や近所の人との関係	1	2	3	4	5
サ 住んでいる地域の住み心地	1	2	3	4	5
シ あなた自身の健康	1	2	3	4	5
ス 家族の健康	1	2	3	4	5

問24 あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 向上している 2 同じようなもの
3 低下している 4 わからない

問25 あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 起こると思う 2 可能性は高いと思う
3 可能性は低いと思う 4 絶対起こらないと思う
5 わからない

問26 あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 現在参加している 2 過去に参加したことがある
3 参加していない 4 わからない

問27 あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大変関心がある 2 多少関心がある
3 ほとんど関心がない 4 全く関心がない

問28 県の行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

	よ	ま	ど	も	も	
	く	あ	ち	う	っ	
	や	ま	ら	少	と	
	っ	あ	と	し	努	
	て	や	も	努	力	
	い	っ	い	力	が	
	る	て	え	が	必	
		い	な	必	要	
		る	い	要		
ア	国際的な交流や協力	1	2	3	4	5
イ	県政の広報・広聴活動	1	2	3	4	5
ウ	県政の合理的運営(行政改革)への努力	1	2	3	4	5
エ	防災対策の充実	1	2	3	4	5
オ	生涯学習活動への支援	1	2	3	4	5
カ	芸術文化の振興	1	2	3	4	5
キ	環境の保全と創造	1	2	3	4	5
ク	お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1	2	3	4	5
ケ	病気の予防や病院などの医療施設の充実	1	2	3	4	5
コ	県内中小企業の育成	1	2	3	4	5
サ	雇用の安定と職業能力の開発	1	2	3	4	5
シ	観光の振興	1	2	3	4	5
ス	農林水産業の活性化対策	1	2	3	4	5
セ	道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1	2	3	4	5
ソ	良質な住宅の供給	1	2	3	4	5
タ	学校教育の充実	1	2	3	4	5
チ	交通安全・防犯対策	1	2	3	4	5
ツ	阪神・淡路大震災からの復興対策	1	2	3	4	5

問29 あなたがお住まいの地域の県民局・県民センターについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある
2 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない
3 事務所(県税・健康福祉・農林水産振興・土木等)なら知っている
4 県民局・県民センターについては全く知らない

★最後に、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身や家族構成等についてお聞かせください。下記のことについて、あてはまるものに○をつけてください。

F1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性

F2 あなたの年代は

- 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代
5 50代 6 60代 7 70代 8 80歳以上

F3 あなたの主な職業、業種は

【職業】

- 1 自営業(農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む)
2 会社・団体などの正規社員(職員)
3 会社・団体などの役員
4 契約社員や派遣社員など
5 短時間勤務のパートタイマーやアルバイト
6 専業主婦(主夫)
7 学生
8 無職(専業主婦(主夫)・学生を除く)

F4 あなたは現在、お住まいのところに通算、何年お住まいですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 1年未満 2 1～3年未満 3 3～5年未満
4 5～10年未満 5 10～15年未満 6 15～20年未満
7 20年以上

F5 あなたが現在お住まいのところの郵便番号は

(ご不明の場合、当調査票をお届けした封筒に記載の郵便番号をご覧ください)

□□□□ - □□□□

F6 あなたの同居のご家族の構成は

- 1 1人世帯
2 夫婦だけ(1世代)
3 自分(たち)と子ども、または親と自分(たち)(2世代)
4 親と子と孫(3世代)
5 その他()

F7 あなたがインターネットを利用する環境についておたずねします

- 1 主にパソコンを使っている
2 主にスマートフォンを使っている
3 持っていない

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒でご返送ください。



兵庫県マスコット はげタン

